

令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業
インクルーシブ保育の在り方等に関する調査研究報告書

有限責任監査法人トーマツ
令和7年3月

目次

第1章	本調査研究の実施概要	3
1.	調査研究の背景・目的	3
(1)	背景	3
(2)	目的	5
2.	調査研究の全体像	5
(1)	基礎調査	6
(2)	アンケート調査	6
(3)	ヒアリング調査	7
(4)	事例集作成	7
(5)	検討委員会	9
(6)	報告書作成	10
(7)	調査研究スケジュール	11
第2章	基礎調査	12
1.	基礎調査の概要	12
(1)	調査目的	12
(2)	調査手法	12
2.	調査結果	12
(1)	インクルーシブな保育が求められる背景・経緯	12
3.	インクルーシブな保育の状態を高めるための6つの観点	15
第3章	インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査	17
1.	アンケートの概要	17
(1)	調査目的	17
(2)	調査対象	17
(3)	調査時期	17
(4)	調査手法	17
(5)	回収数及び回答率	17
(6)	アンケート項目	18
2.	調査結果	19
(1)	単純集計結果サマリ	19
(2)	クロス集計結果サマリ	34
第4章	ヒアリング調査	79
1.	ヒアリング調査の概要	79
(1)	調査目的	79
(2)	調査対象	79
(3)	調査時期	79
(4)	調査手法	79

2. ヒアリング調査先の選定.....	80
第5章　まとめ及び考察.....	83

第1章 本調査研究の実施概要

1. 調査研究の背景・目的

(1) 背景

日本は障害者の権利に関する条約への批准や障害の差別の解消に関する法律等を背景に、教育や保育分野をはじめとした多様な分野で「インクルージョン」が重要な理念として注視されるようになってきた¹。

近年の少子高齢化社会や地域住民の複雑化・複合化した課題への対応やニーズが高まる中で、保育分野でも包括的な支援やニーズを受け止め、支援関係機関全体で当事者目線での寄り添い方や支援を進める重層的支援体制整備の推進が期待されている²。

こうした経緯を受け、こどもの多様性に配慮した保育の在り方への議論³等により、保育分野内外からのインクルーシブな保育の実践的保育の実現の高まりを経て、令和5年4月1日より、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令（令和4年厚生労働省令第159号）が公布された。これにより、保育所等と社会福祉施設等が併設している場合において従前の期待役割等を損なわないことを前提として、施設間の設備及び職員の支援対象に対する柔軟的解釈を可能とし⁴、今後は保育現場での実践的なインクルーシブな保育を推進する仕組みづくりが期待されるところである。

また、令和5年12月22日に閣議決定された「こども未来戦略」において、「障害の有無にかかわらず、安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、地域における障害児の支援体制の強化や保育所等におけるインクルージョンを推進する。」とされ、多様な支援ニーズへの対応を求めている⁵。

保育政策においては、令和6年12月20日にこども家庭庁より公表された「保育政策の新たな方向性」の中で、全国どこでも質も高い保育が受けられ、地域でひとりひとりのこどもの育ちと子育てが応援・支援されるような社会を実現するため、令和7年度から令和10年度末を見据えた保育政策の3つの柱が示されている。柱の1つに「全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進」が掲げられ、多様なニーズに対応した保育の充実に向けて、障害のあるこども・医療的ケアの必要なこどもの保育所等における受入れを強化することとされている⁶。

¹ 直島正樹「日本におけるインクルーシブ保育の実現に向けた現状と課題―障害とインクルージョンをめぐる動向を踏まえて―」令和4年3月30日

² こども家庭庁「重層的支援体制整備事業の実施について」令和5年8月8日

³ 厚生労働省「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会のとりまとめの公表」取りまとめ報告書・参考資料令和3年12月20日

⁴ 厚生労働省「保育所等におけるインクルーシブ保育に関する留意事項等について」令和4年12月26日

⁵ こども家庭庁「こども未来戦略」

⁶ こども家庭庁「保育政策の新たな方向性」

一方で、省令規制緩和検討と同時期に、障害児保育の在り方検討会でもインクルーシブな受入れ推進について議論された。可能な限り個々のこども・その保護者の置かれた状況や意見を尊重しながら、包括的かつ丁寧にこどもの発達段階や特性に応じた支援の提供が重要とされ、障害の有無によらず、すべてのこどもが共に成長できる支援を受けられるよう支援するとともに、可能な限り地域の保育・教育等の支援を受けられるようにしていくことも重要である^{7,8}として、障害のあるこどもに対する支援・保育の観点からも、今後より一層インクルーシブな保育の推進に向けての取組が推し進められている。なお、インクルーシブな保育の実践は、幼少期からの多様なこども達との育ち合いの経験をこども達にもたらし、共生の意識醸成につながる。よって地域共生社会の実現においても重要な取組であると期待されている⁹。

しかしながら、保育現場での実践においてインクルーシブな保育の実践的取組は検討課題が多く、具体化まで至っていない現状がある¹⁰。

その要因の一端にインクルーシブな保育の解釈の難しさがある。インクルーシブな保育の「インクルージョン」とは、ノーマライゼーション理念の発展と変化の中で紡ぎ出されてきた言葉である。「包み込む」という意味を持つインクルージョンは、従前の「障害がある」「障害がない」を区別して考え、それを統合化する考え方として用いるのではなく、「障害がある」「障害がない」という区別自体がなく、誰もが特別なニーズを持っており、障害だけが特別なものではないと考えるところにある。従前の統合化保育では、形式的に障害のあるこどもが健常児集団の場に一緒にいる状況を生み出し、個々の特性に応じた保育を提供することができない課題も報告されている¹¹。まずは自治体及び保育現場での適切なインクルーシブな保育への理解と、その実践的な保育の実現のために必要となる多様な準備・調整への検討が求められている。

以上の背景を踏まえて、自治体あるいは保育現場において適切な「インクルーシブな保育」の概念の理解の状況を含めたインクルーシブな保育への理解、及び推進状況の具体を把握し、集約した情報よりインクルーシブな保育の好事例、取組状況や調整プロセス、工夫等を整理・集約することで、保育現場でのインクルーシブな保育のより一層の推進に資する資料の作成が望まれているところである。

⁷ 厚生労働省「障害児通所支援の在り方に関する検討会報告書_すべての子どもの豊かな未来を目指して」令和 4 年 8 月 4 日

⁸ 厚生労働省「障害児通所支援の在り方に関する検討会_第 6 回_資料 1「インクルーシブな受け入れの推進のために」令和 3 年 9 月 15 日

⁹ 直島正樹「日本におけるインクルーシブ保育の実現に向けた現状と課題ー障害とインクルージョンをめぐる動向を踏まえてー」令和 4 年 3 月 30 日

¹⁰ 直島正樹「日本におけるインクルーシブ保育の実現に向けた現状と課題ー障害とインクルージョンをめぐる動向を踏まえてー」令和 4 年 3 月 30 日

¹¹ 直島正樹「日本におけるインクルーシブ保育の実現に向けた現状と課題ー障害とインクルージョンをめぐる動向を踏まえてー」令和 4 年 3 月 30 日

(2) 目的

保育所等でのインクルーシブな保育の実践的な取組推進に資するように、自治体のインクルーシブな保育の推進状況や保育所等でのインクルーシブな保育の取組状況を把握する。また、保育所等での先駆的なインクルーシブな保育事例の調整プロセス、取組の工夫等を整理・集約した好事例集を作成する。

具体的には下記3つについて実施する。

- ① 保育所等と児童発達支援事業所等との併設・交流による保育を中心に、インクルーシブな保育への理解も含めてその実態を把握する
- ② 実態把握等に基づき、インクルーシブな保育の実践、取組推進の参考となる事例をとりまとめ、好事例集を作成する
- ③ 実態把握を踏まえ、地域共生社会実現のためのインクルーシブな保育の在り方や必要な支援策について検討する

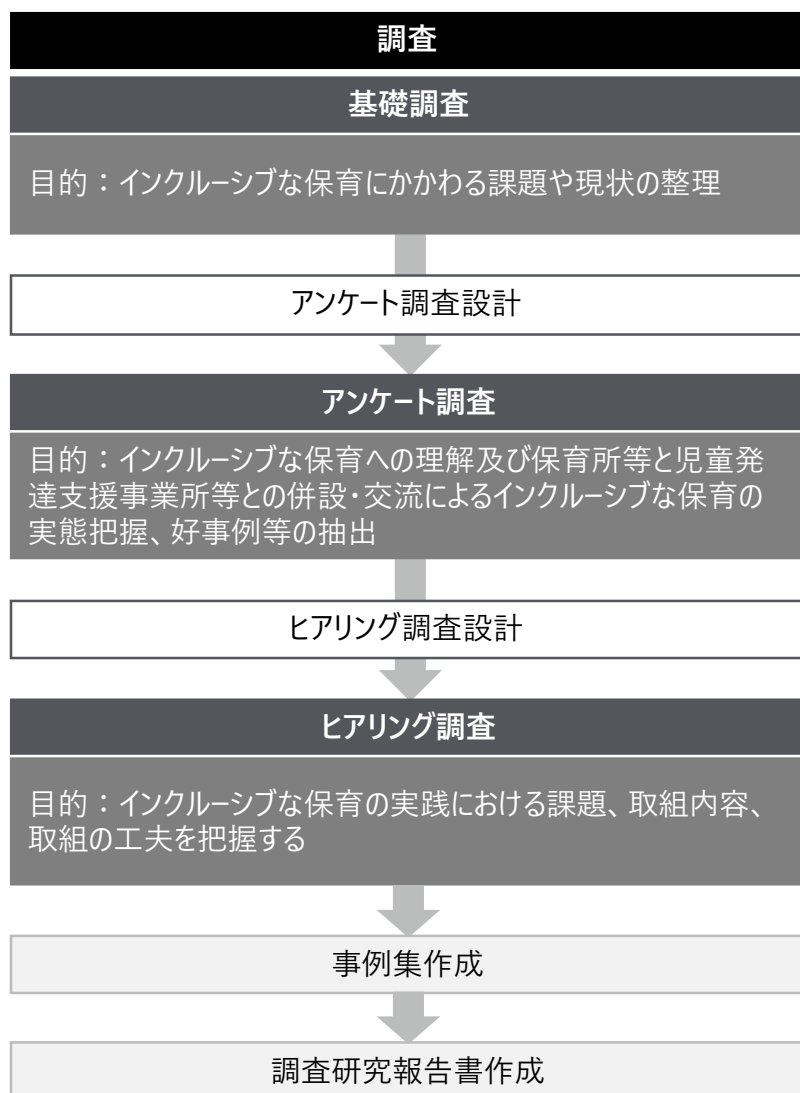
2. 調査研究の全体像

本調査研究事業では、以下の手順で調査を実施する。

- ① 基礎調査
- ② アンケート調査
- ③ ヒアリング調査
- ④ 事例集の作成
- ⑤ 検討委員会の開催
- ⑥ 調査研究報告書の作成

初めに基礎調査を実施し、インクルーシブな保育に関わる背景や課題、及び現状について整理する。その後、自治体や保育所等を対象にインクルーシブな保育への理解を含めたアンケート調査及びヒアリング調査の実施を経て、インクルーシブな保育の好事例集と調査研究報告書を作成する。

図表 1 調査の流れ



(1) 基礎調査

基礎調査では、公表データ等から下記について整理する。

- ・ インクルーシブな保育が求められる背景・経緯
- ・ インクルーシブな保育とは
- ・ インクルーシブな保育を効果的に実施するための要素

(2) アンケート調査

アンケート調査では、自治体（保育所等主管課）及び保育所等におけるインクルーシブな保育への理解とともに主に保育所等と児童発達支援事業所等との併設・交流におけるインクルーシブな保育の実施状況、取組効果等を把握し、取組の課題や連携に必要な調整事項等について整理する。また、調査結果より得られた保育所等での事例から、ヒアリング調査の対象の検討にも活用する。

(3) ヒアリング調査

ヒアリング調査では、アンケート調査や学識有識者等による検討委員会での意見聴取を踏まえ、8か所程度の保育所等及び児童発達支援事業所等を抽出・選定する。

インクルーシブな保育の具体的内容及び実施体制の把握、保育所等と児童発達支援事業所等、関係機関との連携パターン、連携方法・連携内容等を把握する。さらに、取組効果や持続可能な取組みとするための工夫等を把握する。また、インクルーシブな保育の取組推進する上での課題や課題への対応策等についても把握する。

(4) 事例集作成

事例集作成は、インクルーシブな保育の実践、取組推進に資するものとなるように、自治体、保育所等にとって参考となるものを目指す。具体的には、保育所等と児童発達支援事業所等の併設・交流におけるインクルーシブな保育の実践事例をとりまとめ、保育所側の意図、取組の工夫がわかり、取組による効果がこどもの声として聞こえてくるような事例集の作成を想定している。具体的な取組事例の紹介、インクルーシブな保育の取組推進にかかわるポイントを整理する。本事例集をインクルーシブな保育に携わる関係者が参考にすることで、対話による共通認識の促進等が期待できる。

なお、調査設計及び好事例集の作成、調査研究報告書のとりまとめにおいては、本調査研究で設置する「検討委員会」で意見聴取を行い、学識有識者等の専門的知見も反映しながら進めていく。

■ 好事例のとりまとめについて

すべての保育所等にとって参考に資するよう多様な事例を掲載することを目指す。また、部分的にも参考としていただけるように、インクルーシブな保育の実践に必要な要素別に取組を整理する。

インクルーシブな保育の実践を通して、保育者、保護者等が感じている点なども掲載し、現場の声を読み手に伝えるなど、取組推進の一助となるように工夫した構成とする。

図表 2 事例紹介の施設パターン

施設パターン	説明
I. 児童発達支援事業所等との施設併設・一体型	以下①～③のいずれかに該当している施設 保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置している 保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置している 保育所等と児童発達支援事業所を近接又は隣接して設置している
II. 外部支援導入型	I. 以外の施設において、外部支援を導入している施設
III. 単独型	上記 I. II. いずれにも該当しない施設

図表 3 事例集骨子

項目	内容
1. 基本情報	・ 施設の基本情報を記載する
2. インクルーシブな保育の具体的な取組内容	・ インクルーシブな保育の取組内容（概要）を記載する ・ インクルーシブな保育の状態を確認するための 6 つの観点別に取組の特徴を記載する
3. 園が目指すインクルーシブな保育の状態	・ 園が考えるインクルーシブな保育の状態や考え方について記載する
4. インクルーシブな保育の取組に向けた体制整備について	・ インクルーシブな保育の取組に向けた保育提供体制整備について観点 1 から観点 3 に整理して記載する 【観点 1】組織的観点 【観点 2】環境整備の観点 【観点 3】保育提供体制の観点
5. インクルーシブな保育の具体的な取組内容	・ インクルーシブな保育実践について観点 4 から観点 6 に整理して記載する 【観点 4】保育内容の観点 【観点 5】連携の観点 【観点 6】保護者や地域との交流の観点
6. インクルーシブな保育を実感される場面	・ インクルーシブな保育を実感される場面について子ども、保育者、保護者、専門職それぞれについて整理して記載する
7. 併行通園する子どもへの工夫	・ 併設または外部の（併設ではない）児童発達支援事業所または児童発達支援センター等に併行通園する子どもへの工夫について記載する

8. 児童発達支援事業所等との併設・交流による良い点 *Ⅰ. 児童発達支援事業所等の施設併設型のみ	・ 児童発達支援事業所等との併設・交流について、具体的な取組内容、連携体制、連携方法、良い点等を記載する
9. 外部支援の活用 *Ⅱ. 外部支援導入型のみ	・ 保育所等巡回支援等による外部支援導入事例において、具体的な取組内容、連携体制、連携方法、良い点等を記載する
10. インクルーシブな保育の取組推進について重要と考えること課題と感ずること	・ インクルーシブな保育の状態を維持、取組推進していくために重要と考えていることや課題と感ずていること等について、施設の考えを記載する

(5) 検討委員会

本調査研究では客観性を確保しつつ、多角的な専門的助言を得るため有識者等による検討委員会を設置する。会議では、定期的に各種調査の進捗を報告し、専門的な評価・助言を受けた。検討委員会は全5回開催とし、書面開催も併用した。以下に、開催時期と議題を示す。

図表 4 検討委員会実施の時期と議題案

回数	日程・開催方法	議題
第1回	2024年9月	✓ 調査研究事業の調査目的・実施内容報告 ✓ インクルーシブな保育の状態の観点の検討 ✓ アンケート調査の方法・項目の検討
第2回 書面開催	2024年11月	✓ アンケート調査の項目の検討 ✓ インクルーシブな保育の状態の観点の検討
第3回	2024年12月	✓ アンケート調査票の報告 ✓ ヒアリング調査骨子・項目の検討 ✓ 事例集（案）の掲載ポイント・内容の検討 ✓ 調査研究全体について
第4回	2025年2月	✓ アンケート調査結果報告・分析について ✓ ヒアリング調査結果報告 ✓ 事例集（案）の内容検討 ✓ 調査研究報告書（案）について
第5回	2025年3月	✓ 事例集（案）について ✓ 調査研究報告書（案）について

図表 5 検討委員名簿（敬称略・順不同） ◎座長

	氏名	所属等
◎	滝口 圭子	金沢大学人間社会研究学校教育系 教授
	松井 剛太	香川大学教育学部 准教授
	橋本 創一	東京学芸大学 特別支援教育・教育臨床サポートセンター 教授
	北川 聡子	社会福祉法人麦の子会 理事長
	佐藤 愛美	社会福祉法人翔の会 うーたん保育園 園長
	丸山 純	全国私立保育連盟 常任理事
<オブザーバー> 敬称省略・順不同		
	大塚 慎之介	こども家庭庁支援局障害児支援課
	岡崎 俊彦	こども家庭庁支援局障害児支援課
<研究員・事務局>		
	渡辺典之	有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 ヘルスケア パートナー
	財満信子	有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 ヘルスケア シニアマネジャー
	山田圭之介	有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 ヘルスケア シニアコンサルタント
	堤康崇	有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 ヘルスケア シニアコンサルタント
	都築由美	有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 ヘルスケア シニアコンサルタント
	山本大河	有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 ビジネスアシュアランス スタッフ

（6）報告書作成

調査研究報告書では、アンケート調査及び、ヒアリング調査の結果を基に、有識者会議等のご意見を踏まえ、インクルーシブな保育の在り方、必要な支援策に関する検討結果をまとめる。また事例集作成は報告書に含めるが、後日事例集をデジタルデータとして活用できる形式で作成をする。

(7) 調査研究スケジュール

調査研究スケジュールは、以下の通り進めた。

	12 月	1 月	2 月	3 月
アンケート 調査	12/20(金)-1/24(金) 保育所 1/8 (水) -1/24(金) 自治体	1/27(月)-集計・分析・まとめ		
ヒアリング 調査	調査設計	1月中旬から3月上旬 ヒアリング候補選定 2月上旬から3月中旬 ヒアリング打診・実施 ヒアリングとりまとめ		
事例集	骨子(案)作成	事例集作成		
調査報告書		報告書作成		
検討委員会	12/25 (金) 第 3 回		2/13 (木) 第 4 回	3/7 (金) 第 5 回

第2章 基礎調査

1. 基礎調査の概要

(1) 調査目的

インクルーシブな保育が求められる背景・経緯、及び社会動向や、インクルーシブな保育に係る現状の把握を行う。

(2) 調査手法

デスクトップリサーチを実施した。

2. 調査結果

(1) インクルーシブな保育が求められる背景・経緯

(ア) インクルーシブな保育が求められる背景

日本は障害者の権利に関する条約を批准し、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律等を背景に、障害者の人権及び基本的自由の享有を確保しながら共生社会の一員として障害のある人への配慮の在り方や支援の在り方等について支援者機関や支援者等でその在り方について検討してきた経緯がある¹²。

こうした経緯の中で、近年では保育を必要とするこどもの多様性の広がりが認められ、こどもの多様性に配慮した保育の在り方への議論¹³等により、保育分野内外からのインクルーシブな保育の実践的保育の実現の高まりを経て、令和5年4月1日より、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令（令和4年厚生労働省令第159号）が公布された。

これにより、保育所等と児童発達支援事業所等が併設している場合において、従前の期待役割等を損なわないことを前提として、施設間の設備及び職員の支援対象に対する柔軟的解釈を可能とし¹⁴、今後は保育現場での実践的なインクルーシブな保育を推進する仕組みづくりが期待されるところである。

また、近年の少子高齢化社会や地域住民の複雑化・複合化した課題への対応やニーズが高まる中、保育分野でも包括的な支援やニーズを受け止め、支援関係機関全体で当事者目線での寄り添い方や支援を進める重層的支援体制整備の推進が期待されている¹⁵。

さらに、令和5年12月22日に閣議決定された「こども未来戦略」においては、基本理念の1つとしてすべてのこども・子育て世帯を切れ目なく支援することとし、これまで以上に保護者の就労形態や家庭状況を分け隔てることなく、多様なこども・子育て支援ニーズに対

¹² 直島正樹「日本におけるインクルーシブ保育の実現に向けた現状と課題―障害とインクルージョンをめぐる動向を踏まえて―」令和4年3月30日

¹³ 厚生労働省「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会のとりまとめの公表」取りまとめ報告書・参考資料令和3年12月20日

¹⁴ 厚生労働省「保育所等におけるインクルーシブ保育に関する留意事項等について」令和4年12月26日

¹⁵ こども家庭庁「重層的支援体制整備事業の実施について」令和5年8月8日

し、よりきめ細かい対応を求めている¹⁶。

図表 6 インクルージョンの観点で保育を捉える必要性の高まりと国内動向

時系列	概要
平成 24 年 7 月 23 日 初等中等部教育分科会	共生社会とは多様な捉え方があるが、文部科学省が報告した「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」の中で、共生社会とは「これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰しものが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である」と定義した。
平成 26 年 1 月 20 日 外務省	日本は「障害者の権利に関する条約」へ批准。 障害者の人権及び基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的として、障害者の権利の実現のための措置等について定める取組を進めることとなった。
平成 28 年 4 月 1 日 内閣府	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」施行 障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や、国の行政機関、地方公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めることによって、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とする。
令和 3 年 5 月 26 日～ 12 月 20 日 厚生労働省	「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」の実施 こどもの数や生産年齢人口の減少、地域のつながりの希薄化等を踏まえ、地域における今後の保育所や保育士等の在り方について中長期的な視点に立って検討するために実施された。その取りまとめには、個々の保育所の強みや体制等を踏まえ、他の子育て支援関係機関との役割分担を明らかにしつつ、多様な保育・子育てニーズを受け止める環境整備が必要であることや、子育て負担軽減目的での一時預かり、障害のあるこども、外国籍の児童等への対応といった多様な保育ニーズへの対応を促進することなどについても含まれ、こどもの多様性に配慮した保育の在り方への議論が重ねられた。

¹⁶ こども家庭庁「こども未来戦略」

令和 5 年 4 月 1 日	<p>児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令（令和 4 年厚生労働省令第 159 号）が公布。</p> <p>保育所等と社会福祉施設等が併設している場合において従前の期待役割等を損なわないことを前提として、施設間の設備及び職員の支援対象に対する柔軟的解釈を可能とし*⁶、今後は保育現場での実践的なインクルーシブな保育を推進する仕組みづくりが期待されている。</p>
令和 6 年 4 月 1 日 内閣府	<p>改正障害者差別解消法の施行</p> <p>事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化された。具体的には障害がある人への「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮」及び「環境の整備」を行うこととし、障害のある人もない人も共に生きる社会（共生社会）を目指すものである。保育分野をはじめとした多様な分野においても「インクルージョン」が重要な理念として注視され、取組の更なる充実が求められてきている。</p>

図表 7 こども政策における動向

時系列	保育に関連する事項等
令和 5 年 8 月 8 日	<p>重層的支援体制整備事業の実施</p> <p>少子高齢化社会や地域住民の複雑化・複合化した課題への対応やニーズが高まる中で、支援機関全体で当事者目線の支援を進める重層的支援体制整備の推進が重要と示唆された。</p>
令和 5 年 12 月 22 日	<p>こども未来戦略の閣議決定</p> <p>基本理念の一つとしてすべてのこども・子育て世帯を切れ目なく支援することを明記した。</p>
令和 6 年 12 月 20 日	<p>「保育政策の新たな方向性」公表</p> <p>令和 7 年度から令和 10 年度末を見据えた保育政策の 3 つの柱が示され、柱の 1 つに「全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進」が掲げられた。</p> <p>多様なニーズに対応した保育の充実に向けて、障害のあるこども・医療的ケアの必要なこどもの保育所等における受入れを強化することが明記された。</p>

(イ) インクルージョンとノーマライゼーション理念

保育現場においてインクルーシブな保育の実践的取組は事例が少なく、具体化まで至って

いない現状がある¹⁷。その要因の一端にインクルーシブな保育の解釈の難しさがある。インクルーシブな保育の「インクルージョン」とは、ノーマライゼーション理念の発展と変化の中で紡ぎ出されてきた言葉である。「包み込む」という意味を持つインクルージョンは、「障害がある」「障害がない」という区別自体がなく、誰もが特別なニーズを持っており、障害だけが特別なものではないと考えるところにある。

従前の統合化保育では、障害のある子どもが健常児集団の場に一緒にいる状況を生み出し、個々の特性に応じた保育を提供するという考え方に立っていた。

ノーマライゼーションとは「障害のある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会を目指す理念のことであり、障害者の自立と社会参加の促進を図る概念である¹⁸。国としても障害者福祉の施策としてノーマライゼーション理念のもと障害者福祉向上に向けた取組を進めてきている。

3. インクルーシブな保育の状態を高めるための6つの観点

本調査研究では、保育所等でのインクルーシブな保育の状態や保育所等でのインクルーシブな保育の取組状況を把握することを目的としている。しかしながら、国内でインクルーシブな保育を明示的に定義したものがない。そのため、本調査研究では、検討委員会において有識者からの意見聴取を重ね、インクルーシブな保育を次の通り整理し、調査研究を進めた。

まず前提として、保育とは元来から「インクルーシブ」な理念を包含しているものであるところ、その理念を実践するためには、保育提供体制や保育実践それぞれでより保育の充実を図るための取組が求められるという理解のもと、保育がさらにインクルーシブな状態になることをインクルーシブな保育とした。

そして、“保育がさらにインクルーシブな状態になっていること”を把握する観点として、保育提供体制整備に係る観点（観点1～3）と保育実践に係る観点（観点4～6）の大きく2つに分類し、全部で6つの観点を整理した。

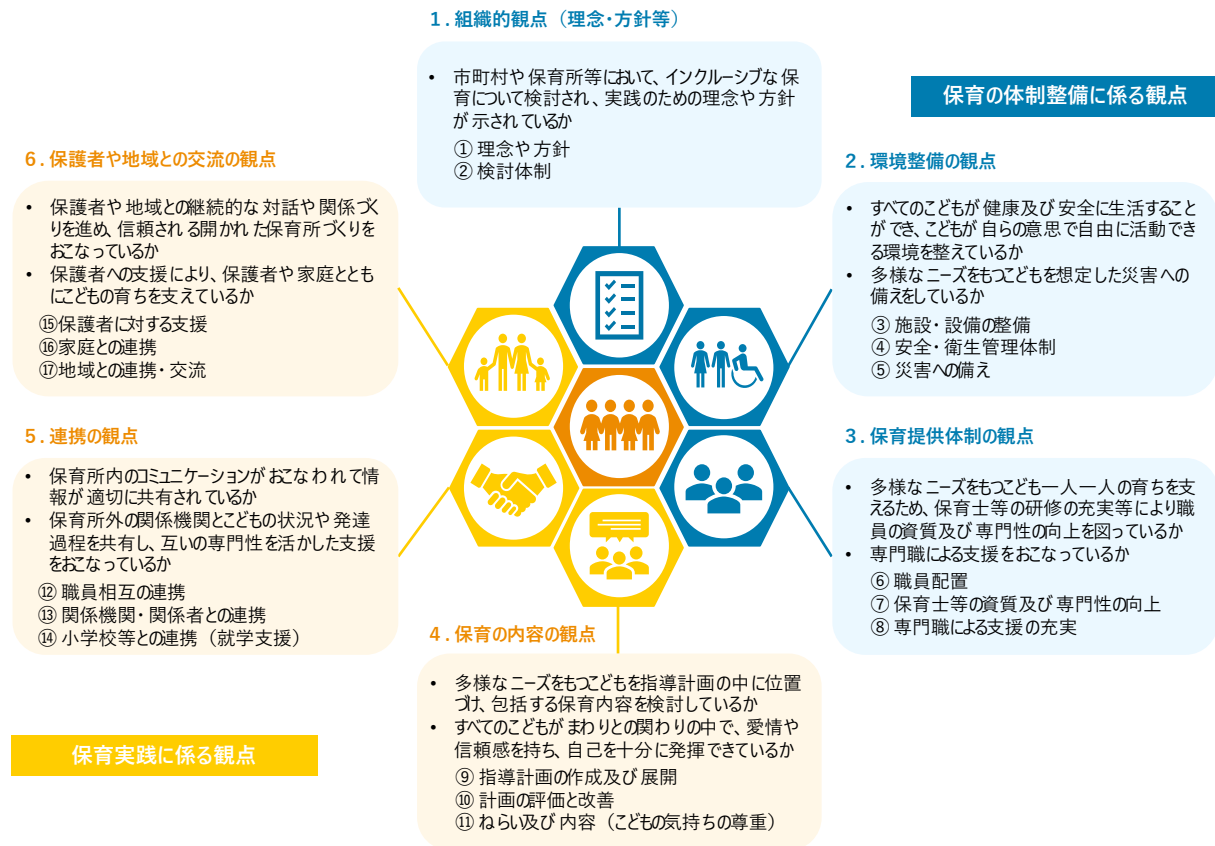
6つの観点には、それぞれ、各観点の実践に重要と考えられる複数の取組で構成することとした。そして、今後、インクルーシブな保育の実践状況を、これらの観点で各保育施設が確認し、各観点における取組みを充実することによって、よりインクルーシブな状態に近づいていけると考えた。

本調査研究のアンケート調査やヒアリング調査では、各観点の実践に重要と考えられる複数の取組を調査項目におくことで、インクルーシブな保育が実践されている状態の現状の把握を行った。また、事例集や本調査研究のまとめ・考察においても、6つの観点をを用いてとりまとめを作成した。

¹⁷ 直島正樹「日本におけるインクルーシブ保育の実現に向けた現状と課題―障害とインクルージョンをめぐる動向を踏まえて―」令和4年3月30日

¹⁸ 厚生労働省ホームページ「障害者の自立と社会参加を目指して」

図表 8 インクルーシブな保育の状態を高めるための6つの観点



第3章 インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査

1. アンケートの概要

(1) 調査目的

保育所等及び自治体におけるインクルーシブな保育への理解とともに主に保育所等と児童発達支援事業所等との併設・交流におけるインクルーシブな保育の実施状況、取組効果等を把握し、取組の課題や連携に必要な調整事項等について整理する。また、調査結果より得られた保育所等での事例から、ヒアリング調査の対象の検討にも活用する。

保育所向け調査においては、インクルーシブな保育の実践が進展していると考えられる保育所等の状況を比較し、今後参考となるインクルーシブな保育の実践に必要な体制や取組、外部からの支援等の検討に活用する。

自治体向け調査においては、自治体での保育所等における障害のあるこどもの受入れに対する支援の状況とインクルーシブな保育の実践状況の実態を把握し、インクルーシブな保育の進展に向けて求められる自治体の支援策等の検討に活用する。

(2) 調査対象

全国の保育所等：22,887 施設

各市区町村：1,741 団体（保育主管課）

(3) 調査時期

保育所等向け調査：令和6年12月20日～令和7年1月24日

市区町村向け調査：令和7年1月8日～令和7年1月24日

(4) 調査手法

こども家庭庁を通じて、全国の保育所等及び各市区町村へアンケート調査の協力依頼をメール配信し、回答は専用 Web フォームを作成し、回答いただいた。

なお、一部の専用 Web フォームを通じての回答が困難である人においては、個別に Excel の回答票を配布し、メールで提出を頂くもしくは、郵送で回答を頂く対応をした。

(5) 回収数及び回答率

	対象数	配布数	回収数	回収率
施設	22,887	22,887	7,727	33.8%
市区町村	1,741	1,741	603	34.6%

(6) アンケート項目

以下にアンケート項目の概要を示す。詳細の調査項目は、Appendix の調査票のとおり。

(ア) 保育所票

(ア)	施設の概要
(イ)	障害児の受入れ状況
(ウ)	「インクルーシブな保育」への認識
(エ)	児童発達支援事業所との交流状況
(オ)	外部支援の導入状況
(カ)	インクルーシブな保育の実践状況
(キ)	インクルーシブな保育を実践することによる効果や課題

(イ) 自治体票

(ア)	自治体の概要
(イ)	障害児の受入れ状況
(ウ)	「インクルーシブな保育」への認識
(エ)	管内保育所等における児童発達支援事業所等との併設状況
(オ)	管内保育所等における外部支援の導入状況
(カ)	インクルーシブな保育の実践に向けて自治体として実施していること

2. 調査結果

単純集計結果（保育所票・自治体票）の概要から本調査研究の回答施設の概観を捉え、クロス集計（保育所票）にてインクルーシブな保育の実践が進展していると考えられる保育所等の状況を把握した。なお、単純集計の保育所票と自治体票及びクロス集計結果のすべての結果は、Appendix に示す。

（1）単純集計結果サマリ

（ア）保育所票の概要

Q1 施設類型

認可保育所が 54.0%（4,175 施設）、認定こども園が 28.5%（2,206 施設）、小規模保育事業者が 13.1%（1,015 施設）であった。

	施設数	割合(%)
認可保育所	4,175	54.0
認定こども園	2,206	28.5
小規模保育事業所	1,015	13.1
事業所内保育事業	167	2.2
その他	165	2.1
全体	7,728	100.0

Q1-4 運営主体

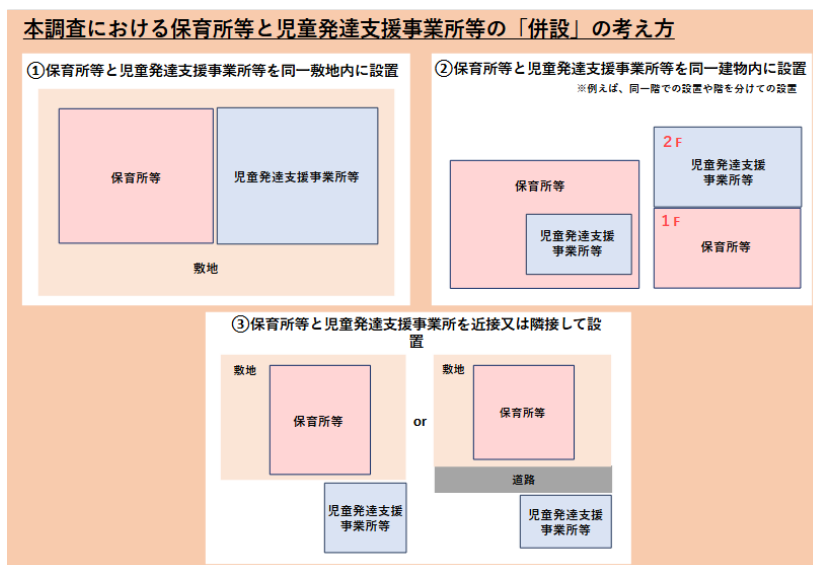
運営主体は、社会福祉法人が 40.8%（3,152 施設）、市区町村が 27.7%（2,140 施設）、株式会社が 13.3%（1,024 施設）、学校法人が 10.3%（799 施設）であった。

	施設数	割合(%)
市区町村	2,140	27.7
社会福祉法人	3,152	40.8
株式会社	1,024	13.3
NPO法人	130	1.7
学校法人	799	10.3
その他	483	6.3
全体	7,728	100.0

Q2 貴施設の形態を回答ください。（併設している場合、図で示す類型からあてはまるものを一つ回答ください）

施設の形態は、保育所等のみが 94.2%（5,266 施設）であり、保育所と児童発達支援事業所を同一敷地内に設置が 0.6%（32 施設）、保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置が 0.9%（50 施設）、保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置が 1.2%（67 施設）であった。

	施設数	割合(%)
保育所等のみ	5,266	94.2
保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置	32	0.6
保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置	50	0.9
保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置	67	1.2
その他	176	3.1
全体	5,591	100.0



Q3 貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

本調査に回答した保育施設において、1 人以上の加配保育士を配置している保育施設は、3,136 施設であった。保育教諭は、1,278 施設、保育補助者は、832 施設、看護師・准看護師は、230 施設、みなし保育士は 125 施設であった。

	施設数（※1）	1人以上の加配 保育士等を配置 している施設数	人数	平均人数 （※2）
保育士	7,723	3,136	7,554	2.41
保育教諭	7,720	1,278	3,662	2.87
保育補助者	7,715	832	1,785	2.15
みなし保育士	7,715	125	207	1.66
看護師・准看護師	7,715	230	286	1.24
保健師	7,715	9	24	2.67
助産師	7,715	0	0	0.00
その他	7,714	79	187	2.37

（※1）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

（※2）1人以上の各加配職員を配置している施設における平均加配人数

Q5 貴施設において令和 3 年度から令和 5 年度で受け入れたことのあるこどもの障害種別について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

令和 3 年度から令和 5 年度で受け入れたことのあるこどもの障害種別については、「気になる子」が 74.7%（5,769 人）と最も多く、次いで「発達障害」が 67.5%（5,214 人）、「知的障害」が 36.3%（2,807 人）であった。

	施設数	割合(%)
視覚障害	218	2.8
聴覚障害	643	8.3
言語障害	751	9.7
肢体不自由	896	11.6
知的障害	2,807	36.3
病弱・虚弱	265	3.4
発達障害	5,214	67.5
医療的ケア児	584	7.6
「気になる子」	5,769	74.7
その他	647	8.4
無回答	1	0.0
全体	7,728	—

Q6 貴施設における令和 6 年度の障害児の受入れ状況について回答ください。

令和 6 年度の障害児の受入れ状況については、「受入れ有」が 71.9%（5,556 人）と全体の約 7 割を占めており、次いで「受入れ無」が 26.0%（2,011 人）となっている。

	施設数	割合(%)
受入れ有	5,556	71.9
受入れ無	2,011	26.0
その他	161	2.1
全体	7,728	100.0

Q8 貴施設に在園する障害のあるお子さんに併行通園しているこどもはいますか。

在園する障害のあるお子さんに併行通園しているこどもについては、「いる」が 64.6% (3,592 人)、「いない」が 33.5% (1,862 人)、「把握していない」が 1.9% (106 人) となっている。

	施設数	割合(%)
いる	3,592	64.6
いない	1,862	33.5
把握していない	106	1.9
全体	5,560	100.0

Q9 併行通園している施設について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併行通園している施設については、「児童発達支援事業所等(併設でない・別法人)」が 64.8% (2,328 人) と最も多く、次いで「地域の療育センター等」が 56.2% (2,021 人)、「児童発達支援事業所等(併設でない・同一法人)」が 6.0% (216 人) となっている。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等(併設・同一法人)	89	2.5
児童発達支援事業所等(併設・別法人)	112	3.1
児童発達支援事業所等(併設でない・同一法人)	216	6.0
児童発達支援事業所等(併設でない・別法人)	2,328	64.8
地域の療育センター等	2,021	56.2
その他	136	3.8
全体	3,593	—

Q11 障害児を含む保育を実践するにあたっての課題について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

障害児を含む保育を実践するにあたっての課題については、「障害児の特性に応じた支援を行うことが困難」が最も多く 55.7%（4,304 施設）、次いで「障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難」が 52.2%（4,032 施設）、「他園児の保護者の理解を得ることが困難」が 16.9%（1,308 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
障害児の特性に応じた支援を行うことが困難	4,304	55.7
障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難	4,032	52.2
他機関との連携体制を構築することが困難	1,185	15.3
他園児の保護者の理解を得ることが困難	1,308	16.9
その他	940	12.2
課題と思うことはない	1,064	13.8
無回答	2	0.0
全体	7,726	—

Q12 前問で回答いただいた障害児を含む保育を実践するにあたっての困難について、その理由と考えられることを回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

障害児を含む保育を実践するにあたっての困難についての理由として、「保育士数が不足している」が最も多く 61.4%（4,093 施設）、次いで「障害のあるこどもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している」が 60.5%（4,031 施設）、「障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための専門性が不足している」が 47.8%（3,182 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
保育士数が不足している	4,093	61.4
障害のあるこどもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している	4,031	60.5
療育支援を行うための専門職による支援が不足している	2,434	36.5
医療的ケアを行う看護師等による支援が不足している	1,133	17.0
障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための専門性が不足している	3,182	47.8
障害特性に応じた施設等の整備が困難もしくは間に合わない	1,681	25.2
障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための設備が不足している	1,891	28.4
障害のあるこどもを含む保育の実践に有効な関係機関との連携が困難	988	14.8
その他	405	6.1
全体	6,662	—

Q14 インクルーシブな保育のための体制整備として、どのようなことが重要であると考えますか。重要であるとする上位3つを選択してください。

インクルーシブな保育のための体制整備として重要であるとするとして、「障害のあるこどものための保育士の加配をすること」が最も多く 53.1% (4,103 施設)、次いで「障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること」が 43.6%(3,368 施設)、「専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること」が 40.9%(3,161 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
多様性を尊重する文化を醸成すること	2,822	36.5
インクルーシブな保育について保護者の理解を得ること	2,265	29.3
障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること	3,368	43.6
保育施設・設備の整備をすること（バリアフリー化等）	1,738	22.5
こどもの特性や状態に応じた安全・衛生管理体制を整備すること	2,753	35.6
こどもの特性や状態に応じた災害への備えをすること	356	4.6
障害のあるこどものための保育士の加配をすること	4,103	53.1
専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること	3,161	40.9
障害のあるこどもを含む保育実践のための研修の充実を図ること	2,031	26.3
その他	151	2.0
全体	7,728	—

Q15 インクルーシブな保育の実践のために、どのようなことが重要であると考えますか。重要であるとする上位3つを選択してください。

インクルーシブな保育の実践のために重要であると考えることとして、「こどもの障害特性について理解を深めること」が最も多く 65.5% (5,065 施設)、次いで「職員間の情報共有や連携をおこなうこと」が 51.6% (3,984 施設)、「すべてのこどもが活動に積極的に参加し自分の意見や希望を表現できる環境を構成すること」が 32.5% (2,512 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
障害のあるこどもとないこどもの交流を促進すること	1,646	21.3
障害のあるこどもも含む包括的な園の指導計画を作成すること	1,401	18.1
障害のあるこどもの個別の指導計画を作成すること	1,077	13.9
保育の内容を継続的に見直し、指導計画、個別の指導計画の改善を図ること	1,346	17.4
こどもの障害特性について理解を深めること	5,065	65.5
すべてのこどもが活動に積極的に参加し自分の意見や希望を表現できる環境を構成すること	2,512	32.5
視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどの多様な手段を用い、こどもたちが理解しやすい方法でコミュニケーションを図ること	1,367	17.7
保護者（障害のあるこどもの保護者だけでなく）との情報共有をおこなうこと	1,419	18.4
職員間の情報共有や連携をおこなうこと	3,984	51.6
障害のあるこどもを含む保育実践に有効な関係機関との連携すること	1,851	24.0
障害のあるこどもの保護者支援をおこなうこと	960	12.4
地域との連携・交流を図ること	205	2.7
その他	123	1.6
全体	7,728	—

Q16 貴施設と併設している児童発達支援事業所等・施設の体制について回答ください。

貴施設と併設している児童発達支援事業所等・施設の体制については、「設備を共用している」が多く 44.0% (37 施設)、次いで「人員を兼務している」が 27.4% (23 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
設備を共用している	37	44.0
人員を兼務している	23	27.4
設備を共用しかつ人員を兼務している	21	25.0
設備の共用・人員の兼務をいずれもしていない	0	-
その他	3	3.6
全体	84	100.0

Q21 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等の職員や業務内容について理解を深める取り組みについて回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併設している児童発達支援事業所等の職員や業務内容について理解を深める取り組みについては、「お互いの業務を見学し、保育及び障害児支援におけるこどもへの関わりについて理解を深めている」が、最も多く 65.3% (98 施設)、次いで「児童発達支援事業所等の研修に参加している」が 42.7% (64 施設)、「児童発達支援事業所等のミーティング等に参加している」が 38.0% (57 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等で活用するガイドライン等について把握している	40	26.7
児童発達支援事業所等の研修に参加している	64	42.7
児童発達支援事業所等のミーティング等に参加している	57	38.0
児童発達支援事業所等のこどもの支援計画の内容を把握している	54	36.0
児童発達支援事業所等のこどもの支援計画の作成について助言している	29	19.3
お互いの業務を見学し、保育および障害児支援におけるこどもへの関わりについて理解を深めている	98	65.3
その他	23	15.3
全体	150	—

Q22 児童発達支援事業等との併設・交流によるインクルーシブな保育を行うために工夫している点を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

※本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。

児童発達支援事業等との併設・交流によるインクルーシブな保育を行うために工夫している点については、「児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わり方の方針について共通理解がある」が多く 51.3% (77 施設)、次いで「障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している」が 44.0% (66 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等の職員と手引きやマニュアルを作成した	10	6.7
児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わり方の方針について共通理解がある	77	51.3
園の指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	14	9.3
在園児の個別指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	18	12.0
保育内容の検討の際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	56	37.3
児童発達支援事業所等の職員と一緒に保育実践をしている	56	37.3
障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	66	44.0
その他	17	11.3
全体	150	—

Q46 保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化について、「障害のあるこどもの成長」が 76.8% (5,934 施設)、「障害のあるこども以外のこどもの成長（思いやりの心を醸成する等）」が 76.6% (5,922 施設) と多く、月に「保育士等の専門性の向上」が 70.7% (5,462 施設) であった。

	施設数	割合(%)
障害のあるこどもの成長	5,934	76.8
障害のあるこども以外のこどもの成長（思いやりの心を醸成する等）	5,922	76.6
保育士等の専門性の向上	5,462	70.7
保護者における多様性に対する理解の向上	3,513	45.5
障害の有無等によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の基盤づくりになる	4,688	60.7
その他	204	2.6
全体	7,728	—

(イ) 自治体票の概要

設問の各選択肢において、回答している自治体数が異なるため、各選択肢の回答自治体数を「自治体数」として示している。

Q3-1 貴自治体内の公立施設の全施設数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。

（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

本調査に回答した自治体における公立施設は、認可保育所が計 2,898 施設、認定こども園が計 663 施設であった。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	603	2,898	4.81
認定こども園（※ 2）	602	663	1.10
家庭的保育事業所	603	7	0.01
小規模保育事業所	603	42	0.07
事業所内保育事業	603	8	0.01

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3-3 貴自治体内の公立施設の障害児受け入れ施設等数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

本調査に回答した自治体における公立施設の障害児受け入れ施設等数は、認可保育所が計 2,795 施設、認定こども園が計 665 施設であった。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	593	2,795	4.71
認定こども園（※ 2）	601	665	1.11
家庭的保育事業所	603	0	0.00
小規模保育事業所	603	14	0.02
事業所内保育事業	603	0	0.00

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3-4 貴自治体内の公立施設で受け入れている障害児の実人数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

本調査に回答した自治体における公立施設で受け入れている障害児の実人数は、認可保育所が計 15,232 人、認定こども園が計 4,447 人であった。

	自治体数（※）	人数	平均人数
認可保育所	579	15,232	26.31
認定こども園（※ 2）	594	4,447	7.49
家庭的保育事業所	603	0	0.00
小規模保育事業所	600	12	0.02
事業所内保育事業	603	0	0.00

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3-5 貴自治体内の私立施設の全施設数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

本調査に回答した自治体における私立施設は、認可保育所が計 9,782 施設、認定こども園が計 4,817 施設、小規模保育事業所が計 3,189 施設であった。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	602	9,782	16.25
認定こども園（※ 2）	599	4,817	8.04
家庭的保育事業所	600	467	0.78
小規模保育事業所	603	3,189	5.29
事業所内保育事業	601	505	0.84

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3-7 貴自治体内の私立施設の障害児受け入れ施設等数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

本調査に回答した自治体における私立施設の障害児受け入れ施設等数は、認可保育所が計 5,499 人、認定こども園が計 2,913 人、小規模保育事業所が計 421 人であった。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	574	5,499	9.58
認定こども園（※ 2）	565	2,913	5.16
家庭的保育事業所	585	52	0.09
小規模保育事業所	567	421	0.74
事業所内保育事業	545	37	0.07

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3-8 貴自治体内の私立施設で受け入れている障害児の実人数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

本調査に回答した自治体における私立施設で受け入れている障害児の実人数は、認可保育所が計 20,190 人、認定こども園が計 13,619 人、小規模保育事業所が計 337 人であった。

	自治体数（※）	人数	平均人数
認可保育所	558	20,190	36.18
認定こども園（※ 2）	539	13,619	25.27
家庭的保育事業所	581	13	0.02
小規模保育事業所	555	337	0.61
事業所内保育事業	541	32	0.06

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q4-1 貴自治体内の公設公営の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。

本調査に回答した自治体における公設公営の児童発達支援事業所は、計 78 施設であり、児童発達支援センターの数は、計 104 施設であった。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
児童発達支援事業所	590	78	0.13
児童発達支援センター	592	104	0.18

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q4-3 貴自治体内の民間の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和 6 年 4 月 1 日

現在) についてご回答ください。

本調査に回答した自治体における民間の児童発達支援事業所は、計 4,811 施設、児童発達支援センターは計 680 施設であった。

	自治体数 (※)	施設数	平均施設数
児童発達支援事業所	547	4,811	8.80
児童発達支援センター	558	680	1.22

(※) 無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

(2) クロス集計結果サマリ

クロス集計では、「インクルーシブな保育が実践されている状態」の現状を把握し、インクルーシブな保育の状態を高めるための観点を見出すために、6つの観点（保育提供体制整備に係る観点（観点1～3）と保育実践に係る観点（観点4～6））の達成度合いを4分位に集計し、Aを6つの観点において上位の施設群、Dを6つの観点において下位の施設群として分類し、その違いを確認した。

なお、クロス集計においては、小規模事業所を除いて集計を実施している。以下のクロス集計結果は、インクルーシブな保育の実践されている状態の把握のしやすさを優先し、一部の設問番号の順番を変更して示している。

6つの観点	4分位
192～240	A：100パーセンタイル
171～191	B：75パーセンタイル
149～170	C：50パーセンタイル
60～148	D：25パーセンタイル

Q1-3 施設類型

Aは、認可保育所が62.5%（1,092施設）、認定こども園が35.6%（622施設）であり、Dは、認可保育所が58.0%（802施設）、認定こども園が27.8%（384施設）であった。

		施設数	認可保育所	認定こども園	事業所内保育事業	その他
全体	数	6,713	4,175	2,206	167	165
	%	100.0	62.2	32.9	2.5	2.5
A	数	1,748	1,092	622	7	27
	%	100.0	62.5	35.6	0.4	1.5
B	数	1,839	1,185	617	16	21
	%	100.0	64.4	33.6	0.9	1.1
C	数	1,744	1,096	583	30	35
	%	100.0	62.8	33.4	1.7	2.0
D	数	1,382	802	384	114	82
	%	100.0	58.0	27.8	8.2	5.9

Q1- 4 運営主体

運営主体における A と D の違いが市町村及び株式会社に見られる。A は、市区町村が 40.8%（713 施設）及び社会福祉法人が 42.1%（736 施設）、株式会社は 5.8%（101 施設）であった。一方 D は、社会福祉法人が 46.9%（648 施設）、市区町村が 16.8%（232 施設）、株式会社が 13.3%（184 施設）であった。

		施設数	市区町村	社会福祉法人	株式会社	NPO法人	学校法人	その他
全体	数	6,713	2,102	2,991	555	54	737	274
	%	100.0	31.3	44.6	8.3	0.8	11.0	4.1
A	数	1,748	713	736	101	15	147	36
	%	100.0	40.8	42.1	5.8	0.9	8.4	2.1
B	数	1,839	658	798	124	10	200	49
	%	100.0	35.8	43.4	6.7	0.5	10.9	2.7
C	数	1,744	499	809	146	13	216	61
	%	100.0	28.6	46.4	8.4	0.7	12.4	3.5
D	数	1,382	232	648	184	16	174	128
	%	100.0	16.8	46.9	13.3	1.2	12.6	9.3

Q2 貴施設の形態を回答ください。

施設の形態において保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置は、A は 1.1%（11 施設）、D は 0.3%（4 施設）であった。保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置は、A は 1.4%（15 施設）、D は 0.4%（5 施設）であった。保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置は、A は 2.1%（22 施設）、D は 0.9%（10 施設）であった。

		施設数	保育所等のみ	保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置	保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置	保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置	その他
全体	数	4,614	4,326	30	40	61	157
	%	100.0	93.8	0.7	0.9	1.3	3.4
A	数	1,036	943	11	15	22	45
	%	100.0	91.0	1.1	1.4	2.1	4.3
B	数	1,181	1,096	7	14	18	46
	%	100.0	92.8	0.6	1.2	1.5	3.9
C	数	1,247	1,191	8	6	11	31
	%	100.0	95.5	0.6	0.5	0.9	2.5
D	数	1,150	1,096	4	5	10	35
	%	100.0	95.3	0.3	0.4	0.9	3.0

Q5 貴施設において令和３年度から令和５年度で受け入れたことのあるこどもの障害種別について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

A は、発達障害の割合が最も多く 82.1% (1,435 人)、次に気になる子が 77.1% (1,347 人)、知的障害が 52.0% (909 人)、肢体不自由が 18.5% (324 人)、言語障害が 15.4% (269 人)、医療的ケア児が 14.0% (245 人) であった。一方、D は気になる子が 71.1% (982 人) で最も割合が高く、次に発達障害が 54.2% (749 人)、知的障害が 23.7% (327 人) で、施設で受け入れている障害種別について、A と D に違いが見られた。

		施設数	視覚障害	聴覚障害	言語障害	肢体不自由	知的障害	病弱・虚弱	発達障害	医療的ケア児	「気になる子」	その他	無回答
全体	数	6,713	206	606	738	855	2,716	251	4,918	549	5,082	461	1
	%	100.0	3.1	9.0	11.0	12.7	40.5	3.7	73.3	8.2	75.7	6.9	0.0
A	数	1,748	75	210	269	324	909	97	1,435	245	1,347	115	0
	%	100.0	4.3	12.0	15.4	18.5	52.0	5.5	82.1	14.0	77.1	6.6	-
B	数	1,839	67	172	212	260	835	84	1,485	153	1,393	108	0
	%	100.0	3.6	9.4	11.5	14.1	45.4	4.6	80.8	8.3	75.7	5.9	-
C	数	1,744	43	140	170	179	645	48	1,249	107	1,360	93	0
	%	100.0	2.5	8.0	9.7	10.3	37.0	2.8	71.6	6.1	78.0	5.3	-
D	数	1,382	21	84	87	92	327	22	749	44	982	145	1
	%	100.0	1.5	6.1	6.3	6.7	23.7	1.6	54.2	3.2	71.1	10.5	0.1

「インクルーシブな保育が実践されている状態」の6つの観点の設問 Q40S1～Q45S8

（観点1）組織的観点（理念・方針等）事項

保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「多様性を受入れこどもの主体性を尊重する文化を醸成することにより、理念や方針について保育士一人ひとりの理解や共感を得ている」が61.7%（1,079施設）である。一方同取組においてDは、「実践ができている」が4.3%（59施設）、「実践できていない」が17.3%（239施設）である。

次にAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは「園においてインクルーシブな保育について検討する体制がある」が60.8%（1,063施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が2.2%（31施設）、「実践できていない」が30.8%（426施設）である。

続いてAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは「園においてインクルーシブな保育実践のための理念や方針を示している」が56.0%（979施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が3.5%（48施設）、「実践できていない」が39.6%（547施設）である。

なお、Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が低いのは、「インクルーシブな保育について理解を深める取組等により、理念や方針について保護者や関係者の理解や共感を得ている」の40.6%（709施設）であり、同項目において、Dは「実践ができている」が0.6%（8施設）、「あまり実践できていない」が51.1%（706施設）、「実践できていない」が34.3%（475施設）であった。

Q40S1 園においてインクルーシブな保育実践のための理念や方針を示している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	1,071	1,961	2,039	1,641
	%	100.0	16.0	29.2	30.4	24.4
A	数	1,748	86	213	470	979
	%	100.0	4.9	12.2	26.9	56.0
B	数	1,838	181	472	741	444
	%	100.0	9.8	25.7	40.3	24.2
C	数	1,744	257	695	622	170
	%	100.0	14.7	39.9	35.7	9.7
D	数	1,382	547	581	206	48
	%	100.0	39.6	42.0	14.9	3.5

Q40S2 園においてインクルーシブな保育について検討する体制がある

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	675	1,750	2,577	1,709
	%	100.0	10.1	26.1	38.4	25.5
A	数	1,748	18	123	544	1,063
	%	100.0	1.0	7.0	31.1	60.8
B	数	1,838	71	366	937	464
	%	100.0	3.9	19.9	51.0	25.2
C	数	1,744	160	621	812	151
	%	100.0	9.2	35.6	46.6	8.7
D	数	1,381	426	640	284	31
	%	100.0	30.8	46.3	20.6	2.2

Q40S3 多様性を受入れこどもの主体性を尊重する文化を醸成することにより、理念や方針について保育士一人ひとりの理解や共感を得ている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	362	1,530	2,933	1,887
	%	100.0	5.4	22.8	43.7	28.1
A	数	1,748	13	90	566	1,079
	%	100.0	0.7	5.1	32.4	61.7
B	数	1,839	26	287	1,000	526
	%	100.0	1.4	15.6	54.4	28.6
C	数	1,743	84	513	923	223
	%	100.0	4.8	29.4	53.0	12.8
D	数	1,382	239	640	444	59
	%	100.0	17.3	46.3	32.1	4.3

Q40S4 インクルーシブな保育について理解を深める取組等により、理念や方針について保護者や関係者の理解や共感を得ている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	795	2,435	2,457	1,026
	%	100.0	11.8	36.3	36.6	15.3
A	数	1,748	27	261	751	709
	%	100.0	1.5	14.9	43.0	40.6
B	数	1,839	90	615	900	234
	%	100.0	4.9	33.4	48.9	12.7
C	数	1,744	203	853	613	75
	%	100.0	11.6	48.9	35.1	4.3
D	数	1,382	475	706	193	8
	%	100.0	34.4	51.1	14.0	0.6

Q40S5 専門家や関係機関と連携し、インクルーシブな保育の在り方について検討する体制がある

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	1,105	2,020	2,340	1,248
	%	100.0	16.5	30.1	34.9	18.6
A	数	1,748	40	177	655	876
	%	100.0	2.3	10.1	37.5	50.1
B	数	1,839	163	522	870	284
	%	100.0	8.9	28.4	47.3	15.4
C	数	1,744	300	764	606	74
	%	100.0	17.2	43.8	34.7	4.2
D	数	1,382	602	557	209	14
	%	100.0	43.6	40.3	15.1	1.0

Q40S6 こどもや保護者の意見を受け入れて、インクルーシブな保育の方針を検討する体制がある

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	1,118	2,200	2,205	1,190
	%	100.0	16.7	32.8	32.8	17.7
A	数	1,748	44	219	646	839
	%	100.0	2.5	12.5	37.0	48.0
B	数	1,839	165	595	812	267
	%	100.0	9.0	32.4	44.2	14.5
C	数	1,744	308	786	576	74
	%	100.0	17.7	45.1	33.0	4.2
D	数	1,382	601	600	171	10
	%	100.0	43.5	43.4	12.4	0.7

（観点2）環境整備の観点

すべての子ども達にとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「障害のあることもないことも健康及び安全に生活し、自らの意思で自由に活動できる環境を整えている」が79.1%（1,382施設）である。一方同取組においてDは、「実践ができている」が10.3%（143施設）、「実践できていない」が15.4%（213施設）である。

次にAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは「障害のあることもないことも想定した災害への備えをしている」が73.7%（1,288施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が11.5%（159施設）、「実践できていない」が26.0%（359施設）である。

続いてAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは「専門家や関係機関等の専門的な知見を踏まえて、障害のあることもないことも一緒に過ごす園の環境を検討している」が70.4%（1,231施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が1.6%（22施設）、「実践できていない」が35.9%（496施設）である。

なお、Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が低いのは、「個別避難計画の策定や医療的ケア児のための電源確保を行う等、障害のあることもないこどもの災害への備えをおこなっている」の38.4%（671施設）であり、同項目において、Dは「実践ができている」が1.5%（21施設）、「あまり実践できていない」が27.6%（382施設）、「実践できていない」が65.2%（901施設）であった。

Q41S1 障害のあることもないことも健康及び安全に生活し、自らの意思で自由に活動できる環境を整えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	301	833	2,655	2,924
	%	100.0	4.5	12.4	39.6	43.6
A	数	1,748	15	26	325	1,382
	%	100.0	0.9	1.5	18.6	79.1
B	数	1,839	24	73	805	937
	%	100.0	1.3	4.0	43.8	51.0
C	数	1,744	49	249	984	462
	%	100.0	2.8	14.3	56.4	26.5
D	数	1,382	213	485	541	143
	%	100.0	15.4	35.1	39.1	10.3

Q41S2 障害のあるこどももないこどもも想定した災害への備えをしている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	489	1,544	1,947	2,733
	%	100.0	7.3	23.0	29.0	40.7
A	数	1,748	8	107	345	1,288
	%	100.0	0.5	6.1	19.7	73.7
B	数	1,839	40	313	669	817
	%	100.0	2.2	17.0	36.4	44.4
C	数	1,744	82	555	638	469
	%	100.0	4.7	31.8	36.6	26.9
D	数	1,382	359	569	295	159
	%	100.0	26.0	41.2	21.3	11.5

Q41S3 専門家や関係機関等の専門的な知見を踏まえて、障害のあるこどもとないこどもが一緒に過ごす園の環境を検討している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	815	1,528	2,350	2,020
	%	100.0	12.1	22.8	35.0	30.1
A	数	1,748	23	69	425	1,231
	%	100.0	1.3	3.9	24.3	70.4
B	数	1,839	104	292	875	568
	%	100.0	5.7	15.9	47.6	30.9
C	数	1,744	192	566	787	199
	%	100.0	11.0	32.5	45.1	11.4
D	数	1,382	496	601	263	22
	%	100.0	35.9	43.5	19.0	1.6

Q41S4 保育所等の施設整備（バリアフリー等）により、障害のあるこどもとないこどもが一緒に過ごす環境を整えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	1,407	1,969	1,720	1,615
	%	100.0	21.0	29.3	25.6	24.1
A	数	1,748	96	303	488	861
	%	100.0	5.5	17.3	27.9	49.3
B	数	1,837	249	550	595	443
	%	100.0	13.6	29.9	32.4	24.1
C	数	1,744	403	658	448	235
	%	100.0	23.1	37.7	25.7	13.5
D	数	1,382	659	458	189	76
	%	100.0	47.7	33.1	13.7	5.5

Q41S5 こどもの特性に応じた遊具や機器を導入し、障害のある子どもとない子どもが一緒に遊ぶ工夫をしている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	938	1,775	2,359	1,639
	%	100.0	14.0	26.4	35.2	24.4
A	数	1,748	30	180	522	1,016
	%	100.0	1.7	10.3	29.9	58.1
B	数	1,837	107	440	858	432
	%	100.0	5.8	24.0	46.7	23.5
C	数	1,744	234	625	725	160
	%	100.0	13.4	35.8	41.6	9.2
D	数	1,382	567	530	254	31
	%	100.0	41.0	38.4	18.4	2.2

Q41S6 こどもの特性に応じた移動の支援（福祉車両の活用、遠足等へ看護師が同行等）を行い、障害のある子どもとない子どもが安全で自由に移動できる体制を整えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	2,335	1,545	1,459	1,372
	%	100.0	34.8	23.0	21.7	20.4
A	数	1,748	244	272	410	822
	%	100.0	14.0	15.6	23.5	47.0
B	数	1,837	491	418	532	396
	%	100.0	26.7	22.8	29.0	21.6
C	数	1,744	699	528	385	132
	%	100.0	40.1	30.3	22.1	7.6
D	数	1,382	901	327	132	22
	%	100.0	65.2	23.7	9.6	1.6

Q41S7 明るさ・温度・湿度・音等に配慮することにより、障害のある子どもとない子どもが安全・安心に過ごす環境を整えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	672	1,401	2,330	2,308
	%	100.0	10.0	20.9	34.7	34.4
A	数	1,748	12	93	460	1,183
	%	100.0	0.7	5.3	26.3	67.7
B	数	1,837	67	279	788	703
	%	100.0	3.6	15.2	42.9	38.3
C	数	1,744	164	506	763	311
	%	100.0	9.4	29.0	43.8	17.8
D	数	1,382	429	523	319	111
	%	100.0	31.0	37.8	23.1	8.0

Q41S8 関係機関と連携を図り、平常時からの障害のあるこどもとないこどもの危機管理体制を整えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	865	1,886	2,150	1,810
	%	100.0	12.9	28.1	32.0	27.0
A	数	1,748	10	140	492	1,106
	%	100.0	0.6	8.0	28.1	63.3
B	数	1,837	85	424	831	497
	%	100.0	4.6	23.1	45.2	27.1
C	数	1,744	206	725	642	171
	%	100.0	11.8	41.6	36.8	9.8
D	数	1,382	564	597	185	36
	%	100.0	40.8	43.2	13.4	2.6

Q41S9 個別避難計画の策定や医療的ケア児のための電源確保を行う等、障害のあるこどもとないこどもの災害への備えをおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	2,401	2,126	1,182	1,002
	%	100.0	35.8	31.7	17.6	14.9
A	数	1,748	245	425	407	671
	%	100.0	14.0	24.3	23.3	38.4
B	数	1,837	543	642	436	216
	%	100.0	29.6	34.9	23.7	11.8
C	数	1,744	712	677	261	94
	%	100.0	40.8	38.8	15.0	5.4
D	数	1,382	901	382	78	21
	%	100.0	65.2	27.6	5.6	1.5

（観点3）保育提供体制の観点

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子ども達に対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「保育士等の加配により、こども一人一人の発達過程や障害の状態を適切に把握している」が69.9%（1,221施設）である。一方同取組においてDは、「実践ができている」が8.3%（115施設）、「実践できていない」が33.1%（458施設）である。

次にAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「障害のあるこどもとないこどもの育ちを支えるための研修の充実等により職員の資質及び専門性の向上を図っている」が64.4%（1,126施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が3.5%（48施設）、「実践できていない」が16.4%（227施設）である。

続いてAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは「研修、実習等によりインクルーシブな保育についての理念や実践方法についての保育士等の知識・技能の向上を図っている」が55.6%（972施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が1.4%（20施設）、「実践できていない」が24.2%（335施設）である。

なお、Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が低いのは、「保育士等の喀痰吸引等研修の受講を推奨し、医療的ケアに関する専門性の向上を図っている」の8.0%（140施設）であり、同項目において、Dは「実践できている」が0.1%（2施設）、「あまり実践できていない」が9.0%（125施設）、「実践できていない」が89.7%（1,239施設）であった。

Q42S1 障害のあるこどもとないこどもの育ちを支えるための研修の充実等により職員の資質及び専門性の向上を図っている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	289	1,175	3,276	1,973
	%	100.0	4.3	17.5	48.8	29.4
A	数	1,748	7	44	571	1,126
	%	100.0	0.4	2.5	32.7	64.4
B	数	1,839	21	154	1,105	559
	%	100.0	1.1	8.4	60.1	30.4
C	数	1,744	34	410	1,060	240
	%	100.0	1.9	23.5	60.8	13.8
D	数	1,382	227	567	540	48
	%	100.0	16.4	41.0	39.1	3.5

Q42S2 専門職（作業療法士、公認心理師等）による支援が充実している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	3,149	1,537	1,418	609
	%	100.0	46.9	22.9	21.1	9.1
A	数	1,748	367	368	599	414
	%	100.0	21.0	21.1	34.3	23.7
B	数	1,839	740	504	451	144
	%	100.0	40.2	27.4	24.5	7.8
C	数	1,744	993	448	264	39
	%	100.0	56.9	25.7	15.1	2.2
D	数	1,382	1,049	217	104	12
	%	100.0	75.9	15.7	7.5	0.9

Q42S3 保育士等の加配により、こども一人一人の発達過程や障害の状態を適切に把握している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	782	981	2,372	2,578
	%	100.0	11.6	14.6	35.3	38.4
A	数	1,748	33	71	423	1,221
	%	100.0	1.9	4.1	24.2	69.9
B	数	1,839	90	170	749	830
	%	100.0	4.9	9.2	40.7	45.1
C	数	1,744	201	343	788	412
	%	100.0	11.5	19.7	45.2	23.6
D	数	1,382	458	397	412	115
	%	100.0	33.1	28.7	29.8	8.3

Q42S4 研修、実習等によりインクルーシブな保育についての理念や実践方法についての保育士等の知識・技能の向上を図っている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	468	1,654	3,155	1,436
	%	100.0	7.0	24.6	47.0	21.4
A	数	1,748	10	85	681	972
	%	100.0	0.6	4.9	39.0	55.6
B	数	1,839	26	315	1,153	345
	%	100.0	1.4	17.1	62.7	18.8
C	数	1,744	97	583	965	99
	%	100.0	5.6	33.4	55.3	5.7
D	数	1,382	335	671	356	20
	%	100.0	24.2	48.6	25.8	1.4

Q42S5 インクルーシブ保育の優良事例と考える園を視察する等、他園から保育の工夫を学び、実践している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	2,789	2,213	1,298	413
	%	100.0	41.5	33.0	19.3	6.2
A	数	1,748	286	559	566	337
	%	100.0	16.4	32.0	32.4	19.3
B	数	1,839	634	703	451	51
	%	100.0	34.5	38.2	24.5	2.8
C	数	1,744	877	625	220	22
	%	100.0	50.3	35.8	12.6	1.3
D	数	1,382	992	326	61	3
	%	100.0	71.8	23.6	4.4	0.2

Q42S6 児童発達支援事業所等の専門機関の研修を受講する等、保育士等の専門性の向上を図っている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	1,010	1,585	2,832	1,286
	%	100.0	15.0	23.6	42.2	19.2
A	数	1,748	44	176	713	815
	%	100.0	2.5	10.1	40.8	46.6
B	数	1,839	157	394	963	325
	%	100.0	8.5	21.4	52.4	17.7
C	数	1,744	295	537	796	116
	%	100.0	16.9	30.8	45.6	6.7
D	数	1,382	514	478	360	30
	%	100.0	37.2	34.6	26.0	2.2

Q42S7 知識・技能・経験等のある保育士等が園内や他園にそれらを共有し、他の保育士等の知識・技能の向上を図っている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	1,173	2,036	2,553	951
	%	100.0	17.5	30.3	38.0	14.2
A	数	1,748	76	236	750	686
	%	100.0	4.3	13.5	42.9	39.2
B	数	1,839	179	529	936	195
	%	100.0	9.7	28.8	50.9	10.6
C	数	1,744	322	722	642	58
	%	100.0	18.5	41.4	36.8	3.3
D	数	1,382	596	549	225	12
	%	100.0	43.1	39.7	16.3	0.9

Q42S8 保育士等の喀痰吸引等研修の受講を推奨し、医療的ケアに関する専門性の向上を図っている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	5,076	1,027	423	187
	%	100.0	75.6	15.3	6.3	2.8
A	数	1,748	1,022	389	197	140
	%	100.0	58.5	22.3	11.3	8.0
B	数	1,839	1,391	276	142	30
	%	100.0	75.6	15.0	7.7	1.6
C	数	1,744	1,424	237	68	15
	%	100.0	81.7	13.6	3.9	0.9
D	数	1,382	1,239	125	16	2
	%	100.0	89.7	9.0	1.2	0.1

Q42S9 看護師等の配置や巡回支援により、こどもの健康状態に応じた医療的ケアの提供がこなわれている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	4,253	778	702	979
	%	100.0	63.4	11.6	10.5	14.6
A	数	1,748	763	205	233	547
	%	100.0	43.6	11.7	13.3	31.3
B	数	1,839	1,143	210	221	265
	%	100.0	62.2	11.4	12.0	14.4
C	数	1,744	1,235	204	174	131
	%	100.0	70.8	11.7	10.0	7.5
D	数	1,381	1,112	159	74	36
	%	100.0	80.5	11.5	5.4	2.6

Q42S10 専門職の配置や巡回支援により、こどもの障害特性、発達状況に応じた専門的な支援がこなわれている（例：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等）

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	2,989	1,111	1,713	900
	%	100.0	44.5	16.5	25.5	13.4
A	数	1,748	367	205	563	613
	%	100.0	21.0	11.7	32.2	35.1
B	数	1,839	755	308	574	202
	%	100.0	41.1	16.7	31.2	11.0
C	数	1,744	909	359	405	71
	%	100.0	52.1	20.6	23.2	4.1
D	数	1,382	958	239	171	14
	%	100.0	69.3	17.3	12.4	1.0

Q42S11 心理職の配置や巡回支援により、こどもの様子や状況に応じた専門的な支援がおこなわれている（例：公認心理師、臨床心理士等）

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	3,100	1,092	1,564	956
	%	100.0	46.2	16.3	23.3	14.2
A	数	1,747	457	232	480	578
	%	100.0	26.2	13.3	27.5	33.1
B	数	1,839	743	317	533	246
	%	100.0	40.4	17.2	29.0	13.4
C	数	1,744	943	322	381	98
	%	100.0	54.1	18.5	21.8	5.6
D	数	1,382	957	221	170	34
	%	100.0	69.2	16.0	12.3	2.5

（観点4）保育の内容の観点

こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こども達が人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「障害のあるこどもとないこどもが一緒に行事（発表会・遠足・運動会等）に参加している」が98.2%（1,717施設）である。一方同取組においてDは、「実践ができている」が56.3%（778施設）、「実践できていない」が17.1%（236施設）である。

次にAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは「保育士等がこどもの心を受け止め、障害のあるこどもとないこどもが安心して伸び伸びと意見や感情を表現できる環境となっている」が95.6%（1,671施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が26.4%（364施設）、「実践できていない」が10.6%（147施設）である。

続いてAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは「障害のあるこどもとないこどもが十分に主体性を発揮できるよう保育士等が多様な方法で援助をおこなっている」が94.2%（1,646施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が17.2%（237施設）、「実践できていない」が15.6%（216施設）である。

なお、Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が低いのは、「外部の専門機関・専門職を交えたカンファレンス等により、保育内容の評価をおこなっている」の33.3%（582施設）であり、同項目において、Dは「実践できている」が1.2%（17施設）、「あまり実践できていない」が21.2%（292施設）、「実践できていない」が70.5%（973施設）であった。

Q43S1[障害のある子どもとない子どもを指導計画の中に位置づけ、包括する保育内容を検討している]

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	734	1,484	2,269	2,225
	%	100.0	10.9	22.1	33.8	33.1
A	数	1,748	22	91	368	1,267
	%	100.0	1.3	5.2	21.1	72.5
B	数	1,839	52	270	852	665
	%	100.0	2.8	14.7	46.3	36.2
C	数	1,744	147	562	797	238
	%	100.0	8.4	32.2	45.7	13.6
D	数	1,381	513	561	252	55
	%	100.0	37.1	40.6	18.2	4.0

Q43S2 障害のある子どもとない子どもがまわりとの関わりの中で、愛情や信頼感を持ち、自己を十分に発揮できている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	267	459	2,316	3,669
	%	100.0	4.0	6.8	34.5	54.7
A	数	1,748	4	2	154	1,588
	%	100.0	0.2	0.1	8.8	90.8
B	数	1,839	7	17	602	1,213
	%	100.0	0.4	0.9	32.7	66.0
C	数	1,744	25	110	937	672
	%	100.0	1.4	6.3	53.7	38.5
D	数	1,380	231	330	623	196
	%	100.0	16.7	23.9	45.1	14.2

Q43S3 障害のある子どもとない子どもが生活を通して共に成長するインクルーシブな状態を想定し、園の指導計画の作成をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	629	1,534	2,320	2,229
	%	100.0	9.4	22.9	34.6	33.2
A	数	1,748	13	68	325	1,342
	%	100.0	0.7	3.9	18.6	76.8
B	数	1,839	45	236	918	640
	%	100.0	2.4	12.8	49.9	34.8
C	数	1,744	104	600	830	210
	%	100.0	6.0	34.4	47.6	12.0
D	数	1,381	467	630	247	37
	%	100.0	33.8	45.6	17.9	2.7

Q43S4 保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて園の指導計画の作成をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	1,799	2,089	1,790	1,034
	%	100.0	26.8	31.1	26.7	15.4
A	数	1,748	119	284	550	795
	%	100.0	6.8	16.2	31.5	45.5
B	数	1,839	338	613	700	188
	%	100.0	18.4	33.3	38.1	10.2
C	数	1,744	521	731	449	43
	%	100.0	29.9	41.9	25.7	2.5
D	数	1,381	821	461	91	8
	%	100.0	59.4	33.4	6.6	0.6

Q43S5 保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて個別の指導計画の作成をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	1,681	1,665	1,944	1,421
	%	100.0	25.0	24.8	29.0	21.2
A	数	1,748	91	204	537	916
	%	100.0	5.2	11.7	30.7	52.4
B	数	1,839	299	446	749	345
	%	100.0	16.3	24.3	40.7	18.8
C	数	1,744	493	606	522	123
	%	100.0	28.3	34.7	29.9	7.1
D	数	1,380	798	409	136	37
	%	100.0	57.8	29.6	9.9	2.7

Q43S6 児童発達支援事業所等の専門機関の支援内容について理解を深め、専門機関の支援内容を指導計画に反映させている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	1,525	1,900	2,187	1,099
	%	100.0	22.7	28.3	32.6	16.4
A	数	1,748	81	229	630	808
	%	100.0	4.6	13.1	36.0	46.2
B	数	1,839	249	514	857	219
	%	100.0	13.5	27.9	46.6	11.9
C	数	1,744	432	690	568	54
	%	100.0	24.8	39.6	32.6	3.1
D	数	1,380	763	467	132	18
	%	100.0	55.3	33.8	9.6	1.3

Q43S7 外部の専門機関・専門職を交えたカンファレンス等により、保育内容の評価をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	2,702	1,646	1,534	829
	%	100.0	40.3	24.5	22.9	12.4
A	数	1,748	274	344	548	582
	%	100.0	15.7	19.7	31.4	33.3
B	数	1,839	637	492	543	167
	%	100.0	34.6	26.8	29.5	9.1
C	数	1,744	818	518	345	63
	%	100.0	46.9	29.7	19.8	3.6
D	数	1,380	973	292	98	17
	%	100.0	70.5	21.2	7.1	1.2

Q43S8 こどもの日々の様子を観察・記録し、障害のあるこどもとないこどもの日常の様子を踏まえて計画の改善をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	371	846	2,574	2,920
	%	100.0	5.5	12.6	38.4	43.5
A	数	1,748	2	16	313	1,417
	%	100.0	0.1	0.9	17.9	81.1
B	数	1,839	16	100	798	925
	%	100.0	0.9	5.4	43.4	50.3
C	数	1,744	40	270	983	451
	%	100.0	2.3	15.5	56.4	25.9
D	数	1,380	313	460	480	127
	%	100.0	22.7	33.3	34.8	9.2

Q43S9 保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて計画の見直しをおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	1,598	1,921	2,113	1,079
	%	100.0	23.8	28.6	31.5	16.1
A	数	1,748	95	254	597	802
	%	100.0	5.4	14.5	34.2	45.9
B	数	1,839	305	520	796	218
	%	100.0	16.6	28.3	43.3	11.9
C	数	1,744	437	683	569	55
	%	100.0	25.1	39.2	32.6	3.2
D	数	1,380	761	464	151	4
	%	100.0	55.1	33.6	10.9	0.3

Q43S10 第三者評価を受審し、保育の見直しをおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	3,715	887	719	1,391
	%	100.0	55.3	13.2	10.7	20.7
A	数	1,748	666	218	196	668
	%	100.0	38.1	12.5	11.2	38.2
B	数	1,839	957	248	224	410
	%	100.0	52.0	13.5	12.2	22.3
C	数	1,744	1,085	249	197	213
	%	100.0	62.2	14.3	11.3	12.2
D	数	1,381	1,007	172	102	100
	%	100.0	72.9	12.5	7.4	7.2

Q43S11 障害のある子どもとない子どもが共に活動しながら、それぞれの能力・資質を伸ばし、興味関心を広げられる保育内容となっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	307	729	2,839	2,836
	%	100.0	4.6	10.9	42.3	42.3
A	数	1,748	2	9	281	1,456
	%	100.0	0.1	0.5	16.1	83.3
B	数	1,839	5	47	892	895
	%	100.0	0.3	2.6	48.5	48.7
C	数	1,744	19	207	1,128	390
	%	100.0	1.1	11.9	64.7	22.4
D	数	1,380	281	466	538	95
	%	100.0	20.4	33.8	39.0	6.9

Q43S12 障害のある子どもとない子どもが自分の意思やペースに合わせて自己決定、自己選択できる保育内容となっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	287	709	2,794	2,921
	%	100.0	4.3	10.6	41.6	43.5
A	数	1,748	0	4	289	1,455
	%	100.0	-	0.2	16.5	83.2
B	数	1,839	4	61	850	924
	%	100.0	0.2	3.3	46.2	50.2
C	数	1,744	14	225	1,078	427
	%	100.0	0.8	12.9	61.8	24.5
D	数	1,380	269	419	577	115
	%	100.0	19.5	30.4	41.8	8.3

Q43S13 合理的配慮のもと、障害のある子どもとない子どもと一緒に成長する体験をできるように、柔軟で多様な活動を取り入れたものとなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	281	732	2,709	2,989
	%	100.0	4.2	10.9	40.4	44.5
A	数	1,748	1	4	247	1,496
	%	100.0	0.1	0.2	14.1	85.6
B	数	1,839	2	39	812	986
	%	100.0	0.1	2.1	44.2	53.6
C	数	1,744	13	218	1,096	417
	%	100.0	0.7	12.5	62.8	23.9
D	数	1,380	265	471	554	90
	%	100.0	19.2	34.1	40.1	6.5

Q43S14 障害のある子どもとない子どもと一緒に行事（発表会・遠足・運動会等）に参加している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	261	148	628	5,675
	%	100.0	3.9	2.2	9.4	84.6
A	数	1,748	2	2	27	1,717
	%	100.0	0.1	0.1	1.5	98.2
B	数	1,839	1	7	112	1,719
	%	100.0	0.1	0.4	6.1	93.5
C	数	1,744	22	29	232	1,461
	%	100.0	1.3	1.7	13.3	83.8
D	数	1,381	236	110	257	778
	%	100.0	17.1	8.0	18.6	56.3

Q43S15 障害のある子どもとない子どもが十分に主体性を発揮できるよう保育士等が多様な方法で援助をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	221	343	2,099	4,049
	%	100.0	3.3	5.1	31.3	60.3
A	数	1,748	0	4	98	1,646
	%	100.0	-	0.2	5.6	94.2
B	数	1,839	0	13	457	1,369
	%	100.0	-	0.7	24.9	74.4
C	数	1,744	5	62	880	797
	%	100.0	0.3	3.6	50.5	45.7
D	数	1,381	216	264	664	237
	%	100.0	15.6	19.1	48.1	17.2

Q43S16 集団の状況を把握し、こどもの関係や役割・立場を調整する等、障害のあるこどもとないこどもにとって集団としての活動が充実感の得られるものとなるよう工夫している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	216	489	2,458	3,549
	%	100.0	3.2	7.3	36.6	52.9
A	数	1,748	0	2	145	1,601
	%	100.0	-	0.1	8.3	91.6
B	数	1,839	0	20	652	1,167
	%	100.0	-	1.1	35.5	63.5
C	数	1,744	4	102	1,027	611
	%	100.0	0.2	5.8	58.9	35.0
D	数	1,381	212	365	634	170
	%	100.0	15.4	26.4	45.9	12.3

Q43S17 言葉だけでなく、視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどを多様なコミュニケーション手段を用いて、障害のあるこどもとないこどもが理解しやすい方法で応答的にコミュニケーションが行われている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	299	612	2,409	3,392
	%	100.0	4.5	9.1	35.9	50.5
A	数	1,748	9	19	252	1,468
	%	100.0	0.5	1.1	14.4	84.0
B	数	1,839	10	64	630	1,135
	%	100.0	0.5	3.5	34.3	61.7
C	数	1,744	32	197	909	606
	%	100.0	1.8	11.3	52.1	34.7
D	数	1,381	248	332	618	183
	%	100.0	18.0	24.0	44.8	13.3

Q43S18 保育士等がこどもの心を受け止め、障害のあるこどもとないこどもが安心して伸び伸びと意見や感情を表現できる環境となっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	152	259	1,899	4,402
	%	100.0	2.3	3.9	28.3	65.6
A	数	1,748	0	0	77	1,671
	%	100.0	-	-	4.4	95.6
B	数	1,839	0	1	413	1,425
	%	100.0	-	0.1	22.5	77.5
C	数	1,744	5	45	752	942
	%	100.0	0.3	2.6	43.1	54.0
D	数	1,381	147	213	657	364
	%	100.0	10.6	15.4	47.6	26.4

（観点5）連携の観点

保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか

Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「保護者や家庭と連携し、保育所等におけるこどもの様子や家庭におけるこどもの生活状況を伝え合うことができている」が93.8%（1,640施設）である。一方同取組においてDは、「実践ができている」が44.4%（613施設）、「実践できていない」が2.0%（27施設）である。

次にAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「市町村・保護者・関係機関等と連携してこどもの発達について協議の上、環境面の配慮や援助の工夫等を明確化して、保育要録等で就学先に伝えている」が91.1%（1,593施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が36.8%（508施設）、「実践できていない」が15.5%（214施設）である。

続いてAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「保育所内のコミュニケーションがおこなわれて情報が適切に共有されているか」が90.6%（1,584施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が39.2%（542施設）、「実践できていない」が2.3%（32施設）である。

なお、Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が低いのは、「医療、福祉、保育、教育などの専門機関との連携を強化し、こどもの発達や健康に関する情報を共有しながら、包括的な支援をおこなっている」の66.9%（1,169施設）であり、同項目において、Dは「実践ができている」が7.5%（103施設）、「あまり実践できていない」が43.3%（600施設）、「実践できていない」が15.3%（211施設）であった。

Q44S1 保育所内のコミュニケーションがおこなわれて情報が適切に共有されているか

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	42	203	2,053	4,415
	%	100.0	0.6	3.0	30.6	65.8
A	数	1,748	1	1	162	1,584
	%	100.0	0.1	0.1	9.3	90.6
B	数	1,839	3	13	493	1,330
	%	100.0	0.2	0.7	26.8	72.3
C	数	1,744	6	39	740	959
	%	100.0	0.3	2.2	42.4	55.0
D	数	1,382	32	150	658	542
	%	100.0	2.3	10.9	47.6	39.2

Q44S2 保育所外の関係機関とこどもの状況や発達過程を共有し、互いの専門性を活かした支援をおこなっているか

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	291	1,090	3,242	2,090
	%	100.0	4.3	16.2	48.3	31.1
A	数	1,748	6	45	530	1,167
	%	100.0	0.3	2.6	30.3	66.8
B	数	1,839	28	196	1,069	546
	%	100.0	1.5	10.7	58.1	29.7
C	数	1,744	64	338	1,081	261
	%	100.0	3.7	19.4	62.0	15.0
D	数	1,382	193	511	562	116
	%	100.0	14.0	37.0	40.7	8.4

Q44S3 全職員の円滑なコミュニケーションを促進し、適切・迅速な情報共有がおこなわれている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	34	316	2,374	3,989
	%	100.0	0.5	4.7	35.4	59.4
A	数	1,748	0	4	249	1,495
	%	100.0	-	0.2	14.2	85.5
B	数	1,839	0	24	591	1,224
	%	100.0	-	1.3	32.1	66.6
C	数	1,744	4	69	863	808
	%	100.0	0.2	4.0	49.5	46.3
D	数	1,382	30	219	671	462
	%	100.0	2.2	15.8	48.6	33.4

Q44S4 定期的にミーティングの機会を設ける等により、職員間の保育の工夫を共有することによる学び合いの基盤をつくっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	56	443	2,284	3,930
	%	100.0	0.8	6.6	34.0	58.5
A	数	1,748	0	11	224	1,513
	%	100.0	-	0.6	12.8	86.6
B	数	1,839	0	53	587	1,199
	%	100.0	-	2.9	31.9	65.2
C	数	1,744	5	112	842	785
	%	100.0	0.3	6.4	48.3	45.0
D	数	1,382	51	267	631	433
	%	100.0	3.7	19.3	45.7	31.3

Q44S5 保護者や家庭と連携し、保育所等におけるこどもの様子や家庭におけるこどもの生活状況を伝え合うことができている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	27	179	1,823	4,684
	%	100.0	0.4	2.7	27.2	69.8
A	数	1,748	0	0	108	1,640
	%	100.0	-	-	6.2	93.8
B	数	1,839	0	12	435	1,392
	%	100.0	-	0.7	23.7	75.7
C	数	1,744	0	27	678	1,039
	%	100.0	-	1.5	38.9	59.6
D	数	1,382	27	140	602	613
	%	100.0	2.0	10.1	43.6	44.4

Q44S6 医療、福祉、保育、教育などの専門機関との連携を強化し、こどもの発達や健康に関する情報を共有しながら、包括的な支援をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	309	1,423	3,002	1,979
	%	100.0	4.6	21.2	44.7	29.5
A	数	1,748	7	60	512	1,169
	%	100.0	0.4	3.4	29.3	66.9
B	数	1,839	26	265	1,050	498
	%	100.0	1.4	14.4	57.1	27.1
C	数	1,744	65	498	972	209
	%	100.0	3.7	28.6	55.7	12.0
D	数	1,382	211	600	468	103
	%	100.0	15.3	43.4	33.9	7.5

Q44S7 市町村・保護者・関係機関等と連携してこどもの発達について協議の上、環境面の配慮や援助の工夫等を明確化して、保育要録等で就学先に伝えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	314	520	1,409	4,470
	%	100.0	4.7	7.7	21.0	66.6
A	数	1,748	16	18	121	1,593
	%	100.0	0.9	1.0	6.9	91.1
B	数	1,839	30	66	370	1,373
	%	100.0	1.6	3.6	20.1	74.7
C	数	1,744	54	146	548	996
	%	100.0	3.1	8.4	31.4	57.1
D	数	1,382	214	290	370	508
	%	100.0	15.5	21.0	26.8	36.8

Q44S8 市町村・保護者・関係機関等と連携して、小学校等と話し合いや視察の機会をもつ等、障害のあるこどもの就学後まで見通した支援をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	489	701	1,927	3,596
	%	100.0	7.3	10.4	28.7	53.6
A	数	1,748	26	40	196	1,486
	%	100.0	1.5	2.3	11.2	85.0
B	数	1,839	53	113	533	1,140
	%	100.0	2.9	6.1	29.0	62.0
C	数	1,744	86	215	755	688
	%	100.0	4.9	12.3	43.3	39.4
D	数	1,382	324	333	443	282
	%	100.0	23.4	24.1	32.1	20.4

（観点6）連携の観点

保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所を作るために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか

Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「保護者と面談の機会を持つ等により、保護者の抱えてきた悩みや不安などを理解し支える取組をおこなっている」が94.0%（1,643施設）である。一方同取組においてDは、「実践ができている」が42.6%（588施設）、「実践できていない」が2.5%（34施設）である。

次にAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「保護者への支援により、保護者や家庭と共にこどもの育ちを支えている」が93.5%（1,634施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が37.5%（518施設）、「実践できていない」が1.6%（22施設）である。

続いてAにおいて「実践ができている」の回答の割合が高いのは、「保護者・家庭との継続的な対話により、家庭環境や育児の状況を共有し、家庭と連携・協力しながらこどものニーズに応じた支援を一貫して提供している」が84.5%（1,477施設）である。一方同項目においてDは、「実践ができている」が20.2%（279施設）、「実践できていない」が4.4%（61施設）である。

なお、Aにおいて「実践ができている」の回答の割合が低いのは、「地域の小中学生や高齢者との交流の機会を設ける等により、地域の様々な人や場と連携・交流し、園の取組を知っていただいている」と「専門職（障害児支援や心理職等）を交えた保護者支援の実施により、こどもの発達状況、家庭の状況等への専門的な知見を交えた支援をおこなっている」であり共に60.8%（1,063施設）であった。前者の同項目において、Dは「実践ができている」が12.4%（171施設）、「あまり実践できていない」が30.0%（414施設）、「実践できていない」が24.0%（331施設）であった。後者の同項目において、Dは「実践ができている」が5.5%（76施設）、「あまり実践できていない」が36.0%（497施設）、「実践できていない」が33.0%（456施設）であった。

Q45S1 保護者や地域との継続的な対話や関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所づくりをおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	144	811	2,725	3,032
	%	100.0	2.1	12.1	40.6	45.2
A	数	1,748	1	31	312	1,404
	%	100.0	0.1	1.8	17.8	80.3
B	数	1,839	13	116	803	907
	%	100.0	0.7	6.3	43.7	49.3
C	数	1,744	29	269	961	485
	%	100.0	1.7	15.4	55.1	27.8
D	数	1,381	101	395	649	236
	%	100.0	7.3	28.6	47.0	17.1

Q45S2 保護者への支援により、保護者や家庭と共にこどもの育ちを支えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	26	222	2,093	4,371
	%	100.0	0.4	3.3	31.2	65.1
A	数	1,748	0	5	109	1,634
	%	100.0	-	0.3	6.2	93.5
B	数	1,839	1	15	483	1,340
	%	100.0	0.1	0.8	26.3	72.9
C	数	1,744	3	40	822	879
	%	100.0	0.2	2.3	47.1	50.4
D	数	1,381	22	162	679	518
	%	100.0	1.6	11.7	49.2	37.5

Q45S3 保護者と面談の機会を持つ等により、保護者の抱えてきた悩みや不安などを理解し支える取組をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	40	193	1,701	4,778
	%	100.0	0.6	2.9	25.3	71.2
A	数	1,748	0	3	102	1,643
	%	100.0	-	0.2	5.8	94.0
B	数	1,839	0	14	373	1,452
	%	100.0	-	0.8	20.3	79.0
C	数	1,744	6	34	609	1,095
	%	100.0	0.3	1.9	34.9	62.8
D	数	1,381	34	142	617	588
	%	100.0	2.5	10.3	44.7	42.6

Q45S4 専門職（障害児支援や心理職等）を交えた保護者支援の実施により、こどもの発達状況、家庭の状況等への専門的な知見を交えた支援をおこなっている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	958	1,487	2,445	1,822
	%	100.0	14.3	22.2	36.4	27.1
A	数	1,748	58	141	486	1,063
	%	100.0	3.3	8.1	27.8	60.8
B	数	1,839	178	347	832	482
	%	100.0	9.7	18.9	45.2	26.2
C	数	1,744	266	502	775	201
	%	100.0	15.3	28.8	44.4	11.5
D	数	1,381	456	497	352	76
	%	100.0	33.0	36.0	25.5	5.5

Q45S5 保護者・家庭との継続的な対話により、家庭環境や育児の状況を共有し、家庭と連携・協力しながらこどものニーズに応じた支援を一貫して提供している

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	68	528	2,842	3,274
	%	100.0	1.0	7.9	42.3	48.8
A	数	1,748	0	5	266	1,477
	%	100.0	-	0.3	15.2	84.5
B	数	1,839	1	40	812	986
	%	100.0	0.1	2.2	44.2	53.6
C	数	1,744	6	142	1,064	532
	%	100.0	0.3	8.1	61.0	30.5
D	数	1,381	61	341	700	279
	%	100.0	4.4	24.7	50.7	20.2

Q45S6 園と保護者・家庭においてオープンな対話を促進することにより、意見や感情を自由に表現できる環境を整えている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	86	711	2,780	3,135
	%	100.0	1.3	10.6	41.4	46.7
A	数	1,748	1	18	313	1,416
	%	100.0	0.1	1.0	17.9	81.0
B	数	1,839	5	92	855	887
	%	100.0	0.3	5.0	46.5	48.2
C	数	1,744	8	215	987	534
	%	100.0	0.5	12.3	56.6	30.6
D	数	1,381	72	386	625	298
	%	100.0	5.2	28.0	45.3	21.6

Q45S7 地域の小中学生や高齢者との交流の機会を設ける等により、地域の様々な人や場と連携・交流し、園の取組を知っていただいている

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	618	1,378	2,542	2,174
	%	100.0	9.2	20.5	37.9	32.4
A	数	1,748	21	167	497	1,063
	%	100.0	1.2	9.6	28.4	60.8
B	数	1,839	99	314	811	615
	%	100.0	5.4	17.1	44.1	33.4
C	数	1,744	167	483	769	325
	%	100.0	9.6	27.7	44.1	18.6
D	数	1,381	331	414	465	171
	%	100.0	24.0	30.0	33.7	12.4

Q45S8 地域の関係機関と連携する等により、障害のあるこども等が、卒園後も引き続き適切な支援を受けられるように取り組んでいる

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	802	1,512	1,991	2,407
	%	100.0	11.9	22.5	29.7	35.9
A	数	1,748	31	157	350	1,210
	%	100.0	1.8	9.0	20.0	69.2
B	数	1,839	107	330	668	734
	%	100.0	5.8	17.9	36.3	39.9
C	数	1,744	202	544	647	351
	%	100.0	11.6	31.2	37.1	20.1
D	数	1,381	462	481	326	112
	%	100.0	33.5	34.8	23.6	8.1

Q14 インクルーシブな保育のための体制整備として、どのようなことが重要であると考えますか。重要であると考える上位3つを選択してください。

AとD共に最も多い割合だったのは、「障害のあるこどものための保育士加配をすること」であった。Aが51.3%（896施設）で、Dが55.8%（771施設）だった。次に割合が多いのは、Aは「障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること」が48.5%（848施設）だった。Dの同項目は37.3%（516施設）であった。次に割が多いのは、Dは「専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること」で、47.2%（652施設）であった。Aの同項目は36.4%（636施設）であった。

		施設数	多様性を尊重する文化を醸成すること	インクルーシブな保育について保護者の理解を得ること	障害のある子どもとない子どもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること	保育施設・設備の整備をすること（バリアフリー化等）	こどもの特性や状態に応じた安全・衛生管理体制を整備すること	こどもの特性や状態に応じた災害への備えをすること	障害のある子どものための保育士の加配をすること	専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること	障害のある子どもの充実を含む保育実践のための研修の充実を図ること	その他
全体	数 %	6,713 100.0	2,520 37.5	1,997 29.7	2,989 44.5	1,412 21.0	2,326 34.6	287 4.3	3,558 53.0	2,732 40.7	1,797 26.8	136 2.0
A	数 %	1,748 100.0	702 40.2	534 30.5	848 48.5	315 18.0	589 33.7	74 4.2	896 51.3	636 36.4	524 30.0	40 2.3
B	数 %	1,839 100.0	727 39.5	521 28.3	848 46.1	360 19.6	633 34.4	90 4.9	981 53.3	715 38.9	509 27.7	35 1.9
C	数 %	1,744 100.0	641 36.8	493 28.3	777 44.6	381 21.8	637 36.5	77 4.4	910 52.2	729 41.8	458 26.3	36 2.1
D	数 %	1,382 100.0	450 32.6	449 32.5	516 37.3	356 25.8	467 33.8	46 3.3	771 55.8	652 47.2	306 22.1	25 1.8

Q15 インクルーシブな保育の実践のために、どのようなことが重要であると考えますか。重要であるとする上位3つを選択してください。

AとD共に最も多い割合であったのは、「こどもの障害特性について理解を深めること」であった。Aが62.7%（1,096施設）、Dが66.8%（923施設）であった。次に多いのはAとD共に「職員間の情報共有や連携をおこなうこと」であった。Aが52.7%（921施設）、Dが50.5%（698施設）であった。続いて次に多いのは、AとD共に「すべてのこどもが活動に積極的に参加し自分の意見や希望を表現できる環境を構成すること」であった。Aが36.8%（644施設）、Dが26.7%（369施設）であった。

インクルーシブな保育の実践のために、重要であるとするにおいては、Aの施設群及びDの施設群共に同様の傾向が見られた。

	施設数	交流の促進すること ないこどもの	障害のあるこども を含む包括的な	障害のあるこども の個別の指導計	障害のあるこども の継続的な指導計	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を	こどもの障害特性 について理解を
全体	数 %	6,713 100.0	1,450 21.6	1,191 17.7	927 13.8	1,173 17.5	4,394 65.5	2,255 33.6	1,188 17.7	1,169 17.4	3,482 51.9	1,599 23.8	836 12.5	172 2.6
A	数 %	1,748 100.0	363 20.8	302 17.3	279 16.0	297 17.0	1,096 62.7	644 36.8	310 17.7	266 15.2	921 52.7	392 22.4	252 14.4	40 2.3
B	数 %	1,839 100.0	397 21.6	284 15.4	231 12.6	337 18.3	1,202 65.4	633 34.4	339 18.4	309 16.8	990 53.8	440 23.9	237 12.9	45 2.4
C	数 %	1,744 100.0	350 20.1	335 19.2	227 13.0	310 17.8	1,173 67.3	609 34.9	318 18.2	304 17.4	873 50.1	417 23.9	201 11.5	45 2.6
D	数 %	1,382 100.0	340 24.6	270 19.5	190 13.7	229 16.6	923 66.8	369 26.7	221 16.0	290 21.0	698 50.5	350 25.3	146 10.6	42 3.0

Q46 保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

A は「障害のあるこどもの成長」が 89.3% (1,561 施設)、同項目の D は 63.6% (879 施設)、続いて「障害のあるこども以外のこどもの成長(思いやりの心を醸成する等)」が 88.4% (1,546 施設)、同項目の D は 62.8% (868 施設) の割合が高く、A においては、「保育士等の専門性の向上」も 82.4% (1,440 施設)、同項目の D は 56.5% (781 施設) であった。

A と D は同様の項目に対して変化を実感しているが、その割合が A は D 比べて相対的に高い傾向にある。

		施設数	障害のあるこどもの成長	障害のあるこども以外のこどもの成長 (思いやりの心を醸成する等)	保育士等の専門性の向上	保護者における多様性に対する理解の向上	障害の有無等によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の基盤づくりになる	その他
全体	数	6,713	5,335	5,316	4,772	3,097	4,153	139
	%	100.0	79.5	79.2	71.1	46.1	61.9	2.1
A	数	1,748	1,561	1,546	1,440	1,039	1,329	17
	%	100.0	89.3	88.4	82.4	59.4	76.0	1.0
B	数	1,839	1,538	1,530	1,372	857	1,209	23
	%	100.0	83.6	83.2	74.6	46.6	65.7	1.3
C	数	1,744	1,357	1,372	1,179	728	981	20
	%	100.0	77.8	78.7	67.6	41.7	56.3	1.1
D	数	1,382	879	868	781	473	634	79
	%	100.0	63.6	62.8	56.5	34.2	45.9	5.7

Q11 障害児を含む保育を実践するにあたっての課題について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

施設が課題として認識している事項において、Dは、「障害児の特性に応じた支援を行うことが困難」が67.8%（935施設）、同項目のAは41.8%（731施設）であった。また、Dにおいて次に割合が多いのは、「障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難」が62.0%（855施設）、同項目のAは、40.2%（702施設）であった。

AとDそれぞれにおいて、同じ項目の割合が高かったが、割合の程度に差が見られた。

		施設数	障害児の特性 に応じた支援 を行うことが 困難	障害児を含め た一体的な保 育を提供する ことが困難	他機関との連 携体制を構築 することが困 難	他園児の保護 者の理解を得 ることが困難	その他	課題と思うこ とはない	無回答
全体	数	6,711	3,713	3,515	1,029	1,194	798	923	2
	%	100.0	55.3	52.4	15.3	17.8	11.9	13.8	0.0
A	数	1,748	731	702	194	275	258	434	1
	%	100.0	41.8	40.2	11.1	15.7	14.8	24.8	0.1
B	数	1,839	971	934	266	332	241	243	0
	%	100.0	52.8	50.8	14.5	18.1	13.1	13.2	-
C	数	1,744	1,076	1,024	306	306	173	151	1
	%	100.0	61.7	58.7	17.5	17.5	9.9	8.7	0.1
D	数	1,380	935	855	263	281	126	95	0
	%	100.0	67.8	62.0	19.1	20.4	9.1	6.9	-

Q12 前問で回答いただいた障害児を含む保育を実践するにあたっての困難について、その理由と考えられることを回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

障害児を含む保育を実践するにあたっての困難について、AとD共に同じ理由を挙げている。「障害のあるこどもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している」で、Aは50.8%（668施設）、Dは70.6%（907施設）、「保育士数が不足している」で、Aは56.5%（742施設）、Dは69.3%（890施設）であった。

		施設数	保育士数が不 足している	障害のあるこ どもの保育を 行うための保 育士等の専門 性が不足して いる	療育支援を行 うための専門 職による支援 が不足してい る	医療的ケアを 行う看護師等 による支援が 不足している	障害のあるこ どもとないこ どもを一体的 に保育するた めの専門性が 不足している	障害特性に応 じた施設等の 整備が困難も しくは間に合 わない	障害のあるこ どもとないこ どもを一体的 に保育するた めの設備が不 足している	障害のあるこ どもを含む保 育の実践に有 効な関係機関 との連携が困 難	その他
全体	数	5,788	3,569	3,472	2,071	848	2,750	1,335	1,525	839	356
	%	100.0	61.7	60.0	35.8	14.7	47.5	23.1	26.3	14.5	6.2
A	数	1,314	742	668	381	146	504	246	280	138	149
	%	100.0	56.5	50.8	29.0	11.1	38.4	18.7	21.3	10.5	11.3
B	数	1,596	938	899	526	189	709	327	371	211	103
	%	100.0	58.8	56.3	33.0	11.8	44.4	20.5	23.2	13.2	6.5
C	数	1,593	999	998	633	231	801	373	432	243	71
	%	100.0	62.7	62.6	39.7	14.5	50.3	23.4	27.1	15.3	4.5
D	数	1,285	890	907	531	282	736	389	442	247	33
	%	100.0	69.3	70.6	41.3	21.9	57.3	30.3	34.4	19.2	2.6

Q4_1 貴施設において連携している機関を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

施設が連携している機関について、A が連携している割合が高いのは、「小学校・特別支援学校」が 72.4%（1,265 施設）、次に「地域の療育センター等」が 61.6%（1,076 施設）、「保健所・保健センター」が 57.2%（999 施設）、児童相談所が 49.9%（872 施設）、児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）が 47.1%（823 施設）、「医療機関」が 46.2%（807 施設）であった。

D も同種の機関と連携しているが、A と比較して D は総じて機関と連携している割合が低い。最も連携している割合が高いのは、「小学校・特別支援学校」が 41.7%（576 施設）、続いて「地域の養育センター」が 37.3%（515 施設）、「保健所・保健センター」が 34.8%（480 施設）であった。

		施設数	児童発達支援事業所等（併設・同一法人）	児童発達支援事業所等（併設・別法人）	児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）	児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）	地域の療育センター等	発達障害者支援センター・基幹相談支援センター	医療機関	医療的ケア児支援センター	保健所・保健センター	小学校・特別支援学校	幼稚園	他の保育所等	こども家庭センター	放課後児童クラブ	放課後等デイサービス事業所	児童相談所	児童養護施設	教育委員会	市区町村（障害福祉関係部局）	市区町村（母子保健関係部局）	市区町村（災害対応関係部局）	その他	
	全体	数 %	6,711 100.0	181 2.7	150 2.2	462 6.9	2,685 40.0	3,528 52.6	1,262 18.8	2,498 37.2	179 2.7	3,210 47.8	4,050 60.3	712 10.6	2,113 31.5	1,376 20.5	782 11.7	638 9.5	2,637 39.3	209 3.1	2,320 34.6	1,947 29.0	2,547 38.0	775 11.5	288 4.3
A	数 %	1,747 100.0	65 3.7	37 2.1	174 10.0	423 47.1	1,076 61.6	489 24.6	807 46.2	93 5.3	999 57.2	1,265 72.4	241 13.8	658 37.7	487 27.9	270 15.5	250 14.3	872 49.9	85 4.9	791 45.3	664 38.0	772 44.2	281 16.1	73 4.2	
B	数 %	1,839 100.0	51 2.8	41 2.2	147 8.0	803 43.7	1,040 56.6	361 19.6	750 40.8	38 2.1	940 51.1	1,211 65.9	184 10.0	600 32.6	402 21.9	239 13.0	192 10.4	766 41.7	52 2.8	729 39.6	593 32.2	756 41.1	245 13.3	76 4.1	
C	数 %	1,744 100.0	37 2.1	45 2.6	98 5.6	669 38.4	897 51.4	313 17.9	578 33.1	31 1.8	791 45.4	998 57.2	172 9.9	505 29.0	304 17.4	185 10.6	124 7.1	639 36.6	51 2.9	528 30.3	451 25.9	663 38.0	167 9.6	55 3.2	
D	数 %	1,381 100.0	28 2.0	27 2.0	43 3.1	390 28.2	515 37.3	159 11.5	363 26.3	17 1.2	480 34.8	576 41.7	115 8.3	350 25.3	183 13.3	88 6.4	72 5.2	360 26.1	21 1.5	272 19.7	239 17.3	356 25.8	82 5.9	84 6.1	

Q4_2S1 児童発達支援事業所等（併設・同一法人）貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

児童発達支援事業所等（併設・同一法人）の施設が連携している機関における内容について、A は連携している機関との連携内容として、「こどもの特性・状態の共有」が 87.9%（58 施設）、「保護者支援」が 83.3%（55 施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が 75.8%（50 施設）と割合が高く、続いて「保育内容へのアドバイス」が 66.7%（44 施設）、「就学支援」が 63.6%（42 施設）、「個別指導計画の共有と個別指導計画へのアドバイス」が 43.9%（29 施設）であった。

D も同種の内容を連携している機関と内容を連携しているが、「保育内容へのアドバイス」が 67.9%（19 施設）、「こどもの特性・状態の共有と保護者支援」が 57.1%（16 施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」は 32.1%（9 施設）であった。また、D は「就学支援」が 28.6%（8 施設）、「個別指導計画の共有」、「園の指導計画の共有及び個別指導計画へのアドバイス」が 21.4%（6 施設）であった。

A と比較して D は総じて連携している機関と連携している内容の実施割合が低い。

	施設数	ス保育内容へのアドバイス	パ園の指導計画へのアド	バ個別指導計画へのアド	園の指導計画の共有	個別指導計画の共有	共こどもの特性・状態の共有	アこどもの理解のためのアセスメント	ル施設退所など、必要な支援	保護者支援	就学支援	災害対応	その他
全体	数 182 %	120 65.9	36 19.8	62 34.1	41 22.5	61 33.5	145 79.7	110 60.4	30 16.5	125 68.7	91 50.0	32 17.6	6 3.3
A	数 66 %	44 66.7	19 28.8	29 43.9	21 31.8	29 43.9	58 87.9	50 75.8	14 21.2	55 83.3	42 63.6	16 24.2	2 3.0
B	数 51 %	38 74.5	11 21.6	19 37.3	9 17.6	17 33.3	44 86.3	30 58.8	9 17.6	37 72.5	28 54.9	10 19.6	1 2.0
C	数 37 %	19 51.4	2 5.4	8 21.6	5 13.5	9 24.3	27 73.0	21 56.8	2 5.4	17 45.9	13 35.1	2 5.4	2 5.4
D	数 28 %	19 67.9	4 14.3	6 21.4	6 21.4	6 21.4	16 57.1	9 32.1	5 17.9	16 57.1	8 28.6	4 14.3	1 3.6

Q4_2S3 児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）の施設が連携している機関における内容において A と D の違いが見られた。A は連携している機関との連携内容として、「こどもの特性・状態の共有」が 90.2%（156 施設）、「保護者支援」が 76.3%（132 施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が 67.1%（116 施設）と割合が高く、続いて「保育内容へのアドバイス」が 60.1%（104 施設）、「就学支援」が 48.0%（83 施設）、「個別指導計画の共有」が 43.9%（76 施設）であった。

D も同種の内容を連携している機関と内容を連携している。「こどもの特性・状態の共有」は 83.7%（36 施設）と割合が高い。続いて「保育内容へのアドバイス」が 65.1%（28 施設）、「保護者支援」が 62.8%（27 施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が 60.5%（26 施設）であった。「就学支援」は 23.3%（10 施設）、「個別指導計画の共有」は 9.3%（4 施設）であった。

A と比較して D は総じて連携している機関と連携している内容の実施割合が低い。

	施設数	ス 保 育 内 容 へ の ア ド バ イ	バ イ の 指 導 計 画 へ の ア ド	バ イ 別 指 導 計 画 へ の ア ド	個 別 指 導 計 画 の 共 有	個 別 指 導 計 画 の 共 有	共 こ ど も の 特 性 ・ 状 態 の	ア セ ス メ ン ト 理 解 の た め の	ル に 設 対 退 す る 必 ど 、 要 な 支 援 ブ	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 461 % 100.0	274 59.4	35 7.6	137 29.7	46 10.0	145 31.5	404 87.6	279 60.5	25 5.4	329 71.4	205 44.5	13 2.8	10 2.2
A	数 173 % 100.0	104 60.1	23 13.3	62 35.8	28 16.2	76 43.9	156 90.2	116 67.1	15 8.7	132 76.3	83 48.0	10 5.8	5 2.9
B	数 147 % 100.0	83 56.5	8 5.4	47 32.0	12 8.2	39 26.5	129 87.8	80 54.4	8 5.4	108 73.5	75 51.0	2 1.4	3 2.0
C	数 98 % 100.0	59 60.2	4 4.1	21 21.4	5 5.1	26 26.5	83 84.7	57 58.2	2 2.0	62 63.3	37 37.8	1 1.0	1 1.0
D	数 43 % 100.0	28 65.1	0 -	7 16.3	1 2.3	4 9.3	36 83.7	26 60.5	0 -	27 62.8	10 23.3	0 -	1 2.3

Q4_2S4 児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）の施設が連携している機関における内容について、A は連携している機関との連携内容として、「こどもの特性・状態の共有」が 92.7%（764 施設）、「保護者支援」が 69.5%（573 施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が 62.1%（512 施設）と割合が高かった。

D も同種の内容を連携している機関と内容を連携している。「こどもの特性・状態の共有」は 90.5%（353 施設）と割合が高い。続いて「保護者支援」は 50.5%（197 施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が 43.1%（168 施設）であった。

A と比較して D は総じて連携している機関と連携している内容の実施割合が低い。

	施設数	ス 保 育 内 容 へ の ア ド バ イ	バ イ の 指 導 計 画 へ の ア ド	バ イ 別 指 導 計 画 へ の ア ド	園 の 指 導 計 画 の 共 有	個 別 指 導 計 画 の 共 有	共 こ ど も の 特 性 ・ 状 態 の 共 有	ア セ ス メ ン ト の 理 解 の た め の ア セ ス メ ン ト	ル 施 に 設 対 退 所 な ど 、 要 な ト ラ ブ	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 2,686 % 100.0	1,253 46.6	123 4.6	557 20.7	199 7.4	808 30.1	2,476 92.2	1,446 53.8	112 4.2	1,684 62.7	1,032 38.4	28 1.0	31 1.2
A	数 824 % 100.0	416 50.5	49 5.9	207 25.1	83 10.1	288 35.0	764 92.7	512 62.1	45 5.5	573 69.5	371 45.0	11 1.3	9 1.1
B	数 803 % 100.0	375 46.7	33 4.1	169 21.0	61 7.6	237 29.5	748 93.2	419 52.2	39 4.9	496 61.8	327 40.7	11 1.4	10 1.2
C	数 669 % 100.0	298 44.5	27 4.0	124 18.5	30 4.5	188 28.1	611 91.3	347 51.9	17 2.5	418 62.5	238 35.6	3 0.4	9 1.3
D	数 390 % 100.0	164 42.1	14 3.6	57 14.6	25 6.4	95 24.4	353 90.5	168 43.1	11 2.8	197 50.5	96 24.6	3 0.8	3 0.8

Q4_2S5 [地域の療育センター等]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

Aにおいて連携している割合が2番目に高い地域の養育センター等と連携している内容は、「こどもの特性・状態の共有」においては、Aは93.2%（1,004施設）、Dは83.9%（431施設）といずれも高い。

Aにおいては次いで、「保護者支援」が68.7%（740施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が60.4%（651施設）、「保育内容へのアドバイス」が51.4%（554施設）であった。

Dにおいては次いで、「保護者支援」が46.7%（240施設）、「保育内容へのアドバイス」が41.1%（211施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が38.1%（196施設）であった。

		施設数	ス 保 育 内 容 へ の ア ド バ イ	バ イ の 指 導 計 画 へ の ア ド	バ イ 別 指 導 計 画 へ の ア ド	園 の 指 導 計 画 の 共 有	個 別 指 導 計 画 の 共 有	共 こ ど も の 特 性 ・ 状 態 の	ア セ ス メ ン ト 理 解 の た め の	ル 施 設 に 対 退 所 な ど 、 要 な 支 援 プ	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数	3,528	1,663	174	753	182	786	3,191	1,842	157	2,137	1,267	42	38
	%	100.0	47.1	4.9	21.3	5.2	22.3	90.4	52.2	4.5	60.6	35.9	1.2	1.1
A	数	1,077	554	90	294	89	322	1,004	651	65	740	479	21	9
	%	100.0	51.4	8.4	27.3	8.3	29.9	93.2	60.4	6.0	68.7	44.5	1.9	0.8
B	数	1,040	487	43	230	42	229	960	534	41	634	374	9	12
	%	100.0	46.8	4.1	22.1	4.0	22.0	92.3	51.3	3.9	61.0	36.0	0.9	1.2
C	数	897	411	26	153	35	157	796	461	31	523	288	11	9
	%	100.0	45.8	2.9	17.1	3.9	17.5	88.7	51.4	3.5	58.3	32.1	1.2	1.0
D	数	514	211	15	76	16	78	431	196	20	240	126	1	8
	%	100.0	41.1	2.9	14.8	3.1	15.2	83.9	38.1	3.9	46.7	24.5	0.2	1.6

Q4_2S9 [保健所・保健センター]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

Aにおいて連携している割合が3番目に高い保健所・保健センターと連携している内容は、Aは「こどもの特性・状態の共有」が88.1%（879施設）、「保護者支援」が79.1%（789施設）と高い割合であった。Dは「こどもの特性・状態の共有」が81.0%（389施設）、「保護者支援」が65.4%（314施設）と、Aと比較しDの割合は低い。

		施設数	ス 保 育 内 容 へ の ア ド バ イ	バ イ の 指 導 計 画 へ の ア ド	バ イ 別 指 導 計 画 へ の ア ド	園 の 指 導 計 画 の 共 有	個 別 指 導 計 画 の 共 有	共 こ ど も の 特 性 ・ 状 態 の 共 有	ア セ さ る こ ど も の 理 解 の た め の メ ン ト	ル 施 設 に 対 し て の 必 要 な 支 援 プ ラ ン	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数	3,209	587	78	211	67	224	2,770	1,256	238	2,374	690	71	130
	%	100.0	18.3	2.4	6.6	2.1	7.0	86.3	39.1	7.4	74.0	21.5	2.2	4.1
A	数	998	191	35	82	32	95	879	479	82	789	256	31	36
	%	100.0	19.1	3.5	8.2	3.2	9.5	88.1	48.0	8.2	79.1	25.7	3.1	3.6
B	数	940	172	19	59	17	62	815	358	73	690	187	16	36
	%	100.0	18.3	2.0	6.3	1.8	6.6	86.7	38.1	7.8	73.4	19.9	1.7	3.8
C	数	791	135	14	41	9	46	687	282	54	581	161	15	33
	%	100.0	17.1	1.8	5.2	1.1	5.8	86.9	35.7	6.8	73.5	20.4	1.9	4.2
D	数	480	89	10	29	9	21	389	137	29	314	86	9	25
	%	100.0	18.5	2.1	6.0	1.9	4.4	81.0	28.5	6.0	65.4	17.9	1.9	5.2

Q4_2S10 [小学校、特別支援学校]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

Aにおいて連携している割合が最も高い小学校・特別支援学校と連携している内容は、「こどもの特性・状態の共有」が88.9%（1,124施設）、「就学支援」が79.6%（1,007施設）、「保護者支援」が56.9%（720施設）、「こどもの理解のためのアセスメント」が45.3%（573施設）であった。Dは、「こどもの特性・状態の共有」は79.2%（456施設）、「就学支援」が62.0%（357施設）、「保護者支援」が35.8%（206施設）であった。

		施設数	ス保育内容へのアドバイ	バ国の指導計画へのアド	バ個別指導計画へのアド	園の指導計画の共有	個別指導計画の共有	共有こどもの特性・状態の	アこどもの理解のための	ル施設退所など、必要な支援	保護者支援	就学支援	災害対応	その他
全体	数	4,050	440	94	196	495	812	3,481	1,385	124	1,902	2,957	195	76
	%	100.0	10.9	2.3	4.8	12.2	20.0	86.0	34.2	3.1	47.0	73.0	4.8	1.9
A	数	1,265	170	44	81	199	338	1,124	573	54	720	1,007	85	28
	%	100.0	13.4	3.5	6.4	15.7	26.7	88.9	45.3	4.3	56.9	79.6	6.7	2.2
B	数	1,211	121	23	62	143	249	1,034	405	39	550	892	53	18
	%	100.0	10.0	1.9	5.1	11.8	20.6	85.4	33.4	3.2	45.4	73.7	4.4	1.5
C	数	998	92	15	37	114	161	867	291	21	426	701	33	21
	%	100.0	9.2	1.5	3.7	11.4	16.1	86.9	29.2	2.1	42.7	70.2	3.3	2.1
D	数	576	57	12	16	39	64	456	116	10	206	357	24	9
	%	100.0	9.9	2.1	2.8	6.8	11.1	79.2	20.1	1.7	35.8	62.0	4.2	1.6

Q4_2S16 [児童相談所]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるもののすべてお選びください。

A において連携している割合が4番目に高い児童相談所と連携している内容は、A は「こどもの特性・状態」の共有が84.9%（741施設）、「保護者支援」が84.3%（736施設）と高い割合であった。「こどもの理解のためのアセスメント」は41.4%（361施設）であった。D は、「こどもの特性・状態の共有」が76.4%（275施設）、「保護者支援」が66.9%（241施設）であった。「こどもの理解のためのアセスメント」は21.7%（78施設）であった。

		施設数	保育内容へのアドバイス	園の指導計画へのアドバイス	個別指導計画へのアドバイス	園の指導計画の共有	個別指導計画の共有	共有	こどもの特性・状態の共有	アセスメント	施設退所など、トラブルに対する必要な支援	保護者支援	就学支援	災害対応	その他
全体	数 %	2,637 100.0	127 4.8	19 0.7	55 2.1	34 1.3	100 3.8	2,147 81.4	877 33.3	619 23.5	2,080 78.9	308 11.7	15 0.6	110 4.2	
A	数 %	873 100.0	56 6.4	14 1.6	27 3.1	20 2.3	49 5.6	741 84.9	361 41.4	227 26.0	736 84.3	130 14.9	13 1.5	37 4.2	
B	数 %	765 100.0	32 4.2	2 0.3	13 1.7	6 0.8	25 3.3	617 80.7	241 31.5	183 23.9	611 79.9	95 12.4	0 -	30 3.9	
C	数 %	639 100.0	23 3.6	1 0.2	9 1.4	3 0.5	14 2.2	514 80.4	197 30.8	151 23.6	492 77.0	53 8.3	2 0.3	29 4.5	
D	数 %	360 100.0	16 4.4	2 0.6	6 1.7	5 1.4	12 3.3	275 76.4	78 21.7	58 16.1	241 66.9	30 8.3	0 -	14 3.9	

Q22 児童発達支援事業等との併設・交流によるインクルーシブな保育を行うために工夫している点を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

※ 本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。

Aで最も多いのは、「児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わり方の方針について共通理解がある」が66.7%（32施設）であった。Dでは26.3%（5施設）であった。Aで次に多いのは、「障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している」が58.3%（28施設）であった。

Dでは「保育内容の検討の際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している」が最も多く、31.6%（6施設）であった。

		施設数	児童発達支援事業所等の職員と手引きやマニュアルを作成した	児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わり方の方針について共通理解がある	園の指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	在園児の個別指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	保育内容の検討の際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	児童発達支援事業所等の職員と一緒に保育実践をしている	障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	その他
全体	数	132	10	66	12	17	51	48	58	16
	%	100.0	7.6	50.0	9.1	12.9	38.6	36.4	43.9	12.1
A	数	48	6	32	7	13	27	21	28	5
	%	100.0	12.5	66.7	14.6	27.1	56.3	43.8	58.3	10.4
B	数	40	3	17	3	1	10	15	17	5
	%	100.0	7.5	42.5	7.5	2.5	25.0	37.5	42.5	12.5
C	数	25	0	12	1	2	8	12	9	1
	%	100.0	-	48.0	4.0	8.0	32.0	48.0	36.0	4.0
D	数	19	1	5	1	1	6	0	4	5
	%	100.0	5.3	26.3	5.3	5.3	31.6	-	21.1	26.3

Q36 貴施設における専門職による外部支援の導入状況について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

A は、「巡回支援専門員による巡回支援を導入している」が 51.6% (804 施設) であったが、D では 28.4% (227 施設) であった。A で次に多いのは、「児童発達支援事業所等の職員による巡回支援を導入している」が 49.5% (772 施設) であったが、D では 29.9% (239 施設) であった。

他方、D は「外部支援を導入していない」が 41.5% (332 施設) であった。A では、「外部支援を導入していない」は 15.9% (248 施設) であった。

		施設数	児童発達支援事業所等の職員による巡回支援を導入している	医療機関や訪問看護ステーションの看護師等による巡回支援を導入している	巡回支援専門員による巡回支援を導入している	その他	導入していない	無回答
全体	数	5,291	2,183	122	2,165	606	1,384	1
	%	100.0	41.3	2.3	40.9	11.5	26.2	0.0
A	数	1,559	772	56	804	194	248	0
	%	100.0	49.5	3.6	51.6	12.4	15.9	-
B	数	1,580	684	41	648	179	378	0
	%	100.0	43.3	2.6	41.0	11.3	23.9	-
C	数	1,352	488	18	486	155	426	1
	%	100.0	36.1	1.3	35.9	11.5	31.5	0.1
D	数	800	239	7	227	78	332	0
	%	100.0	29.9	0.9	28.4	9.8	41.5	-

Q37_1 貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

A において「公認心理士、臨床心理士」が 50.1% (592 施設) と、外部専門職の支援を導入している施設の約半数が公認心理士・臨床心理士の支援を導入していた。D は、「公認心理士・臨床心理士」は 34.0% (136 施設) であった。次に多いのは、A で「保健師」の 27.8% (329 施設)、「作業療法士」の 23.7% (280 施設) であった。D では「保健師」の 23.3% (93 施設) であった。

		施設数	医師	看護師	准看護師	助産師	保健師	児童指導員	保育士	公認心理士、臨床心理士	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	介護福祉士	手話通訳士	養護士、栄養士、栄養士	その他
全体	数	3,447	316	104	1	11	916	697	818	1,496	660	297	599	10	7	104	574
	%	100.0	9.2	3.0	0.0	0.3	26.6	20.2	23.7	43.4	19.1	8.6	17.4	0.3	0.2	3.0	16.7
A	数	1,182	155	57	0	6	329	241	270	592	280	155	264	3	3	48	185
	%	100.0	13.1	4.8	0.0	0.5	27.8	20.4	22.8	50.1	23.7	13.1	22.3	0.3	0.3	4.1	15.7
B	数	1,066	90	29	0	5	295	216	261	450	205	70	178	3	3	32	179
	%	100.0	8.4	2.7	0.0	0.5	27.7	20.3	24.5	42.2	19.2	6.6	16.7	0.3	0.3	3.0	16.8
C	数	799	50	16	1	0	199	150	206	318	127	60	116	3	1	20	127
	%	100.0	6.3	2.0	0.1	0.0	24.9	18.8	25.8	39.8	15.9	7.5	14.5	0.4	0.1	2.5	15.9
D	数	400	21	2	0	0	93	90	81	136	48	12	41	1	0	4	83
	%	100.0	5.3	0.5	0.0	0.0	23.3	22.5	20.3	34.0	12.0	3.0	10.3	0.3	0.0	1.0	20.8

外部専門職の職種ごとの支援対象者（Q38_1S5～Q38_1S11）

A 及び D 共に 80%以上の割合で、障害児を支援対象として外部支援を導入している専門職は次のとおり。

	A		D	
	割合（%）	施設数	割合（%）	施設数
保健師	89.3	295	87.1	81
児童指導員	91.3	221	85.6	77
保育士	91.8	247	85.2	69
公認心理師・ 臨床心理士	90.5	536	80.9	110
作業療法士	93.6	262	83.3	40
理学療法士	94.8	147	100.0	12
言語聴覚士	88.3	233	87.8	36

Q38_1S5 [保健師]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児（障害児以外）	保護者	職員	その他
全体	数	917	791	457	452	254	21
	%	100.0	86.3	49.8	49.3	27.7	2.3
A	数	330	295	184	184	107	6
	%	100.0	89.4	55.8	55.8	32.4	1.8
B	数	295	252	150	142	87	6
	%	100.0	85.4	50.8	48.1	29.5	2.0
C	数	199	163	91	87	43	8
	%	100.0	81.9	45.7	43.7	21.6	4.0
D	数	93	81	32	39	17	1
	%	100.0	87.1	34.4	41.9	18.3	1.1

Q38_1S6 [児童指導員]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児（障害児以外）	保護者	職員	その他
全体	数	698	635	180	192	245	14
	%	100.0	91.0	25.8	27.5	35.1	2.0
A	数	242	221	62	87	99	4
	%	100.0	91.3	25.6	36.0	40.9	1.7
B	数	216	198	64	60	77	5
	%	100.0	91.7	29.6	27.8	35.6	2.3
C	数	150	139	35	31	42	4
	%	100.0	92.7	23.3	20.7	28.0	2.7
D	数	90	77	19	14	27	1
	%	100.0	85.6	21.1	15.6	30.0	1.1

Q38_1S7 [保育士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児（障害児以外）	保護者	職員	その他
全体	数	817	735	290	226	362	15
	%	100.0	90.0	35.5	27.7	44.3	1.8
A	数	269	247	103	97	134	5
	%	100.0	91.8	38.3	36.1	49.8	1.9
B	数	261	237	89	61	113	3
	%	100.0	90.8	34.1	23.4	43.3	1.1
C	数	206	182	73	53	88	5
	%	100.0	88.3	35.4	25.7	42.7	2.4
D	数	81	69	25	15	27	2
	%	100.0	85.2	30.9	18.5	33.3	2.5

Q38_1S8 [公認心理師、臨床心理士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児（障害児以外）	保護者	職員	その他
全体	数	1,494	1,320	609	569	728	33
	%	100.0	88.4	40.8	38.1	48.7	2.2
A	数	592	536	261	248	296	13
	%	100.0	90.5	44.1	41.9	50.0	2.2
B	数	449	398	180	175	245	12
	%	100.0	88.6	40.1	39.0	54.6	2.7
C	数	317	276	122	98	134	7
	%	100.0	87.1	38.5	30.9	42.3	2.2
D	数	136	110	46	48	53	1
	%	100.0	80.9	33.8	35.3	39.0	0.7

Q38_1S9 [作業療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児（障害児以外）	保護者	職員	その他
全体	数	659	588	216	162	285	11
	%	100.0	89.2	32.8	24.6	43.2	1.7
A	数	280	262	96	85	116	7
	%	100.0	93.6	34.3	30.4	41.4	2.5
B	数	205	178	66	44	102	3
	%	100.0	86.8	32.2	21.5	49.8	1.5
C	数	126	108	39	24	49	1
	%	100.0	85.7	31.0	19.0	38.9	0.8
D	数	48	40	15	9	18	0
	%	100.0	83.3	31.3	18.8	37.5	-

Q38_1S10 [理学療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。

		施設数	障害児	他の園児（障害児以外）	保護者	職員	その他
全体	数	297	271	93	82	110	9
	%	100.0	91.2	31.3	27.6	37.0	3.0
A	数	155	147	45	49	56	7
	%	100.0	94.8	29.0	31.6	36.1	4.5
B	数	70	60	26	20	28	1
	%	100.0	85.7	37.1	28.6	40.0	1.4
C	数	60	52	18	10	21	1
	%	100.0	86.7	30.0	16.7	35.0	1.7
D	数	12	12	4	3	5	0
	%	100.0	100.0	33.3	25.0	41.7	-

Q38_1S11 [言語聴覚士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児（障害児以外）	保護者	職員	その他
全体	数	599	506	236	179	285	10
	%	100.0	84.5	39.4	29.9	47.6	1.7
A	数	264	233	117	94	125	5
	%	100.0	88.3	44.3	35.6	47.3	1.9
B	数	178	145	62	52	92	2
	%	100.0	81.5	34.8	29.2	51.7	1.1
C	数	116	92	40	27	54	2
	%	100.0	79.3	34.5	23.3	46.6	1.7
D	数	41	36	17	6	14	1
	%	100.0	87.8	41.5	14.6	34.1	2.4

参考値

➤ 施設形態ごとの4分位割合

		施設数	A	B	C	D
全体	数	3,365	865	948	909	643
	%	100.0	25.7	28.2	27.0	19.1
施設併設型※1	数	131	48	39	25	19
	%	100.0	36.6	29.8	19.1	14.5
外部支援導入型※2	数	2,288	679	671	579	359
	%	100.0	29.7	29.3	25.3	15.7
施設単独型※3	数	946	138	238	305	265
	%	100.0	14.6	25.2	32.2	28.0

※1 Q2で「2 保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置」、「3 保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置」、「4 保育所等と児童発達支援事業所を近接又は隣接して設置」を選択した保育所等

※2 Q2で「1 保育所等のみ」を選択肢した保育所等の中で、Q36で「1 児童発達支援事業所等の職員による巡回支援を導入している」、「2 医療機関や訪問看護ステーションの看護師等による巡回支援の導入している」、「3 巡回支援専門員による巡回支援を導入している」、「その他」の少なくとも1つを選択した保育所等

※3 Q2で「保育所等のみ」を選択した保育所等で、Q36で「5 導入していない」を選択した保育所等

※4 小規模保育事業所、Q2やQ36に未回答の保育所等は集計から除外

第4章 ヒアリング調査

1. ヒアリング調査の概要

(1) 調査目的

主に保育所等と児童発達支援事業所等との併設・交流におけるインクルーシブな保育の実施状況、インクルーシブな保育の具体的内容及び実施体制の把握、保育所等と児童発達支援事業所等との連携方法・連携内容等を把握する。さらに、取組効果や持続可能な取組みとするための工夫等を把握する。また、インクルーシブな保育の取組を推進する上での課題や課題への対応策等についても把握する。ヒアリングで把握・整理したインクルーシブな保育の取組内容等を、保育所等・自治体の参考となるように事例集を取りまとめる。

(2) 調査対象

全国の保育所等、計8か所を対象とした。

(3) 調査時期

令和7年2月から令和7年3月

(4) 調査手法

調査対象者先に事前にヒアリング調査票を送付し、WEB会議形式を利用した。

2. ヒアリング調査先の選定

■児童発達支援事業所等との施設併設・一体型

1. カミヤト凸凹保育園

項目	内容
施設類型	認可保育所
法人名	社会福祉法人愛川舜寿会
施設名	カミヤト凸凹保育園
定員数	90 名
所在地	神奈川県厚木市
併設	同一敷地内に障害児通所支援事業所（カミヤト凸凹文化教室）

2. 認定こども園まゆみ

項目	内容
施設類型	幼保連携型認定こども園
法人名	学校法人まゆみ学園
施設名	認定こども園まゆみ
定員数	認可定員 150 名（1 号 40 名、2 号 60 名、3 号 50 名）
所在地	福島県二本松市
併設	同一敷地内に児童発達支援事業所（マーブルハウスまゆみ）

3. 甘露保育園

項目	内容
施設類型	認可保育所
法人名	社会福祉法人上田明照会
施設名	甘露保育園
定員数	90 名
所在地	長野県上田市
併設	同一敷地内に児童発達支援センター（蓮の音こども園）

■外部支援導入型

4. 風の谷こども園

項目	内容
施設類型	保育所型認定こども園
法人名	社会福祉法人泉の園
施設名	認定こども園 風の谷こども園
定員数	現員 68 名
所在地	千葉県市川市

5. 経堂保育園

項目	内容
施設類型	認可保育所
法人名	社会福祉法人杉の子保育会
施設名	経堂保育園
定員数	99 名
所在地	東京都世田谷区

6. 大谷地たかだ保育園

項目	内容
施設類型	保育所型認定こども園
法人名	社会福祉法人高田福祉事業団
施設名	大谷地たかだ保育園
定員数	175 名
所在地	北海道札幌市

■施設単独型

7. わらしこ保育園

項目	内容
施設類型	認可保育所
法人名	社会福祉法人わらしこの会
施設名	わらしこ保育園
定員数	100 名
所在地	東京都府中市

8. 八千代保育園

項目	内容
施設類型	認可保育所
法人名	新潟市
施設名	八千代保育園
定員数	150 名
所在地	新潟県新潟市

第5章 まとめ及び考察

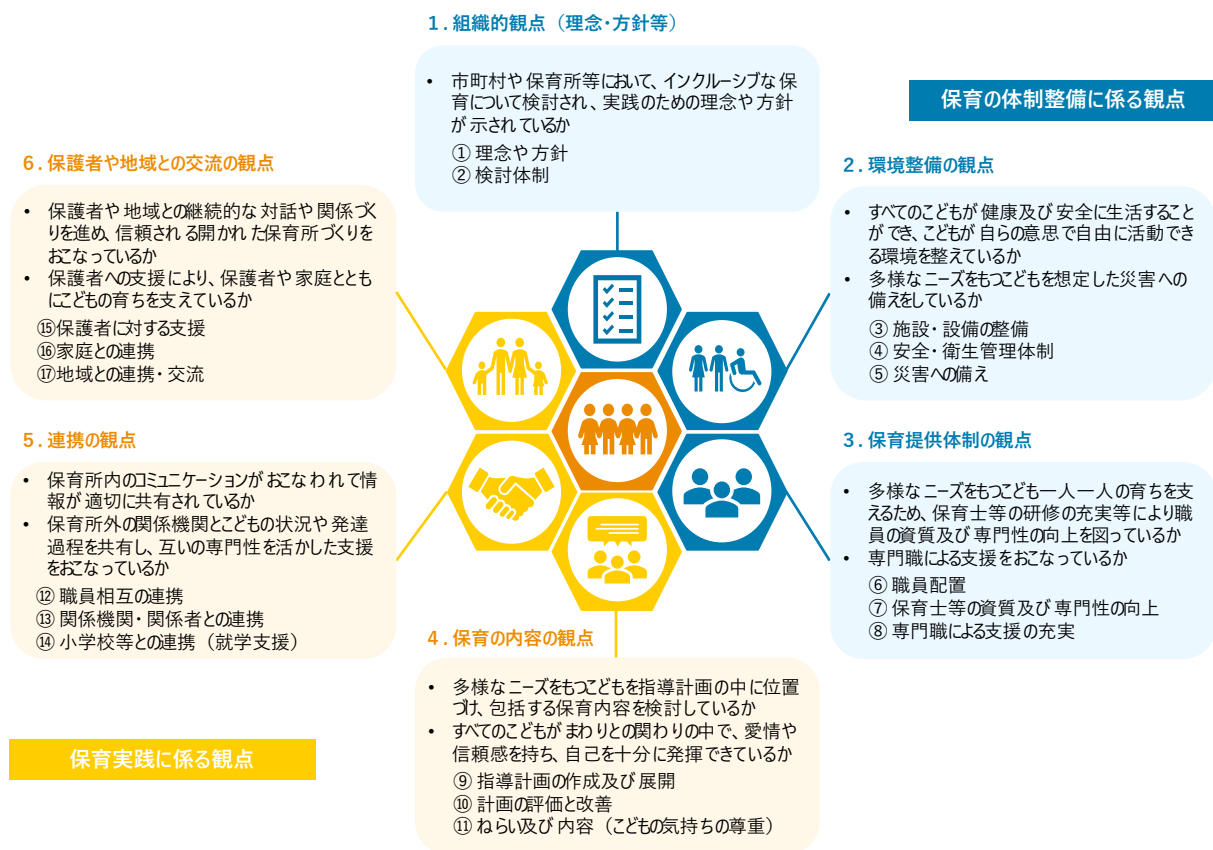
本調査研究では、保育所等でのインクルーシブな保育の実践的な取組推進に資するように、自治体のインクルーシブな保育の推進状況や保育所等でのインクルーシブな保育の取組状況を把握し、保育所等での先駆的なインクルーシブな保育事例の調整プロセス、取組の工夫等を整理・集約した好事例集を作成することを目的に実施した。

調査研究を進めるにあたり、国内ではインクルーシブな保育を明示的に定義したものがないため、本調査研究では、検討委員会において有識者からの意見聴取を重ね、次の通り整理を行い、調査研究を進めた。

保育とは元来から「インクルーシブ」な理念を包含しているものであるところ、その理念を実践するためには、保育提供体制、保育実践それぞれでより充実を図るための取組が求められる。

インクルーシブな保育の実践の現状を把握すること、またインクルーシブな保育の在り方や必要な支援策について検討するにあたり、インクルーシブな保育の取組状況を確認するための6つの観点について検討委員会を通じて意見聴取しつつ整理し、調査研究を進めた。

6つの観点は、大きく、保育の体制整備に係る観点と保育実践に係る観点の2つに分類される。それぞれの観点の詳細は下記の図のとおり。



6つの観点は、各観点の実践に重要と考えられる複数の取組で構成されている。それらは、保育所等の評価や保育所間の優劣をつけるものではなく、インクルーシブな保育を検討する保育所等が各観点について取組状況を確認することで、自施設の取組状況や課題を把握することができるものである。

それぞれの観点に係る取組を充実させていくことで、インクルーシブな保育の充実を図ることができる。

アンケート調査では、保育所向け、市区町村向けに調査を実施した。保育所向けは 7,727 施設（回収率 33.8%）、市区町村向けは 603 市区町村（回収率 34.6%）から回答を得た。

■ インクルーシブな保育のための体制整備・実践に重要なこと（保育所）

➤ 体制整備

インクルーシブな保育のための体制整備として重要であると考えることとして、「障害のあるこどものための保育士の加配をすること」が最も多く 53.1%（4,103 施設）、次いで「障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること」が 43.6%（3,368 施設）、「専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること」が 40.9%（3,161 施設）を挙げている。

なお、クロス集計結果より、A の施設群と D の施設群共に最も多い割合だったのは、「障害のあるこどものための保育士加配をすること」であった。A が 51.3%（896 施設）で、D が 55.8%（771 施設）だった。次に割合が多いのは、A は「障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること」が 48.5%（848 施設）だった。D の同項目は 37.3%（516 施設）であった。次に割合が多いのは、D は「専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること」で、47.2%（652 施設）であった。A の同項目は 36.4%（636 施設）であった。

保育施設がインクルーシブな保育のために体制整備として重要であると考えことは、6つの観点における保育の体制整備に係る観点（観点3）の保育提供体制の観点、保育実践に係る観点（観点4）保育内容の観点を重要と捉えていると考えられる。なお、D の施設群は、よりインクルーシブな保育の状態に近づくには、A の施設群より、専門職の配置等による障害のあるこどもに対する支援の充実を図ることを重要と考えている割合が多い。

➤ 実践に重要なこと

インクルーシブな保育の実践のために重要であると考えることとして、「こどもの障害特性について理解を深めること」が最も多く 65.5%（5,065 施設）、次いで「職員間の情報共有や連携をおこなうこと」が 51.6%（3,984 施設）、「すべてのこどもが活動に積極的に参加し自分の意見や希望を表現できる環境を構成すること」が 32.5%（2,512 施設）となっている。

なお、クロス集計結果より、A の施設群と D の施設群共に最も多い割合だったのは、「こどもの障害特性について理解を深めること」であった。A が 62.3%（1,09 施設）、D が 66.8%

(923 施設)であった。次に多いのは A と D 共に「職員間の情報共有や連携をおこなうこと」であった。A が 52.7% (921 施設)、D が 50.5% (698 施設)であった。

保育施設がインクルーシブな保育のために保育の実践として重要であると考え、取組の充実度に関わらず、6 つの観点における保育実践に係る観点（観点 4）保育内容の観点、及び（観点 5）連携の観点を重要と捉えていると整理できる。

■ 障害のある子どもを含む保育を実践するにあたっての課題・困難なこと

➤ 課題

障害のある子どもを含む保育を実践するにあたっての課題については、「障害児の特性に応じた支援を行うことが困難」が最も多く 55.7% (4,304 施設)、次いで「障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難」が 52.2% (4,032 施設)となっている。

なお、クロス集計結果より、施設が課題として認識している事項において、D は、「障害児の特性に応じた支援を行うことが困難」が 67.8% (935 施設)、同項目の A は 41.8% (731 施設)であった。また、D において次に割合が多いのは、「障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難」が 62.0% (855 施設)、同項目の A は、40.2% (702 施設)であった。

A と D それぞれにおいて、同じ項目の割合が高かったが、割合の程度に差が見られ、D の施設群において障害のある子どもの特性に応じた支援や、障害のある子どもを含めた一体的な保育の提供に課題を感じていることが示された。

➤ 困難なこと

障害のある子どもを含む保育を実践するにあたっての困難についての理由として、「保育士数が不足している」が最も多く 61.4% (4,093 施設)、次いで「障害のある子どもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している」が 60.5% (4,031 施設)、「障害のある子どもとない子どもを一体的に保育するための専門性が不足している」が 47.8% (3,182 施設)となっている。

なお、クロス集計結果より、障害のある子どもを含む保育を実践するにあたっての困難について、A と D 共に同じ理由を挙げている。「障害のある子どもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している」で、A は 50.8% (668 施設)、D は 70.6% (907 施設)、「保育士数が不足している」で、A は 56.5% (742 施設)、D は 69.3% (890 施設)であった。

A の施設群及び D の施設群共に、同様の理由をあげているものの、障害のある子どもを含む保育を実践するにあたっての困難な理由として、D の施設群の方がより、保育士の不足や保育士等の専門性の不足を理由と感じていることが示された。

■ 保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化

保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化について、「障害のあるこどもの成長」が 76.8% (5,934 施設)、「障害のあるこども以外のこどもの成長（思いやりの心を醸成する等）」が 76.6% (5,922 施設) と多く、月に「保育士等の専門性の向上」が 70.7% (5,462 施設) であった。

なお、クロス集計結果も単純集計結果と同様の項目を挙げられたが、A の施設群と D の施設群では、その割合が A は D 比べて相対的に高い傾向にあった。各項目における割合に差が見られた。「障害のあるこどもの成長」が A は 89.3% (1,561 施設)、D は 63.3% (879 施設)、続いて「障害のあるこども以外のこどもの成長（思いやりの心を醸成する等）」が A は 88.4% (1,546 施設)、D は 62.8% (868 施設)、続いて「保育士等の専門性の向上」は A が 82.8% (1,440 施設)、D は 56.5% (781 施設) であった。

■ 保育所等と児童発達支援事業所等の「併設」状況

アンケート調査に回答した保育所等における施設の形態は、保育所等のみが 94.2% (5,266 施設) であり、保育所と児童発達支援事業所を同一敷地内に設置が 0.6% (32 施設)、保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置が 0.9% (50 施設)、保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置が 1.2% (67 施設) であった。

なお、クロス集計結果より、保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置は、A は 1.1% (11 施設)、D は 0.3% (4 施設) であった。保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置は、A は 1.4% (15 施設)、D は 0.4% (5 施設) であった。保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置は、A は 2.1% (22 施設)、D は 0.9% (10 施設) であった。

ヒアリング調査では、主に保育所等と児童発達支援事業所等との併設・交流におけるインクルーシブな保育の実施状況、インクルーシブな保育の具体的内容及び実施体制、保育所等と児童発達支援事業所等との連携方法・連携内容等を把握した。さらに、取組効果や持続可能な取組みとするための工夫やインクルーシブな保育の取組を推進する上での課題や課題への対応策等についても把握した。ヒアリング調査の結果は、「事例集」として保育所等・市区町村の参考となるように取りまとめた。

アンケート調査、ヒアリング調査及び検討委員会からの意見聴取の結果、インクルーシブな保育の状態を高めていくにあたり特に重要と考えられる事項を 6 つの観点の保育の体制整備に係る観点及び保育実践に係る観点の 2 つの大分類を基に以下に整理した。

(ア) 保育の体制整備に係る観点

■ インクルーシブな保育に対する保育士等一人ひとりの理解と共感

共通した理念のもとに保育士等が自身で考えて行動するために、インクルーシブな保育の理念が保育士等一人ひとりにまで浸透し、理解と共感する体制を整備することが重要である。特に、職員同士がインクルーシブな保育理念について協議・検討する機会を定期的に設ける等の取組を通じて保育に関わることが求められる。

アンケート調査を通じて、インクルーシブな保育の取組が充実している施設の取組事項として、「多様性を受入れこどもの主体性を尊重する文化を醸成することにより、理念や方針について保育士等一人ひとりの理解や共感を得ている」があげられる。他方で、「インクルーシブな保育について理解を深める取組等により、理念や方針について保護者や関係者の理解や共感を得ていくこと」については、いずれの施設でも一層の取り組みを期待する。

本調査研究においてヒアリングした先進事例においては、施設の理念について職員間で感想を協議し、経営層に対してその感想をフィードバックする取組があげられた。そのほか、職員間で保育を振り返る時間を毎日設け、その中で理念に照らした振り返りを実施するとりくみがあげられた。

■ こどもの特性に応じた専門的支援の確保

インクルーシブな保育の実践を進展させる上では、こども同士の関係性構築や集団づくりに関する保育の専門性を活かしつつ、こどもの特性に応じた専門的な支援を重ね合わせて保育を提供することが必要である。保育所等において、こどもの特性に応じた専門的な支援を確保するためには、大きく下記の2つの手段がある。

➤ 児童発達支援事業所等との併設・交流

保育所等に児童発達支援事業所等を併設し、双方の専門性を活かした共同での保育を提供する。

先進事例においては、保育所の職員会議に児童発達支援事業所の職員が参加し意見交換すること、保育計画・個別指導計画の検討に児童発達支援事業所の職員が参加することといった取組があげられた。

➤ 外部支援の導入

保育所等のみで充足することができない専門職による支援について、外部の機関による支援を導入する。

先進事例においては、情報共有に関する合意を得た上で、連携する療育施設の専門職が保育所を訪問しこどもが保育所で過ごす様子を観察して、または保育所の職員が療育施設を訪問して療育の様子を観察して今後の対応を検討するといった取組があげられた。

(イ) 保育実践に係る観点

■ こどもの特性を理解した上での一体的保育

インクルーシブな保育においては、障害の有無に関わらず、すべてのこどもが無条件に受け入れられ、かつ、そのこらしさが発揮できる環境であることが重要である。

アンケート調査を通じて、インクルーシブな保育の実践のために重要なこととして、「こどもの障害特性について理解を深めること」は共通理解あることが示された。一方、障害のあるこどもを含む保育を実践するにあたっての課題として、「障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難」と感じている施設があることが示された。インクルーシブな保育の取組が充実している施設の取組事項として、「障害のあるこどももないこどもも健康及び安全に生活し、自らの意思で自由に活動できる環境を整えている」「障害のあるこどもとないこどもが一緒に行事（発表会・遠足・運動会等）に参加している」「障害のあるこどもとないこどもが十分に主体性を発揮できるよう保育士等が多様な方法で援助をおこなっている」「保育士等がこどもの心を受け止め、障害のあるこどもとないこどもが安心して伸び伸びと意見や感情を表現できる環境となっている」があげられる。

すべてのこどもを一体的に保育する中で、こどもの特性・機嫌・体調・様子を踏まえて対応していくことが期待される。例えば、皆が参加する行事を実施する際には、行事に参加し皆が喜ぶことができるような工夫が必要となる。先進事例においては、合唱やダンスをする行事を開催するにあたり、歌やダンスでの参加が難しい場合には、手作りの楽器で参加する等、参加を無理強いくことなくこどもが喜んで参加できるようにする工夫があげられた。いろいろなこどもと一緒に過ごす環境が最初からあることが、こどもにとって、相手の特性を個性と捉えやすくなっていることもインクルーシブな保育の特徴としてあげられると考える。

■ 職員間でお互いに尊重し、連携した保育

インクルーシブな保育を提供する前提として、職員間において、お互いに尊重しながら意見を伝えることができるアサーティブな関係を構築できていることが必要となる。

こどもの特性・機嫌・体調・様子を踏まえて臨機応変に対応しながら一体的保育を提供するためには、クラスや活動の域を超えて職員同士が互いに援助し合う連携した保育が求められる。アンケート調査より、インクルーシブな保育実践のため重要なこととして「職員間の情報共有や連携をおこなうこと」があげられた。また、インクルーシブな保育の取組が充実している施設の取組事項として、「保育所内のコミュニケーションがおこなわれて情報が適切に共有されている」、「全職員の円滑なコミュニケーションを促進し、適切・迅速な情報共有がおこなわれている」、「定期的にミーティングの機会を設ける等により、職員間の保育の工夫を共有することによる学び合いの基盤をつくっている」があげられた。

その前提として、職員が相互に尊重する姿勢が重要である。職員が相互に尊重し合う姿勢を日頃からこどもが見ることで、こども同士でも相互に尊重し合う姿勢が発生する相互作用が発生する。

また、職員同士がお互いの考えを理解するために、職員間で日々の保育場面の振り返りや対応の検討を続けることが必要である。

先進事例においては、職員間で保育を振り返る時間を毎日設けること、少人数にグループ分けして協議する場を設けて一人ひとりが意見を出しやすい環境を整備すること、保育実践の中で職員に具体的課題が見つかったとしても、当該対応をした理由を尋ねる等して、お互いにいろいろな考えがあることを理解し合いながら保育を提供することといった取組があげられた。

■ 保護者・地域に対して開かれた保育

保育所内で相互に尊重し合うことに加えて、保護者や地域に対して開かれた保育所であることも重要である。アンケート調査よりインクルーシブな保育の取組が充実している施設の取組事項として「保護者と面談の機会を持つ等により、保護者の抱えてきた悩みや不安などを理解し支える取組をおこなっている」、「保護者への支援により、保護者や家庭と共にこどもの育ちを支えている」、「保護者・家庭との継続的な対話により、家庭環境や育児の状況を共有し、家庭と連携・協力しながらこどものニーズに応じた支援を一貫して提供している」といった取り組みを実践している割合が高かった。

先進事例においては、療育機関で受けている療育や家庭での養育状況を保護者と保育所等とで共有し、保育所等でも実施できることを協議して保護者との信頼関係を醸成する取組があげられた。

こども同士だけでなく、こどもと保護者、保護者と職員、保育所の外とも交流し、様々な人と一緒に過ごす機会を保育所全体で設けることが必要である。

先進事例においては、併設・連携する児童発達支援事業所だけではなく地域の障害者施設や高齢者施設と一緒に散歩するといった交流をすること、保護者だけでなく周辺住民を行事に招待することといった取組があげられた。

これらの保育所におけるインクルーシブな保育を推進するために、自治体における支援も重要となる。自治体の支援において、特に重要と考えられるのが以下の事項である。

(ア) 地域の関係者同士の連携基盤の構築

保育所や児童発達支援事業所等のほか、小学校・特別支援学校や療育センター等の保育、障害のあるこどもの保育をとりまく地域の関係者の連携が促進されるよう、定期的に地域におけるインクルーシブな保育に係る課題や取組を共有するようなネットワークを構築することが重要となる。

(イ) インクルーシブな保育の前提となる地域資源の整備

インクルーシブな保育を進展させるためには、保育所が様々な関係機関と連携できることが重要となるが、自治体においては地域においてそのような関係機関を整備し、連携の前提を整備することが必要である。例えば、保育士等の加配に対する財政支援等をはじめとした

保育所の体制整備に対する支援や、児童発達支援センター・地域の療育センター等の専門的機関の整備が重要である。

Appendix

- (1) インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査票（保育所票）
- (2) インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査票（自治体票）
- (3) インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査 単純集計（保育所票）
- (4) インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査 単純集計（自治体票）
- (5) インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査 クロス集計（保育所票）
- (6) インクルーシブ保育の在り方等に関するヒアリング調査票

Appendix（１）インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査（保育所票）

調査項目

回答者：全員

- S1 【ご回答いただくにあたっての留意事項】
本調査における「障害児」の範囲は以下のとおりです。
- ☐ 次の判定を受けたこと
- ・視覚障害
 - ・聴覚障害
 - ・言語障害
 - ・肢体不自由
 - ・知的障害
 - ・病弱・虚弱
 - ・発達障害
 - ・医療的ケア児（障害判定されていない医療的ケア児も含む）
- ☐ 市区町村において障害児または障害児と同等の支援を必要とするこどもとして支援対象となっているこども（※障害児は、保護者からの障害児保育の支援申請を受けていないこどもを含む）
- ☐ 「気になる子」
- ・特定の判定は受けていないが発達上の特性から保育所等の生活において困難を抱えており、特別な支援が必要と考えられるこども

本調査において、**特に指定がない限り、人員や児童の人数等については令和6年4月1日時点**のものを回答ください。

本調査において、児童発達支援事業所等は以下の施設を指します。

- ・児童発達支援事業所
- ・児童発達支援センター

本調査において、Ⅱ～Ⅵについては、可能な限り主任保育士（同等の方もしくは園長・副園長）の方に回答いただきますようお願いいたします。

調査票の内容を先に確認したい場合は、本ページ下部にある調査票PDFでご確認ください。

ご回答は、30分程度を要する想定です。

なお、調査票PDFを印刷や保存する場合は、ブラウザのメニューから印刷もしくは保存を行うが、印刷の場合はCtrl（コントロールキー）を押しながらP、保存の場合はCtrlを押しながらSを押して行ってください。

ご回答いただいた内容が最後に一覧で表示されますので、回答内容をご確認ください。

その際、修正したい箇所が生じた場合には、その一覧から該当ページにジャンプするか、戻るボタンを使用して修正が可能です。

最後に表示される回答内容の一覧をご確認後、「完了」のボタンを押すと調査が終了します。

回答内容を印刷もしくは保存する場合には、「完了」のボタンを押す前に、回答内容一覧ページの印刷や保存を行ってください。

（ブラウザのメニューから印刷もしくは保存を行うが、印刷の場合はCtrl（コントロールキー）を押しながらP、保存の場合はCtrlを押しながらSを押して行ってください）

回答者：全員

- Q1_1 FA 基本情報
貴施設の施設名についてご回答ください。

必須

- Q1_2 FA 施設所在地

Q1_2_1 都道府県

必須

Q1_2_2 市区町村

必須

- Q1_3 SA 施設類型

【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください

- ☐ 01 認可保育所
☐ 02 認定こども園
☐ 03 小規模保育事業所
☐ 04 事業所内保育事業
☐ 05 その他 具体的内容：

- Q1_4 SA 運営主体

【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください

- ☐ 01 市区町村
☐ 02 社会福祉法人
☐ 03 株式会社
☐ 04 NPO法人
☐ 05 学校法人
☐ 06 その他 具体的内容：

- Q1_5 NUM 貴施設の保育定員についてご回答ください。

※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定の児童数を記入ください。

人

※必須 / 半角数字のみ

- Q1_6 NUM 貴施設の開所年を西暦でご回答ください。

年

※必須 / 半角数字のみ（1900～2024）

- Q1_7 NUM 児童発達支援事業所等を併設している場合、併設施設の開所年を西暦でご回答ください。

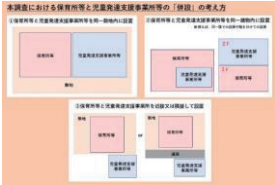
※併設していない場合は、「0」と入力ください

年

※任意/ 半角数字のみ（1900～2024）

回答者：Q1_4=2-6「運営主体が市区町村以外の施設」

- Q2 SA 貴施設の形態を回答ください。（併設している場合、図で示す類型からあてはまるものを一つ回答ください）



【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください

- ☐ 01 保育所等のみ
☐ 02 保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置
☐ 03 保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置
☐ 04 保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置
☐ 05 その他 具体的内容：

回答者：全員

Q3_1NUM

貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。
※0人の場合は「0」と入力ください。

常勤	
園長・施設長	人
副園長	人
主任保育士	人
保育士	人
保育教諭	人
保育補助者	人
みなし保育士	人
看護師・准看護師	人
保健師	人
助産師	人
作業療法士	人
理学療法士	人
言語聴覚士	人
公認心理師・臨床心理士	人
管理栄養士・栄養士	人
その他	人

※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)

Q3_2NUM

貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。
※0人の場合は「0」と入力ください。

非常勤	
園長・施設長	人
副園長	人
主任保育士	人
保育士	人
保育教諭	人
保育補助者	人
みなし保育士	人
看護師・准看護師	人
保健師	人
助産師	人
作業療法士	人
理学療法士	人
言語聴覚士	人
公認心理師・臨床心理士	人
管理栄養士・栄養士	人
その他	人

※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)

Q3_3NUM

貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。
※0人の場合は「0」と入力ください。

保育士	人
保育教諭	人
保育補助者	人
みなし保育士	人
看護師・准看護師	人
保健師	人
助産師	人
その他	人

※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)
※必須 / 半角数字のみ (0以上)

回答者：全員

Q4_1MA

貴施設において連携している機関を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

	児童発達支援事業所等（併設・同一法人）
	児童発達支援事業所等（併設・別法人）
	児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）
	児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）
	地域の療育センター等
	発達障害者支援センター・基幹相談支援センター
	医療機関
	医療的ケア児支援センター
	保健所・保健センター
	小学校、特別支援学校
	幼稚園
	他の保育所等
	こども家庭センター
	放課後児童クラブ
	放課後等デイサービス事業所
	児童相談所
	児童養護施設
	教育委員会
	市区町村（障害福祉関係部局）
	市区町村（母子保健関係部局）
	市区町村（災害対応関係部局）
	その他 具体的内容：

回答者：全員

Q4_2MAMT

貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。
該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

	保育内容へのアドバース	園の指導計画へのアドバース	個別指導計画へのアドバース	園の指導計画の共有	個別指導計画の共有	こどもの特性・状態の共有	こどもの理解のためのアセスメント	施設退所など、トラブルに対する必要な支援	保護者支援	就学支援	災害対応	その他 記述式
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Q4_2_1	児童発達支援事業所等（併設・同一法人）											
Q4_2_2	児童発達支援事業所等（併設・別法人）											
Q4_2_3	児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）											
Q4_2_4	児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）											
Q4_2_5	地域の療育センター等											
Q4_2_6	発達障害者支援センター・基幹相談支援センター											
Q4_2_7	医療機関											
Q4_2_8	医療的ケア児支援センター											
Q4_2_9	保健所・保健センター											
Q4_2_10	小学校、特別支援学校											
Q4_2_11	幼稚園											
Q4_2_12	他の保育所等											
Q4_2_13	こども家庭センター											
Q4_2_14	放課後児童クラブ											
Q4_2_15	放課後等デイサービス事業所											
Q4_2_16	児童相談所											
Q4_2_17	児童養護施設											
Q4_2_18	教育委員会											
Q4_2_19	市区町村（障害福祉関係部局）											
Q4_2_20	市区町村（母子保健関係部局）											
Q4_2_21	市区町村（災害対応関係部局）											
Q4_2_22	その他											

II 障害児の受入れ状況について
1 障害児の受入れ状況

Q5

MA

貴施設において令和3年度から令和5年度で受け入れたことのあるこどもの障害種別について回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
視覚障害
聴覚障害
言語障害
肢体不自由
知的障害
病弱・虚弱
発達障害
医療的ケア児
「気になる子」
その他 具体的内容：

回答者：全員

Q6

SA

貴施設における令和6年度の障害児の受入れ状況について回答ください。
【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
○1 受入れ有
○2 受入れ無
○3 その他 具体的内容：

回答者：Q6=1「障害児の受入れ有」

Q7_1

NUM

貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。
人 ※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q7_1=1以上「0歳の障害児がいる」

Q7_2

NUM

貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

視覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q6=1「障害児の受入れ有」

Q7_3

NUM

貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。
人 ※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q7_3=1以上「1歳の障害児がいる」

Q7_4

NUM

貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

視覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q6=1「障害児の受入れ有」

Q7_5NUM

貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q7_5=1以上「2歳の障害児がいる」

Q7_6NUM

貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください
※0人の場合は「0」と入力ください。

視覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q6=1「障害児の受入れ有」

Q7_7NUM

貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q7_7=1以上「3歳の障害児がいる」

Q7_8NUM

貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

視覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q6=1「障害児の受入れ有」

Q7_9NUM

貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q7_9=1以上「4歳の障害児がいる」

Q7_10NUM

貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

視覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q6=1「障害児の受入れ有」

Q7_11NUM

貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q7_11=1以上「5歳の障害児がいる」

Q7_12NUM

貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。
※0人の場合は「0」と入力ください。

視覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※必須 / 半角数字のみ（0以上）

2 並行通園の現状把握

Q8 SA 貴施設に在園する障害のあるお子さんに並行通園していることはありますか。

【回答欄】

該当する数字をプルダウンで選択してください

☐1

いる

☐2

いない

☐3

把握していない

回答者：Q8=1「並行通園していることがある」

Q9 MA 並行通園している施設について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】

該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

☐ 児童発達支援事業所等（併設・同一法人）

☐ 児童発達支援事業所等（併設・別法人）

☐ 児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）

☐ 児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）

☐ 地域の療育センター等

☐ その他 具体的内容：

回答者：Q8=1「並行通園していることがある」

Q10 MA 並行通園していることへの支援として実施しているものを回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】

該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

☐ 保育所等および児童発達支援事業所等のこどもの様子について情報共有している

☐ 園の指導計画について、児童発達支援事業所等の情報を踏まえて作成している

☐ こどもの個別の指導計画について、児童発達支援事業所等の情報を踏まえて作成している

☐ 見学・視察等によりこどもの並行通園先の様子を確認している

☐ 並行通園先の職員と意見交換等の交流の機会を設けている

☐ その他 具体的内容：

回答者：全員

3 障害児を含む保育を実践するにあたっての課題

Q11 MA 障害児を含む保育を実践するにあたっての課題について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】

該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

☐ 障害児の特性に応じた支援を行うことが困難

☐ 障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難

☐ 他機関との連携体制を構築することが困難

☐ 他園児の保護者の理解を得ることが困難

☐ その他 具体的内容：

☐ 課題と思うことはない

回答者：Q11=1-5いずれかにon「課題と思うことがある」

Q12 MA 前問で回答いただいた障害児を含む保育を実践するにあたっての困難について、その理由と考えられることを回答ください。

あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】

該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

☐ 保育士数が不足している

☐ 障害のあるこどもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している

☐ 療育支援を行うための専門職による支援が不足している

☐ 医療的ケアを行う看護師等による支援が不足している

☐ 障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための専門性が不足している

☐ 障害特性に応じた施設等の整備が困難もしくは間に合わない

☐ 障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための設備が不足している

☐ 障害のあるこどもを含む保育の実践に有効な関係機関との連携が困難

☐ その他 具体的内容：

回答者：全員

Ⅲ 「インクルーシブな保育」をどのように考えるか

1 「インクルーシブな保育」について

Q13 FA 「インクルーシブな保育」とはどのような保育と考えるかご記載ください。

必須

回答者：全員

Q14 MA インクルーシブな保育のための体制整備として、どのようなことが重要であると考えますか。重要であると考える上位3つを選択してください。

【回答欄】

3つまで選択可 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

☐ 多様性を尊重する文化を醸成すること

☐ インクルーシブな保育について保護者の理解を得ること

☐ 障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること

☐ 保育施設・設備の整備をすること（バリアフリー化等）

☐ こどもの特性や状態に応じた安全・衛生管理体制を整備すること

☐ こどもの特性や状態に応じた災害への備えをすること

☐ 障害のあるこどものための保育士の加配をすること

☐ 専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること

☐ 障害のあるこどもを含む保育実践のための研修の充実を図ること

☐ その他 具体的内容：

回答者：全員

Q15 MA インクルーシブな保育の実践のために、どのようなことが重要であると考えますか。重要であると考える上位3つを選択してください。

【回答欄】

3つまで選択可 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

☐ 障害のあるこどもとないこどもの交流を促進すること

☐ 障害のあるこどもも含む包括的な園の指導計画を作成すること

☐ 障害のあるこどもの個別の指導計画を作成すること

☐ 保育の内容を継続的に見直し、指導計画、個別の指導計画の改善を図ること

☐ こどもの障害特性について理解を深めること

☐ すべてのこどもが活動に積極的に参加し自分の意見や希望を表現できる環境を構成すること

☐ 視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどの多様な手段を用い、こどもたちが理解しやすい方法でコミュニケーションを図ること

☐ 保護者（障害のあるこどもの保護者だけでなく）との情報共有をおこなうこと

☐ 職員間の情報共有や連携をおこなうこと

☐ 障害のあるこどもを含む保育実践に有効な関係機関との連携すること

☐ 障害のあるこどもの保護者支援をおこなうこと

☐ 地域との連携・交流を図ること

☐ その他 具体的内容：

- IV 児童発達支援事業所等との併設・交流状況確認
1 児童発達支援事業所等との併設・交流に係る体制

Q16	SA	貴施設と併設している児童発達支援事業所等・施設の体制について回答ください。 【回答欄】
		<div>該当する数字をフルダウで選択してください</div> <div><div><input type="radio"/>1</div>設備を共用している</div> <div><div><input type="radio"/>2</div>人員を兼務している</div> <div><div><input type="radio"/>3</div>設備を共用しつつ人員を兼務している</div> <div><div><input type="radio"/>4</div>設備の共用・人員の兼務をいずれもしていない</div> <div><div><input type="radio"/>5</div>その他 具体的内容： <div></div></div>

Q17	MA	貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と共用している貴施設の設備について回答ください。 あてはまるものすべてお選びください。 【回答欄】
		<div>該当する項目について、フルダウで「○」を選択してください</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>保育を行う専用の部屋（乳児室・ほふく室・保育室・遊戯室）</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>屋外遊技場</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>園庭</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>医務室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>調理室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>お手洗い</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>消化器具、非常口、その他非常災害に必要な設備</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>その他 具体的内容： <div></div></div>

Q18	MA	貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と共用している児童発達支援事業所等の設備について回答ください。 あてはまるものすべてお選びください。 【回答欄】
		<div>該当する項目について、フルダウで「○」を選択してください</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>指導訓練室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>遊戯室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>屋外遊技場</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>医務室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>相談室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>調理室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>静養室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>聴力検査室</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>発達支援に必要な設備・備品</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>消化設備その他非常災害に際して必要な設備</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>その他 具体的内容： <div></div></div>

Q19	MA	貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と兼務している貴施設の人員について回答ください。 あてはまるものすべてお選びください。 【回答欄】
		<div>該当する項目について、フルダウで「○」を選択してください</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>保育士</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>家庭的保育者</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>嘱託医</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>調理員</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>その他 具体的内容： <div></div></div>

Q20	MA	貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と兼務している児童発達相談支援事業所の人員について回答ください。 あてはまるものすべてお選びください。 【回答欄】
		<div>該当する項目について、フルダウで「○」を選択してください</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>保育士</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>児童指導員</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>作業療法士</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>理学療法士</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>言語聴覚士</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>公認心理師</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>看護師</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>管理栄養士・栄養士</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>調理員</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>児童発達支援管理責任者</div> <div><div><input type="checkbox"/></div>その他 具体的内容： <div></div></div>

回答者：Q2=2-4「児童発達支援事業所等を設置している」
2 児童発達支援事業所との交流状況

Q21

MA

貴施設が、併設している児童発達支援事業所等の職員や業務内容について理解を深める取り組みについて回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
児童発達支援事業所等で活用するガイドライン等について把握している
児童発達支援事業所等の研修に参加している
児童発達支援事業所等のミーティング等に参加している
児童発達支援事業所等の支援計画の内容を把握している
児童発達支援事業所等のこどもの支援計画の作成について助言している
お互いの業務を見学し、保育および障害児支援におけるこどもへの関わりについて理解を深めている
その他 具体的内容：

回答者：Q2=2-4「児童発達支援事業所等を設置している」
Q22 MA 児童発達支援事業等との併設・交流によるインクルーシブな保育を行うために工夫している点を回答ください。
※ 本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。
あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
児童発達支援事業所等の職員と手引やマニュアルを作成した
児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わりの方針について共通理解がある
園の指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している
在園児の個別指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している
保育内容の検討の際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している
児童発達支援事業所等の職員と一緒に保育実践をしている
障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している
その他 具体的内容：

回答者：Q2=2-4「児童発達支援事業所等を設置している」
Q23 FA 児童発達支援事業等との併設・交流を図るため、設備の共用・人員の兼務等について工夫している点をご記載ください。

任意

回答者：Q2=2-4「児童発達支援事業所等を設置している」
Q24 SA 併設している児童発達支援事業所等に通うこどもと交流を図っているか回答ください。
※ 本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。

【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
○1 交流をしている
○2 交流をしていない

回答者：Q24=1「交流をしている」
Q25 SA 併設している児童発達支援事業所等に通うこどもとどのような交流を図っているか回答ください。

【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
○1 日常的に一緒に保育を行う等の交流がある
○2 行事ごと等の特定の機会にのみ交流している
○3 その他 具体的内容：

回答者：Q24=1「交流をしている」
Q26 SA 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、こどもに変化があると感じるか回答ください。

【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
○1 変化を感じている
○2 変化を感じていない

回答者：Q26=1「変化を感じている」
Q27 FA 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、こどもにどのような変化が見られたかをご記載ください。（障害のあるこども・ないこどもそれぞれについてご記載ください）

任意

回答者：Q24=1「交流をしている」
Q28 FA 保育所等と児童発達支援事業所等が併設されることにより保育所等に求められることをご記載ください。

任意

回答者：Q24=1「交流をしている」
Q29 FA 保育所等の支援について児童発達支援事業所等の専門性を活かしていることがあればご記載ください。

任意

回答者：Q24=1「交流をしている」
Q30 SA 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、職員に変化があると感じるか回答ください。

【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
○1 変化を感じている
○2 変化を感じていない

回答者：Q30=1「変化を感じている」
Q31 FA 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、職員にどのような変化が見られたかをご記載ください。

任意

回答者：Q24=1「交流をしている」
Q32 FA 児童発達支援事業等との併設・交流を行う上で、課題等があればご記載ください。

任意

回答者：Q2=2-4「児童発達支援事業所等を設置している」
3 児童発達支援事業所等を併設する保育所等における並行通園の現状

Q33

NUM

貴施設に在園する障害のあるこどものうち併行通園をしているこどもの人数を回答ください。

併設している児童発達支援事業所等に並行通園しているこども		人	※必須 / 半角数字のみ (0以上)
他の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園しているこども		人	※必須 / 半角数字のみ (0以上)
併行通園していないこども		人	※必須 / 半角数字のみ (0以上)
把握していないこども		人	※必須 / 半角数字のみ (0以上)

回答者：Q33=「他の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園しているこども」がいる
Q34 MA 併設している児童発達支援事業所等以外の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園しているこどもについて、その理由を回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
併設している児童発達支援事業等が満足員であるため
併設している児童発達支援事業所等で対応できない障害種別であるため
こども・保護者の希望
その他 具体的内容：

回答者：Q33=「併設している児童発達支援事業所等に並行通園しているこども」又は「他の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園しているこども」がいる
Q35 SA 並行通園しているこどもについて、並行通園先との使い分けを回答ください。

【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
○1 1日の中で保育所等と児童発達支援事業所等の利用時間を分けている
○2 曜日などによって日ごとに保育所等と児童発達支援事業所等の利用日を分けている
○3 こどもの状態や特性に応じて利用時間・利用日を決めている。（決まった使い分けはなく不規則である）
○4 その他 具体的内容：

V 外部支援の導入状況確認について（巡回支援等）
1自治体の事業として実施している外部支援導入状況

Q36

MA

貴施設における専門職による外部支援の導入状況について回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
児童発達支援事業所等の職員による巡回支援を導入している
医療機関や訪問看護ステーションの看護師等による巡回支援を導入している
巡回支援専門員による巡回支援を導入している
その他 具体的内容：
導入していない

Q37_1

MA

貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種を回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
医師
看護師
准看護師
助産師
保健師
児童指導員
保育士
公認心理師、臨床心理士
作業療法士
理学療法士
言語聴覚士
介護福祉士
手話通訳士
管理栄養士・栄養士
その他 具体的内容：

Q37_2

NUM

貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

医師	人	※半角数字のみ（1以上）
看護師	人	※半角数字のみ（1以上）
准看護師	人	※半角数字のみ（1以上）
助産師	人	※半角数字のみ（1以上）
保健師	人	※半角数字のみ（1以上）
児童指導員	人	※半角数字のみ（1以上）
保育士	人	※半角数字のみ（1以上）
公認心理師、臨床心理士	人	※半角数字のみ（1以上）
作業療法士	人	※半角数字のみ（1以上）
理学療法士	人	※半角数字のみ（1以上）
言語聴覚士	人	※半角数字のみ（1以上）
介護福祉士	人	※半角数字のみ（1以上）
手話通訳士	人	※半角数字のみ（1以上）
管理栄養士・栄養士	人	※半角数字のみ（1以上）
その他	人	※半角数字のみ（1以上）

Q37_3

NUM

貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。
※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください

医師	回	※半角数字のみ（1以上）
看護師	回	※半角数字のみ（1以上）
准看護師	回	※半角数字のみ（1以上）
助産師	回	※半角数字のみ（1以上）
保健師	回	※半角数字のみ（1以上）
児童指導員	回	※半角数字のみ（1以上）
保育士	回	※半角数字のみ（1以上）
公認心理師、臨床心理士	回	※半角数字のみ（1以上）
作業療法士	回	※半角数字のみ（1以上）
理学療法士	回	※半角数字のみ（1以上）
言語聴覚士	回	※半角数字のみ（1以上）
介護福祉士	回	※半角数字のみ（1以上）
手話通訳士	回	※半角数字のみ（1以上）
管理栄養士・栄養士	回	※半角数字のみ（1以上）
その他	回	※半角数字のみ（1以上）

Q38_1

MAMT

貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。
該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

	障害児 (障害児以外)	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他 記述
	1	2	3	4	5
Q38_1.1	医師 →				
Q38_1.2	看護師 →				
Q38_1.3	准看護師 →				
Q38_1.4	助産師 →				
Q38_1.5	保健師 →				
Q38_1.6	児童指導員 →				
Q38_1.7	保育士 →				
Q38_1.8	公認心理師、臨床心理士 →				
Q38_1.9	作業療法士 →				
Q38_1.10	理学療法士 →				
Q38_1.11	言語聴覚士 →				
Q38_1.12	介護福祉士 →				
Q38_1.13	手話通訳士 →				
Q38_1.14	管理栄養士・栄養士 →				
Q38_1.15	その他 →				

Q39

FA

貴施設においてインクルーシブな保育を実践するために、外部支援を導入している場合について、外部専門職の役割をご記入ください。

医師 例）職員に対する児童の健康管理に係るアドバイス 例）職員に対する児童の健康管理に係るアドバイス	
看護師 例）こども（医療的ケア児）に対する医療的ケア	
准看護師 例）こども（医療的ケア児）に対する医療的ケア	
助産師 例）こども（医療的ケア児）に対する医療的ケア	
保健師 例）こどもに対する健康管理	
児童指導員 例）職員に対する個別指導計画作成に係るアドバイス	
保育士 例）職員に対する保育に係るアドバイス	
公認心理師、臨床心理士 例）こどもに対する知能検査の実施	
作業療法士 例）保育の遊びの中にこどもへの動作の訓練を組み込む等によるリハビリ	
理学療法士 例）こどもの身体機能の確認およびリハビリの提供、保育所における遊び方へのアドバイス	
言語聴覚士 例）こどもに対する話す・聞くための訓練	
介護福祉士 例）こどもに対するケア・介護	
手話通訳士 例）聴覚障害児への手話指導	
管理栄養士・栄養士 例）こどもの食形態に合わせた食事の提供	
その他	

回答者：全員

VI インクルーシブな保育の状態を実現するための保育実践状況

1 インクルーシブな保育の状態を実現するための保育提供の基礎として実施していること

1 組織的観点（理念や方針）

Q40

SAMT

保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている	
		1	2	3	4	【回答欄】
Q40_1	園においてインクルーシブな保育実践のための理念や方針を示している	→	○	○	○	該当する数字をプルダウンで選択
Q40_2	園においてインクルーシブな保育について検討する体制がある	→	○	○	○	
Q40_3	多様性を受け入れることの主体性を尊重する文化を醸成することにより、理念や方針について保育士一人ひとりの理解や共感を得ている	→	○	○	○	
Q40_4	インクルーシブな保育について理解を深める取組等により、理念や方針について保護者や関係者の理解や共感を得ている	→	○	○	○	
Q40_5	専門家や関係機関と連携し、インクルーシブな保育の在り方について検討する体制がある	→	○	○	○	
Q40_6	子どもや保護者の意見を受け入れて、インクルーシブな保育の方針を検討する体制がある	→	○	○	○	

1問

回答者：全員

Q41

SAMT

すべての子どもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている	
		1	2	3	4	【回答欄】
Q41_1	障害のある子どもない子どもも健康及び安全に生活し、自らの意思で自由に活動できる環境を整えている	→	○	○	○	該当する数字をプルダウンで選択
Q41_2	障害のある子どもない子どもも想定した災害への備えをしている	→	○	○	○	
Q41_3	専門家や関係機関等の専門的な知見を踏まえて、障害のある子どもない子どもと一緒に過ごす環境を検討している	→	○	○	○	
Q41_4	保育所等の施設整備（バリアフリー等）により、障害のある子どもない子どもと一緒に過ごす環境を整えている	→	○	○	○	
Q41_5	子どもの特性に応じた遊具や機器を導入し、障害のある子どもない子どもと一緒に遊ぶ工夫をしている	→	○	○	○	
Q41_6	子どもの特性に応じた移動の支援（福祉車両の活用、遠足等へ看護師が同行等）を行い、障害のある子どもない子どもが安全で自由に移動できる体制を整えている	→	○	○	○	
Q41_7	明るさ・温度・湿度・音等に配慮することにより、障害のある子どもない子どもが安全・安心に過ごす環境を整えている	→	○	○	○	
Q41_8	関係機関と連携を図り、平常時からの障害のある子どもない子どもの危機管理体制を整えている	→	○	○	○	
Q41_9	個別避難計画の策定や医療的ケア児のための電源確保を行う等、障害のある子どもない子どもの災害への備えをおこなっている	→	○	○	○	

回答者：全員

2 インクルーシブな保育の状態を実現するための保育実践として実施していること

3 保育計画及び評価の観点

Q42

SAMT

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている		
		1	2	3	4	【回答欄】	
Q42_1	障害のある子どもない子どもの育ちを支えるための研修の充実等により職員の資質及び専門性の向上を図っている	→	○	○	○	該当する数字をプルダウンで選択	
Q42_2	専門職（作業療法士、公認心理師等）による支援が充実している	→	○	○	○		
Q42_3	保育士等の加配により、子ども一人一人の発達過程や障害の状態を適切に把握している	→	○	○	○		
Q42_4	研修、実習等によりインクルーシブな保育についての理念や実践方法についての保育士等の知識・技能の向上を図っている	→	○	○	○		
Q42_5	インクルーシブ保育の優良事例と考える園を視察する等、他園から保育の工夫を学び、実践している	→	○	○	○		
Q42_6	児童発達支援事業所等の専門機関の研修を受講する等、保育士等の専門性の向上を図っている	→	○	○	○		
Q42_7	知識・技能・経験等のある保育士等が園内や他園にそれらを共有し、他の保育士等の知識・技能の向上を図っている	→	○	○	○		
Q42_8	保育士等の喀痰吸引等研修の受講を推奨し、医療的ケアに関する専門性の向上を図っている	→	○	○	○		
Q42_9	看護師等の配置や巡回支援により、子どもの健康状態に応じた医療的ケアの提供がおこなわれている	→	○	○	○		
Q42_10	専門職の配置や巡回支援により、子どもの障害特性、発達状況に応じた専門的な支援がおこなわれている（例：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等）	→	○	○	○		
Q42_11	心理職の配置や巡回支援により、子どもの様子や状況に応じた専門的な支援がおこなわれている（例：公認心理師、臨床心理士等）	→	○	○	○		

回答者：全員

4 保育の内容の観点

Q43

SAMT

子ども一人一人に応じた保育内容を実践し、子どもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている	
		1	2	3	4	【回答欄】
Q43_1	障害のある子どもない子どもを指導計画の中に位置づけ、包括する保育内容を検討している	→	○	○	○	該当する数字をプルダウンで選択
Q43_2	障害のある子どもない子どもがまわりとの関わりの中で、愛情や信頼感を持ち、自己を十分に発揮できている	→	○	○	○	
Q43_3	障害のある子どもない子どもが生活を通して共に成長するインクルーシブな状態を想定し、園の指導計画の作成をおこなっている	→	○	○	○	
Q43_4	保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて園の指導計画を作成をおこなっている	→	○	○	○	
Q43_5	保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて個別の指導計画を作成をおこなっている	→	○	○	○	
Q43_6	児童発達支援事業所等の専門機関の支援内容について理解を深め、専門機関の支援内容を指導計画に反映させている	→	○	○	○	
Q43_7	外部の専門機関・専門職を交えたカンファレンス等により、保育内容の評価をおこなっている	→	○	○	○	
Q43_8	子どもの日々の様子を観察・記録し、障害のある子どもない子どもの日常の様子を踏まえて計画の改善をおこなっている	→	○	○	○	
Q43_9	保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて計画の見直しをおこなっている	→	○	○	○	
Q43_10	第三者評価を受け、保育の見直しをおこなっている	→	○	○	○	
Q43_11	障害のある子どもない子どもが共に活動しながら、それぞれの能力・資質を伸ばし、興味関心を広げられる保育内容となっている	→	○	○	○	
Q43_12	障害のある子どもない子どもが自分の意思やペースに合わせて自己決定、自己選択できる保育内容となっている	→	○	○	○	
Q43_13	合理的配慮のもと、障害のある子どもない子どもと一緒に成長する体験をできるように、柔軟で多様な活動を取り入れたものとなっている	→	○	○	○	
Q43_14	障害のある子どもない子どもと一緒に行事（発表会・遠足・運動会等）に参加している	→	○	○	○	
Q43_15	障害のある子どもない子どもが十分に主体性を発揮できるよう保育士等が多様な方法で援助をおこなっている	→	○	○	○	
Q43_16	集団の状況を把握し、子どもの関係や役割・立場を調整する等、障害のある子どもない子どもにとって集団としての活動が充実感の得られるものとなるよう工夫している	→	○	○	○	
Q43_17	言葉だけでなく、視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどを多様なコミュニケーション手段を用いて、障害のある子どもない子どもが理解しやすい方法で応答的にコミュニケーションが行われている	→	○	○	○	
Q43_18	保育士等が子どもの心を受け止め、障害のある子どもない子どもが安心して伸び伸びと意見や感情を表現できる環境となっている	→	○	○	○	

回答者：全員

5 連携の観点

Q44

SAMT

保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている	
		1	2	3	4	【回答欄】
Q44_1	保育所内のコミュニケーションがおこなわれて情報が適切に共有されているか	→	○	○	○	該当する数字をプルダウンで選択
Q44_2	保育所外の関係機関と子どもの状況や発達過程を共有し、互いの専門性を活かした支援をおこなっているか	→	○	○	○	
Q44_3	全職員の円滑なコミュニケーションを促進し、適切・迅速な情報共有がおこなわれている	→	○	○	○	
Q44_4	定期的にミーティングの機会を設ける等により、職員間の保育の工夫を共有することによる学び合いの基盤をつくっている	→	○	○	○	
Q44_5	保護者や家庭と連携し、保育所等における子どもの様子や家庭における子どもの生活状況を伝え合うことができる	→	○	○	○	
Q44_6	医療、福祉、保育、教育などの専門機関との連携を強化し、子どもの発達や健康に関する情報を共有しながら、包括的な支援をおこなっている	→	○	○	○	
Q44_7	市町村・保護者・関係機関等と連携して子どもの発達について協議の上、環境面の配慮や援助の工夫等を明確化して、保育要録等で就学先に伝えている	→	○	○	○	
Q44_8	市町村・保護者・関係機関等と連携して、小学校等と話し合いや視察の機会をもつ等、障害のある子どもの就学後まで見通した支援をおこなっている	→	○	○	○	

回答者：全員

6 保護者支援・地域支援の観点

Q45

SAMT

保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている	
		1	2	3	4	【回答欄】
Q44_1	保護者や地域との継続的な対話や関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所づくりをおこなっている	→	○	○	○	該当する数字をプルダウンで選択
Q44_2	保護者への支援により、保護者や家庭とともに子どもの育ちを支えている	→	○	○	○	
Q44_3	保護者と面談の機会を持つ等により、保護者の抱えてきた悩みや不安などを理解し支える取組をおこなっている	→	○	○	○	
Q44_4	専門職（障害児支援や心理職等）を交えた保護者支援の実施により、子どもの発達状況、家庭の状況等への専門的な知見を交えた支援をおこなっている	→	○	○	○	
Q44_5	保護者・家庭との継続的な対話により、家庭環境や育児の状況を共有し、家庭と連携・協力しながら子どものニーズに応じた支援を一貫して提供している	→	○	○	○	
Q44_6	園と保護者・家庭においてオープンな対話を促進することにより、意見や感情を自由に表現できる環境を整えている	→	○	○	○	
Q44_7	地域の小中学生や高齢者との交流の機会を設ける等により、地域の様々な人や場と連携・交流し、園の取組を知っていただいている	→	○	○	○	
Q44_8	地域の関係機関と連携する等により、障害のある子ども等が、卒園後も引き続き適切な支援を受けられるように取り組んでいる	→	○	○	○	

回答者：全員

3

インクルーシブな保育を実践することによる効果や課題について

Q46

MA

保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化について、回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】

該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

障害のあるこどもの成長

障害のあるこども以外のこどもの成長（思いやりの心を醸成する等）

保育士等の専門性の向上

保護者における多様性に対する理解の向上

障害の有無等によって分け隔でられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の基盤づくりになる

その他（

回答者：全員

Q47

FA

保育をインクルーシブな状態にするための課題としてどのようなものがあると考えますか。

任意

回答者：全員

Q48

FA

保育をインクルーシブな状態にするために、市区町村や国に対して求める支援としてどのようなものがありますか。

任意

VII ヒアリングへのご協力可否について

回答者：全員

VII

ヒアリングへのご協力可否について

Q49

SA

本調査研究では、アンケートにご協力いただいた施設の中から、インクルーシブな保育の実施状況に係るヒアリング（オンラインにより1時間程度、1～2月頃実施予定。）をお願いしたいと考えています。
ヒアリング結果は、本調査研究の成果としてとりまとめる事例集に記載させていただく可能性がございます。
以下の項目から1つ選択してください。条件による場合には、具体的な内容をご記入ください。

【回答欄】

該当する数字をプルダウンで選択してください

○1

協力できる

○2

協力できない

○3

その他

具体的な内容：

10

Appendix（２）インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査（自治体票）

回答者：全員

S1

【ご回答いただくにあたっての留意事項】

各設問において回答した選択肢により、WEB画面上では表示されない設問がありますが、本アンケート調査票では、すべての設問と選択肢を記載しています。

本調査における「障害児」の範囲は以下のとおりです。

○次の判定を受けたことも

- ・視覚障害
- ・聴覚障害
- ・言語障害
- ・肢体不自由
- ・知的障害
- ・病弱・虚弱
- ・発達障害
- ・精神障害（発達障害以外）
- ・医療的ケア児（障害判定されていない医療的ケア児も含む）

○市区町村において障害児または障害児と同等の支援を必要とするこどもとして支援対象となっているこども（※障害児は、保護者からの障害児保育の支援申請を受けていないこどもを含む）

○「気になる子」

・特定の判定は受けていないが発達上の特性から保育所等の生活において困難を抱えており、特別な支援が必要と考えられるこども

本調査において、特に指定がない限り、人員や児童の人数等については令和6年4月1日時点のものを回答ください。

本調査において、児童発達支援事業所等は以下の施設を指します。

- ・児童発達支援事業所
- ・児童発達支援センター

調査票の内容を先に確認したい場合は、本ページ下部にある調査票PDFでご確認ください。

ご回答は、30分程度を要する想定です。

なお、調査票PDFを印刷や保存する場合は、ブラウザのメニューから印刷もしくは保存を行うか、印刷の場合はCtrl（コントロールキー）を押しながらP、保存の場合はCtrlを押しながらSを押して行ってください。

ご回答いただいた内容が最後に一覧で表示されますので、回答内容をご確認ください。

その際、修正したい箇所が生じた場合には、その一覧から該当ページにジャンプするか、戻るボタンを使用して修正が可能です。

最後に表示される回答内容の一覧をご確認後、「完了」のボタンを押すと調査が終了します。

回答内容を印刷もしくは保存する場合には、「完了」のボタンを押す前に、回答内容一覧ページの印刷や保存を行ってください。

（ブラウザのメニューから印刷もしくは保存を行うか、印刷の場合はCtrl（コントロールキー）を押しながらP、保存の場合はCtrlを押しながらSを押して行ってください）

回答者：全員

Q1

FA

I 基本情報

貴自治体名をご回答ください。

※市区町村コードは下記のURLをご参照ください。

<https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html>

Q1_1

市区町村コード

※必須 / 半角数字のみ

Q1_2

都道府県

必須

Q1_3

市区町村

必須

Q2

FA

回答者の所属課／役職をご回答ください。

Q2_1

所属課

必須

Q2_2

役職

必須

回答者：全員

Q3_1

NUM

貴自治体内の公立施設の全施設数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。

（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

（※3）施設はあるが数値を把握していない場合は、99999とご入力ください。

（※4）施設がない場合は0とご入力ください。

公立（施設数）

認可保育所

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

認定こども園（※2）

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

家庭的保育事業所

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

小規模保育事業所

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

事業所内保育事業

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q3_2

NUM

貴自治体内の公立施設の定員数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。

（※1）定員数は弾力定員（令和6年4月の入園における利用調整において用いた定員）をご回答ください。

（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

（※3）定員はあるが数値を把握していない場合は、99999とご入力ください。

（※4）定員がない場合は0とご入力ください。

公立（定員数）（※1）

認可保育所

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

認定こども園（※2）

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

家庭的保育事業所

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

小規模保育事業所

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

事業所内保育事業

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q3_3

NUM

貴自治体内の公立施設の障害児受け入れ施設等数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。

（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

（※3）施設はあるが数値を把握していない場合は、99999とご入力ください。

（※4）施設がない場合は0とご入力ください。

公立（障害児受け入れ施設数）

認可保育所

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

認定こども園（※2）

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

家庭的保育事業所

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

小規模保育事業所

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

事業所内保育事業

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q3_4

NUM

貴自治体内の公立施設で受け入れている障害児の実人数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。

（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

（※3）障害児はいるが数値を把握していない場合は、99999とご入力ください。

（※4）障害児がいない場合は0とご入力ください。

公立（障害児受け入れ実数）

認可保育所

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

認定こども園（※2）

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

家庭的保育事業所

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

小規模保育事業所

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

事業所内保育事業

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Q3_5 NUM 貴自治体内の私立施設の全施設数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。
（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。
（※3）施設はあるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。
（※4）施設がない場合は0とご入力ください。

私立（施設数）

認可保育所	
認定こども園（※2）	
家庭的保育事業所	
小規模保育事業所	
事業所内保育事業	

※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q3_6 NUM 貴自治体内の私立施設の定員数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。
（※1）定員数は弾力定員（令和6年4月の入園における利用調整において用いた定員）をご回答ください。
（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。
（※3）定員はあるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。
（※4）定員がない場合は0とご入力ください。

私立（定員数）（※1）

認可保育所		人
認定こども園（※2）		人
家庭的保育事業所		人
小規模保育事業所		人
事業所内保育事業		人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q3_7 NUM 貴自治体内の私立施設の障害児受け入れ施設等数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。
（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。
（※3）施設はあるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。
（※4）施設がない場合は0とご入力ください。

私立（障害児受け入れ施設数）

認可保育所	
認定こども園（※2）	
家庭的保育事業所	
小規模保育事業所	
事業所内保育事業	

※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q3_8 NUM 貴自治体内の私立施設で受け入れている障害児の実人数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。
（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。
（※3）障害児はあるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。
（※4）障害児がない場合は0とご入力ください。

私立（障害児受け入れ実数）

認可保育所		人
認定こども園（※2）		人
家庭的保育事業所		人
小規模保育事業所		人
事業所内保育事業		人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Q4_1 NUM 貴自治体内の公設公営の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。
※施設はあるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。
※施設がない場合は0とご入力ください。

公設公営（施設数）

児童発達支援事業所	
児童発達支援センター	

※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q4_2 NUM 貴自治体内の公設民営の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。
※施設はあるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。
※施設がない場合は0とご入力ください。

公設民営（施設数）

児童発達支援事業所	
児童発達支援センター	

※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）

Q4_3 NUM 貴自治体内の民間の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。
※施設はあるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。
※施設がない場合は0とご入力ください。

民間（施設数）

児童発達支援事業所	
児童発達支援センター	

※必須 / 半角数字のみ（0以上）
※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

- II 障害児の受入れについて
1 障害児の受入れについて

回答者：全員

Q5 MA 障害児とその保護者の意向について把握している内容をご回答ください。
あてはまるものすべてをお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、フルダウで「○」を選択してください
保育所等において個別の配慮を希望せず、障害の有無に関わらず一緒に保育を行うことを希望する
保育所等において障害の有無に関わらず一緒に保育するだけでなく、保育士との個別の関わりも充実させて欲しい
保育所等において障害の有無に関わらず一緒に保育するだけでなく、作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）も充実させて欲しい
保育所等に児童発達支援事業所等が併設されている環境で、日常的に作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）をして欲しい
保育所等と児童発達支援事業所等の連携体制があり、必要に応じて作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）をして欲しい
保育所等と児童発達支援事業所等が併設されている環境で、施設間における日常的なこどもの交流を希望する
保育所等と児童発達支援事業所等の連携体制があり、行事ごと等の機会においてこどもの交流を希望する
その他 具体的内容：

回答者：Q5=1on「区別のない保育を希望」

Q6 FA 貴自治体が把握している「保育所等において個別の配慮を希望せず、障害の有無に関わらず一緒に保育を行うことを希望する理由」をご回答ください。
任意

回答者：Q5=2on「区別のない保育、保育士との個別の関わりを希望」

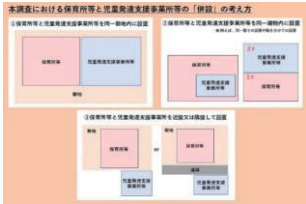
Q7 FA 貴自治体が把握している「保育所等において障害の有無に関わらず一緒に保育するだけでなく、保育士との個別の関わりも充実させて欲しい理由」をご回答ください。
任意

回答者：Q5=3on「区別のない保育、障害特性支援を希望」

Q8 FA 貴自治体が把握している「保育所等において障害の有無に関わらず一緒に保育するだけでなく、作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）も充実させて欲しい理由」をご回答ください。
任意

回答者：全員

Q9 MA 貴自治体における保育所等の入所調整時等において、障害児とその保護者の意向について把握している内容をご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。



【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
あてはまるものすべてをお選びください。

- | | |
|--|---|
| | 保育所等と児童発達支援事業所等が併設されている環境において、併設された児童発達支援事業所等への併行通園を希望する |
| | 通園する保育所等とは別の（併設されていない）児童発達支援事業所等への併行通園を希望する |
| | 保育所等において作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）を希望する（児童発達支援事業所等の療育機関へは通わない） |
| | 保育所等への通園のみを希望する（児童発達支援事業所等の療育機関へは通わない） |
| | わからない |

回答者：Q9=1on「併設された児童発達支援事業所等への併行通園を希望」

Q10 FA 貴自治体が把握している「保育所等と児童発達支援事業所等が併設されている環境において、併設された児童発達支援事業所等への併行通園を希望する理由」をご回答ください。

任意

回答者：Q9=2on「併設されていない児童発達支援事業所等への併行通園を希望」

Q11 FA 貴自治体が把握している「通園する保育所等とは別の（併設されていない）児童発達支援事業所等への併行通園を希望する理由」をご回答ください。

任意

回答者：Q9=3on「保育所等において作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）を希望」

Q12 FA 貴自治体が把握している「保育所等において作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）を希望する（児童発達支援事業所等の療育機関へは通わない）理由」をご回答ください。

任意

回答者：Q9=4on「保育所等への通園のみを希望する」

Q13 FA 貴自治体が把握している「保育所等への通園のみを希望（児童発達支援事業所等の療育機関へは通わない）する理由」をご回答ください。

任意

回答者：全員

Q14 SA 貴自治体において、障害児の入園にあたり専門職等による検討会を実施しているか、ご回答ください。

- 【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
- | | |
|----------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> 1 | 実施している |
| <input type="checkbox"/> 2 | 実施していない |

回答者：Q14=1on「実施している」

Q15 MA 貴自治体の検討会の参加者についてあてはまる方をすべてご回答ください。

【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 自治体職員 |
| <input type="checkbox"/> | 保育所等の園長・保育士等の職員 |
| <input type="checkbox"/> | 児童発達支援事業所等の児童指導員・保育士等の職員 |
| <input type="checkbox"/> | 医師 |
| <input type="checkbox"/> | 看護師等 |
| <input type="checkbox"/> | 機能訓練担当職員（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等） |
| <input type="checkbox"/> | 公認心理師、臨床心理士 |
| <input type="checkbox"/> | 教育委員会職員 |
| <input type="checkbox"/> | その他 具体的内容： <div></div> |

回答者：全員

Q16_1 NUM 管内の保育所等で受入れている0歳の障害児の実数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）

※0歳の障害児がいない場合は0とご入力ください。
※障害児がいるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。

人 ※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q16_1=1以上「保育所等で受入れている0歳の障害児がいる」

Q16_2 SA 管内の保育所等で受入れている0歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和6年4月1日時点）

- 【回答欄】 該当する数字をプルダウンで選択してください
- | | |
|----------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> 1 | 把握している |
| <input type="checkbox"/> 2 | 把握していない |

回答者：Q16_2=1「0歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握している」

Q16_3 NUM 管内の保育所等で受入れている0歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

※把握していない数値については、9999とご入力ください。
※該当する障害種別の障害児がいない場合は0とご入力ください。

視覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※ 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※ 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※ 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※ 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※ 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Q16_4

NUM

管内の保育所等で受入れている1歳の障害児の実数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）
※1歳の障害児がいない場合は0とご入力ください。
※障害児がいるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q16_4=1以上「保育所等で受入れている1歳の障害児がいる」

Q16_5

SA

管内の保育所等で受入れている1歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和6年4月1日時点）
【回答欄】

該当する数字をプルダウンで選択してください

☐1

把握している

☐2

把握していない

回答者：Q16_5=1「1歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握している」

Q16_6

NUM

管内の保育所等で受入れている1歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。
※把握していない数値については、9999とご入力ください。
※該当する障害種別の障害児がいない場合は0とご入力ください。

視覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※ 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※ 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※ 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※ 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※ 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Q16_7

NUM

管内の保育所等で受入れている2歳の障害児の実数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）
※2歳の障害児がいない場合は0とご入力ください。
※障害児がいるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q16_7=1以上「保育所等で受入れている2歳の障害児がいる」

Q16_8

SA

管内の保育所等で受入れている2歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和6年4月1日時点）
【回答欄】

該当する数字をプルダウンで選択してください

☐1

把握している

☐2

把握していない

回答者：Q16_8=1「2歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握している」

Q16_9

NUM

管内の保育所等で受入れている2歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。
※把握していない数値については、9999とご入力ください。
※該当する障害種別の障害児がいない場合は0とご入力ください。

視覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※ 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※ 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※ 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※ 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※ 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Q16_10

NUM

管内の保育所等で受入れている3歳の障害児の実数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）
※3歳の障害児がいない場合は0とご入力ください。
※障害児がいるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q16_10=1以上「保育所等で受入れている3歳の障害児がいる」

Q16_11

SA

管内の保育所等で受入れている3歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和6年4月1日時点）
【回答欄】

該当する数字をプルダウンで選択してください

☐1

把握している

☐2

把握していない

回答者：Q16_11=1「3歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握している」

Q16_12

NUM

管内の保育所等で受入れている3歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。
※把握していない数値については、9999とご入力ください。
※該当する障害種別の障害児がいない場合は0とご入力ください。

視覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
言語障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由		人	※ 半角数字のみ（0以上）
知的障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱		人	※ 半角数字のみ（0以上）
発達障害		人	※ 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）		人	※ 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児		人	※ 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」		人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他		人	※ 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Q16_13

NUM

管内の保育所等で受入れている4歳の障害児の実数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）
※4歳の障害児がいない場合は0とご入力ください。
※障害児がいるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。

人

※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q16_13=1以上「保育所等で受入れている4歳の障害児がいる」

Q16_14 SA 管内の保育所等で受入れている4歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和6年4月1日時点）

【回答欄】

該当する数字をプルダウンで選択してください

☐1

把握している

☐2

把握していない

回答者：Q16_14=1「4歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握している」

Q16_15 NUM 管内の保育所等で受入れている4歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

※把握していない数値については、9999とご入力ください。

※該当する障害種別の障害児がいない場合は0とご入力ください。

視覚障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
言語障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由	人	※ 半角数字のみ（0以上）
知的障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱	人	※ 半角数字のみ（0以上）
発達障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）	人	※ 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児	人	※ 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」	人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他	人	※ 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Q16_16 NUM 管内の保育所等で受入れている5歳の障害児の実数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）

※5歳児の障害児がいない場合は0とご入力ください。

※障害児がいるが数値を把握していない場合は、9999とご入力ください。

人 ※必須 / 半角数字のみ（0以上）

回答者：Q16_16=1以上「保育所等で受入れている5歳の障害児がいる」

Q16_17 SA 管内の保育所等で受入れている5歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和6年4月1日時点）

【回答欄】

該当する数字をプルダウンで選択してください

☐1

把握している

☐2

把握していない

回答者：Q16_17=1「5歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握している」

Q16_18 NUM 管内の保育所等で受入れている5歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

※把握していない数値については、9999とご入力ください。

※該当する障害種別の障害児がいない場合は0とご入力ください。

視覚障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
聴覚障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
言語障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
肢体不自由	人	※ 半角数字のみ（0以上）
知的障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
病弱・虚弱	人	※ 半角数字のみ（0以上）
発達障害	人	※ 半角数字のみ（0以上）
精神障害（発達障害以外）	人	※ 半角数字のみ（0以上）
医療的ケア児	人	※ 半角数字のみ（0以上）
「気になる子」	人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他	人	※ 半角数字のみ（0以上）

回答者：全員

Ⅲ インクルーシブな保育をどのように考えるか

1 「インクルーシブな保育の状態」について

Q17 FA 「インクルーシブな保育」とはどのような保育と考えますか。

必須

回答者：全員

Q18 MA 貴自治体が保育所等において「インクルーシブな保育」を実践するために必要と考えるもののうち、今後、取り組みたいと考えるものを5つまでお選びください。

【回答欄】 ※最大5 つまで回答（1 つ以上必須） 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

<input type="checkbox"/>	園や保護者の理解
<input type="checkbox"/>	児童発達支援事業所等との併設・交流による障害児支援との一体的な支援
<input type="checkbox"/>	障害のある子どもとない子どもの日常的な交流
<input type="checkbox"/>	保育士等の加配
<input type="checkbox"/>	作業療法士等の専門職の配置
<input type="checkbox"/>	公認心理師等の心理職の配置
<input type="checkbox"/>	こどもの状態や特性に応じた園全体の指導計画や個別の指導計画の策定
<input type="checkbox"/>	医療機関や児童発達支援事業所等の関係機関との連携
<input type="checkbox"/>	障害のあるこどもの受入れのための施設整備（バリアフリー等）
<input type="checkbox"/>	障害のあるこどもの受入れのための環境整備（研修受講等）
<input type="checkbox"/>	その他 具体的内容：

回答者：全員

Q19 FA 貴自治体が管内の保育所等においてインクルーシブな保育に取り組んでいると考える保育所等とその理由（具体的な取組や保育内容）をご回答ください。

任意

回答者：全員

Q20 FA 令和4年12月26日付で厚生労働省より「保育所等におけるインクルーシブ保育に関する留意事項等について（事務連絡）」の通知が発出されております。通知の趣旨を踏まえて新たに取り組んだことがあれば、ご回答ください。

任意

回答者：全員

Q21 FA インクルーシブな保育を推進するため、市区町村および保育所等に必要と考える支援があれば、ご回答ください。

任意

回答者：全員

Q22_1 MA 保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために日常的に配置を必要とする専門職についてあてはまるものすべてをお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

	医師
	看護師
	准看護師
	助産師
	保健師
	児童指導員
	公認心理師、臨床心理士等
	作業療法士
	理学療法士
	言語聴覚士
	介護福祉士
	手話通訳士
	栄養士・管理栄養士
	カウンセラー
	その他 具体的内容： <input type="text"/>
	必要とする専門職はない

回答者：Q22_1=1-15いずれかにon「日常的に配置を必要とする専門職がある」

Q22_2 NUM 保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために日常的に配置を必要とする専門職がいる場合、理由をご回答ください。

医師		任意
看護師		任意
准看護師		任意
助産師		任意
保健師		任意
児童指導員		任意
公認心理師、臨床心理士等		任意
作業療法士		任意
理学療法士		任意
言語聴覚士		任意
介護福祉士		任意
手話通訳士		任意
栄養士・管理栄養士		任意
カウンセラー		任意
その他		任意

回答者：全員

Q22_3 MA 貴自治体において、保育所等への各専門職の配置について、すでに実施している支援（財政措置等）の職種があるか、ご回答ください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

	医師
	看護師
	准看護師
	助産師
	保健師
	児童指導員
	公認心理師、臨床心理士等
	作業療法士
	理学療法士
	言語聴覚士
	介護福祉士
	手話通訳士
	栄養士・管理栄養士
	カウンセラー
	その他 具体的内容： <input type="text"/>
	実施している支援はない

回答者：Q22_3=1-15いずれかにon「すでに実施している支援がある」

Q22_4 NUM 各専門職の配置についてすでに実施している支援の内容をご回答ください。

医師	
看護師	
准看護師	
助産師	
保健師	
児童指導員	
公認心理師、臨床心理士等	
作業療法士	
理学療法士	
言語聴覚士	
介護福祉士	
手話通訳士	
栄養士・管理栄養士	
カウンセラー	
その他	

回答者：全員

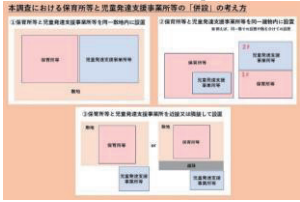
IV 保育所等と児童発達支援事業所等との併設について
1 管内の保育所等と児童発達支援事業所等との併設について

令和4年11月30日、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令（令和4年厚生労働省令第159号。）が公布され、令和5年4月1日より施行されました。
保育所等と児童発達支援事業所等の併設・交流についてお伺いします。

回答者：全員

Q24_1 SAMT

管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等を併設している保育所等について、併設している施設種別ごとに、該当する項目についてプルダウンで「○」を選択してください



	Q24_1_1 児童発達支援事業所	Q24_1_2 児童発達支援センターを併設している施設
1 併設していない		
2 1箇所		
3 2箇所		
4 3箇所		
5 4箇所		
6 5箇所以上		

回答者：Q24_1_1,Q24_1_2=いずれか2-6「併設している施設がある」

Q24_2 SAMT

管内保育所等のうち児童発達支援事業所等を併設している施設の名称を把握していますか。
該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

	把握している	把握していない	【回答欄】	該当する数字をプルダウンで選択してください
Q24_2_1	児童発達支援事業所を併設している保育所等	○	○	
Q24_2_2	児童発達支援センターを併設している保育所等	○	○	

回答者：Q24_2_1,Q24_2_2=いずれか1（児童発達支援事業所を併設している施設、児童発達支援センターを併設している施設いずれかの名称を把握している）

Q24_3 FA

管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等を併設している保育所等の名称をご回答ください。

※併設している施設が5か所以上ある場合は、5つまでご回答ください。

児童発達支援事業所を併設している保育所等1	
児童発達支援事業所を併設している保育所等2	
児童発達支援事業所を併設している保育所等3	
児童発達支援事業所を併設している保育所等4	
児童発達支援事業所を併設している保育所等5	
児童発達支援センターを併設している保育所等1	
児童発達支援センターを併設している保育所等2	
児童発達支援センターを併設している保育所等3	
児童発達支援センターを併設している保育所等4	
児童発達支援センターを併設している保育所等5	

回答者：Q24_2_1,Q24_2_2=いずれか1（児童発達支援事業所を併設している施設、児童発達支援センターを併設している施設いずれかの名称を把握している）

Q24_4 SAMT

管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等は、施設・設備を共用していますか。
該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

	共用している	共用していない	把握していない	【回答欄】	該当する数字をプルダウンで選択してください
Q24_4_1	児童発達支援事業所を併設している保育所等1	○	○	○	
Q24_4_2	児童発達支援事業所を併設している保育所等2	○	○	○	
Q24_4_3	児童発達支援事業所を併設している保育所等3	○	○	○	
Q24_4_4	児童発達支援事業所を併設している保育所等4	○	○	○	
Q24_4_5	児童発達支援事業所を併設している保育所等5	○	○	○	
Q24_4_6	児童発達支援センターを併設している保育所等1	○	○	○	
Q24_4_7	児童発達支援センターを併設している保育所等2	○	○	○	
Q24_4_8	児童発達支援センターを併設している保育所等3	○	○	○	
Q24_4_9	児童発達支援センターを併設している保育所等4	○	○	○	
Q24_4_10	児童発達支援センターを併設している保育所等5	○	○	○	

回答者：Q24_4_1-Q24_4_10=いずれか2「共有していない施設がある」

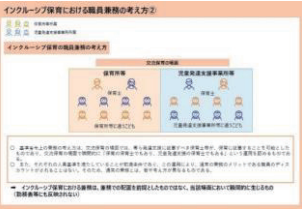
Q24_5 FA

管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等が、施設・設備の共用をしていない理由を教えてください。

児童発達支援事業所を併設している保育所等1		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等2		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等3		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等4		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等5		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等1		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等2		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等3		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等4		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等5		任意

回答者：Q24_2_1,Q24_2_2いずれか1（児童発達支援事業所を併設している施設、児童発達支援センターを併設している施設いずれかの名称を把握している）

Q24_6 SAMT 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等が、人員を兼務していますか。
※「図 インクルーシブ保育における職員兼務の考え方①」または「図 インクルーシブ保育における職員兼務の考え方②」に該当する場合、「兼務している」をお選びください。



該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください		兼務している	兼務していない	把握していない	【回答欄】	該当する数字をプルダウンで選択してください
		1	2	3		
Q24_6_1	児童発達支援事業所を併設している保育所等 1	○	○	○		
Q24_6_2	児童発達支援事業所を併設している保育所等 2	○	○	○		
Q24_6_3	児童発達支援事業所を併設している保育所等 3	○	○	○		
Q24_6_4	児童発達支援事業所を併設している保育所等 4	○	○	○		
Q24_6_5	児童発達支援事業所を併設している保育所等 5	○	○	○		
Q24_6_6	児童発達支援センターを併設している保育所等1	○	○	○		
Q24_6_7	児童発達支援センターを併設している保育所等2	○	○	○		
Q24_6_8	児童発達支援センターを併設している保育所等3	○	○	○		
Q24_6_9	児童発達支援センターを併設している保育所等4	○	○	○		
Q24_6_10	児童発達支援センターを併設している保育所等5	○	○	○		

回答者：Q24_6_1-Q24_6_10いずれか2「兼務していない施設がある」

Q24_7 FA 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等が、人員の兼務をしていない理由を教えてください。

児童発達支援事業所を併設している保育所等 1		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 2		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 3		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 4		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 5		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等1		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等2		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等3		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等4		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等5		任意

回答者：Q24_2_1,Q24_2_2いずれか1（児童発達支援事業所を併設している施設、児童発達支援センターを併設している施設いずれかの名称を把握している）

Q24_8 SAMT 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等は、施設間でこども同士の交流を図っていますか。
該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください		交流している	交流していない	把握していない	【回答欄】	該当する数字をプルダウンで選択してください
		1	2	3		
Q24_8_1	児童発達支援事業所を併設している保育所等 1	→	○	○		
Q24_8_2	児童発達支援事業所を併設している保育所等 2	→	○	○		
Q24_8_3	児童発達支援事業所を併設している保育所等 3	→	○	○		
Q24_8_4	児童発達支援事業所を併設している保育所等 4	→	○	○		
Q24_8_5	児童発達支援事業所を併設している保育所等 5	→	○	○		
Q24_8_6	児童発達支援センターを併設している保育所等1	→	○	○		
Q24_8_7	児童発達支援センターを併設している保育所等2	→	○	○		
Q24_8_8	児童発達支援センターを併設している保育所等3	→	○	○		
Q24_8_9	児童発達支援センターを併設している保育所等4	→	○	○		
Q24_8_10	児童発達支援センターを併設している保育所等5	→	○	○		

回答者：Q24_8_1-Q24_8_10いずれか2「こどもと交流していない施設がある」

Q24_9 FA 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等でもこども同士の交流を図っていない理由を教えてください。

児童発達支援事業所を併設している保育所等 1		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 2		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 3		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 4		任意
児童発達支援事業所を併設している保育所等 5		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等1		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等2		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等3		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等4		任意
児童発達支援センターを併設している保育所等5		任意

Q25 FA 貴自治体において、保育所等と児童発達支援事業所等の併設・交流にあたり必要となる支援があれば記載してください。

任意

V 外部支援の導入状況確認について（巡回支援等）
1 自治体の事業として実施している外部支援導入状況

Q26 MA 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために、導入している外部支援についてご回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

地域障害児支援体制強化事業（児童発達支援事業所等の職員による巡回支援）

医療的ケア児保育支援事業（看護師等による巡回支援）

上記事業以外の国の事業による巡回支援を導入

県の事業による巡回支援を導入

市町村において実施している巡回支援

その他 具体的内容：

実施していない

把握していない

回答者：Q26=いずれか1-6「管内保育所等において何らかの外部支援が導入されている」

Q27 MA 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援を行う専門職ごとの人数及び支援回数を把握していますか。把握している職種についてあてはまるものすべてお選びください。
あてはまるものすべてお選びください。

【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

医師

看護師

准看護師

助産師

保健師

児童指導員

保育士

公認心理師、臨床心理士等

作業療法士

理学療法士

言語聴覚士

介護福祉士

手話通訳士

栄養士・管理栄養士

カウンセラー

その他① 具体的内容：

その他② 具体的内容：

その他③ 具体的内容：

把握している職種はない

Q27=1-18on「外部支援を行う専門職ごとの内容を把握している」

Q28_1 MAMT 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、把握している専門職ごとの事業主体をご回答ください。

※国や県や市町村、その他の事業主体において、同一主体で複数の事業が存在する場合は、それぞれ3つまでご回答ください。

【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

		国1	国2	国3	県1	県2	県3	市町村1	市町村2	市町村3	その他の事業主体1	その他の事業主体2	その他の事業主体3
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Q28_1_1	医師	→											
Q28_1_2	看護師	→											
Q28_1_3	准看護師	→											
Q28_1_4	助産師	→											
Q28_1_5	保健師	→											
Q28_1_6	児童指導員	→											
Q28_1_7	保育士	→											
Q28_1_8	公認心理師、臨床心理士等	→											
Q28_1_9	作業療法士	→											
Q28_1_10	理学療法士	→											
Q28_1_11	言語聴覚士	→											
Q28_1_12	介護福祉士	→											
Q28_1_13	手話通訳士	→											
Q28_1_14	栄養士・管理栄養士	→											
Q28_1_15	カウンセラー	→											
Q28_1_16	その他①	→											
Q28_1_17	その他②	→											
Q28_1_18	その他③	→											

医師	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
看護師	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
准看護師	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
助産師	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
保健師	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
児童指導員	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
保育士	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
公認心理師、臨床心理士等	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	

作業療法士	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
理学療法士	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
言語聴覚士	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
介護福祉士	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
手話通訳士	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
栄養士・管理栄養士	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
カウンセラー	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
その他①	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	

その他②	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	
その他③	
国1	
国2	
国3	
県1	
県2	
県3	
市町村1	
市町村2	
市町村3	
その他の事業主体1	
その他の事業主体2	
その他の事業主体3	

「回答者：Q27=1-18on」外部支援を行う専門職ごとの内容を把握している」

Q29_1 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援に携わる専門職ごとの実人数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）。

（※1）専門職がいるが、把握していない人数については、9999とご入力ください。

（※2）専門職がいない場合は0とご入力ください。

医師	人	※ 半角数字のみ（0以上）
看護師	人	※ 半角数字のみ（0以上）
准看護師	人	※ 半角数字のみ（0以上）
助産師	人	※ 半角数字のみ（0以上）
保健師	人	※ 半角数字のみ（0以上）
児童指導員	人	※ 半角数字のみ（0以上）
保育士	人	※ 半角数字のみ（0以上）
公認心理師、臨床心理士等	人	※ 半角数字のみ（0以上）
作業療法士	人	※ 半角数字のみ（0以上）
理学療法士	人	※ 半角数字のみ（0以上）
言語聴覚士	人	※ 半角数字のみ（0以上）
介護福祉士	人	※ 半角数字のみ（0以上）
手話通訳士	人	※ 半角数字のみ（0以上）
栄養士・管理栄養士	人	※ 半角数字のみ（0以上）
カウンセラー	人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他①	人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他②	人	※ 半角数字のみ（0以上）
その他③	人	※ 半角数字のみ（0以上）

「回答者：Q27=1-18on」外部支援を行う専門職ごとの内容を把握している」

Q29_2 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援に係る専門職ごとの支援回数（令和5年度の合計回数）をご回答ください。

（※1）専門職はいるが、把握していない回数については、9999とご入力ください。

（※2）専門職がいない場合は0とご入力ください。

医師	回	※ 半角数字のみ（0以上）
看護師	回	※ 半角数字のみ（0以上）
准看護師	回	※ 半角数字のみ（0以上）
助産師	回	※ 半角数字のみ（0以上）
保健師	回	※ 半角数字のみ（0以上）
児童指導員	回	※ 半角数字のみ（0以上）
保育士	回	※ 半角数字のみ（0以上）
公認心理師、臨床心理士等	回	※ 半角数字のみ（0以上）
作業療法士	回	※ 半角数字のみ（0以上）
理学療法士	回	※ 半角数字のみ（0以上）
言語聴覚士	回	※ 半角数字のみ（0以上）
介護福祉士	回	※ 半角数字のみ（0以上）
手話通訳士	回	※ 半角数字のみ（0以上）
栄養士・管理栄養士	回	※ 半角数字のみ（0以上）
カウンセラー	回	※ 半角数字のみ（0以上）
その他①	回	※ 半角数字のみ（0以上）
その他②	回	※ 半角数字のみ（0以上）
その他③	回	※ 半角数字のみ（0以上）

「回答者：Q26=1-6on」保育所等に外部支援の導入をしている自治体」

Q29_3 MA 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援を提供する各専門職が担っている役割（こども・保護者・職員に対しての支援など）を把握している職種についてご回答ください。

あてはまるものすべてをお選びください。

【回答欄】該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

医師	
看護師	
准看護師	
助産師	
保健師	
児童指導員	
保育士	
公認心理師、臨床心理士等	
作業療法士	
理学療法士	
言語聴覚士	
介護福祉士	
手話通訳士	
栄養士・管理栄養士	
カウンセラー	
その他①	
その他②	
その他③	
把握している職種はない	

回答者：Q29_3=1-18 いずれかにon「実施している保育所等への外部支援における専門職が担っている役割について把握している」

Q29_4 MAMT 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、専門職ごとの役割をご回答ください。
あてはまるものすべてをお選びください。
【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください

		こどもに対して行っている支援 1	保護者に対して行っている支援 2	職員に対して行っている支援 3	その他 記述式 4	把握していない 5
Q29_4_1	医師	→				
Q29_4_2	看護師	→				
Q29_4_3	准看護師	→				
Q29_4_4	助産師	→				
Q29_4_5	保健師	→				
Q29_4_6	児童指導員	→				
Q29_4_7	保育士	→				
Q29_4_8	公認心理師、臨床心理士等	→				
Q29_4_9	作業療法士	→				
Q29_4_10	理学療法士	→				
Q29_4_11	言語聴覚士	→				
Q29_4_12	介護福祉士	→				
Q29_4_13	手話通訳士	→				
Q29_4_14	栄養士・管理栄養士	→				
Q29_4_15	カウンセラー	→				
Q29_4_16	その他①	→				
Q29_4_17	その他②	→				
Q29_4_18	その他③	→				

回答者：全員

Q30 SA 貴自治体内の保育所等への巡回支援等について、保育所等からの支援要望にどの程度応えることができるか、ご回答ください。

- ☐ 該当する数字をプルダウンで選択してください
- ☐ 全てもしくはほとんど全ての要望に応えることができる
- ☐ 8割程度の要望に応えることができる
- ☐ 6割程度の要望に応えることができる
- ☐ 4割程度の要望に応えることができる
- ☐ 4割未満の要望に応えることができる

回答者：Q30=2-5 いずれかにon「一定の割合の要望に応えることができていないと考えている自治体」

Q31 MA 貴自治体内の保育所等への巡回支援等について、保育所等からの支援要望に応えることができない理由をご回答ください。
あてはまるものすべてをお選びください。

- 【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
- ☐ 専門職の人材確保が困難であるため
- ☐ 専門職の巡回・配置にあたっての財政措置が困難であるため
- ☐ 専門職による巡回支援の連携・調整をする職員が不足しているため
- ☐ 全ての要望に応えている
- ☐ 把握していない

回答者：全員

- VI インクルーシブな保育の状態の構成要素の実施状況
- 1 組織的観点（理念や方針等）

Q32 MA 保育所等において、インクルーシブな保育を実践するために、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。
あてはまるものすべてをお選びください。

- 【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
- ☐ インクルーシブな保育について自治体としての方針を示している
- ☐ インクルーシブな保育について、園や保護者等へ知って頂く機会を設けている
- ☐ インクルーシブな保育の先進事例、優良事例を園に展開している
- ☐ インクルーシブな保育の在り方について障害福祉所管部局等と検討する機会を設けている
- ☐ インクルーシブな保育の在り方について専門家や関係機関と検討する機会を設けている
- ☐ インクルーシブな保育について方針を検討するにあたり、こどもや保護者の意見を聞く機会を設けている
- ☐ その他 具体的内容：

回答者：全員

Q33 FA 方針を周知しているwebページがあればURLをご回答ください。

任意

回答者：全員

- 2 環境整備の観点

Q34 MA インクルーシブな保育を実現するために環境整備において、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

- 【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
- ☐ 障害のあるこどもとないこどもが一緒に過ごす環境整備について、専門家や関係機関と検討する機会を持っている
- ☐ 障害のあるこどもの受入れについての施設整備を行うための財政支援をおこなっている
- ☐ 保育所等または児童発達支援事業所等に対し、両施設の併設をする施設整備等の財政支援をおこなっている
- ☐ 障害のあるこどもとないこどもが一緒に遊ぶことができる遊具や備品への財政支援（インクルーシブ遊具等）をおこなっている
- ☐ 配慮を必要とするこどものための安全・衛生管理のための専門職（看護師等）の派遣・配置
- ☐ 医療的ケアを必要とするこども等、配慮が必要なこどもを含めた個別避難計画の策定等、災害への備えをおこなっている
- ☐ その他 具体的内容：

回答者：全員

- 3 保育提供体制の観点

Q35 MA インクルーシブな保育実践のための人材確保において、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

- 【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
- ☐ 保育士加配のための財政支援をおこなっている
- ☐ 障害特性に応じた専門職の配置のための財政支援をおこなっている
- ☐ 障害特性に応じた専門職の巡回支援のための支援をおこなっている
- ☐ 心理職の配置のための財政支援をおこなっている
- ☐ 心理職の巡回支援のための支援をおこなっている
- ☐ 医療的ケア児の受入れのための看護師等の配置についての財政支援をおこなっている
- ☐ 児童発達支援事業所等の関係する専門機関に人材の紹介・派遣の要請を行っている
- ☐ その他 具体的内容：

回答者：全員

Q36 MA インクルーシブな保育実践のための職員の資質・専門性向上について、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。
あてはまるものすべてをお選びください。

- 【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
- ☐ インクルーシブな保育の優良事例と考える園の取組の工夫を共有している
- ☐ インクルーシブな保育の優良事例と考える園の視察や公開保育を行う等、勉強の機会を設けている
- ☐ インクルーシブな保育に関連する研修会を開催している
- ☐ 児童発達支援事業所等の関係する専門機関に研修会を依頼している
- ☐ 保育士等が保育の専門性を高めるための研修受講や資格取得の支援をしている
- ☐ 保育士等が障害支援の専門性を高めるための研修受講や資格取得の支援をしている
- ☐ 保育士等が喀痰吸引等研修を受講するための支援をしている
- ☐ その他 具体的内容：

回答者：全員		
Q37	FA	インクルーシブな保育の状態を実現するための人員的環境整備において、保育士等を加配するための財政支援を実施している場合、補助金等の名称をご回答ください。
		任意
回答者：全員		
Q38	FA	インクルーシブな保育の状態を実現するための人員的環境整備において、こどもの障害特性に応じた専門職の配置を行うための財政支援を実施している場合、補助金等の名称をご回答ください。
		任意
回答者：全員		
		4 保育内容の観点
Q39	MA	<p>保育所等の指導計画の作成や改善について、貴自治体において支援していることがあればご回答ください。</p> <p>あてはまるものすべてをお選びください。</p> <p>【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください</p> <p>園の指導計画や障害のあるこどもの個別の指導計画の作成や改善の方法について、障害のあるこどもとないこどもが等しく配慮され作成されるよう手引きや様式等において示している</p> <p>園の指導計画や障害のあるこどもの個別の指導計画の作成や改善の方法について、事例の共有等をおこなっている</p> <p>園の指導計画や障害のあるこどもの個別の指導計画の作成や改善の方法について、助言をおこなっている</p> <p>保育士等による巡回支援等により指導計画の作成や改善を検討するための助言をおこなっている</p> <p>作業療法士等の専門職による巡回支援等により指導計画の作成や改善を検討するための助言をおこなっている</p> <p>保育所等が活用する第三者評価受審のための財政支援をおこなっている</p> <p>その他 具体的内容： </p>
回答者：全員		
Q40	MA	<p>保育内容の検討について、貴自治体において支援していることがあればご回答ください。</p> <p>あてはまるものすべてをお選びください。</p> <p>【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください</p> <p>保育内容について、こどもの意見を聞く機会を設けている</p> <p>保育内容について、保護者の意見を聞く機会を設けている</p> <p>インクルーシブな保育の内容について、貴自治体と管内保育所等の職員が集まり検討する機会を設けている</p> <p>インクルーシブな保育を実践する園の保育内容を優良事例として共有している</p> <p>インクルーシブな保育を実践する園の保育を見学（視察や公開保育等）する機会を設けている</p> <p>保育士等による巡回支援を行い、保育所等において保育内容を検討する際に助言を行っている</p> <p>作業療法士等の専門職による巡回支援を行い、保育所等において保育内容を検討する際に助言を行っている</p> <p>公認心理師等の心理職による巡回支援を行い、保育所等において保育内容を検討する際に助言を行っている</p> <p>その他 具体的内容： </p>
回答者：全員		
Q41	MA	<p>保育実践について、貴自治体において支援していることがあればご回答ください。</p> <p>あてはまるものすべてをお選びください。</p> <p>【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください</p> <p>インクルーシブな保育を実践する園の保育士を派遣し、保育内容を共有する支援をしている</p> <p>作業療法士等の専門職の配置により、日常より専門職とともに保育を行う支援をしている</p> <p>公認心理師等の心理職の配置により、日常より心理職とともに保育を行う支援をしている</p> <p>保育実践の様子を関係者や関係機関等に公開し、意見をもらう機会を設けている</p> <p>その他 具体的内容： </p>

回答者：全員		5 連携の観点
Q42	MA	<p>保育所等における保育所等外の連携について、貴自治体が行っていることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。 あてはまるものすべてをお選びください。</p> <p>【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください</p> <p><input type="checkbox"/> 管内保育所等が集まり情報共有等を行う機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等と児童発達支援事業所等が情報共有等を行う機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等と医療機関等が情報共有等を行う機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等とその他の関係機関が情報共有等を行う機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等が関係機関と連携するためのコーディネートをやっている</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等が関係機関と連携するためのコーディネーター等の配置に対する財政支援をおこなっている</p> <p><input type="checkbox"/> 教育委員会と連携し、保育所等の障害のある子どもの就学支援を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等において要配慮児童を把握した場合に（児童相談所等）適切な関係機関に繋いでいる</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的内容： <input type="text"/></p>

回答者：全員		6 保護者支援・地域支援の観点	
Q43	MA	<p>保育所等における保護者・家族への支援について、貴自治体で実施している取組があればご回答ください。 あてはまるものすべてをお選びください。</p> <p>【回答欄】 該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等における保護者対応について手引き等において方針を示している</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等において保護者の相談支援やカウンセリング等を行う専門職の配置に対する財政支援をおこなっている</p> <p><input type="checkbox"/> 障害のある子どもを持つ保護者同士の交流の機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> 保育所等と保護者の交流の機会の提供（公開保育等）</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的内容： <input type="text"/></p>	

回答者：全員	
Q44	MA
	保育所等の地域連携において、貴自治体が実施している取組があればご回答ください。
	おてはまものすべてをお選びください。
	【回答欄】該当する項目について、プルダウンで「○」を選択してください
	保育所等と地域の関係機関（医療・福祉・教育・防災等）の連携体制を構築し、インクルージョンを推進するための協議の場を設けている
	保育所等が地域住民と交流を図る機会を提供している
	地域や関係機関におけることも関連の情報について必要に応じて保育所等に情報共有を行っている
	保育所等における取組みを地域に周知・広報している
	保育所等が地域支援を行う場合の財政支援を行っている
	その他 具体的内容：

回答者：全員		
Q45	NUM	貴自治体内の保育所等に併設されている地域子育て支援拠点事業実施施設数をご回答ください。
		施設 ※必須 / 半角数字のみ (0以上)

回答者：全員	
VII ヒアリングへのご協力可否について	
Q46	<p>SA</p> <p>本調査研究では、アンケートにご協力いただいた自治体の中から、インクルーシブ保育の実施状況に係るヒアリング（オンラインにより1時間程度、1～2月頃実施予定。）をお願いしたいと考えています。ヒアリング結果は、本調査研究の成果としてとりまとめる事例集に記載させていただく可能性がございます。</p> <p>ご協力頂ける場合は、以下の項目から1つお選びください。条件による場合は、具体的な内容をご記入ください。</p> <p>【回答欄】</p> <p><input type="text"/> 該当する数字をプルダウンで選択してください</p> <p><input type="checkbox"/>1 協力できる</p> <p><input type="checkbox"/>2 協力できない</p> <p><input type="checkbox"/>3 条件による 条件の内容：<input type="text"/></p>

Appendix（3）

インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査 単純集計結果（保育所票）

Q1_3 施設類型

	施設数	割合(%)
認可保育所	4,175	54.0
認定こども園	2,206	28.5
小規模保育事業所	1,015	13.1
事業所内保育事業	167	2.2
その他	165	2.1
全体	7,728	100.0

Q1_4 運営主体

	施設数	割合(%)
市区町村	2,140	27.7
社会福祉法人	3,152	40.8
株式会社	1,024	13.3
NPO法人	130	1.7
学校法人	799	10.3
その他	483	6.3
全体	7,728	100.0

Q1_5 貴施設の保育定員についてご回答ください。

※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定の児童数を記入ください。

施設数（※1）	最大値	中央値
7,726	370	70

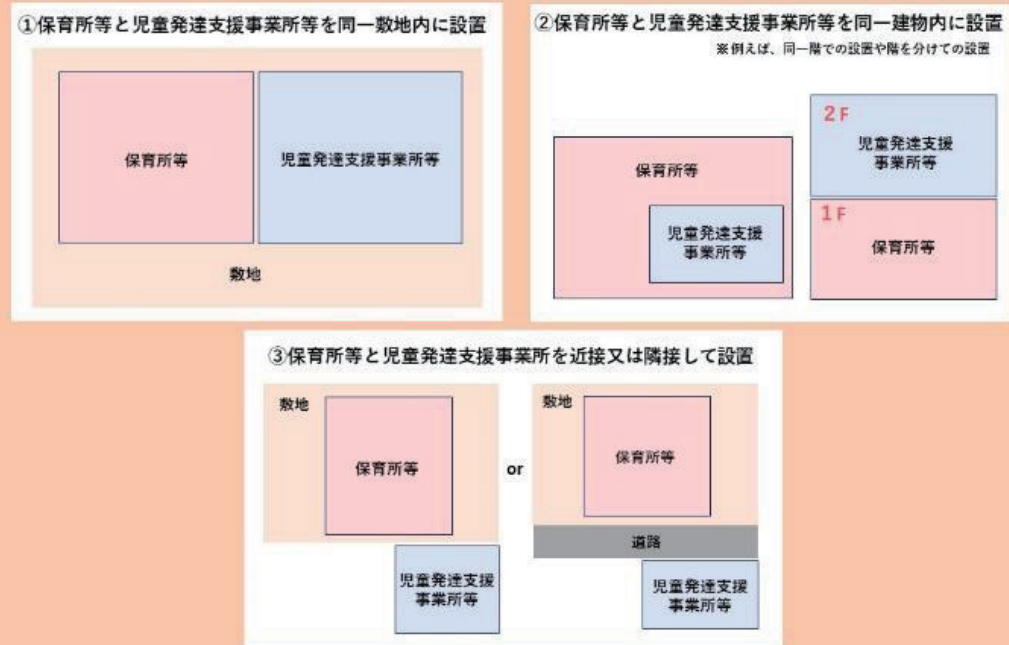
（※1）無回答の2施設を含んでいない。

Q1_6 貴施設の開所年を西暦でご回答ください。

Q2 貴施設の形態を回答ください。（併設している場合、図で示す類型からあてはまるものを一つ回答ください）

	施設数	割合(%)
保育所等のみ	5,266	94.2
保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置	32	0.6
保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置	50	0.9
保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置	67	1.2
その他	176	3.1
全体	5,591	100.0

本調査における保育所等と児童発達支援事業所等の「併設」の考え方



Q3_1 貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数（※）	人数	平均人数
園長・施設長	7728	7,651	0.99
副園長	7722	2,712	0.35
主任保育士	7725	10,047	1.30
保育士	7723	57,117	7.40
保育教諭	7719	30,054	3.89
保育補助者	7718	5,088	0.66
みなし保育士	7717	720	0.09
看護師・准看護師	7720	2,310	0.30
保健師	7716	91	0.01
助産師	7716	22	0.00
作業療法士	7716	12	0.00
理学療法士	7716	9	0.00
言語聴覚士	7716	13	0.00
公認心理師・臨床心理士	7716	34	0.00
管理栄養士・栄養士	7722	5,040	0.65
その他	7719	8,146	1.06

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_2 貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数（※）	人数	平均人数
園長・施設長	7,717	123	0.02
副園長	7,717	61	0.01
主任保育士	7,717	104	0.01
保育士	7,725	27,584	3.57
保育教諭	7,720	11,443	1.48
保育補助者	7,721	10,524	1.36
みなし保育士	7,717	1,230	0.16
看護師・准看護師	7,718	1,259	0.16
保健師	7,717	35	0.00
助産師	7,717	23	0.00
作業療法士	7,717	5	0.00
理学療法士	7,717	12	0.00
言語聴覚士	7,717	30	0.00
公認心理師・臨床心理士	7,717	72	0.01
管理栄養士・栄養士	7,718	1,148	0.15
その他	7,721	8,756	1.13

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_3 貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、 医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数（※1）	1人以上の加配 保育士等を配置 している施設数	人数	平均人数 （※2）
保育士	7,723	3,136	7,554	2.41
保育教諭	7,720	1,278	3,662	2.87
保育補助者	7,715	832	1,785	2.15
みなし保育士	7,715	125	207	1.66
看護師・准看護師	7,715	230	286	1.24
保健師	7,715	9	24	2.67
助産師	7,715	0	0	0.00
その他	7,714	79	187	2.37

（※1）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

（※2）1人以上の各加配職員を配置している施設における平均加配人数

Q4_1 貴施設において連携している機関を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

連携している機関については、「小学校、特別支援学校」が最も多く 53.0%（4,091 施設）、次いで「地域の療育センター等」が 48.2%（3,721 施設）、「保健所・保健センター」が 45.0%（3,473 施設）であった。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等（併設・同一法人）	207	2.7
児童発達支援事業所等（併設・別法人）	158	2.0
児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）	500	6.5
児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）	2,773	35.9
地域の療育センター等	3,721	48.2
発達障害者支援センター・基幹相談支援センター	1,325	17.1
医療機関	2,761	35.7
医療的ケア児支援センター	189	2.4
保健所・保健センター	3,473	45.0
小学校、特別支援学校	4,091	53.0
幼稚園	965	12.5
他の保育所等	2,658	34.4
こども家庭センター	1,476	19.1
放課後児童クラブ	810	10.5
放課後等デイサービス事業所	655	8.5
児童相談所	2,822	36.5
児童養護施設	217	2.8
教育委員会	2,340	30.3
市区町村（障害福祉関係部局）	2,069	26.8
市区町村（母子保健関係部局）	2,738	35.4
市区町村（災害対応関係部局）	822	10.6
その他	350	4.5
全体	7,726	—

Q4_2 貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

連携している機関と連携内容については、「こどもの特性・状態の共有」が最も多く、次いで「保護者支援」、「こどもの理解のためのアセスメント」、「就学支援」となっている。

	施設数	保育内容へのアドバイス	園の指導計画へのアドバイス	個別指導計画へのアドバイス	園の指導計画の共有	個別指導計画の共有	こどもの特性・状態の共有	こどもの理解のためのアセスメント	施設遇所など、トラブルに対する必要な支援	保護者支援	就学支援	災害対応	その他
児童発達支援事業所等 (併設・同一法人)	208	136	40	68	46	67	164	117	36	137	94	38	8
	—	65.4	19.2	32.7	22.1	32.2	78.8	56.3	17.3	65.9	45.2	18.3	3.8
児童発達支援事業所等 (併設・別法人)	158	80	10	34	13	39	126	72	11	88	54	3	3
	—	50.6	6.3	21.5	8.2	24.7	79.7	45.6	7.0	55.7	34.2	1.9	1.9
児童発達支援事業所等 (併設でない・同一法人)	499	298	38	147	50	150	434	300	29	347	208	15	14
	—	59.7	7.6	29.5	10.0	30.1	87.0	60.1	5.8	69.5	41.7	3.0	2.8
児童発達支援事業所等 (併設でない・別法人)	2,774	1,289	123	573	202	825	2,543	1,480	114	1,724	1,036	31	35
	—	46.5	4.4	20.7	7.3	29.7	91.7	53.4	4.1	62.1	37.3	1.1	1.3
地域の療育センター等	3,721	1,767	185	798	188	801	3,355	1,925	164	2,236	1,279	43	41
	—	47.5	5.0	21.4	5.1	21.5	90.2	51.7	4.4	60.1	34.4	1.2	1.1
発達障害者支援センター・ 基幹相談支援センター	1,325	676	88	339	86	300	1,141	763	82	900	506	16	19
	—	51.0	6.6	25.6	6.5	22.6	86.1	57.6	6.2	67.9	38.2	1.2	1.4
医療機関	2,760	545	71	180	54	148	2,233	946	72	982	392	68	314
	—	19.7	2.6	6.5	2.0	5.4	80.9	34.3	2.6	35.6	14.2	2.5	11.4
医療的ケア児支援センター	190	64	8	39	11	36	152	103	11	112	39	13	8
	—	33.7	4.2	20.5	5.8	18.9	80.0	54.2	5.8	58.9	20.5	6.8	4.2
保健所・保健センター	3,471	645	84	223	71	233	2,975	1,341	262	2,535	700	76	138
	—	18.6	2.4	6.4	2.0	6.7	85.7	38.6	7.5	73.0	20.2	2.2	4.0
小学校、特別支援学校	4,091	448	96	202	497	818	3,505	1,395	124	1,914	2,968	200	82
	—	11.0	2.3	4.9	12.1	20.0	85.7	34.1	3.0	46.8	72.5	4.9	2.0
幼稚園	965	224	77	60	174	142	495	248	70	278	104	218	218
	—	23.2	8.0	6.2	18.0	14.7	51.3	25.7	7.3	28.8	22.6	10.8	22.6
他の保育所等	2,656	1,062	318	279	539	402	1,368	780	320	935	452	428	481
	—	40.0	12.0	10.5	20.3	15.1	51.5	29.4	12.0	35.2	17.0	16.1	18.1
こども家庭センター	1,475	239	38	97	45	137	1,240	638	275	1,266	332	34	46
	—	16.2	2.6	6.6	3.1	9.3	84.1	43.3	18.6	85.8	22.5	2.3	3.1
放課後児童クラブ	809	74	22	36	44	75	680	267	71	390	238	66	45
	—	9.1	2.7	4.4	5.4	9.3	84.1	23.0	8.8	48.2	29.4	8.2	5.6
放課後等デイサービス 事業所	655	79	22	56	33	112	567	267	39	359	190	16	18
	—	12.1	3.4	8.5	5.0	17.1	86.6	40.8	6.0	54.8	29.0	2.4	2.7
児童相談所	2,822	142	21	60	36	106	2,287	926	654	2,212	312	16	120
	—	5.0	0.7	2.1	1.3	3.8	81.0	32.8	23.2	78.4	11.1	0.6	4.3
児童養護施設	216	25	3	9	9	19	171	104	50	146	43	7	14
	—	11.6	1.4	4.2	4.2	8.8	79.2	48.1	23.1	67.6	19.9	3.2	6.5
教育委員会	2,340	366	166	216	222	366	1,576	766	225	1,094	2,014	125	44
	—	15.6	7.1	9.2	9.5	15.6	67.4	32.7	9.6	46.8	86.1	5.3	1.9
市区町村 (障害福祉関係部局)	2,069	419	119	229	125	297	1,639	840	397	1,515	770	130	55
	—	20.3	5.8	11.1	6.0	14.4	79.2	40.6	19.2	73.2	37.2	6.3	2.7
市区町村 (母子保健関係部局)	2,739	355	68	142	93	222	2,331	1,088	472	2,308	676	107	50
	—	13.0	2.5	5.2	3.4	8.1	85.1	39.7	17.2	84.3	24.7	3.9	1.8
市区町村 (災害対応関係部局)	822	25	32	6	18	7	76	26	32	67	19	767	15
	—	3.0	3.9	0.7	2.2	0.9	9.2	3.2	3.9	8.2	2.3	93.3	1.8
その他（【Q4_1_22その他 回答内容表示】）	349	117	38	77	37	70	218	129	61	188	84	45	91
	—	33.5	10.9	22.1	10.6	20.1	62.5	37.0	17.5	53.9	24.1	12.9	26.1

Q5 貴施設において令和 3 年度から令和 5 年度で受け入れたことのあるこどもの障害種別について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

令和 3 年度から令和 5 年度で受け入れたことのあるこどもの障害種別については、「気になる子」が 74.7%（5,769 人）と最も多く、次いで「発達障害」が 67.5%（5,214 人）、「知的障害」が 36.3%（2,807 人）であった。

	施設数	割合(%)
視覚障害	218	2.8
聴覚障害	643	8.3
言語障害	751	9.7
肢体不自由	896	11.6
知的障害	2,807	36.3
病弱・虚弱	265	3.4
発達障害	5,214	67.5
医療的ケア児	584	7.6
「気になる子」	5,769	74.7
その他	647	8.4
無回答	1	0.0
全体	7,728	—

Q6 貴施設における令和 6 年度の障害児の受入れ状況について回答ください。

令和 6 年度の障害児の受入れ状況については、「受入れ有」が 71.9%（5,556 人）と全体の約 7 割を占めており、次いで「受入れ無」が 26.0%（2,011 人）となっている。

	施設数	割合(%)
受入れ有	5,556	71.9
受入れ無	2,011	26.0
その他	161	2.1
全体	7,728	100.0

Q7_1 貴施設において令和 6 年度に受入れた 0 歳の障害児数（実人数）を回答ください。

Q 6 において令和 6 年度に障害児を受け入れた施設は 5,556 施設で、施設で受け入れた 0 歳の障害児数（実人数）は計 4,567 人であった。

Q7_2 貴施設において令和 6 年度に受入れた 0 歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※認定こども園の場合、2 号及び 3 号認定のこどもの数を記入ください。

令和 6 年度に受入れた 0 歳の障害児における障害種別人数については、「気になる子」が最も多く 1,676 人（平均 1.31 人）、次いで「発達障害」が 1,316 人（平均 1.03 人）、「知的障害」が 313 人（平均 0.24 人）となっている。

	施設数（※）	人数	平均人数
視覚障害	1,281	19	0.01
聴覚障害	1,281	80	0.06
言語障害	1,281	77	0.06
肢体不自由	1,281	78	0.06
知的障害	1,281	313	0.24
病弱・虚弱	1,281	24	0.02
発達障害	1,281	1,316	1.03
精神障害（発達障害以外）	1,281	11	0.01
医療的ケア児	1,281	77	0.06
「気になる子」	1,281	1,676	1.31
その他	1,280	100	0.08

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q7_3 貴施設において令和 6 年度に受入れた 1 歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0 人の場合は「0」と入力ください。

Q 6 において令和 6 年度に障害児を受け入れた施設は 5,556 施設で、施設で受け入れた 1 歳の障害児数（実人数）は計 1,435 人であった。

Q7_4 貴施設において令和 6 年度に受入れた 1 歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※認定こども園の場合、2 号及び 3 号認定のこどもの数を記入ください。

令和 6 年度に受入れた 1 歳の障害児における障害種別人数については、「気になる子」が最も多く 871 人（平均 0.91 人）、次いで「発達障害」が 263 人（平均 0.27 人）、「その他」が 102 人（平均 0.11 人）となっている。

	施設数（※）	人数	平均人数
視覚障害	960	20	0.02
聴覚障害	960	51	0.05
言語障害	960	23	0.02
肢体不自由	960	62	0.06
知的障害	961	75	0.08
病弱・虚弱	960	35	0.04
発達障害	961	263	0.27
精神障害（発達障害以外）	960	4	0.00
医療的ケア児	960	71	0.07
「気になる子」	961	871	0.91
その他	959	102	0.11

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q7_5 貴施設において令和 6 年度に受入れた 2 歳の障害児数（実人数）を回答ください。

Q 6 において令和 6 年度に障害児を受け入れた施設は 5,556 施設で、施設で受け入れた 2 歳の障害児数（実人数）は計 4,075 人であった。

Q7_6 貴施設において令和 6 年度に受入れた 2 歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。

※認定こども園の場合、2 号及び 3 号認定のこどもの数を記入ください。

令和 6 年度に受入れた 2 歳の障害児における障害種別人数については、「気になる子」が最も多く 2,627 人（平均 1.21 人）、次いで「発達障害」が 1,138 人（平均 0.52 人）、「知的障害」が 353 人（平均 0.16 人）となっている。

	施設数（※）	人数	平均人数
視覚障害	2,169	34	0.02
聴覚障害	2,169	85	0.04
言語障害	2,169	169	0.08
肢体不自由	2,169	120	0.06
知的障害	2,170	353	0.16
病弱・虚弱	2,169	44	0.02
発達障害	2,170	1,138	0.52
精神障害（発達障害以外）	2,169	24	0.01
医療的ケア児	2,170	84	0.04
「気になる子」	2,169	2,627	1.21
その他	2,168	158	0.07

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q7_7 貴施設において令和 6 年度に受入れた 3 歳の障害児数（実人数）を回答ください。

Q 6 において令和 6 年度に障害児を受け入れた施設は 5,556 施設で、施設で受け入れた 3 歳の障害児数（実人数）は計 8,447 人であった。

Q7_8 貴施設において令和 6 年度に受入れた 3 歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※認定こども園の場合、2 号及び 3 号認定のこどもの数を記入ください。

令和 6 年度に受入れた 3 歳の障害児における障害種別人数については、「気になる子」が最も多く 4,670 人（平均 1.35 人）、次いで「発達障害」が 3,297 人（平均 0.95 人）、「知的障害」が 851 人（平均 0.25 人）となっている。

	施設数（※）	人数	平均人数
視覚障害	3,453	44	0.01
聴覚障害	3,452	83	0.02
言語障害	3,452	355	0.10
肢体不自由	3,452	160	0.05
知的障害	3,455	851	0.25
病弱・虚弱	3,452	59	0.02
発達障害	3,453	3,297	0.95
精神障害（発達障害以外）	3,452	54	0.02
医療的ケア児	3,452	101	0.03
「気になる子」	3,456	4,670	1.35
その他	3,451	239	0.07

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q7_9 貴施設において令和 6 年度に受入れた 4 歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0 人の場合は「0」と入力ください。

Q 6 において令和 6 年度に障害児を受け入れた施設は 5,556 施設で、施設で受け入れた 4 歳の障害児数（実人数）は計 10,157 人であった。

Q7_10 貴施設において令和 6 年度に受入れた 4 歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※認定こども園の場合、2 号及び 3 号認定のこどもの数を記入ください。

令和 6 年度に受入れた 4 歳の障害児における障害種別人数については、「気になる子」が最も多く 4,866 人（平均 1.30 人）、次いで「発達障害」が 4,343 人（平均 1.16 人）、「知的障害」が 1,069 人（平均 0.29 人）となっている。

	施設数（※）	人数	平均人数
視覚障害	3,733	53	0.01
聴覚障害	3,733	99	0.03
言語障害	3,733	371	0.10
肢体不自由	3,733	184	0.05
知的障害	3,736	1,069	0.29
病弱・虚弱	3,733	59	0.02
発達障害	3,737	4,343	1.16
精神障害（発達障害以外）	3,733	99	0.03
医療的ケア児	3,733	121	0.03
「気になる子」	3,738	4,866	1.30
その他	3,732	281	0.08

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q7_11 貴施設において令和 6 年度に受入れた 5 歳の障害児数（実人数）を回答ください。
※0 人の場合は「0」と入力ください。

Q 6 において令和 6 年度に障害児を受け入れた施設は 5,556 施設で、施設で受け入れた 5 歳の障害児数（実人数）は計 10,756 人であった。

Q7_12 貴施設において令和 6 年度に受入れた 5 歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。
※認定こども園の場合、2 号及び 3 号認定のこどもの数を記入ください。

令和 6 年度に受入れた 5 歳の障害児における障害種別人数については、「発達障害」が最も多く 4,991 人（平均 1.29 人）、次いで「気になる子」が 4,478 人（平均 1.16 人）、「知的障害」が 1,589 人（平均 0.41 人）となっている。

	施設数（※）	人数	平均人数
視覚障害	3,857	50	0.01
聴覚障害	3,857	105	0.03
言語障害	3,858	372	0.10
肢体不自由	3,859	168	0.04
知的障害	3,863	1,589	0.41
病弱・虚弱	3,857	93	0.02
発達障害	3,861	4,991	1.29
精神障害（発達障害以外）	3,858	113	0.03
医療的ケア児	3,857	129	0.03
「気になる子」	3,861	4,478	1.16
その他	3,856	250	0.06

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q8 貴施設に在園する障害のあるお子さんに並行通園している子どもはいますか。

在園する障害のあるお子さんに並行通園している子どもについては、「いる」が 64.6%（3,592 人）、「いない」が 33.5%（1,862 人）、「把握していない」が 1.9%（106 人）となっている。

	施設数	割合(%)
いる	3,592	64.6
いない	1,862	33.5
把握していない	106	1.9
全体	5,560	100.0

Q9 並行通園している施設について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

並行通園している施設については、「児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）」が 64.8%（2,328 人）と最も多く、次いで「地域の療育センター等」が 56.2%（2021 人）、「児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）」が 6.0%（216 人）となっている。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等（併設・同一法人）	89	2.5
児童発達支援事業所等（併設・別法人）	112	3.1
児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）	216	6.0
児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）	2,328	64.8
地域の療育センター等	2,021	56.2
その他	136	3.8
全体	3,593	—

Q10 並行通園しているこどもへの支援として実施しているものを回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

並行通園しているこどもへの支援として実施している内容については、「保育所等および児童発達支援事業所等のこどもの様子について情報共有している」が最も多く 83.8%（3,010 施設）、次いで「並行通園先の職員と意見交換等の交流の機会を設けている」が 66.9%（2,404 施設）、「見学・視察等によりこどもの並行通園先の様子を確認している」が 50.4%（1,810 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
保育所等および児童発達支援事業所等のこどもの様子について情報共有している	3,010	83.8
園の指導計画について、児童発達支援事業所等の情報を踏まえて作成している	629	17.5
こどもの個別の指導計画について、児童発達支援事業所等の情報を踏まえて作成している	1,461	40.7
見学・視察等によりこどもの並行通園先の様子を確認している	1,810	50.4
並行通園先の職員と意見交換等の交流の機会を設けている	2,404	66.9
その他	228	6.3
全体	3,591	—

Q11 障害児を含む保育を実践するにあたっての課題について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

障害児を含む保育を実践するにあたっての課題については、「障害児の特性に応じた支援を行うことが困難」が最も多く 55.7%（4,304 施設）、次いで「障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難」が 52.2%（4,032 施設）、「他園児の保護者の理解を得ることが困難」が 16.9%（1,308 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
障害児の特性に応じた支援を行うことが困難	4,304	55.7
障害児を含めた一体的な保育を提供することが困難	4,032	52.2
他機関との連携体制を構築することが困難	1,185	15.3
他園児の保護者の理解を得ることが困難	1,308	16.9
その他	940	12.2
課題と思うことはない	1,064	13.8
無回答	2	0.0
全体	7,726	—

Q12 前問で回答いただいた障害児を含む保育を实践するにあたっての困難について、その理由と考えられることを回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

障害児を含む保育を实践するにあたっての困難についての理由として、「保育士数が不足している」が最も多く 61.4% (4,093 施設)、次いで「障害のあるこどもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している」が 60.5% (4,031 施設)、「障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための専門性が不足している」が 47.8% (3,182 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
保育士数が不足している	4,093	61.4
障害のあるこどもの保育を行うための保育士等の専門性が不足している	4,031	60.5
療育支援を行うための専門職による支援が不足している	2,434	36.5
医療的ケアを行う看護師等による支援が不足している	1,133	17.0
障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための専門性が不足している	3,182	47.8
障害特性に応じた施設等の整備が困難もしくは間に合わない	1,681	25.2
障害のあるこどもとないこどもを一体的に保育するための設備が不足している	1,891	28.4
障害のあるこどもを含む保育の实践に有効な関係機関との連携が困難	988	14.8
その他	405	6.1
全体	6,662	—

Q14 インクルーシブな保育のための体制整備として、どのようなことが重要であると考えますか。重要であるとする上位３つを選択してください。

インクルーシブな保育のための体制整備として重要であるとするとして、「障害のあるこどものための保育士の加配をすること」が最も多く 53.1% (4,103 施設)、次いで「障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること」が 43.6% (3,368 施設)、「専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること」が 40.9% (3,161 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
多様性を尊重する文化を醸成すること	2,822	36.5
インクルーシブな保育について保護者の理解を得ること	2,265	29.3
障害のあるこどもとないこどもの交流により、多様な相互作用が促進される環境を整備すること	3,368	43.6
保育施設・設備の整備をすること（バリアフリー化等）	1,738	22.5
こどもの特性や状態に応じた安全・衛生管理体制を整備すること	2,753	35.6
こどもの特性や状態に応じた災害への備えをすること	356	4.6
障害のあるこどものための保育士の加配をすること	4,103	53.1
専門職の配置等による障害児支援の充実を図ること	3,161	40.9
障害のあるこどもを含む保育実践のための研修の充実を図ること	2,031	26.3
その他	151	2.0
全体	7,728	—

**Q15 インクルーシブな保育の実践のために、どのようなことが重要であると考えますか。
重要であるとする上位3つを選択してください。**

インクルーシブな保育の実践のために重要であるとするとして、「こどもの障害特性について理解を深めること」が最も多く 65.5% (5,065 施設)、次いで「職員間の情報共有や連携をおこなうこと」が 51.6% (3,984 施設)、「すべてのこどもが活動に積極的に参加し自分の意見や希望を表現できる環境を構成すること」が 32.5% (2,512 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
障害のあるこどもとないこどもの交流を促進すること	1,646	21.3
障害のあるこどもも含む包括的な園の指導計画を作成すること	1,401	18.1
障害のあるこどもの個別の指導計画を作成すること	1,077	13.9
保育の内容を継続的に見直し、指導計画、個別の指導計画の改善を図ること	1,346	17.4
こどもの障害特性について理解を深めること	5,065	65.5
すべてのこどもが活動に積極的に参加し自分の意見や希望を表現できる環境を構成すること	2,512	32.5
視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどの多様な手段を用い、こどもたちが理解しやすい方法でコミュニケーションを図ること	1,367	17.7
保護者（障害のあるこどもの保護者だけでない）との情報共有をおこなうこと	1,419	18.4
職員間の情報共有や連携をおこなうこと	3,984	51.6
障害のあるこどもを含む保育実践に有効な関係機関との連携すること	1,851	24.0
障害のあるこどもの保護者支援をおこなうこと	960	12.4
地域との連携・交流を図ること	205	2.7
その他	123	1.6
全体	7,728	—

Q16 貴施設と併設している児童発達支援事業所等・施設の体制について回答ください。

施設と併設している児童発達支援事業所等・施設の体制については、「設備を共用している」が多く 44.0% (37 施設)、次いで「人員を兼務している」が 27.4% (23 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
設備を共用している	37	44.0
人員を兼務している	23	27.4
設備を共用しかつ人員を兼務している	21	25.0
設備の共用・人員の兼務をいずれもしていない	0	-
その他	3	3.6
全体	84	100.0

Q17 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と共用している貴施設の設備について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併設している児童発達支援事業所等と共用している施設の設備については、「園庭」が最も多く 77.0% (47 施設)、次いで「消火器具、非常口、その他非常災害に必要な設備」が 60.7% (37 施設)、「調理室」が 55.7% (34 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
保育を行う専用の部屋（乳児室・ほふく室・保育室・遊戯室）	29	47.5
屋外遊技場	22	36.1
園庭	47	77.0
医務室	15	24.6
調理室	34	55.7
お手洗い	29	47.5
消火器具、非常口、その他非常災害に必要な設備	37	60.7
その他	6	9.8
全体	61	—

Q18 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と共用している児童発達支援事業所等の設備について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併設している児童発達支援事業所等と共用している児童発達支援事業所等の設備については、「消火設備その他非常災害に際して必要な設備」が最も多く 60.0% (36 施設)、次いで「発達支援に必要な設備・備品」が 51.7% (31 施設)、「調理室」が 40.0% (24 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
指導訓練室	16	26.7
遊戯室	22	36.7
屋外遊技場	20	33.3
医務室	12	20.0
相談室	21	35.0
調理室	24	40.0
静養室	6	10.0
聴力検査室	3	5.0
発達支援に必要な設備・備品	31	51.7
消火設備その他非常災害に際して必要な設備	36	60.0
その他	5	8.3
全体	60	—

Q19 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と兼務している貴施設の人員について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併設している児童発達支援事業所等と兼務している施設の人員については、「保育士」が多く 85.1%（40 人）、次いで「調理員」が 25.5%（12 人）となっている。

	施設数	割合(%)
保育士	40	85.1
家庭的保育者	1	2.1
嘱託医	7	14.9
調理員	12	25.5
その他	10	21.3
全体	47	—

Q20 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と兼務している児童発達相談支援事業所の人員について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併設している児童発達支援事業所等と兼務している児童発達相談支援事業所の人員については、「保育士」が、最も多く 73.9%（34 人）、次いで「児童発達支援管理責任者」が 28.3%（13 人）、「看護師」が 26.1%（12 人）となっている。

	施設数	割合(%)
保育士	34	73.9
児童指導員	9	19.6
作業療法士	5	10.9
理学療法士	4	8.7
言語聴覚士	2	4.3
公認心理師	2	4.3
看護師	12	26.1
管理栄養士・栄養士	9	19.6
調理員	10	21.7
児童発達支援管理責任者	13	28.3
その他	6	13.0
全体	46	—

Q21 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等の職員や業務内容について理解を深める取り組みについて回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併設している児童発達支援事業所等の職員や業務内容について理解を深める取り組みについては、「お互いの業務を見学し、保育および障害児支援におけるこどもへの関わりについて理解を深めている」が、最も多く 65.3% (98 施設)、次いで「児童発達支援事業所等の研修に参加している」が 42.7% (64 施設)、「児童発達支援事業所等のミーティング等に参加している」が 38.0% (57 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等で活用するガイドライン等について把握している	40	26.7
児童発達支援事業所等の研修に参加している	64	42.7
児童発達支援事業所等のミーティング等に参加している	57	38.0
児童発達支援事業所等のこどもの支援計画の内容を把握している	54	36.0
児童発達支援事業所等のこどもの支援計画の作成について助言している	29	19.3
お互いの業務を見学し、保育および障害児支援におけるこどもへの関わりについて理解を深めている	98	65.3
その他	23	15.3
全体	150	—

Q22 児童発達支援事業等との併設・交流によるインクルーシブな保育を行うために工夫している点を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

※本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。

児童発達支援事業等との併設・交流によるインクルーシブな保育を行うために工夫している点については、「児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わり方の方針について共通理解がある」が多く 51.3% (77 施設)、次いで「障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している」が 44.0% (66 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等の職員と手引きやマニュアルを作成した	10	6.7
児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わり方の方針について共通理解がある	77	51.3
園の指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	14	9.3
在園児の個別指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	18	12.0
保育内容の検討の際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	56	37.3
児童発達支援事業所等の職員と一緒に保育実践をしている	56	37.3
障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	66	44.0
その他	17	11.3
全体	150	—

Q24 併設している児童発達支援事業所等に通うこどもと交流を図っているか回答ください。※本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。

併設している児童発達支援事業所等に通うこどもと交流を図っているかについては、「交流している」が 59.3% (89 施設)、「交流していない」が 40.7% (61 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
交流をしている	89	59.3
交流していない	61	40.7
全体	150	100.0

Q25 併設している児童発達支援事業所等に通うこどもとどのような交流を図っているか回答ください。

併設している児童発達支援事業所等に通うこどもとどのような交流を図っているかについては、「日常的に一緒に保育を行う等の交流がある」が60.7%（54 施設）、行事ごと等の特定の機会にのみ交流している」が23.6%（21 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
日常的に一緒に保育を行う等の交流がある	54	60.7
行事ごと等の特定の機会にのみ交流している	21	23.6
その他	13	14.6
無回答	1	1.1
全体	89	100.0

Q26 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、こどもに変化があると感じるか回答ください。

児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、こどもに変化があると感じるかについては、「変化を感じている」が77.5%（69 施設）、「変化を感じていない」が22.5%（20 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
変化を感じている	69	77.5
変化を感じていない	20	22.5
全体	89	100.0

Q30 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、職員に変化があると感じるか回答ください。

児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、職員に変化があると感じるかについては、「変化を感じている」が73.0%（65 施設）、「変化を感じていない」が27.0%（24 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
変化を感じている	65	73.0
変化を感じていない	24	27.0
全体	89	100.0

Q33 貴施設に在園する障害のあるこどものうち併行通園をしているこどもの人数を回答ください。

在園する障害のあるこどものうち併行通園をしているこどもの人数については、「併設している児童発達支援事業所等に並行通園しているこども」が多く、639人（平均4.20人）、次いで「併行通園していないこども」が373人（平均2.47人）となっている。

	施設数（※）	人数	平均人数
併設している児童発達支援事業所等に並行通園しているこども	152	639	4.20
他の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園しているこども	152	350	2.30
併行通園していないこども	151	373	2.47
把握していないこども	152	10	0.07

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q34 併設している児童発達支援事業所等以外の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園しているこどもについて、その理由を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

併設している児童発達支援事業所等以外の児童発達支援事業所等に並行通園しているこどもの通園理由については、「こども・保護者の希望」が多く80.9%（76施設）、次いで「併設している児童発達支援事業所等では対応できない障害種別であるため」「その他」が13.8%（13施設）となっている。

	施設数	割合（%）
併設している児童発達支援事業等が満定員であるため	11	11.7
併設している児童発達支援事業所等では対応できない障害種別であるため	13	13.8
こども・保護者の希望	76	80.9
その他	13	13.8
全体	94	—

Q35 並行通園しているこどもについて、並行通園先との使い分けを回答ください。

並行通園しているこどもについて、並行通園先との使い分けについては、「1日の中で保育所等と児童発達支援事業所等の利用時間を分けている」が多く、44.3% (54 施設)、次いで「曜日などによって日ごとに保育所等と児童発達支援事業所等の利用日を分けている」が 38.5% (47 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
1日の中で保育所等と児童発達支援事業所等の利用時間を分けている	54	44.3
曜日などによって日ごとに保育所等と児童発達支援事業所等の利用日を分けている	47	38.5
こどもの状態や特性に応じて利用時間・利用日を決めている。(決まった使い分けはなく不規則である)	16	13.1
その他	5	4.1
全体	122	100.0

Q36 貴施設における専門職による外部支援の導入状況について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

専門職による外部支援の導入状況については、「児童発達支援事業所等の職員による巡回支援を導入している」が多く、40.5% (2,247 施設)、次いで「巡回支援専門員による巡回支援を導入している」が 40.1% (2,246 施設) となっている。

	施設数	割合(%)
児童発達支援事業所等の職員による巡回支援を導入している	2,247	40.5
医療機関や訪問看護ステーションの看護師等による巡回支援を導入している	128	2.3
巡回支援専門員による巡回支援を導入している	2,226	40.1
その他	646	11.6
導入していない	1,498	27.0
無回答	1	0.0
全体	5,552	—

Q37_1 貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

外部支援を受けている外部専門職の職種については、「公認心理師、臨床心理士」が最も多く、43.2%（1535 施設）、次いで「保健師」が 26.4%（939 施設）、「保育士」23.8%（848 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
医師	328	9.2
看護師	112	3.1
准看護師	1	0.0
助産師	13	0.4
保健師	939	26.4
児童指導員	720	20.2
保育士	848	23.8
公認心理師、臨床心理士	1,535	43.2
作業療法士	675	19.0
理学療法士	305	8.6
言語聴覚士	609	17.1
介護福祉士	10	0.3
手話通訳士	7	0.2
管理栄養士・栄養士	106	3.0
その他	593	16.7
全体	3,556	—

Q37_2 貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

外部支援を受けている外部専門職の職種と人数については、「公認心理師、臨床心理士」が最も多く、1,913 人（平均 1.24 施設）、次いで「保健師」が 1,395 人（平均 1.47 施設）、「保育士」1,388 人（平均 1.62 施設）となっている。

	施設数	人数	平均人数
医師	337	422	1.25
看護師	122	169	1.39
准看護師	11	1	0.09
助産師	23	16	0.70
保健師	948	1,395	1.47
児童指導員	728	1,089	1.50
保育士	856	1,388	1.62
公認心理師、臨床心理士	1,540	1,913	1.24
作業療法士	682	741	1.09
理学療法士	314	338	1.08
言語聴覚士	616	715	1.16
介護福祉士	20	14	0.70
手話通訳士	17	7	0.41
管理栄養士・栄養士	116	150	1.29
その他（【Q37_1_15回答内容表示】）	596	921	1.55

Q37_3 貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。※支援回数については、1 か月あたりの回数を記入ください。

外部支援を受けている外部専門職の支援回数については、「公認心理師、臨床心理士」が最も多く、2,172 人（平均 1.41 施設）、次いで「保育士」が 1,516 人（平均 1.77 施設）、「児童指導員」1,268 人（平均 1.74 施設）となっている。

	施設数	人数	平均人数
医師	336	474	1.41
看護師	121	1,076	8.89
准看護師	10	2	0.20
助産師	22	17	0.77
保健師	947	1,246	1.32
児童指導員	727	1,268	1.74
保育士	855	1,516	1.77
公認心理師、臨床心理士	1,537	2,172	1.41
作業療法士	680	1,123	1.65
理学療法士	312	464	1.49
言語聴覚士	615	907	1.47
介護福祉士	19	13	0.68
手話通訳士	16	7	0.44
管理栄養士・栄養士	115	176	1.53
その他（【Q37_1_15回答内容表示】）	594	871	1.47

Q38_1 貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

外部専門職の職種ごとの支援対象者については、手話通訳士、管理栄養士・栄養士を除き「障害児」が最も多かった。手話通訳士の支援対象者は「保護者」が最も多く、管理栄養士・栄養士の支援対象者は「他の園児（障害児以外）」が最も多かった。

		全体	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
医師	施設数	328	281	178	70	92	11
	割合 (%)	—	85.7	54.3	21.3	28.0	3.4
看護師	施設数	112	85	37	20	22	11
	割合 (%)	—	75.9	33.0	17.9	19.6	9.8
准看護師	施設数	1	1	1	0	0	0
	割合 (%)	—	100.0	100.0	-	-	-
助産師	施設数	13	12	10	4	3	1
	割合 (%)	—	92.3	76.9	30.8	23.1	7.7
保健師	施設数	940	809	463	461	258	22
	割合 (%)	—	86.1	49.3	49.0	27.4	2.3
児童指導員	施設数	721	653	184	197	250	15
	割合 (%)	—	90.6	25.5	27.3	34.7	2.1
保育士	施設数	847	762	301	230	373	16
	割合 (%)	—	90.0	35.5	27.2	44.0	1.9
公認心理師、臨床心理士	施設数	1,533	1,354	621	576	742	36
	割合 (%)	—	88.3	40.5	37.6	48.4	2.3
作業療法士	施設数	674	600	218	163	292	11
	割合 (%)	—	89.0	32.3	24.2	43.3	1.6
理学療法士	施設数	305	277	97	83	115	9
	割合 (%)	—	90.8	31.8	27.2	37.7	3.0
言語聴覚士	施設数	609	512	239	180	288	10
	割合 (%)	—	84.1	39.2	29.6	47.3	1.6
介護福祉士	施設数	10	8	1	2	3	0
	割合 (%)	—	80.0	10.0	20.0	30.0	-
手話通訳士	施設数	7	4	1	5	4	0
	割合 (%)	—	57.1	14.3	71.4	57.1	-
管理栄養士・栄養士	施設数	106	74	77	41	53	7
	割合 (%)	—	69.8	72.6	38.7	50.0	6.6
その他（【Q37_1_15回答 内容表示】）	施設数	591	479	219	182	271	45
	割合 (%)	—	81.0	37.1	30.8	45.9	7.6

Q40 保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

保育施設全体の理念や方針について、施設で以下の事項が実践できていると思うかについて、「インクルーシブな保育について理解を深める取組等により、理念や方針について保護者や関係者の理解や共感を得ている」および「こどもや保護者の意見を受け入れて、インクルーシブな保育の方針を検討する体制がある」では、「あまり実践できてない」の回答が最も多く、次いで「時々実践できている」が多かった。その他については、「時々実践できている」の回答が最も多かった。

		全体	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
園においてインクルーシブな保育実践のための理念や方針を示している	施設数 割合 (%)	7,727 100	1,331 17.2	2,269 29.4	2,316 30.0	1,811 23.4
園においてインクルーシブな保育について検討する体制がある	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	898 11.6	2,052 26.6	2,887 37.4	1,889 24.4
多様性を受入れこどもの主体性を尊重する文化を醸成することにより、理念や方針について保育士一人ひとりの理解や共感を得ている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	465 6.0	1,784 23.1	3,366 43.6	2,112 27.3
インクルーシブな保育について理解を深める取組等により、理念や方針について保護者や関係者の理解や共感を得ている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	1,020 13.2	2,846 36.8	2,722 35.2	1,140 14.8
専門家や関係機関と連携し、インクルーシブな保育の在り方について検討する体制がある	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	1,433 18.5	2,351 30.4	2,585 33.4	1,359 17.6
こどもや保護者の意見を受け入れて、インクルーシブな保育の方針を検討する体制がある	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	1,403 18.2	2,537 32.8	2,473 32.0	1,315 17.0

Q41 すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、施設で以下の事項が実践できているかについて、「障害のあるこどももないこどもも健康及び安全に生活し、自らの意思で自由に活動できる環境を整えている」および「障害のあるこどももないこどもも想定した災害への備えをしている」では「実践できている」の回答が最も多く、次いで「時々実践できている」の回答が多かった。一方で、「こどもの特性に応じた移動の支援（福祉車両の活用、遠足等へ看護師が同行等）を行い、障害のあるこどもとないこどもが安全で自由に移動できる体制を整えている」および「個別避難計画の策定や医療的ケア児のための電源確保を行う等、障害のあるこどもとないこどもの災害への備えをおこなっている」では、「実践できていない」の回答が最も多く、次いで「あまり実践できていない」が多かった。

		全体	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
障害のあるこどももないこどもも健康及び安全に生活し、自らの意思で自由に活動できる環境を整えている	施設数 割合（％）	7,728 100.0	440 5.7	1,075 13.9	3,015 39.0	3,198 41.4
障害のあるこどももないこどもも想定した災害への備えをしている	施設数 割合（％）	7,728 100.0	709 9.2	1,834 23.7	2,187 28.3	2,998 38.8
専門家や関係機関等の専門的な知見を踏まえて、障害のあるこどもとないこどもが一緒に過ごす園の環境を検討している	施設数 割合（％）	7,728 100.0	1,142 14.8	1,845 23.9	2,588 33.5	2,153 27.9
保育所等の施設整備（バリアフリー等）により、障害のあるこどもとないこどもが一緒に過ごす環境を整えている	施設数 割合（％）	7,726 100.0	1,801 23.3	2,294 29.7	1,874 24.3	1,757 22.7
こどもの特性に応じた遊具や機器を導入し、障害のあるこどもとないこどもが一緒に遊ぶ工夫をしている	施設数 割合（％）	7,726 100.0	1,261 16.3	2,093 27.1	2,590 33.5	1,782 23.1
こどもの特性に応じた移動の支援（福祉車両の活用、遠足等へ看護師が同行等）を行い、障害のあるこどもとないこどもが安全で自由に移動できる体制を整えている	施設数 割合（％）	7,726 100.0	2,956 38.3	1,762 22.8	1,553 20.1	1,455 18.8
明るさ・温度・湿度・音等に配慮することにより、障害のあるこどもとないこどもが安全・安心に過ごす環境を整えている	施設数 割合（％）	7,726 100.0	873 11.3	1,691 21.9	2,585 33.5	2,577 33.4
関係機関と連携を図り、平常時からの障害のあるこどもとないこどもの危機管理体制を整えている	施設数 割合（％）	7,726 100.0	1,161 15.0	2,200 28.5	2,393 31.0	1,972 25.5
個別避難計画の策定や医療的ケア児のための電源確保を行う等、障害のあるこどもとないこどもの災害への備えをおこなっている	施設数 割合（％）	7,726 100.0	2,925 37.9	2,427 31.4	1,295 16.8	1,079 14.0

Q42 保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、施設で以下の事項が実践できているかについて、「保育士等の加配により、子ども一人一人の発達過程や障害の状態を適切に把握している」では「実践できている」の回答が最も多く、「障害のある子どもとない子どもの育ちを支えるための研修の充実等により職員の資質及び専門性の向上を図っている」、「研修、実習等によりインクルーシブな保育についての理念や実践方法についての保育士等の知識・技能の向上を図っている」、「児童発達支援事業所等の専門機関の研修を受講する等、保育士等の専門性の向上を図っている」および「知識・技能・経験等のある保育士等が園内や他園にそれらを共有し、他の保育士等の知識・技能の向上を図っている」では「時々実践できている」の回答が最も多かった。一方で、その他については「実践できていない」の回答が最も多かった。

		全体	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
障害のある子どもとない子どもの育ちを支えるための研修の充実等により職員の資質及び専門性の向上を図っている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	409 5.3	1,450 18.8	3,692 47.8	2,177 28.2
専門職（作業療法士、公認心理師等）による支援が充実している	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	3,899 50.5	1,684 21.8	1,519 19.7	626 8.1
保育士等の加配により、子ども一人一人の発達過程や障害の状態を適切に把握している	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	1,176 15.2	1,201 15.5	2,594 33.6	2,757 35.7
研修、実習等によりインクルーシブな保育についての理念や実践方法についての保育士等の知識・技能の向上を図っている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	654 8.5	1,951 25.2	3,525 45.6	1,598 20.7
インクルーシブ保育の優良事例と考える園を視察する等、他園から保育の工夫を学び、実践している	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	3,350 43.3	2,498 32.3	1,423 18.4	457 5.9
児童発達支援事業所等の専門機関の研修を受講する等、保育士等の専門性の向上を図っている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	1,323 17.1	1,853 24.0	3,124 40.4	1,428 18.5
知識・技能・経験等のある保育士等が園内や他園にそれらを共有し、他の保育士等の知識・技能の向上を図っている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	1,505 19.5	2,335 30.2	2,819 36.5	1,069 13.8
保育士等の喀痰吸引等研修の受講を推奨し、医療的ケアに関する専門性の向上を図っている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	5,920 76.6	1,127 14.6	477 6.2	204 2.6
看護師等の配置や巡回支援により、こどもの健康状態に応じた医療的ケアの提供がおこなわれている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	5,027 65.1	903 11.7	775 10.0	1,022 13.2
専門職の配置や巡回支援により、こどもの障害特性、発達状況に応じた専門的な支援がおこなわれている (例：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等)	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	3,683 47.7	1,248 16.1	1,856 24.0	941 12.2
心理職の配置や巡回支援により、こどもの様子や状況に応じた専門的な支援がおこなわれている (例：公認心理師、臨床心理士等)	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	3,809 49.3	1,235 16.0	1,689 21.9	994 12.9

Q43 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できているかについて、「実践できている」の回答が最も多かったのは、「障害のあるこどもとないこどもが一緒に行事（発表会・遠足・運動会等）に参加している」で80.5%（6217施設）次いで「保育士等がこどもの心を受け止め、障害のあるこどもとないこどもが安心して伸び伸びと意見や感情を表現できる環境となっている」で63.2%（4,880施設）であった。一方で「実践できていない」の回答が最も多かったのは、「第三者評価を受審し、保育の見直しをおこなっている」で57.2%（4,417施設）、次いで「外部の専門機関・専門職を交えたカンファレンス等により、保育内容の評価をおこなっている」で43.4%（3,352施設）であった。

		全体	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
障害のあるこどもとないこどもを指導計画の中に位置づけ、包括する保育内容を検討している	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	1,047 13.5	1,764 22.8	2,529 32.7	2,387 30.9
障害のあるこどもとないこどもがまわりとの関わりの中で、愛情や信頼感を持ち、自己を十分に発揮できている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	451 5.8	587 7.6	2,666 34.5	4,022 52.1
障害のあるこどもとないこどもが生活を通して共に成長するインクルーシブな状態を想定し、園の指導計画の作成をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	925 12.0	1,802 23.3	2,581 33.4	2,419 31.3
保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて園の指導計画を作成をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	2,299 29.8	2,362 30.6	1,962 25.4	1,104 14.3
保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて個別の指導計画を作成をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	2,185 28.3	1,915 24.8	2,111 27.3	1,515 19.6
児童発達支援事業所等の専門機関の支援内容について理解を深め、専門機関の支援内容を指導計画に反映させている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	2,017 26.1	2,163 28.0	2,372 30.7	1,174 15.2
外部の専門機関・専門職を交えたカンファレンス等により、保育内容の評価をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	3,352 43.4	1,852 24.0	1,647 21.3	875 11.3
こどもの日々の様子を観察・記録し、障害のあるこどもとないこどもの日常の様子を踏まえて計画の改善をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	550 7.1	1,021 13.2	2,904 37.6	3,251 42.1
保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて計画の見直しをおこなっている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	2,096 27.1	2,168 28.1	2,302 29.8	1,160 15.0
第三者評価を受審し、保育の見直しをおこなっている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	4,417 57.2	1,019 13.2	804 10.4	1,487 19.2
障害のあるこどもとないこどもが共に活動しながら、それぞれの能力・資質を伸ばし、興味関心を広げられる保育内容となっている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	522 6.8	930 12.0	3,188 41.3	3,086 39.9
障害のあるこどもとないこどもが自分の意思やペースに合わせて自己決定、自己選択できる保育内容となっている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	480 6.2	863 11.2	3,177 41.1	3,206 41.5
合理的配慮のもと、障害のあるこどもとないこどもが一緒に成長する体験をできるように、柔軟で多様な活動を取り入れたものとなっている	施設数 割合 (%)	7,726 100.0	471 6.1	926 12.0	3,068 39.7	3,261 42.2
障害のあるこどもとないこどもが一緒に行事（発表会・遠足・運動会等）に参加している	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	485 6.3	246 3.2	779 10.1	6,217 80.5
障害のあるこどもとないこどもが十分に主体性を発揮できるよう保育士等が多様な方法で援助をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	400 5.2	458 5.9	2,437 31.5	4,432 57.4
集団の状況を把握し、こどもの関係や役割・立場を調整する等、障害のあるこどもとないこどもにとって集団としての活動が充実感の得られるものとなるよう工夫している	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	384 5.0	648 8.4	2,820 36.5	3,875 50.1
言葉だけでなく、視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどを多様なコミュニケーション手段を用いて、障害のあるこどもとないこどもが理解しやすい方法で応答的にコミュニケーションが行われている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	505 6.5	790 10.2	2,774 35.9	3,658 47.3
保育士等がこどもの心を受け止め、障害のあるこどもとないこどもが安心して伸び伸びと意見や感情を表現できる環境となっている	施設数 割合 (%)	7,727 100.0	261 3.4	356 4.6	2,230 28.9	4,880 63.2

Q44 保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、施設で以下の事項が実践できているかについて、次の2つを除き、「実践できている」の回答が最も多く、次いで「時々実践できている」が多かった。「保育所外の関係機関とこどもの状況や発達過程を共有し、互いの専門性を活かした支援をおこなっているか」および「医療、福祉、保育、教育などの専門機関との連携を強化し、こどもの発達や健康に関する情報を共有しながら、包括的な支援をおこなっている」については、「時々実践できている」が最も多く、次いで「実践できている」が多かった。

		全体	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
保育所内のコミュニケーションがおこなわれて情報が適切に共有されているか	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	65 0.8	236 3.1	2,315 30.0	5,112 66.1
保育所外の関係機関とこどもの状況や発達過程を共有し、互いの専門性を活かした支援をおこなっているか	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	430 5.6	1,343 17.4	3,653 47.3	2,302 29.8
全職員の円滑なコミュニケーションを促進し、適切・迅速な情報共有がおこなわれている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	51 0.7	361 4.7	2,645 34.2	4,671 60.4
定期的にミーティングの機会を設ける等により、職員間の保育の工夫を共有することによる学び合いの基盤をつくっている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	72 0.9	505 6.5	2,520 32.6	4,631 59.9
保護者や家庭と連携し、保育所等におけるこどもの様子や家庭におけるこどもの生活状況を伝え合うことができている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	39 0.5	207 2.7	2,010 26.0	5,472 70.8
医療、福祉、保育、教育などの専門機関との連携を強化し、こどもの発達や健康に関する情報を共有しながら、包括的な支援をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	404 5.2	1,709 22.1	3,414 44.2	2,201 28.5
市町村・保護者・関係機関等と連携してこどもの発達について協議の上、環境面の配慮や援助の工夫等を明確化して、保育要録等で就学先に伝えている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	637 8.2	735 9.5	1,645 21.3	4,711 61.0
市町村・保護者・関係機関等と連携して、小学校等と話し合いや視察の機会をもつ等、障害のあるこどもの就学後まで見通した支援をおこなっている	施設数 割合 (%)	7,728 100.0	1,065 13.8	908 11.7	2,072 26.8	3,683 47.7

Q45 保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、施設で以下の事項が実践できているかについて、次の２つを除き「実践できている」の回答が多く、次いで「時々実践できている」が多かった。「専門職（障害児支援や心理職等）を交えた保護者支援の実施により、こどもの発達状況、家庭の状況等への専門的な知見を交えた支援をおこなっている」および「地域の小中学生や高齢者との交流の機会を設ける等により、地域の様々な人や場と連携・交流し、園の取組を知っていただいている」については「時々実践できている」が最も多く、次いで「実践できている」が多かった。

		全体	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
保護者や地域との継続的な対話や関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所づくりをおこなっている	施設数 割合（％）	7,727 100.0	196 2.5	951 12.3	3,095 40.1	3,485 45.1
保護者への支援により、保護者や家庭とともにこどもの育ちを支えている	施設数 割合（％）	7,727 100.0	34 0.4	257 3.3	2,362 30.6	5,074 65.7
保護者と面談の機会を持つ等により、保護者の抱えてきた悩みや不安などを理解し支える取組をおこなっている	施設数 割合（％）	7,727 100.0	50 0.6	236 3.1	1,964 25.4	5,477 70.9
専門職（障害児支援や心理職等）を交えた保護者支援の実施により、こどもの発達状況、家庭の状況等への専門的な知見を交えた支援をおこなっている	施設数 割合（％）	7,727 100.0	1,329 17.2	1,732 22.4	2,716 35.1	1,950 25.2
保護者・家庭との継続的な対話により、家庭環境や育児の状況を共有し、家庭と連携・協力しながらこどものニーズに応じた支援を一貫して提供している	施設数 割合（％）	7,727 100.0	89 1.2	605 7.8	3,236 41.9	3,797 49.1
園と保護者・家庭においてオープンな対話を促進することにより、意見や感情を自由に表現できる環境を整えている	施設数 割合（％）	7,727 100.0	104 1.3	796 10.3	3,114 40.3	3,713 48.1
地域の小中学生や高齢者との交流の機会を設ける等により、地域の様々な人や場と連携・交流し、園の取組を知っていただいている	施設数 割合（％）	7,727 100.0	968 12.5	1,616 20.9	2,805 36.3	2,338 30.3
地域の関係機関と連携する等により、障害のあるこども等が、卒園後も引き続き適切な支援を受けられるように取り組んでいる	施設数 割合（％）	7,727 100.0	1,170 15.1	1,757 22.7	2,207 28.6	2,593 33.6

Q46 保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化については、「障害のあるこどもの成長」の回答が多く 76.8%（5,934 施設）、次いで「障害のあるこども以外のこどもの成長（思いやりの心を醸成する等）」が 76.6%（5,922 施設）となっている。

	施設数	割合(%)
障害のあるこどもの成長	5,934	76.8
障害のあるこども以外のこどもの成長（思いやりの心を醸成する等）	5,922	76.6
保育士等の専門性の向上	5,462	70.7
保護者における多様性に対する理解の向上	3,513	45.5
障害の有無等によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の基盤づくりになる	4,688	60.7
その他	204	2.6
全体	7,728	—

Q49 本調査研究では、アンケートにご協力いただいた施設の中から、インクルーシブな保育の実施状況に係るヒアリング（オンラインにより 1 時間程度、1～2 月頃実施予定。）をお願いしたいと考えています。ヒアリング結果は、本調査研究の成果としてとりまとめる事例集に記載させていただく可能性がございます。以下の項目から 1 つ選択してください。条件による場合には、具体的な内容をご記入ください。

	施設数	割合(%)
協力できる	788	10.2
協力できない	6,237	80.7
条件による	702	9.1
全体	7,727	100.0

Appendix（４）

インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査 単純集計結果（自治体票）

Q3_1 貴自治体内の公立施設の全施設数（令和６年４月１日現在）についてご回答ください。（※２）認定こども園は、２号及び３号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	603	2,898	4.81
認定こども園（※２）	602	663	1.10
家庭的保育事業所	603	7	0.01
小規模保育事業所	603	42	0.07
事業所内保育事業	603	8	0.01

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_2 貴自治体内の公立施設の定員数（令和６年４月１日現在）についてご回答ください。（※１）定員数は弾力定員（令和６年４月の入園における利用調整において用いた定員）をご回答ください。（※２）認定こども園は、２号及び３号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数（※）	人数	平均人数
認可保育所	601	275,284	458.04
認定こども園（※２）	599	73,801	123.21
家庭的保育事業所	602	38	0.06
小規模保育事業所	602	629	1.04
事業所内保育事業	601	57	0.09

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_3 貴自治体内の公立施設の障害児受け入れ施設等数（令和６年４月１日現在）についてご回答ください。（※２）認定こども園は、２号及び３号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	593	2,795	4.71
認定こども園（※２）	601	665	1.11
家庭的保育事業所	603	0	0.00
小規模保育事業所	603	14	0.02
事業所内保育事業	603	0	0.00

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_4 貴自治体内の公立施設で受け入れている障害児の実人数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数 （※1）	1人以上の障害 児を公立施設 で受入れている 自治体数	人数	平均人数 （※2）
認可保育所	579	351	15,232	43.40
認定こども園（※2）	594	170	4,447	26.16
家庭的保育事業所	603	0	0	0.00
小規模保育事業所	600	7	12	1.71
事業所内保育事業	603	0	0	0.00

（※1）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

（※2）1人以上の障害児を公立施設で受入れている自治体における平均加受入数

Q3_5 貴自治体内の私立施設の全施設数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	602	9,782	16.25
認定こども園（※2）	599	4,817	8.04
家庭的保育事業所	600	467	0.78
小規模保育事業所	603	3,189	5.29
事業所内保育事業	601	505	0.84

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_6 貴自治体内の私立施設の定員数（令和6年4月1日現在）についてご回答ください。（※1）定員数は弾力定員（令和6年4月の入園における利用調整において用いた定員）をご回答ください。（※2）認定こども園は、2号及び3号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数（※）	人数	平均人数
認可保育所	599	665,400	1,110.85
認定こども園（※2）	595	455,621	765.75
家庭的保育事業所	596	1,925	3.23
小規模保育事業所	599	49,835	83.20
事業所内保育事業	579	6,775	11.70

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_7 貴自治体内の私立施設の障害児受け入れ施設等数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
認可保育所	574	5,499	9.58
認定こども園（※ 2）	565	2,913	5.16
家庭的保育事業所	585	52	0.09
小規模保育事業所	567	421	0.74
事業所内保育事業	545	37	0.07

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q3_8 貴自治体内の私立施設で受け入れている障害児の実人数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。（※ 2）認定こども園は、2 号及び 3 号認定児を受け入れている施設について、ご回答ください。

	自治体数（※）	人数	平均人数
認可保育所	558	20,190	36.18
認定こども園（※ 2）	539	13,619	25.27
家庭的保育事業所	581	13	0.02
小規模保育事業所	555	337	0.61
事業所内保育事業	541	32	0.06

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q4_1 貴自治体内の公設公営の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
児童発達支援事業所	590	78	0.13
児童発達支援センター	592	104	0.18

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q4_2 貴自治体内の公設民営の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
児童発達支援事業所	587	28	0.05
児童発達支援センター	588	79	0.13

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q4_3 貴自治体内の民間の児童発達支援センター、児童発達支援事業所数（令和 6 年 4 月 1 日現在）についてご回答ください。

	自治体数（※）	施設数	平均施設数
児童発達支援事業所	547	4,811	8.80
児童発達支援センター	558	680	1.22

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q5 障害児とその保護者の意向について把握している内容をご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

障害児とその保護者の意向について把握している内容については、「保育所等において障害の有無に関わらず一緒に保育するだけでなく、保育士との個別の関わりも充実させて欲しい」多く 48.8%（294 自治体）、次いで「保育所等において個別の配慮を希望せず、障害の有無に関わらず一緒に保育を行うことを希望する」が 32.2%（194 自治体）であった。

	自治体数	割合(%)
保育所等において個別の配慮を希望せず、障害の有無に関わらず一緒に保育を行うことを希望する	194	32.2
保育所等において障害の有無に関わらず一緒に保育するだけでなく、保育士との個別の関わりも充実させて欲しい	294	48.8
保育所等において障害の有無に関わらず一緒に保育するだけでなく、作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）も充実させて欲しい	63	10.5
保育所等に児童発達支援事業所等が併設されている環境で、日常的に作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）をして欲しい	24	4.0
保育所等と児童発達支援事業所等の連携体制があり、必要に応じて作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）をして欲しい	98	16.3
保育所等に児童発達支援事業所等が併設されている環境で、施設間における日常的なこどもの交流を希望する	19	3.2
保育所等と児童発達支援事業所等の連携体制があり、行事ごと等の機会においてこどもの交流を希望する	38	6.3
その他	198	32.9
全体	602	—

Q9 貴自治体における保育所等の入所調整時等において、障害児とその保護者の意向について把握している内容をご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育所等の入所調整時等において、障害児とその保護者の意向について把握している内容については、「わからない」が最も多く 55.7%（335 自治体）、次いで「通園する保育所等とは別の（併設されてない）児童発達支援事業所等への併行通園を希望する」が 38.3%（230 自治体）であった。

	自治体数	割合(%)
保育所等と児童発達支援事業所等が併設されている環境において、併設された児童発達支援事業所等への併行通園を希望する	32	5.3
通園する保育所等とは別の（併設されてない）児童発達支援事業所等への併行通園を希望する	230	38.3
保育所等において作業療法士等の専門職による育ちの支援（療育支援等）を希望する（児童発達支援事業所等の療育機関へは通わない）	29	4.8
保育所等への通園のみを希望する（児童発達支援事業所等の療育機関へは通わない）	139	23.1
わからない	335	55.7
全体	601	100.0

Q14 貴自治体において、障害児の入園にあたり専門職等による検討会を実施しているか、ご回答ください。

障害児の入園にあたり専門職等による検討会を実施しているかについては、「実施していない」が 63.5%（383 自治体）、「実施している」が 36.5%（220 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
実施している	220	36.5
実施していない	383	63.5
全体	603	100.0

Q15 貴自治体の検討会の参加者についてあてはまる方をすべてご回答ください。

検討会の参加者については、「自治体職員」が最も多く 94.6%（209 自治体）、次いで「保育所等の園長・保育士等の職員」が 90.5%（200 自治体）、「児童発達支援事業所等の児童指導員・保育士等の職員」33.0%（73 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
自治体職員	209	94.6
保育所等の園長・保育士等の職員	200	90.5
児童発達支援事業所等の児童指導員・ 保育士等の職員	73	33.0
医師	71	32.1
看護師等	61	27.6
機能訓練担当職員（作業療法士・理学	31	14.0
公認心理師、臨床心理士	68	30.8
教育委員会職員	56	25.3
その他	53	24.0
全体	221	—

Q16_1 管内の保育所等で受入れている 0 歳の障害児の実数をご回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

令和 6 年 4 月 1 日時点において、511 自治体管内の保育所等で受け入れた 0 歳の障害児数（実人数）は計 234 人であり、1 自治体管内あたりでは 0.46 人であった。

Q16_2 管内の保育所等で受入れている 0 歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	自治体数	割合(%)
把握している	46	31.1
把握していない	102	68.9
全体	148	100.0

16_3 管内の保育所等で受入れている 0 歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

	自治体数	人数	平均人数
視覚障害	39	1	0.03
聴覚障害	38	8	0.21
言語障害	36	0	0.00
肢体不自由	39	7	0.18
知的障害	40	10	0.25
病弱・虚弱	39	9	0.23
発達障害	40	9	0.23
精神障害（発達障害以外）	39	2	0.05
医療的ケア児	41	5	0.12
「気になる子」	36	23	0.64
その他	41	18	0.44

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q16_4 管内の保育所等で受入れている 1 歳の障害児の実数をご回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

令和 6 年 4 月 1 日時点において、502 自治体管内の保育所等で受け入れた 1 歳の障害児数（実人数）は計 961 人であり、1 自治体管内あたりでは 1.91 人であった。

Q16_5 管内の保育所等で受入れている 1 歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	自治体数	割合(%)
把握している	136	47.2
把握していない	152	52.8
全体	288	100.0

Q16_6 管内の保育所等で受入れている 1 歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

	自治体数	人数	平均人数
視覚障害	128	14	0.11
聴覚障害	127	27	0.21
言語障害	123	4	0.03
肢体不自由	129	56	0.43
知的障害	127	85	0.67
病弱・虚弱	126	24	0.19
発達障害	128	56	0.44
精神障害（発達障害以外）	125	14	0.11
医療的ケア児	129	41	0.32
「気になる子」	119	163	1.37
その他	129	119	0.92

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q16_7 管内の保育所等で受入れている 2 歳の障害児の実数をご回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

令和 6 年 4 月 1 日時点において、501 自治体管内の保育所等で受け入れた 2 歳の障害児数（実人数）は計 3,602 人であり、1 自治体管内あたりでは 7.19 人であった。

Q16_8 管内の保育所等で受入れている 2 歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	自治体数	割合(%)
把握している	220	54.6
把握していない	183	45.4
全体	403	100.0

Q16_9 管内の保育所等で受入れている 2 歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

	自治体数	人数	平均人数
視覚障害	207	14	0.07
聴覚障害	208	61	0.29
言語障害	204	44	0.22
肢体不自由	209	90	0.43
知的障害	206	274	1.33
病弱・虚弱	205	45	0.22
発達障害	210	392	1.87
精神障害（発達障害以外）	205	77	0.38
医療的ケア児	214	70	0.33
「気になる子」	201	866	4.31
その他	210	298	1.42

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q16_10 管内の保育所等で受入れている 3 歳の障害児の実数をご回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

令和 6 年 4 月 1 日時点において、504 自治体管内の保育所等で受け入れた 3 歳の障害児数（実人数）は計 9,927 人であり、1 自治体管内あたりでは 19.70 人であった。

Q16_11 管内の保育所等で受入れている 3 歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	自治体数	割合(%)
把握している	288	58.9
把握していない	201	41.1
全体	489	100.0

Q16_12 管内の保育所等で受入れている 3 歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

	自治体数	人数	平均人数
視覚障害	274	22	0.08
聴覚障害	276	72	0.26
言語障害	273	128	0.47
肢体不自由	273	104	0.38
知的障害	276	1,010	3.66
病弱・虚弱	272	50	0.18
発達障害	278	1,953	7.03
精神障害（発達障害以外）	273	193	0.71
医療的ケア児	281	90	0.32
「気になる子」	269	2,218	8.25
その他	277	554	2.00

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q16_13 管内の保育所等で受入れている 4 歳の障害児の実数をご回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

令和 6 年 4 月 1 日時点において、505 自治体管内の保育所等で受け入れた 4 歳の障害児数（実人数）は計 13,941 人であり、1 自治体管内あたりでは 27.61 人あった。

Q16_14 管内の保育所等で受入れている 4 歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	自治体数	割合(%)
把握している	299	58.6
把握していない	211	41.4
全体	510	100.0

Q16_15 管内の保育所等で受入れている 4 歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

	自治体数	人数	平均人数
視覚障害	286	17	0.06
聴覚障害	286	68	0.24
言語障害	285	217	0.76
肢体不自由	288	143	0.50
知的障害	286	1,685	5.89
病弱・虚弱	283	63	0.22
発達障害	289	3,521	12.18
精神障害（発達障害以外）	283	344	1.22
医療的ケア児	290	91	0.31
「気になる子」	280	2,606	9.31
その他	285	766	2.69

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q16_16 管内の保育所等で受入れている 5 歳の障害児の実数をご回答ください。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

令和 6 年 4 月 1 日時点において、503 自治体管内の保育所等で受け入れた 5 歳の障害児数（実人数）は計 15,280 人であり、1 自治体管内あたりでは 30.38 人であった。

Q16_17 管内の保育所等で受入れている 5 歳の障害児における障害種別（視覚障害、聴覚障害等）人数を把握していますか。（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	自治体数	割合(%)
把握している	310	59.7
把握していない	209	40.3
全体	519	100.0

Q16_18 管内の保育所等で受入れている 5 歳の障害児における障害種別人数をご回答ください。障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別に計上をしてください。

	自治体数	人数	平均人数
視覚障害	296	24	0.08
聴覚障害	296	68	0.23
言語障害	295	177	0.60
肢体不自由	295	163	0.55
知的障害	297	1,870	6.30
病弱・虚弱	293	49	0.17
発達障害	297	4,445	14.97
精神障害（発達障害以外）	293	401	1.37
医療的ケア児	301	79	0.26
「気になる子」	289	2,605	9.01
その他	297	877	2.95

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q18 貴自治体が保育所等において「インクルーシブな保育」を実践するために必要と考えるもののうち、今後、取り組みたいと考えるものを 5 つまでお選びください。

「インクルーシブな保育」を実践するために必要と考えるもののうち、今後、取り組みたいと考えるものについては、「園や保護者の理解」が最も多く 68.3%（412 自治体）、次いで「保育士等の加配」が 65.5%（395 自治体）、「障害のあるこどもの受入れのための環境整備（研修受講等）」44.9%（271 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
園や保護者の理解	412	68.3
児童発達支援事業所等との併設・交流による障害児支援との一体的な支援	83	13.8
障害のあるこどもとないこどもの日常的な交流	186	30.8
保育士等の加配	395	65.5
作業療法士等の専門職の配置	50	8.3
公認心理師等の心理職の配置	40	6.6
こどもの状態や特性に応じた園全体の指導計画や個別の指導計画の策定	158	26.2
医療機関や児童発達支援事業所等の関係機関との連携	243	40.3
障害のあるこどもの受入れのための施設整備（バリアフリー等）	145	24.0
障害のあるこどもの受入れのための環境整備（研修受講等）	271	44.9
その他	32	5.3
全体	603	—

Q22_1 保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために日常的に配置を必要とする専門職についてあてはまるものすべてをお選びください。

保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために日常的に配置を必要とする専門職については、「看護師」が最も多く 58.6%（351 自治体）、次いで「公認心理師、臨床心理士等」が 22.7%（136 自治体）、「必要とする専門職はない」20.7%（124 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
医師	19	3.2
看護師	351	58.6
准看護師	59	9.8
助産師	8	1.3
保健師	116	19.4
児童指導員	42	7.0
公認心理師、臨床心理士等	136	22.7
作業療法士	109	18.2
理学療法士	67	11.2
言語聴覚士	86	14.4
介護福祉士	10	1.7
手話通訳士	15	2.5
栄養士・管理栄養士	74	12.4
カウンセラー	53	8.8
その他	62	10.4
必要とする専門職はない	124	20.7
全体	599	—

Q22_3 貴自治体において、保育所等への各専門職の配置について、すでに実施している支援（財政措置等）の職種があるか、ご回答ください。

保育所等への各専門職の配置について、すでに実施している支援（財政措置等）の職種があるかについては、「実施している支援はない」が多く 62.0%（373 自治体）、次いで「看護師」が 30.9%（186 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
医師	4	0.7
看護師	186	30.9
准看護師	35	5.8
助産師	13	2.2
保健師	38	6.3
児童指導員	1	0.2
公認心理師、臨床心理士等	10	1.7
作業療法士	2	0.3
理学療法士	0	-
言語聴覚士	3	0.5
介護福祉士	0	-
手話通訳士	0	-
栄養士・管理栄養士	52	8.6
カウンセラー	4	0.7
その他	12	2.0
実施している支援はない	373	62.0
全体	602	—

Q24_1 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等を併設している保育所等について、併設している施設種別ごとに施設数をご回答ください。

		全体	併設していない	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所以上
児童発達支援事業所	自治体数	602	534	38	16	7	3	4
	割合 (%)	100.0	88.7	6.3	2.7	1.2	0.5	0.7
児童発達支援センターを併設している施設	自治体数	602	576	24	1	1	0	0
	割合 (%)	100.0	95.7	4.0	0.2	0.2	-	-

Q24_2 管内保育所等のうち児童発達支援事業所等を併設している施設の名称を把握していますか。

		全体	把握 している	把握 していない
児童発達支援事業所を併設している保育所等	自治体数	69	63	6
	割合（％）	100.0	91.3	8.7
児童発達支援センターを併設している保育所等	自治体数	27	24	3
	割合（％）	100.0	88.9	11.1

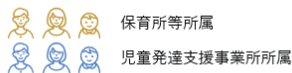
Q24_4 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等は、施設・設備を共用していますか。

		全体	共用 している	共用 していない	把握 していない
児童発達支援事業所を併設している保育所等1	自治体数	61	31	17	13
	割合（％）	100.0	50.8	27.9	21.3
児童発達支援事業所を併設している保育所等2	自治体数	24	8	5	11
	割合（％）	100.0	33.3	20.8	45.8
児童発達支援事業所を併設している保育所等3	自治体数	10	2	2	8
	割合（％）	100.0	20.0	20.0	80.0
児童発達支援事業所を併設している保育所等4	自治体数	3	0	2	1
	割合（％）	100.0	-	66.7	33.3
児童発達支援事業所を併設している保育所等5	自治体数	1	1	0	0
	割合（％）	100.0	100.0	-	-
児童発達支援センターを併設している保育所等1	自治体数	24	9	10	5
	割合（％）	100.0	37.5	41.7	20.8
児童発達支援センターを併設している保育所等2	自治体数	1	0	1	0
	割合（％）	100.0	-	100.0	-
児童発達支援センターを併設している保育所等3	自治体数	1	0	1	0
	割合（％）	100.0	-	100.0	-
児童発達支援センターを併設している保育所等4	自治体数	0	0	0	0
	割合（％）	100.0	-	-	-
児童発達支援センターを併設している保育所等5	自治体数	0	0	0	0
	割合（％）	100.0	-	-	-

Q24_6 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等が、人員を兼務していますか。※「図 インクルーシブ保育における職員兼務の考え方 1」または「図 インクルーシブ保育における職員兼務の考え方 2」に該当する場合、「兼務している」をお選びください。

		全体	兼務 している	兼務 していない	把握 していない
児童発達支援事業所を併設している 施設1	自治体数 割合（％）	61 100.0	7 11.5	26 42.6	28 45.9
児童発達支援事業所を併設している 施設2	自治体数 割合（％）	24 100.0	5 20.8	4 16.7	15 62.5
児童発達支援事業所を併設している 施設3	自治体数 割合（％）	10 100.0	2 20.0	2 20.0	6 60.0
児童発達支援事業所を併設している 施設4	自治体数 割合（％）	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
児童発達支援事業所を併設している 施設5	自治体数 割合（％）	1 100.0	1 100.0	0 -	0 -
児童発達支援センターを併設してい る施設1	自治体数 割合（％）	24 100.0	1 4.2	14 58.3	9 -
児童発達支援センターを併設してい る施設2	自治体数 割合（％）	1 100.0	0 -	1 100.0	0 -
児童発達支援センターを併設してい る施設3	自治体数 割合（％）	1 100.0	0 -	1 100.0	0 -
児童発達支援センターを併設してい る施設4	自治体数 割合（％）	0 100.0	0 -	0 -	0 -
児童発達支援センターを併設してい る施設5	自治体数 割合（％）	0 100.0	0 -	0 -	0 -

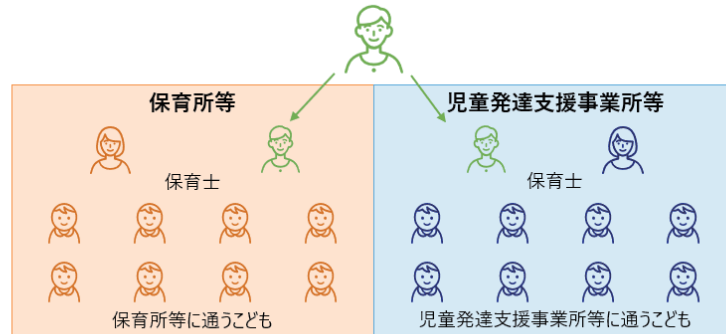
インクルーシブ保育における職員兼務の考え方 1



通常の職員兼務の考え方

※以下の例は、考え方を示す一例であり、インクルーシブ保育の実施においても、それぞれの事業の人員基準を満たす必要があることに留意。

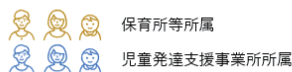
1名の保育士がそれぞれの事業の保育及び発達支援に従事



- 通常の兼務は、一人の職員が、同一事業において他の職種を2以上兼ねることや、2以上の事業において勤務することが想定される。
- メリットとしては、人の配置がディスカウントされることが考えられる（例えば、管理者と児童発達支援管理責任者を1人の職員が兼ねることにより、本来2人配置すべきところが、1人の配置で可能となる）。
- 保育所及び児童発達支援においては、原則それぞれ保育及び発達支援に専ら従事すべきものであり、交流していない場合には原則に基づく運用となり、上記のような兼務の考え方は想定されない。（加配職員であれば、上記の運用も考えられる。）

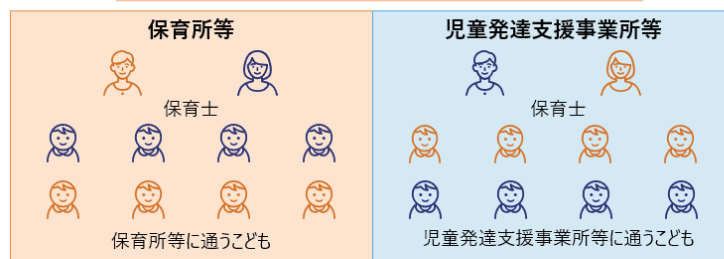
➡ 通常の兼務は、兼務での配置を前提としたもの（勤務表等にも反映される）

インクルーシブ保育における職員兼務の考え方 2



インクルーシブ保育の職員兼務の考え方

交流保育の場面



- 基準省令上の兼務の考え方は、交流保育の場面では、専ら発達支援に従事すべき保育士等が、保育に従事することを可能としたものであり、交流保育の場面で瞬間的に「保育の保育士でもあり、児童発達支援の保育士でもある」という運用を認めるものである。
- また、それぞれの人員基準を満たしていることが前提条件であり、この運用により、通常の兼務のメリットである職員のディスカウントがされることはない。そのため、通常の兼務とは、若干考え方が異なるものである。

➡ インクルーシブ保育における兼務は、兼務での配置を前提としたものではなく、当該場面において瞬間的に生じるもの（勤務表等にも反映されない）

Q24_8 管内保育所等のうち、児童発達支援事業所等の施設を併設している保育所等と児童発達支援事業所等は、施設間でこども同士の交流を図っていますか。

		全体	交流 している	交流 していない	把握 していない
児童発達支援事業所を併設している施設1	自治体数 割合 (%)	61 100.0	26 42.6	3 4.9	32 52.5
児童発達支援事業所を併設している施設2	自治体数 割合 (%)	24 100.0	8 33.3	0 -	16 66.7
児童発達支援事業所を併設している施設3	自治体数 割合 (%)	10 100.0	3 30.0	0 -	7 70.0
児童発達支援事業所を併設している施設4	自治体数 割合 (%)	3 100.0	2 66.7	0 -	1 33.3
児童発達支援事業所を併設している施設5	自治体数 割合 (%)	1 100.0	1 100.0	0 -	0 -
児童発達支援センターを併設している施設1	自治体数 割合 (%)	24 100.0	13 54.2	2 8.3	9 37.5
児童発達支援センターを併設している施設2	自治体数 割合 (%)	1 100.0	1 100.0	0 -	0 -
児童発達支援センターを併設している施設3	自治体数 割合 (%)	1 100.0	1 100.0	0 -	0 -
児童発達支援センターを併設している施設4	自治体数 割合 (%)	0 100.0	0 -	0 -	0 -
児童発達支援センターを併設している施設5	自治体数 割合 (%)	0 100.0	0 -	0 -	0 -

Q26 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために、導入している外部支援についてご回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために、導入している外部支援については、「市町村において実施している巡回支援」が多く 39.2%（236 自治体）、次いで「実施していない」が 26.6%（160 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
地域障害児支援体制強化事業（児童発達支援事業所等の職員による巡回支援）	98	16.3
医療的ケア児保育支援事業（看護師等による巡回支援）	45	7.5
上記事業以外の国の事業による巡回支援を導入	6	1.0
県の事業による巡回支援を導入	53	8.8
市町村において実施している巡回支援	236	39.2
その他	21	3.5
実施していない	160	26.6
把握していない	109	18.1
全体	602	—

Q27 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援を行う専門職ごとの人数及び支援回数を把握していますか。把握している職種についてあてはまるものすべてをお選びください。

外部支援を行う専門職ごとの人数及び支援回数を把握している職種については、「公認心理師、臨床心理士等」が最も多く 46.4%（155 自治体）、次いで「保健師」が 28.4%（95 施設）、「保育士」が 25.7%（86 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
医師	19	5.7
看護師	40	12.0
准看護師	2	0.6
助産師	0	-
保健師	95	28.4
児童指導員	16	4.8
保育士	86	25.7
公認心理師、臨床心理士等	155	46.4
作業療法士	70	21.0
理学療法士	32	9.6
言語聴覚士	70	21.0
介護福祉士	1	0.3
手話通訳士	0	-
栄養士・管理栄養士	9	2.7
カウンセラー	9	2.7
その他 1	72	21.6
その他 2	17	5.1
その他 3	4	1.2
把握している職種はない	73	21.9
全体	334	—

Q28_1 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、把握している専門職ごとの事業主体をご回答ください。※国や県や市町村、その他の事業主体において、同一主体で複数の事業が存在する場合は、それぞれ 3 つまでご回答ください。

	全体	国1	国2	国3	県1	県2	県3	市町村1	市町村2	市町村3	その他の事業主体1	その他の事業主体2	その他の事業主体3	無回答
医師	19 — 自治体数 割合 (%)	2 10.5 —	1 5.3 —	0 —	5 26.3 —	0 —	0 —	8 42.1 —	2 10.5 —	1 5.3 —	8 42.1 —	1 5.3 —	1 5.3 —	1 5.3 —
看護師	40 — 自治体数 割合 (%)	3 7.5 —	0 —	0 —	4 10.0 —	0 —	0 —	26 65.0 —	2 5.0 —	0 —	9 22.5 —	1 2.5 —	1 2.5 —	3 7.5 —
准看護師	2 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	2 100.0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
助産師	0 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
保健師	95 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	4 4.2 —	0 —	0 —	86 90.5 —	2 2.1 —	0 —	3 3.2 —	0 —	0 —	3 3.2 —
児童指導員	16 — 自治体数 割合 (%)	1 6.3 —	0 —	0 —	1 6.3 —	0 —	0 —	11 68.8 —	0 —	0 —	4 25.0 —	0 —	0 —	1 6.3 —
保育士	85 — 自治体数 割合 (%)	3 3.5 —	0 —	0 —	5 5.9 —	0 —	0 —	71 83.5 —	3 3.5 —	0 —	10 11.8 —	0 —	0 —	2 2.4 —
公認心理師、臨床心理士等	155 — 自治体数 割合 (%)	7 4.5 —	0 —	0 —	16 10.3 —	1 0.6 —	0 —	110 71.0 —	6 3.9 —	1 0.6 —	24 15.5 —	2 1.3 —	0 —	6 3.9 —
作業療法士	70 — 自治体数 割合 (%)	4 5.7 —	1 1.4 —	0 —	7 10.0 —	0 —	1 1.4 —	51 72.9 —	3 4.3 —	1 1.4 —	13 18.6 —	2 2.9 —	0 —	0 —
理学療法士	32 — 自治体数 割合 (%)	2 6.3 —	0 —	0 —	3 9.4 —	0 —	0 —	15 46.9 —	1 3.1 —	1 3.1 —	13 40.6 —	0 —	0 —	1 3.1 —
言語聴覚士	70 — 自治体数 割合 (%)	3 4.3 —	1 1.4 —	0 —	11 15.7 —	0 —	0 —	40 57.1 —	4 5.7 —	1 1.4 —	14 20.0 —	1 1.4 —	0 —	1 1.4 —
介護福祉士	1 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	1 100.0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
手話通訳士	0 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
栄養士・管理栄養士	9 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	7 77.8 —	2 22.2 —	0 —	0 —	0 —	1 11.1 —	0 —
カウンセラー	9 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	2 22.2 —	0 —	0 —	5 55.6 —	0 —	0 —	2 22.2 —	0 —	0 —	1 11.1 —
その他 1	73 — 自治体数 割合 (%)	4 5.5 —	0 —	0 —	17 23.3 —	0 —	0 —	41 56.2 —	1 1.4 —	0 —	13 17.8 —	0 —	0 —	2 2.7 —
その他 2	17 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	4 23.5 —	0 —	0 —	7 41.2 —	1 5.9 —	0 —	6 35.3 —	0 —	0 —	0 —
その他 3	4 — 自治体数 割合 (%)	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	3 75.0 —	1 25.0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —

Q29_1 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援に携わる専門職ごとの実人数をご回答ください。（令和6年4月1日時点）

	自治体数	人数	平均人数
医師	18	31	1.72
看護師	35	45	1.29
准看護師	8	1	0.13
助産師	6	0	0.00
保健師	80	212	2.65
児童指導員	18	22	1.22
保育士	71	181	2.55
公認心理師、臨床心理士等	125	304	2.43
作業療法士	59	100	1.69
理学療法士	28	39	1.39
言語聴覚士	61	74	1.21
介護福祉士	7	1	0.14
手話通訳士	6	0	0.00
栄養士・管理栄養士	14	29	2.07
カウンセラー	14	9	0.64
その他1	69	128	1.86
その他2	20	48	2.40
その他3	9	4	0.44

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q29_2 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援に係る専門職ごとの支援回数（令和５年度の合計回数）をご回答ください。

	自治体数	回数	平均回数
医師	17	249	14.65
看護師	25	992	39.68
准看護師	6	0	0.00
助産師	6	0	0.00
保健師	63	1,022	16.22
児童指導員	13	282	21.69
保育士	56	4,219	75.34
公認心理師、臨床心理士等	105	7,445	70.90
作業療法士	50	1,511	30.22
理学療法士	22	875	39.77
言語聴覚士	50	1,050	21.00
介護福祉士	7	2	0.29
手話通訳士	6	0	0.00
栄養士・管理栄養士	11	545	49.55
カウンセラー	10	160	16.00
その他1	60	1,564	26.07
その他2	18	286	15.89
その他3	10	32	3.20

（※）無回答および「該当はあるが数値を把握していない」の回答を含まない

Q29_3 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、外部支援を提供する各専門職が担っている役割（こども・保護者・職員に対しての支援など）を把握している職種についてご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

	自治体数	割合(%)
医師	16	4.8
看護師	44	13.2
准看護師	1	0.3
助産師	2	0.6
保健師	88	26.4
児童指導員	18	5.4
保育士	93	27.9
公認心理師、臨床心理士等	137	41.1
作業療法士	71	21.3
理学療法士	31	9.3
言語聴覚士	64	19.2
介護福祉士	1	0.3
手話通訳士	0	-
栄養士・管理栄養士	11	3.3
カウンセラー	7	2.1
その他1	60	18.0
その他2	14	4.2
その他3	3	0.9
把握している職種はない	88	26.4
全体	333	—

Q29_4 管内の保育所等においてインクルーシブな保育を実践するために導入している外部支援について、専門職ごとの役割をご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

		全体	こどもに対して行っている支援	保護者に対して行っている支援	職員に対して行っている支援	その他	把握していない
医師	自治体数 割合 (%)	16 —	11 68.8	12 75.0	15 93.8	0 -	0 -
看護師	自治体数 割合 (%)	44 —	37 84.1	16 36.4	26 59.1	0 -	2 4.5
准看護師	自治体数 割合 (%)	1 —	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -
助産師	自治体数 割合 (%)	2 —	1 50.0	2 100.0	0 -	0 -	0 -
保健師	自治体数 割合 (%)	88 —	55 62.5	73 83.0	66 75.0	1 1.1	1 1.1
児童指導員	自治体数 割合 (%)	18 —	11 61.1	11 61.1	17 94.4	0 -	0 -
保育士	自治体数 割合 (%)	91 —	62 68.1	52 57.1	84 92.3	0 -	2 2.2
公認心理師、臨床心理士等	自治体数 割合 (%)	138 —	84 60.9	85 61.6	129 93.5	2 1.4	2 1.4
作業療法士	自治体数 割合 (%)	71 —	50 70.4	38 53.5	63 88.7	0 -	1 1.4
理学療法士	自治体数 割合 (%)	32 —	24 75.0	19 59.4	27 84.4	0 -	1 3.1
言語聴覚士	自治体数 割合 (%)	66 —	40 60.6	36 54.5	61 92.4	0 -	1 1.5
介護福祉士	自治体数 割合 (%)	1 —	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 -	0 -
手話通訳士	自治体数 割合 (%)	0 —	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
栄養士・管理栄養士	自治体数 割合 (%)	11 —	8 72.7	6 54.5	10 90.9	0 -	0 -
カウンセラー	自治体数 割合 (%)	7 —	6 85.7	6 85.7	6 85.7	0 -	0 -
その他1	自治体数 割合 (%)	60 —	35 58.3	34 56.7	50 83.3	1 1.7	3 5.0
その他2	自治体数 割合 (%)	14 —	10 71.4	8 57.1	11 78.6	0 -	1 7.1
その他3	自治体数 割合 (%)	3 —	0 -	1 33.3	3 100.0	0 -	0 -

Q30 貴自治体内の保育所等への巡回支援等について、保育所等からの支援要望にどの程度応えることができているか、ご回答ください。

自治体内の保育所等への巡回支援等について、保育所等からの支援要望にどの程度応えることができているかについては、「全てもしくはほとんど全ての要望に応えることができている」が多く 40.6%（243 自治体）、次いで「4 割未満の要望に応えることができている」が 20.5%（123 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
全てもしくはほとんど全ての要望に応えることができている	243	40.6
8 割程度の要望に応えることができている	119	19.9
6 割程度の要望に応えることができている	72	12.0
4 割程度の要望に応えることができている	42	7.0
4 割未満の要望に応えることができている	123	20.5
全体	599	100.0

Q31 貴自治体内の保育所等への巡回支援等について、保育所等からの支援要望に応えることができない理由をご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

自治体内の保育所等への巡回支援等について、保育所等からの支援要望に応えることができない理由については、「専門職の人材確保が困難であるため」が多く 44.9%（160 自治体）、次いで「把握していない」が 36.2%（129 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
専門職の人材確保が困難であるため	160	44.9
専門職の巡回・配置にあたっての財政措置が困難であるため	82	23.0
専門職による巡回支援の連携・調整をする職員が不足しているため	88	24.7
全ての要望に答えている	17	4.8
把握していない	129	36.2
全体	356	—

Q32 保育所等において、インクルーシブな保育を実践するために、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育所等において、インクルーシブな保育を実践するために、自治体を実施していることについては、「その他」が多く 60.9%（364 自治体）、次いで「インクルーシブな保育の在り方について専門家や関係機関と検討する機会を設けている」が 18.4%（110 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
インクルーシブな保育について自治体としての方針を示している	45	7.5
インクルーシブな保育について、園や保護者等へ知って頂く機会を設けている	57	9.5
インクルーシブな保育の先進事例、優良事例を園に展開している	26	4.3
インクルーシブな保育の在り方について障害福祉所管部局等と検討する機会を設けている	66	11.0
インクルーシブな保育の在り方について専門家や関係機関と検討する機会を設けている	110	18.4
インクルーシブな保育について方針を検討するにあたり、こどもや保護者の意見を聞く機会を設けている	34	5.7
その他	364	60.9
全体	598	—

Q34 インクルーシブな保育を実現するために環境整備において、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

インクルーシブな保育を実現するために環境整備において、自治体を実施していることについては、「その他」が多く 48.2%（288 自治体）、次いで「障害のあるこどもとないこどもと一緒に過ごす環境整備について、専門家や関係機関と検討する機会を持っている」が 23.2%（139 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
障害のあるこどもとないこどもと一緒に過ごす環境整備について、専門家や関係機関と検討する機会を持っている	139	23.2
障害のあるこどもの受入れについての施設整備を行うための財政支援を行っている	94	15.7
保育所等または児童発達支援事業所等に対し、両施設の併設をする施設整備等の財政支援を行っている	3	0.5
障害のあるこどもとないこどもと一緒に遊ぶことができる遊具や備品への財政支援（インクルーシブ遊具等）を行っている	43	7.2
配慮を必要とするこどものための安全・衛生管理のための専門職（看護師等）の派遣・配置	121	20.2
医療的ケアを必要とするこども等、配慮が必要なこどもを含めた個別避難計画の策定等、災害への備えを行っている	87	14.5
その他	288	48.2
全体	598	—

Q35 インクルーシブな保育実践のための人材確保において、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

インクルーシブな保育実践のための人材確保において、自治体を実施していることについては、「保育士加配のための財政支援を行っている」が多く 54.8%（329 自治体）、次いで「その他」が 31.5%（189 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
保育士加配のための財政支援を行っている	329	54.8
障害特性に応じた専門職の配置のための財政支援を行っている	20	3.3
障害特性に応じた専門職の巡回支援のための支援を行っている	90	15.0
心理職の配置のための財政支援を行っている	3	0.5
心理職の巡回支援のための支援を行っている	66	11.0
医療的ケア児の受入れのための看護師等の配置についての財政支援を行っている	156	26.0
児童発達支援事業所等の関係する専門機関に人材の紹介・派遣の要請を行っている	14	2.3
その他	189	31.5
全体	600	—

Q36 インクルーシブな保育実践のための職員の資質・専門性向上について、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

インクルーシブな保育実践のための職員の資質・専門性向上について、自治体を実施していることについては、「その他」が多く 45.9%（275 自治体）、次いで「保育士等が保育の専門性を高めるための研修受講や資格取得の支援をしている」が 29.7%（178 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
インクルーシブな保育の優良事例と考える園の取組の工夫を共有している	38	6.3
インクルーシブな保育の優良事例と考える園の視察や公開保育を行う等、勉強の機会を設けている	31	5.2
インクルーシブな保育に関連する研修会を開催している	133	22.2
児童発達支援事業所等の関係する専門機関に研修会を依頼している	63	10.5
保育士等が保育の専門性を高めるための研修受講や資格取得の支援をしている	178	29.7
保育士等が障害支援の専門性を高めるための研修受講や資格取得の支援をしている	115	19.2
保育士等が喀痰吸引等研修を受講するための支援をしている	46	7.7
その他	275	45.9
全体	599	—

Q39 保育所等の指導計画の作成や改善について、貴自治体において支援していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育所等の指導計画の作成や改善について、自治体において支援していることについては、「その他」が多く 54.0%（323 自治体）、次いで「園の指導計画や障害のあるこどもの個別の指導計画の作成や改善の方法について、助言を行っている」が 19.1%（114 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
園の指導計画や障害のあるこどもの個別の指導計画の作成や改善の方法について、障害のあるこどもとないこどもが等しく配慮され作成されるよう手引きや様式等において示している	75	12.5
園の指導計画や障害のあるこどもの個別の指導計画の作成や改善の方法について、事例の共有等を行っている	79	13.2
園の指導計画や障害のあるこどもの個別の指導計画の作成や改善の方法について、助言を行っている	114	19.1
保育士等による巡回支援等により指導計画の作成や改善を検討するための助言を行っている	102	17.1
作業療法士等の専門職による巡回支援等により指導計画の作成や改善を検討するための助言を行っている	40	6.7
保育所等が活用する第三者評価受審のための財政支援を行っている	27	4.5
その他	323	54.0
全体	598	—

Q40 保育内容の検討について、貴自治体において支援していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育内容の検討について、自治体において支援していることについては、「その他」が多く 39.5%（236 自治体）、次いで「保育士等による巡回支援を行い、保育所等において保育内容を検討する際に助言を行っている」が 27.1%（162 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
保育内容について、こどもの意見を聞く機会を設けている	26	4.3
保育内容について、保護者の意見を聞く機会を設けている	111	18.6
インクルーシブな保育の内容について、貴自治体と管内保育所等の職員が集まり検討する機会を設けている	74	12.4
インクルーシブな保育を実践する園の保育内容を優良事例として共有している	30	5.0
インクルーシブな保育を実践する園の保育を見学（視察や公開保育等）する機会を設けている	46	7.7
保育士等による巡回支援を行い、保育所等において保育内容を検討する際に助言を行っている	162	27.1
作業療法士等の専門職による巡回支援を行い、保育所等において保育内容を検討する際に助言を行っている	76	12.7
公認心理師等の心理職による巡回支援を行い、保育所等において保育内容を検討する際に助言を行っている	129	21.6
その他	236	39.5
全体	598	—

Q41 保育実践について、貴自治体において支援していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育実践について、自治体において支援していることについては、「その他」が多く 67.7%（404 自治体）、次いで「保育実践の様子を関係者や関係機関等に公開し、意見をもらう機会を設けている」が 27.5%（164 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
インクルーシブな保育を実践する園の保育士を派遣し、保育内容を共有する支援をしている	15	2.5
作業療法士等の専門職の配置により、日常より専門職とともに保育を行う支援をしている	9	1.5
公認心理士等の心理職の配置により、日常より心理職とともに保育を行う支援をしている	19	3.2
保育実践の様子を関係者や関係機関等に公開し、意見をもらう機会を設けている	164	27.5
その他	404	67.7
全体	597	—

Q42 保育所等における保育所等外の連携について、貴自治体を実施していることがあればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育所等における保育所等外の連携について、自治体を実施していることについては、「保育所等において要配慮児童を把握した場合に（児童相談所等）適切な関係機関に繋いでいる」が多く 55.1%（330 自治体）、次いで「教育委員会と連携し、保育所等の障害のあるこどもの就学支援を行っている」が 46.4%（278 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
管内保育所等が集まり情報共有等を行う機会を設けている	247	41.2
保育所等と児童発達支援事業所等が情報共有等を行う機会を設けている	132	22.0
保育所等と医療機関等が情報共有等を行う機会を設けている	59	9.8
保育所等とその他の関係機関が情報共有等を行う機会を設けている	155	25.9
保育所等が関係機関と連携するためのコーディネートを行っている	64	10.7
保育所等が関係機関と連携するためのコーディネーター等の配置に対する財政支援を行っている	13	2.2
教育委員会と連携し、保育所等の障害のあるこどもの就学支援を行っている	278	46.4
保育所等において要配慮児童を把握した場合に（児童相談所等）適切な関係機関に繋いでいる	330	55.1
その他	90	15.0
全体	599	—

Q43 保育所等における保護者・家族への支援について、貴自治体が実施している取組があればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育所等における保護者・家族への支援について、自治体が実施している取組については、「その他」が多く 59.4%（355 自治体）、次いで「保育所等と保護者の交流の機会の提供（公開保育等）」が 28.3%（169 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
保育所等における保護者対応について手引き等において方針を示している	43	7.2
保育所等において保護者の相談支援やカウンセリング等を行う専門職の配置に対する財政支援を行っている	21	3.5
障害のあるこどもを持つ保護者同士の交流の機会を設けている	51	8.5
保育所等と保護者の交流の機会の提供（公開保育等）	169	28.3
その他	355	59.4
全体	598	—

Q44 保育所等の地域連携において、貴自治体が実施している取組があればご回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

保育所等の地域連携において、自治体が実施している取組については、「地域や関係機関におけるこども関連の情報について必要に応じて保育所等に情報共有を行っている」が多く 41.7%（250 自治体）、次いで「その他」が 35.7%（214 自治体）となっている。

	自治体数	割合(%)
保育所等と地域の関係機関（医療・福祉・教育・防災等）の連携体制を構築し、インクルージョンを推進するための協議の場を設けている	46	7.7
保育所等が地域住民と交流を図る機会を提供している	135	22.5
地域や関係機関におけるこども関連の情報について必要に応じて保育所等に情報共有を行っている	250	41.7
保育所等における取組を地域に周知・広報している	130	21.7
保育所等が地域支援を行う場合の財政支援を行っている	47	7.8
その他	214	35.7
全体	599	—

Q45 貴自治体内の保育所等に併設されている地域子育て支援拠点事業実施施設数をご回答ください。

599 自治体内の保育所等に併設されている地域子育て支援拠点事業実施施設数は、計 2,589 施設であり、1 自治体あたりでは 4.32 施設であった。

Q46 本調査研究では、アンケートにご協力いただいた自治体の中から、インクルーシブ保育の実施状況に係るヒアリング（オンラインにより 1 時間程度、1～2 月頃実施予定。）をお願いしたいと考えています。ヒアリング結果は、本調査研究の成果としてとりまとめる事例集に記載させていただく可能性がございます。ご協力頂ける場合は、以下の項目から 1 つ選択してください。条件による場合には、具体的な内容をご記入ください。

	自治体数	割合(%)
協力できる	69	11.5
協力できない	516	85.7
条件による	17	2.8
全体	602	100.0

Appendix（5）

インクルーシブ保育の在り方等に関するアンケート調査 クロス集計結果（6観点スコアによる4分位別）

Q1_3 施設類型

		施設数	認可保育所	認定こども園	事業所内保育事業	その他
全体	数	6,713	4,175	2,206	167	165
	%	100.0	62.2	32.9	2.5	2.5
A	数	1,748	1,092	622	7	27
	%	100.0	62.5	35.6	0.4	1.5
B	数	1,839	1,185	617	16	21
	%	100.0	64.4	33.6	0.9	1.1
C	数	1,744	1,096	583	30	35
	%	100.0	62.8	33.4	1.7	2.0
D	数	1,382	802	384	114	82
	%	100.0	58.0	27.8	8.2	5.9

Q1_4 運営主体

		施設数	市区町村	社会福祉法人	株式会社	NPO法人	学校法人	その他
全体	数	6,713	2,102	2,991	555	54	737	274
	%	100.0	31.3	44.6	8.3	0.8	11.0	4.1
A	数	1,748	713	736	101	15	147	36
	%	100.0	40.8	42.1	5.8	0.9	8.4	2.1
B	数	1,839	658	798	124	10	200	49
	%	100.0	35.8	43.4	6.7	0.5	10.9	2.7
C	数	1,744	499	809	146	13	216	61
	%	100.0	28.6	46.4	8.4	0.7	12.4	3.5
D	数	1,382	232	648	184	16	174	128
	%	100.0	16.8	46.9	13.3	1.2	12.6	9.3

Q1_5T1 貴施設の保育定員についてご回答ください。

※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定の児童数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	6,711	582,383	80
A	1,747	164,771	90
B	1,838	164,057	90
C	1,744	150,212	80
D	1,382	100,843	62

Q2 貴施設の形態を回答ください。（併設している場合、図で示す類型からあてはまるものを一つ回答ください）

		施設数	保育所等のみ	保育所等と児童発達支援事業所等を同一敷地内に設置	保育所等と児童発達支援事業所等を同一建物内に設置	保育所等と児童発達支援事業所等を近接又は隣接して設置	その他
全体	数	4,614	4,326	30	40	61	157
	%	100.0	93.8	0.7	0.9	1.3	3.4
A	数	1,036	943	11	15	22	45
	%	100.0	91.0	1.1	1.4	2.1	4.3
B	数	1,181	1,096	7	14	18	46
	%	100.0	92.8	0.6	1.2	1.5	3.9
C	数	1,247	1,191	8	6	11	31
	%	100.0	95.5	0.6	0.5	0.9	2.5
D	数	1,150	1,096	4	5	10	35
	%	100.0	95.3	0.3	0.4	0.9	3.0

Q3_1T1 [園長・施設長]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,713	6,643	1
A	1,748	1,741	1
B	1,839	1,831	1
C	1,744	1,735	1
D	1,382	1,336	1

Q3_1T2 [副園長]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,709	2,656	0
A	1,748	824	0
B	1,837	776	0
C	1,744	658	0
D	1,380	398	0

Q3_1T3 [主任保育士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,710	9,475	1
A	1,748	2,798	1
B	1,839	2,667	1
C	1,743	2,389	1
D	1,380	1,621	1

Q3_1T4 [保育士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,708	53,139	7
A	1,748	15,059	8
B	1,839	14,869	7
C	1,742	13,520	7
D	1,379	9,691	6

Q3_1T5 [保育教諭]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,706	29,927	0
A	1,747	8,461	0
B	1,837	8,675	0
C	1,742	7,752	0
D	1,380	5,039	0

Q3_1T6 [保育補助者]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	4,844	0
A	1,747	1,502	0
B	1,837	1,390	0
C	1,741	1,245	0
D	1,379	707	0

Q3_1T7 [みなし保育士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	677	0
A	1,747	237	0
B	1,837	161	0
C	1,740	157	0
D	1,380	122	0

Q3_1T8 [看護師・准看護師]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,707	2,210	0
A	1,748	712	0
B	1,838	640	0
C	1,741	504	0
D	1,380	354	0

Q3_1T9 [保健師]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,703	91	0
A	1,747	28	0
B	1,836	31	0
C	1,740	16	0
D	1,380	16	0

Q3_1T10 [助産師]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,703	20	0
A	1,747	12	0
B	1,836	0	0
C	1,740	6	0
D	1,380	2	0

Q3_1T11 [作業療法士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,703	9	0
A	1,747	6	0
B	1,836	2	0
C	1,740	1	0
D	1,380	0	0

Q3_1T12 [理学療法士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,703	8	0
A	1,747	3	0
B	1,836	1	0
C	1,740	2	0
D	1,380	2	0

Q3_1T13 [言語聴覚士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,703	5	0
A	1,747	1	0
B	1,836	4	0
C	1,740	0	0
D	1,380	0	0

Q3_1T14 [公認心理師・臨床心理士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,703	31	0
A	1,747	13	0
B	1,836	12	0
C	1,740	5	0
D	1,380	1	0

Q3_1T15 [管理栄養士・栄養士]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,709	4,719	0
A	1,748	1,266	0
B	1,839	1,279	0
C	1,741	1,185	0
D	1,381	989	0

Q3_1T16 [その他]貴施設の常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,706	7,872	1
A	1,746	2,154	0
B	1,839	2,299	1
C	1,741	2,007	1
D	1,380	1,412	0

Q3_2T1 [園長・施設長]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	101	0
A	1,747	18	0
B	1,837	30	0
C	1,740	31	0
D	1,380	22	0

Q3_2T2 [副園長]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	58	0
A	1,747	12	0
B	1,837	17	0
C	1,740	17	0
D	1,380	12	0

Q3_2T3 [主任保育士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	91	0
A	1,747	31	0
B	1,837	11	0
C	1,740	31	0
D	1,380	18	0

Q3_2T4 [保育士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,711	24,446	2
A	1,748	6,679	2
B	1,839	6,805	2
C	1,743	6,292	2
D	1,381	4,670	2

Q3_2T5 [保育教諭]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,707	11,369	0
A	1,747	3,361	0
B	1,837	3,237	0
C	1,742	2,906	0
D	1,381	1,865	0

Q3_2T6 [保育補助者]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,708	9,968	0
A	1,747	3,198	0
B	1,839	2,924	0
C	1,742	2,443	0
D	1,380	1,403	0

Q3_2T7 [みなし保育士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	1,148	0
A	1,747	452	0
B	1,837	342	0
C	1,740	182	0
D	1,380	172	0

Q3_2T8 [看護師・准看護師]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）
※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,705	1,160	0
A	1,747	384	0
B	1,837	290	0
C	1,740	267	0
D	1,381	219	0

Q3_2T9 [保健師]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	33	0
A	1,747	18	0
B	1,837	2	0
C	1,740	4	0
D	1,380	9	0

Q3_2T10 [助産師]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	20	0
A	1,747	3	0
B	1,837	3	0
C	1,740	12	0
D	1,380	2	0

Q3_2T11 [作業療法士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	5	0
A	1,747	3	0
B	1,837	1	0
C	1,740	0	0
D	1,380	1	0

Q3_2T12 [理学療法士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	10	0
A	1,747	1	0
B	1,837	0	0
C	1,740	1	0
D	1,380	8	0

Q3_2T13 [言語聴覚士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	22	0
A	1,747	2	0
B	1,837	9	0
C	1,740	3	0
D	1,380	8	0

Q3_2T14 [公認心理師・臨床心理士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,704	63	0
A	1,747	22	0
B	1,837	12	0
C	1,740	5	0
D	1,380	24	0

Q3_2T15 [管理栄養士・栄養士]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,705	902	0
A	1,747	256	0
B	1,837	225	0
C	1,741	216	0
D	1,380	205	0

Q3_2T16 [その他]貴施設の非常勤職員構成について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※巡回支援等による外部機関の支援者は含まない貴施設に配置されている職員。

	施設数	数	中央値
全体	6,708	8,119	0
A	1,747	2,271	0
B	1,838	2,217	0
C	1,743	2,110	0
D	1,380	1,521	0

Q3_3T1 [保育士]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,709	7,354	0
A	1,748	2,586	1
B	1,838	2,350	1
C	1,742	1,676	0
D	1,381	742	0

Q3_3T2 [保育教諭]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,707	3,654	0
A	1,747	1,312	0
B	1,837	1,126	0
C	1,742	810	0
D	1,381	406	0

Q3_3T3 [保育補助者]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,702	1,764	0
A	1,746	595	0
B	1,836	548	0
C	1,740	446	0
D	1,380	175	0

Q3_3T4 [みなし保育士]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,702	190	0
A	1,746	58	0
B	1,836	57	0
C	1,740	52	0
D	1,380	23	0

Q3_3T5 [看護師・准看護師]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,702	274	0
A	1,746	132	0
B	1,836	74	0
C	1,740	51	0
D	1,380	17	0

Q3_3T6 [保健師]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,702	8	0
A	1,746	3	0
B	1,836	4	0
C	1,740	1	0
D	1,380	0	0

Q3_3T7 [助産師]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,702	0	0
A	1,746	0	0
B	1,836	0	0
C	1,740	0	0
D	1,380	0	0

Q3_3T8 [その他]貴施設における加配保育士等の配置人数について回答ください。（令和6年4月1日時点）

※本設問における加配保育士等は、「身体障害者手帳」・「療育手帳」等の交付を受けている児童、手帳などの交付は受けていないが療育を受けているなどの理由で加配が必要と認められている児童、虐待を受けている、虐待が疑われているなどの理由で加配を認められている児童、医療的ケアが必要な児童に対する加配として配置されている職員とする。

	施設数	数	中央値
全体	6,701	183	0
A	1,745	75	0
B	1,836	36	0
C	1,740	58	0
D	1,380	14	0

Q4_1 貴施設において連携している機関を回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

	施設数	(併設・同一法人)児童発達支援事業所等	(併設・別法人)児童発達支援事業所等	(併設でない・同一法人)児童発達支援事業所等	(併設でない・別法人)児童発達支援事業所等	地域の療育センター等	基幹相談支援センター・児童発達支援センター	医療機関	医療的ケア児支援センター	保健所・保健センター	小学校、特別支援学校	幼稚園	他の保育所等	こども家庭センター	放課後児童クラブ	事業所等デイサービス	児童相談所	児童養護施設	教育委員会	(障害福祉関係部局)	(母子保健関係部局)	(災害対応関係部局)	その他
全体	数 6,711	181	150	462	2,685	3,528	1,262	2,498	179	3,210	4,050	712	2,113	1,376	782	638	2,637	209	2,320	1,947	2,547	775	288
A	% - 1,747	2.7	2.2	6.9	40.0	52.6	18.8	37.2	2.7	47.8	60.3	10.6	31.5	20.5	11.7	9.5	39.3	3.1	34.6	29.0	38.0	11.5	4.3
B	% - 1,839	65	37	174	823	1,076	429	807	93	999	1,265	241	658	487	270	250	872	85	791	664	772	281	73
	% - 1,839	3.7	2.1	10.0	47.1	61.6	24.6	46.2	5.3	57.2	72.4	13.8	37.7	27.9	15.5	14.3	49.9	4.9	45.3	38.0	44.2	16.1	4.2
B	% - 1,839	51	41	147	803	1,040	361	750	38	940	1,211	184	600	402	239	192	766	52	729	593	756	245	76
	% - 1,839	2.8	2.2	8.0	43.7	56.6	19.6	40.8	2.1	51.1	65.9	10.0	32.6	21.9	13.0	10.4	41.7	2.8	39.6	32.2	41.1	13.3	4.1
C	% - 1,744	37	45	98	669	897	313	578	31	791	998	172	505	304	185	124	639	51	528	451	663	167	55
	% - 1,744	2.1	2.6	5.6	38.4	51.4	17.9	33.1	1.8	45.4	57.2	9.9	29.0	17.4	10.6	7.1	36.6	2.9	30.3	25.9	38.0	9.6	3.2
D	% - 1,381	28	27	43	390	515	159	363	17	480	576	115	350	183	88	72	360	21	272	239	356	82	84
	% - 1,381	2.0	2.0	3.1	28.2	37.3	11.5	26.3	1.2	34.8	41.7	8.3	25.3	13.3	6.4	5.2	26.1	1.5	19.7	17.3	25.8	5.9	6.1

Q4_2S1 [児童発達支援事業所等（併設・同一法人）] 貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な 対 す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	182 -	120 65.9	36 19.8	62 34.1	41 22.5	61 33.5	145 79.7	110 60.4	30 16.5	125 68.7	91 50.0	32 17.6	6 3.3
A	数 %	66 -	44 66.7	19 28.8	29 43.9	21 31.8	29 43.9	58 87.9	50 75.8	14 21.2	55 83.3	42 63.6	16 24.2	2 3.0
B	数 %	51 -	38 74.5	11 21.6	19 37.3	9 17.6	17 33.3	44 86.3	30 58.8	9 17.6	37 72.5	28 54.9	10 19.6	1 2.0
C	数 %	37 -	19 51.4	2 5.4	8 21.6	5 13.5	9 24.3	27 73.0	21 56.8	2 5.4	17 45.9	13 35.1	2 5.4	2 5.4
D	数 %	28 -	19 67.9	4 14.3	6 21.4	6 21.4	6 21.4	16 57.1	9 32.1	5 17.9	16 57.1	8 28.6	4 14.3	1 3.6

Q4_2S2 [児童発達支援事業所等（併設・別法人）] 貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な 対 す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	150 -	76 50.7	10 6.7	33 22.0	13 8.7	38 25.3	119 79.3	68 45.3	10 6.7	85 56.7	54 36.0	3 2.0	3 2.0
A	数 %	37 -	19 51.4	5 13.5	12 32.4	6 16.2	14 37.8	32 86.5	22 59.5	3 8.1	25 67.6	20 54.1	2 5.4	0 -
B	数 %	41 -	25 61.0	3 7.3	12 29.3	4 9.8	12 29.3	30 73.2	18 43.9	3 7.3	26 63.4	11 26.8	0 -	0 -
C	数 %	45 -	21 46.7	2 4.4	5 11.1	3 6.7	10 22.2	37 82.2	20 44.4	3 6.7	27 60.0	19 42.2	1 2.2	1 2.2
D	数 %	27 -	11 40.7	0 -	4 14.8	0 -	2 7.4	20 74.1	8 29.6	1 3.7	7 25.9	4 14.8	0 -	2 7.4

Q4_2S3 [児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）] 貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な 対 す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	461 -	274 59.4	35 7.6	137 29.7	46 10.0	145 31.5	404 87.6	279 60.5	25 5.4	329 71.4	205 44.5	13 2.8	10 2.2
A	数 %	173 -	104 60.1	23 13.3	62 35.8	28 16.2	76 43.9	156 90.2	116 67.1	15 8.7	132 76.3	83 48.0	10 5.8	5 2.9
B	数 %	147 -	83 56.5	8 5.4	47 32.0	12 8.2	39 26.5	129 87.8	80 54.4	8 5.4	108 73.5	75 51.0	2 1.4	3 2.0
C	数 %	98 -	59 60.2	4 4.1	21 21.4	5 5.1	26 26.5	83 84.7	57 58.2	2 2.0	62 63.3	37 37.8	1 1.0	1 1.0
D	数 %	43 -	28 65.1	0 -	7 16.3	1 2.3	4 9.3	36 83.7	26 60.5	0 -	27 62.8	10 23.3	0 -	1 2.3

Q4_2S4 [児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設 数	ア保 ド育 内 容 ス ヘ の	ア園 ドの バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	ア個 ド別 バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	共園 有の 指 導 計 画 の	共個 有別 指 導 計 画 の	状こ 態ど の 共 有 特 性 ・	めこ のど アも セの ス理 メ解 ンの トた	必ト施 要ラ設 なブル 支所 援に 対 す る	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	2,686 -	1,253 46.6	123 4.6	557 20.7	199 7.4	808 30.1	2,476 92.2	1,446 53.8	112 4.2	1,684 62.7	1,032 38.4	28 1.0	31 1.2
A	数 %	824 -	416 50.5	49 5.9	207 25.1	83 10.1	288 35.0	764 92.7	512 62.1	45 5.5	573 69.5	371 45.0	11 1.3	9 1.1
B	数 %	803 -	375 46.7	33 4.1	169 21.0	61 7.6	237 29.5	748 93.2	419 52.2	39 4.9	496 61.8	327 40.7	11 1.4	10 1.2
C	数 %	669 -	298 44.5	27 4.0	124 18.5	30 4.5	188 28.1	611 91.3	347 51.9	17 2.5	418 62.5	238 35.6	3 0.4	9 1.3
D	数 %	390 -	164 42.1	14 3.6	57 14.6	25 6.4	95 24.4	353 90.5	168 43.1	11 2.8	197 50.5	96 24.6	3 0.8	3 0.8

Q4_2S5 [地域の療育センター等]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設数	ア保 ド育 内 容 ス ヘ の	ア園 ドの バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	ア個 ド別 バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	共園 有の 指 導 計 画 の	共個 有別 指 導 計 画 の	状こ 態ど の 共 有 特 性 ・	めこ のど アも セの ス理 メ解 ンの トた	必 要 な 支 援 に な す る	ト施 ラ設 ブル 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	3,528 -	1,663 47.1	174 4.9	753 21.3	182 5.2	786 22.3	3,191 90.4	1,842 52.2	157 4.5	2,137 60.6	1,267 35.9	42 1.2	38 1.1	
A	数 %	1,077 -	554 51.4	90 8.4	294 27.3	89 8.3	322 29.9	1,004 93.2	651 60.4	65 6.0	740 68.7	479 44.5	21 1.9	9 0.8	
B	数 %	1,040 -	487 46.8	43 4.1	230 22.1	42 4.0	229 22.0	960 92.3	534 51.3	41 3.9	634 61.0	374 36.0	9 0.9	12 1.2	
C	数 %	897 -	411 45.8	26 2.9	153 17.1	35 3.9	157 17.5	796 88.7	461 51.4	31 3.5	523 58.3	288 32.1	11 1.2	9 1.0	
D	数 %	514 -	211 41.1	15 2.9	76 14.8	16 3.1	78 15.2	431 83.9	196 38.1	20 3.9	240 46.7	126 24.5	1 0.2	8 1.6	

Q4_2S6 [発達障害者支援センター・基幹相談支援センター]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設数	ア保 ド育 内 容 ス ヘ の	ア園 ドの バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	ア個 ド別 バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	共有 園の 指 導 計 画 の	共有 個別 指 導 計 画 の	状態 この もの 共有 特性 ・	めこの アも セの ス理 メ解 んの た	必 要 な 支 援 に な す る	ト施 ラ設 ブル 所 な ど、	保護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	その他
全体	数 %	1,262 -	639 50.6	85 6.7	328 26.0	85 6.7	296 23.5	1,086 86.1	735 58.2	80 6.3	863 68.4	501 39.7	16 1.3	17 1.3	
A	数 %	429 -	228 53.1	39 9.1	146 34.0	40 9.3	135 31.5	381 88.8	281 65.5	34 7.9	318 74.1	190 44.3	11 2.6	6 1.4	
B	数 %	361 -	163 45.2	19 5.3	80 22.2	25 6.9	89 24.7	317 87.8	203 56.2	25 6.9	242 67.0	150 41.6	4 1.1	6 1.7	
C	数 %	313 -	161 51.4	14 4.5	66 21.1	12 3.8	49 15.7	263 84.0	168 53.7	13 4.2	202 64.5	110 35.1	1 0.3	4 1.3	
D	数 %	159 -	87 54.7	13 8.2	36 22.6	8 5.0	23 14.5	125 78.6	83 52.2	8 5.0	101 63.5	51 32.1	0 -	1 0.6	

Q4_2S7 [医療機関]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア ド 育 バ イ 内 容 ス ヘ の	ア ド の バ イ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア ド 別 バ イ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 有 の 指 導 計 画 の	共 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も の 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に 対 す る	ト シ 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	2,497 -	495 19.8	63 2.5	166 6.6	49 2.0	141 5.6	2,057 82.4	893 35.8	62 2.5	924 37.0	388 15.5	57 2.3	256 10.3
A	数 %	807 -	179 22.2	21 2.6	71 8.8	20 2.5	64 7.9	705 87.4	375 46.5	22 2.7	372 46.1	178 22.1	19 2.4	64 7.9
B	数 %	750 -	151 20.1	18 2.4	43 5.7	12 1.6	35 4.7	632 84.3	249 33.2	22 2.9	258 34.4	112 14.9	15 2.0	74 9.9
C	数 %	578 -	102 17.6	15 2.6	34 5.9	9 1.6	28 4.8	467 80.8	186 32.2	7 1.2	198 34.3	68 11.8	6 1.0	51 8.8
D	数 %	362 -	63 17.4	9 2.5	18 5.0	8 2.2	14 3.9	253 69.9	83 22.9	11 3.0	96 26.5	30 8.3	17 4.7	67 18.5

Q4_2S8 [医療的ケア児支援センター]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア ド 育 バ イ 内 容 ス ヘ の	ア ド の バ イ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア ド 別 バ イ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 有 の 指 導 計 画 の	共 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も の 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に 対 す る	ト シ 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	180 -	62 34.4	8 4.4	37 20.6	11 6.1	36 20.0	149 82.8	95 52.8	11 6.1	108 60.0	39 21.7	13 7.2	8 4.4
A	数 %	94 -	31 33.0	5 5.3	21 22.3	7 7.4	23 24.5	79 84.0	59 62.8	7 7.4	61 64.9	22 23.4	9 9.6	2 2.1
B	数 %	38 -	14 36.8	2 5.3	6 15.8	2 5.3	7 18.4	36 94.7	18 47.4	3 7.9	27 71.1	8 21.1	2 5.3	1 2.6
C	数 %	31 -	11 35.5	1 3.2	6 19.4	1 3.2	3 9.7	22 71.0	14 45.2	0 -	14 45.2	7 22.6	1 3.2	4 12.9
D	数 %	17 -	6 35.3	0 -	4 23.5	1 5.9	3 17.6	12 70.6	4 23.5	1 5.9	6 35.3	2 11.8	1 5.9	1 5.9

Q4_2S9 [保健所・保健センター]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア ド 育 バ イ 内 容 ス ヘ の	ア ド の バ イ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア ド 別 バ イ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 有 の 指 導 計 画 の	共 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も の 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に 対 す る	ト シ 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	3,209 -	587 18.3	78 2.4	211 6.6	67 2.1	224 7.0	2,770 86.3	1,256 39.1	238 7.4	2,374 74.0	690 21.5	71 2.2	130 4.1
A	数 %	998 -	191 19.1	35 3.5	82 8.2	32 3.2	95 9.5	879 88.1	479 48.0	82 8.2	789 79.1	256 25.7	31 3.1	36 3.6
B	数 %	940 -	172 18.3	19 2.0	59 6.3	17 1.8	62 6.6	815 86.7	358 38.1	73 7.8	690 73.4	187 19.9	16 1.7	36 3.8
C	数 %	791 -	135 17.1	14 1.8	41 5.2	9 1.1	46 5.8	687 86.9	282 35.7	54 6.8	581 73.5	161 20.4	15 1.9	33 4.2
D	数 %	480 -	89 18.5	10 2.1	29 6.0	9 1.9	21 4.4	389 81.0	137 28.5	29 6.0	314 65.4	86 17.9	9 1.9	25 5.2

Q4_2S10 [小学校、特別支援学校]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設 数	ア保 ド育 内 容 ス ヘ の	ア園 ドの バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	ア個 ド別 バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	共園 有の 指 導 計 画 の	共個 有別 指 導 計 画 の	状こ 態ど の 共 有 特 性 ・	めこ のど アも セの ス理 メ解 ンの トた	必ト施 要ラ設 なブル 支所 援に 援対 する 、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	4,050 -	440 10.9	94 2.3	196 4.8	495 12.2	812 20.0	3,481 86.0	1,385 34.2	124 3.1	1,902 47.0	2,957 73.0	195 4.8	76 1.9
A	数 %	1,265 -	170 13.4	44 3.5	81 6.4	199 15.7	338 26.7	1,124 88.9	573 45.3	54 4.3	720 56.9	1,007 79.6	85 6.7	28 2.2
B	数 %	1,211 -	121 10.0	23 1.9	62 5.1	143 11.8	249 20.6	1,034 85.4	405 33.4	39 3.2	550 45.4	892 73.7	53 4.4	18 1.5
C	数 %	998 -	92 9.2	15 1.5	37 3.7	114 11.4	161 16.1	867 86.9	291 29.2	21 2.1	426 42.7	701 70.2	33 3.3	21 2.1
D	数 %	576 -	57 9.9	12 2.1	16 2.8	39 6.8	64 11.1	456 79.2	116 20.1	10 1.7	206 35.8	357 62.0	24 4.2	9 1.6

Q4_2S11 [幼稚園]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設数	ア保 ド育 内 容 ス ヘ の	ア園 ドの バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	ア個 ド別 バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	共園 有の 指 導 計 画 の	共個 有別 指 導 計 画 の	状こ 態ど の 共 有 特 性 ・	めこ のど アも セの ス理 メ解 ンの た	必 要 な 支 援 に な す る	ト施 ラ設 ブル 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	712 -	154 21.6	58 8.1	46 6.5	163 22.9	127 17.8	392 55.1	214 30.1	48 6.7	217 30.5	171 24.0	73 10.3	138 19.4	
A	数 %	241 -	57 23.7	18 7.5	17 7.1	68 28.2	57 23.7	145 60.2	82 34.0	16 6.6	85 35.3	63 26.1	23 9.5	35 14.5	
B	数 %	183 -	27 14.8	13 7.1	12 6.6	40 21.9	28 15.3	101 55.2	64 35.0	13 7.1	53 29.0	39 21.3	21 11.5	47 25.7	
C	数 %	172 -	35 20.3	14 8.1	8 4.7	35 20.3	29 16.9	91 52.9	42 24.4	7 4.1	47 27.3	45 26.2	15 8.7	29 16.9	
D	数 %	116 -	35 30.2	13 11.2	9 7.8	20 17.2	13 11.2	55 47.4	26 22.4	12 10.3	32 27.6	24 20.7	14 12.1	27 23.3	

Q4_2S12 [他の保育所等]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設数	ア保 ド育 内 容 ス ヘ の	ア園 ドの バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	ア個 ド別 バ指 イ導 ス計 画 ヘ の	共園 有の 指 導 計 画 の	共個 有別 指 導 計 画 の	状こ 態ど の 共 有 特 性 ・	めこ のど アも セの ス理 メ解 ンの トた	必 要 な 支 援	ト施 ラ設 ブル 所 な ど 、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	2,111 -	813 38.5	248 11.7	218 10.3	458 21.7	325 15.4	1,120 53.1	671 31.8	255 12.1	779 36.9	413 19.6	348 16.5	323 15.3	
A	数 %	658 -	239 36.3	74 11.2	69 10.5	157 23.9	131 19.9	389 59.1	246 37.4	80 12.2	274 41.6	150 22.8	107 16.3	97 14.7	
B	数 %	600 -	232 38.7	66 11.0	63 10.5	129 21.5	88 14.7	332 55.3	217 36.2	67 11.2	226 37.7	118 19.7	92 15.3	95 15.8	
C	数 %	504 -	200 39.7	65 12.9	55 10.9	117 23.2	72 14.3	250 49.6	136 27.0	70 13.9	181 35.9	91 18.1	95 18.8	71 14.1	
D	数 %	349 -	142 40.7	43 12.3	31 8.9	55 15.8	34 9.7	149 42.7	72 20.6	38 10.9	98 28.1	54 15.5	54 15.5	60 17.2	

Q4_2S13 [こども家庭センター]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 こ 態 ど の も 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	1,375 -	220 16.0	38 2.8	95 6.9	44 3.2	136 9.9	1,163 84.6	606 44.1	259 18.8	1,185 86.2	329 23.9	31 2.3	43 3.1
A	数 %	487 -	86 17.7	21 4.3	46 9.4	23 4.7	62 12.7	429 88.1	244 50.1	104 21.4	435 89.3	145 29.8	12 2.5	15 3.1
B	数 %	402 -	61 15.2	6 1.5	27 6.7	6 1.5	37 9.2	339 84.3	173 43.0	79 19.7	358 89.1	88 21.9	11 2.7	9 2.2
C	数 %	304 -	46 15.1	8 2.6	14 4.6	9 3.0	24 7.9	246 80.9	133 43.8	53 17.4	252 82.9	61 20.1	6 2.0	11 3.6
D	数 %	182 -	27 14.8	3 1.6	8 4.4	6 3.3	13 7.1	149 81.9	56 30.8	23 12.6	140 76.9	35 19.2	2 1.1	8 4.4

Q4_2S14 [放課後児童クラブ]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 こ 態 ど の も 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	781 -	71 9.1	22 2.8	35 4.5	44 5.6	75 9.6	666 85.3	265 33.9	70 9.0	383 49.0	235 30.1	61 7.8	40 5.1
A	数 %	270 -	21 7.8	8 3.0	17 6.3	16 5.9	32 11.9	234 86.7	117 43.3	29 10.7	152 56.3	98 36.3	26 9.6	13 4.8
B	数 %	238 -	28 11.8	10 4.2	11 4.6	16 6.7	23 9.7	205 86.1	81 34.0	20 8.4	113 47.5	70 29.4	20 8.4	12 5.0
C	数 %	185 -	15 8.1	1 0.5	2 1.1	3 1.6	12 6.5	159 85.9	46 24.9	15 8.1	90 48.6	47 25.4	10 5.4	8 4.3
D	数 %	88 -	7 8.0	3 3.4	5 5.7	9 10.2	8 9.1	68 77.3	21 23.9	6 6.8	28 31.8	20 22.7	5 5.7	7 8.0

Q4_2S15 [放課後等デイサービス事業所]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 こ 態 ど の も 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	638 -	76 11.9	22 3.4	54 8.5	33 5.2	109 17.1	557 87.3	261 40.9	38 6.0	349 54.7	186 29.2	16 2.5	17 2.7
A	数 %	250 -	32 12.8	14 5.6	27 10.8	21 8.4	58 23.2	223 89.2	121 48.4	26 10.4	159 63.6	95 38.0	10 4.0	4 1.6
B	数 %	192 -	16 8.3	5 2.6	15 7.8	6 3.1	31 16.1	169 88.0	70 36.5	10 5.2	98 51.0	47 24.5	4 2.1	5 2.6
C	数 %	124 -	15 12.1	2 1.6	10 8.1	4 3.2	14 11.3	107 86.3	52 41.9	2 1.6	67 54.0	30 24.2	0 -	5 4.0
D	数 %	72 -	13 18.1	1 1.4	2 2.8	2 2.8	6 8.3	58 80.6	18 25.0	0 -	25 34.7	14 19.4	2 2.8	3 4.2

Q4_2S16 [児童相談所]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設数	アド育内容への	アドの指導計画への	アド別指導計画への	共有の指導計画の	共有別指導計画の	状態の共有特性・	めこのアセスメント	必要となる支援	施設退所など、	保護者支援	就学支援	災害対応	その他
全体	数 %	2,637 -	127 4.8	19 0.7	55 2.1	34 1.3	100 3.8	2,147 81.4	877 33.3	619 23.5	2,080 78.9	308 11.7	15 0.6	110 4.2	
A	数 %	873 -	56 6.4	14 1.6	27 3.1	20 2.3	49 5.6	741 84.9	361 41.4	227 26.0	736 84.3	130 14.9	13 1.5	37 4.2	
B	数 %	765 -	32 4.2	2 0.3	13 1.7	6 0.8	25 3.3	617 80.7	241 31.5	183 23.9	611 79.9	95 12.4	0 -	30 3.9	
C	数 %	639 -	23 3.6	1 0.2	9 1.4	3 0.5	14 2.2	514 80.4	197 30.8	151 23.6	492 77.0	53 8.3	2 0.3	29 4.5	
D	数 %	360 -	16 4.4	2 0.6	6 1.7	5 1.4	12 3.3	275 76.4	78 21.7	58 16.1	241 66.9	30 8.3	0 -	14 3.9	

Q4_2S17 [児童養護施設]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設数	アド育内容への	アドの指導計画への	アド別指導計画への	共有の指導計画の	共有別指導計画の	このものの共有特性・	このもののアセスメント	必要な支援	施設退所など、	保護者支援	就学支援	災害対応	その他
全体	数 %	208 -	24 11.5	3 1.4	8 3.8	7 3.4	18 8.7	165 79.3	101 48.6	45 21.6	141 67.8	42 20.2	4 1.9	14 6.7	
A	数 %	85 -	10 11.8	2 2.4	5 5.9	6 7.1	12 14.1	68 80.0	54 63.5	18 21.2	67 78.8	21 24.7	3 3.5	3 3.5	
B	数 %	51 -	4 7.8	1 2.0	1 2.0	0 -	3 5.9	39 76.5	18 35.3	14 27.5	33 64.7	7 13.7	0 -	7 13.7	
C	数 %	51 -	8 15.7	0 -	2 3.9	0 -	2 3.9	43 84.3	22 43.1	10 19.6	28 54.9	9 17.6	1 2.0	1 2.0	
D	数 %	21 -	2 9.5	0 -	0 -	1 4.8	1 4.8	15 71.4	7 33.3	3 14.3	13 61.9	5 23.8	0 -	3 14.3	

Q4_2S18 [教育委員会]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設数	ア保 ド育 内 容 ス への	ア園 ドの 指 導 ス 計 画 への	ア個 ド別 指 導 ス 計 画 への	共有 園の 指 導 計 画 の	共有 個別 指 導 計 画 の	状態 この もの 共有 特性・	めこの どの アセ の理 解の メン トた	必 要 な 支 援 に 対 する	施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	その他
全体	数 %	2,320 -	362 15.6	165 7.1	215 9.3	220 9.5	365 15.7	1,566 67.5	764 32.9	222 9.6	1,089 46.9	2,003 86.3	124 5.3	43 1.9	
A	数 %	790 -	140 17.7	74 9.4	101 12.8	92 11.6	149 18.9	558 70.6	321 40.6	72 9.1	403 51.0	705 89.2	49 6.2	17 2.2	
B	数 %	729 -	113 15.5	45 6.2	57 7.8	65 8.9	110 15.1	495 67.9	210 28.8	78 10.7	343 47.1	624 85.6	40 5.5	8 1.1	
C	数 %	529 -	78 14.7	34 6.4	45 8.5	50 9.5	74 14.0	351 66.4	167 31.6	46 8.7	223 42.2	450 85.1	23 4.3	13 2.5	
D	数 %	272 -	31 11.4	12 4.4	12 4.4	13 4.8	32 11.8	162 59.6	66 24.3	26 9.6	120 44.1	224 82.4	12 4.4	5 1.8	

Q4_2S19 [市区町村（障害福祉関係部局）]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も の 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も の セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な 対 す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	1,947 -	379 19.5	107 5.5	214 11.0	121 6.2	282 14.5	1,544 79.3	806 41.4	372 19.1	1,434 73.7	756 38.8	124 6.4	53 2.7
A	数 %	664 -	134 20.2	44 6.6	93 14.0	60 9.0	115 17.3	539 81.2	322 48.5	134 20.2	508 76.5	289 43.5	50 7.5	22 3.3
B	数 %	593 -	107 18.0	30 5.1	60 10.1	33 5.6	85 14.3	473 79.8	238 40.1	116 19.6	440 74.2	234 39.5	37 6.2	13 2.2
C	数 %	451 -	83 18.4	22 4.9	44 9.8	20 4.4	56 12.4	352 78.0	173 38.4	87 19.3	328 72.7	164 36.4	27 6.0	16 3.5
D	数 %	239 -	55 23.0	11 4.6	17 7.1	8 3.3	26 10.9	180 75.3	73 30.5	35 14.6	158 66.1	69 28.9	10 4.2	2 0.8

Q4_2S20 [市区町村（母子保健関係部局）]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も の 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も の セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な 対 す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	2,547 -	314 12.3	56 2.2	128 5.0	81 3.2	202 7.9	2,176 85.4	1,036 40.7	436 17.1	2,173 85.3	670 26.3	96 3.8	42 1.6
A	数 %	772 -	106 13.7	16 2.1	42 5.4	36 4.7	84 10.9	677 87.7	371 48.1	139 18.0	690 89.4	239 31.0	31 4.0	12 1.6
B	数 %	756 -	80 10.6	15 2.0	32 4.2	20 2.6	51 6.7	648 85.7	288 38.1	129 17.1	667 88.2	185 24.5	29 3.8	13 1.7
C	数 %	663 -	79 11.9	12 1.8	36 5.4	15 2.3	43 6.5	562 84.8	253 38.2	114 17.2	550 83.0	164 24.7	28 4.2	12 1.8
D	数 %	356 -	49 13.8	13 3.7	18 5.1	10 2.8	24 6.7	289 81.2	124 34.8	54 15.2	266 74.7	82 23.0	8 2.2	5 1.4

Q4_2S21 [市区町村（災害対応関係部局）]貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

	施設数	ア 保 育 内 容 ス ヘ の	ア 園 ド の バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	ア 個 ド 別 バ 指 導 ス 計 画 ヘ の	共 園 有 の 指 導 計 画 の	共 個 有 別 指 導 計 画 の	状 態 の も の 共 有 特 性 ・	め こ の ど ア も の セ の ス 理 メ 解 ン の ト た	必 要 な 支 援 に な 対 す る	ト 施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	775 -	24 3.1	30 3.9	6 0.8	17 2.2	7 0.9	71 9.2	25 3.2	26 3.4	58 7.5	17 2.2	724 93.4	15 1.9
A	数 %	281 -	9 3.2	12 4.3	3 1.1	9 3.2	4 1.4	34 12.1	10 3.6	8 2.8	27 9.6	8 2.8	258 91.8	4 1.4
B	数 %	245 -	5 2.0	5 2.0	1 0.4	3 1.2	0 -	21 8.6	8 3.3	8 3.3	13 5.3	3 1.2	230 93.9	8 3.3
C	数 %	167 -	6 3.6	7 4.2	2 1.2	3 1.8	3 1.8	12 7.2	6 3.6	6 3.6	14 8.4	5 3.0	158 94.6	3 1.8
D	数 %	82 -	4 4.9	6 7.3	0 -	2 2.4	0 -	4 4.9	1 1.2	4 4.9	4 4.9	1 1.2	78 95.1	0 -

Q4_2S22 [その他 (【Q4_1_22その他回答内容表示】)] 貴施設において連携している機関と連携内容についてあてはまるものすべてお選びください。

		施設 数	ア保 ド育 バ内 イ容 スへの	ア園 ドの バ指 イ導 ス計 画への	ア個 ド別 バ指 イ導 ス計 画への	共有 園の 指 導 計 画の	共有 個別 指 導 計 画の	状態 こ ども の 共有 特性 ・	めこ のど アも セの ス理 メ解 ンの た	必 要 な 支 援 に な す る	施 設 退 所 な ど、	保 護 者 支 援	就 学 支 援	災 害 対 応	そ の 他
全体	数 %	287 -	98 34.1	31 10.8	67 23.3	31 10.8	63 22.0	199 69.3	118 41.1	53 18.5	167 58.2	78 27.2	33 11.5	65 22.6	
A	数 %	73 -	31 42.5	9 12.3	24 32.9	14 19.2	25 34.2	60 82.2	49 67.1	20 27.4	53 72.6	28 38.4	10 13.7	9 12.3	
B	数 %	76 -	33 43.4	8 10.5	19 25.0	4 5.3	17 22.4	59 77.6	34 44.7	12 15.8	50 65.8	20 26.3	8 10.5	13 17.1	
C	数 %	55 -	19 34.5	4 7.3	12 21.8	4 7.3	7 12.7	34 61.8	15 27.3	5 9.1	30 54.5	11 20.0	1 1.8	14 25.5	
D	数 %	83 -	15 18.1	10 12.0	12 14.5	9 10.8	14 16.9	46 55.4	20 24.1	16 19.3	34 41.0	19 22.9	14 16.9	29 34.9	

Q5 貴施設において令和3年度から令和5年度で受け入れたことのあるこどもの障害種別について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設 数	視 覚 障 害	聴 覚 障 害	言 語 障 害	肢 体 不 自 由	知 的 障 害	病 弱 ・ 虚 弱	発 達 障 害	医 療 的 ケ ア 児	「 気 に な る 子 」	そ の 他	無 回 答
全体	数	6,713	206	606	738	855	2,716	251	4,918	549	5,082	461	1
	%	-	3.1	9.0	11.0	12.7	40.5	3.7	73.3	8.2	75.7	6.9	0.0
A	数	1,748	75	210	269	324	909	97	1,435	245	1,347	115	0
	%	-	4.3	12.0	15.4	18.5	52.0	5.5	82.1	14.0	77.1	6.6	-
B	数	1,839	67	172	212	260	835	84	1,485	153	1,393	108	0
	%	-	3.6	9.4	11.5	14.1	45.4	4.6	80.8	8.3	75.7	5.9	-
C	数	1,744	43	140	170	179	645	48	1,249	107	1,360	93	0
	%	-	2.5	8.0	9.7	10.3	37.0	2.8	71.6	6.1	78.0	5.3	-
D	数	1,382	21	84	87	92	327	22	749	44	982	145	1
	%	-	1.5	6.1	6.3	6.7	23.7	1.6	54.2	3.2	71.1	10.5	0.1

Q6 貴施設における令和6年度の障害児の受入れ状況について回答ください。

		施設数	受入れ有	受入れ無	その他
全体	数	6,713	5,295	1,307	111
	%	100.0	78.9	19.5	1.7
A	数	1,748	1,560	172	16
	%	100.0	89.2	9.8	0.9
B	数	1,839	1,582	236	21
	%	100.0	86.0	12.8	1.1
C	数	1,744	1,352	359	33
	%	100.0	77.5	20.6	1.9
D	数	1,382	801	540	41
	%	100.0	58.0	39.1	3.0

Q7_1T1 貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児数（実人数）を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	5,298	4,456	0
A	1,560	1,430	0
B	1,582	1,268	0
C	1,353	1,162	0
D	803	596	0

Q7_2T1 [視覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	19	0
A	336	7	0
B	338	5	0
C	336	5	0
D	193	2	0

Q7_2T2 [聴覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	75	0
A	336	19	0
B	338	20	0
C	336	22	0
D	193	14	0

Q7_2T3 [言語障害]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	77	0
A	336	36	0
B	338	16	0
C	336	16	0
D	193	9	0

Q7_2T4 [肢体不自由]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	76	0
A	336	28	0
B	338	21	0
C	336	20	0
D	193	7	0

Q7_2T5 [知的障害]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	307	0
A	336	123	0
B	338	73	0
C	336	79	0
D	193	32	0

Q7_2T6 [病弱・虚弱]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	24	0
A	336	10	0
B	338	6	0
C	336	5	0
D	193	3	0

Q7_2T7 [発達障害]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	1,292	0
A	336	412	0
B	338	381	0
C	336	324	0
D	193	175	0

Q7_2T8 [精神障害（発達障害以外）]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	11	0
A	336	4	0
B	338	5	0
C	336	2	0
D	193	0	0

Q7_2T9 [医療的ケア児]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	69	0
A	336	22	0
B	338	27	0
C	336	16	0
D	193	4	0

Q7_2T10 [「気になる子」]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。

障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,203	1,633	0
A	336	484	0
B	338	504	0
C	336	412	0
D	193	233	0

Q7_2T11 [その他]貴施設において令和6年度に受入れた0歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,202	99	0
A	335	47	0
B	338	15	0
C	336	22	0
D	193	15	0

Q7_3T1 貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児数（実人数）を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	5,298	1,315	0
A	1,560	439	0
B	1,582	405	0
C	1,353	306	0
D	803	165	0

Q7_4T1 [視覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	868	19	0
A	274	6	0
B	263	6	0
C	215	3	0
D	116	4	0

Q7_4T2 [聴覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	868	45	0
A	274	12	0
B	263	17	0
C	215	10	0
D	116	6	0

Q7_4T3 [言語障害]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	868	22	0
A	274	12	0
B	263	4	0
C	215	3	0
D	116	3	0

Q7_4T4 [肢体不自由]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	868	56	0
A	274	27	0
B	263	11	0
C	215	11	0
D	116	7	0

Q7_4T5 [知的障害]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	869	68	0
A	274	29	0
B	263	22	0
C	215	8	0
D	117	9	0

Q7_4T6 [病弱・虚弱]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	868	34	0
A	274	11	0
B	263	13	0
C	215	9	0
D	116	1	0

Q7_4T7 [発達障害]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	869	230	0
A	274	63	0
B	263	78	0
C	215	45	0
D	117	44	0

Q7_4T8 [精神障害（発達障害以外）]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	868	4	0
A	274	1	0
B	263	2	0
C	215	0	0
D	116	1	0

Q7_4T9 [医療的ケア児]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	868	63	0
A	274	28	0
B	263	18	0
C	215	9	0
D	116	8	0

Q7_4T10 [「気になる子」]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	869	797	1
A	274	262	1
B	263	248	1
C	216	193	1
D	116	94	1

Q7_4T11 [その他]貴施設において令和6年度に受入れた1歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	867	95	0
A	273	24	0
B	263	42	0
C	215	18	0
D	116	11	0

Q7_5T1 貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児数（実人数）を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	5,298	3,792	0
A	1,560	1,206	0
B	1,582	1,122	0
C	1,353	1,019	0
D	803	445	0

Q7_6T1 [視覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,979	30	0
A	620	12	0
B	569	8	0
C	525	6	0
D	265	4	0

Q7_6T2 [聴覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,979	77	0
A	620	25	0
B	569	21	0
C	525	21	0
D	265	10	0

Q7_6T3 [言語障害]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,979	158	0
A	620	55	0
B	569	54	0
C	525	35	0
D	265	14	0

Q7_6T4 [肢体不自由]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,979	116	0
A	620	52	0
B	569	31	0
C	525	24	0
D	265	9	0

Q7_6T5 [知的障害]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,980	331	0
A	620	131	0
B	570	99	0
C	525	71	0
D	265	30	0

Q7_6T6 [病弱・虚弱]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,979	40	0
A	620	13	0
B	569	11	0
C	525	10	0
D	265	6	0

Q7_6T7 [発達障害]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,980	1,022	0
A	621	367	0
B	569	267	0
C	525	254	0
D	265	134	0

Q7_6T8 [精神障害（発達障害以外）]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,979	21	0
A	620	3	0
B	569	8	0
C	525	7	0
D	265	3	0

Q7_6T9 [医療的ケア児]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,980	78	0
A	621	40	0
B	569	17	0
C	525	14	0
D	265	7	0

Q7_6T10 [「気になる子」]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,979	2,465	1
A	620	718	1
B	569	760	1
C	525	697	1
D	265	290	1

Q7_6T11 [その他]貴施設において令和6年度に受入れた2歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,978	147	0
A	619	55	0
B	569	46	0
C	525	39	0
D	265	7	0

Q7_7T1 貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児数（実人数）を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	5,297	8,442	1
A	1,559	2,790	1
B	1,582	2,525	1
C	1,353	2,071	1
D	803	1,056	1

Q7_8T1 [視覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,448	44	0
A	1,081	16	0
B	1,041	17	0
C	844	8	0
D	482	3	0

Q7_8T2 [聴覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,447	83	0
A	1,081	26	0
B	1,040	30	0
C	844	19	0
D	482	8	0

Q7_8T3 [言語障害]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,447	354	0
A	1,081	110	0
B	1,040	120	0
C	844	77	0
D	482	47	0

Q7_8T4 [肢体不自由]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,447	157	0
A	1,081	61	0
B	1,040	49	0
C	844	28	0
D	482	19	0

Q7_8T5 [知的障害]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,450	850	0
A	1,083	304	0
B	1,041	266	0
C	844	184	0
D	482	96	0

Q7_8T6 [病弱・虚弱]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,447	59	0
A	1,081	19	0
B	1,040	23	0
C	844	10	0
D	482	7	0

Q7_8T7 [発達障害]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,448	3,295	1
A	1,082	1,026	1
B	1,040	1,041	1
C	844	805	1
D	482	423	1

Q7_8T8 [精神障害（発達障害以外）]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,447	54	0
A	1,081	17	0
B	1,040	12	0
C	844	18	0
D	482	7	0

Q7_8T9 [医療的ケア児]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,447	99	0
A	1,081	52	0
B	1,040	23	0
C	844	16	0
D	482	8	0

Q7_8T10 [「気になる子」]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,451	4,670	1
A	1,082	1,491	1
B	1,041	1,463	1
C	845	1,152	1
D	483	564	1

Q7_8T11 [その他]貴施設において令和6年度に受入れた3歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,446	239	0
A	1,080	103	0
B	1,040	75	0
C	844	41	0
D	482	20	0

Q7_9T1 貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児数（実人数）を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	5,297	10,154	1
A	1,559	3,414	1
B	1,582	3,089	1
C	1,353	2,456	1
D	803	1,195	1

Q7_10T1 [視覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,730	53	0
A	1,155	15	0
B	1,140	14	0
C	935	20	0
D	500	4	0

Q7_10T2 [聴覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,730	99	0
A	1,155	46	0
B	1,140	22	0
C	935	24	0
D	500	7	0

Q7_10T3 [言語障害]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,730	371	0
A	1,155	135	0
B	1,140	122	0
C	935	83	0
D	500	31	0

Q7_10T4 [肢体不自由]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,730	184	0
A	1,155	67	0
B	1,140	57	0
C	935	41	0
D	500	19	0

Q7_10T5 [知的障害]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,733	1,069	0
A	1,155	409	0
B	1,141	355	0
C	937	217	0
D	500	88	0

Q7_10T6 [病弱・虚弱]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,730	59	0
A	1,155	26	0
B	1,140	22	0
C	935	6	0
D	500	5	0

Q7_10T7 [発達障害]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,734	4,340	1
A	1,156	1,379	1
B	1,141	1,320	1
C	937	1,099	1
D	500	542	1

Q7_10T8 [精神障害（発達障害以外）]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,730	99	0
A	1,155	41	0
B	1,140	33	0
C	935	18	0
D	500	7	0

Q7_10T9 [医療的ケア児]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,730	121	0
A	1,155	48	0
B	1,140	45	0
C	935	21	0
D	500	7	0

Q7_10T10 [「気になる子」]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,735	4,866	1
A	1,156	1,594	0
B	1,142	1,520	1
C	936	1,157	1
D	501	595	0

Q7_10T11 [その他]貴施設において令和6年度に受入れた4歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,729	281	0
A	1,154	113	0
B	1,140	79	0
C	935	79	0
D	500	10	0

Q7_11T1 貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児数（実人数）を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	5,297	10,754	1
A	1,559	3,575	2
B	1,582	3,308	1
C	1,353	2,629	1
D	803	1,242	1

Q7_12T1 [視覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,854	49	0
A	1,198	23	0
B	1,196	17	0
C	958	8	0
D	502	1	0

Q7_12T2 [聴覚障害]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,854	105	0
A	1,198	43	0
B	1,196	24	0
C	958	26	0
D	502	12	0

Q7_12T3 [言語障害]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,855	371	0
A	1,198	144	0
B	1,197	116	0
C	958	75	0
D	502	36	0

Q7_12T4 [肢体不自由]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,856	167	0
A	1,198	60	0
B	1,197	49	0
C	959	35	0
D	502	23	0

Q7_12T5 [知的障害]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,860	1,588	0
A	1,198	608	0
B	1,199	507	0
C	960	324	0
D	503	149	0

Q7_12T6 [病弱・虚弱]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,854	93	0
A	1,198	27	0
B	1,196	37	0
C	958	23	0
D	502	6	0

Q7_12T7 [発達障害]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,858	4,990	1
A	1,199	1,674	1
B	1,198	1,576	1
C	959	1,181	1
D	502	559	1

Q7_12T8 [精神障害（発達障害以外）]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,855	113	0
A	1,198	42	0
B	1,197	35	0
C	958	23	0
D	502	13	0

Q7_12T9 [医療的ケア児]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,854	128	0
A	1,198	64	0
B	1,196	41	0
C	958	14	0
D	502	9	0

Q7_12T10 [「気になる子」]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,858	4,478	0
A	1,199	1,385	0
B	1,198	1,411	0
C	959	1,148	0
D	502	534	0

Q7_12T11 [その他]貴施設において令和6年度に受入れた5歳の障害児における障害種別人数（延べ数）を回答ください。
 障害種別が重複する場合は、それぞれの該当箇所に計上してください。※ 認定こども園の場合、2号及び3号認定のこどもの数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	3,853	250	0
A	1,197	102	0
B	1,196	65	0
C	958	68	0
D	502	15	0

Q8 貴施設に在園する障害のあるお子さんに並行通園しているこどもはいますか。

	施設数	いる	いない	把握していない
全体	数 %	5,298 100.0	3,488 65.8	1,708 32.2
A	数 %	1,560 100.0	1,063 68.1	474 30.4
B	数 %	1,582 100.0	1,049 66.3	508 32.1
C	数 %	1,353 100.0	880 65.0	446 33.0
D	数 %	803 100.0	496 61.8	280 34.9

Q9 並行通園している施設について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

	施設数	児童発達支援事業所等（併設・同一法人）	児童発達支援事業所等（併設・別法人）	児童発達支援事業所等（併設でない・同一法人）	児童発達支援事業所等（併設でない・別法人）	地域の療育センター等	その他
全体	数	3,489	86	109	216	2,286	1,957
A	数 %	1,064 -	34 3.2	29 2.7	87 8.2	691 64.9	638 60.0
B	数 %	1,049 -	27 2.6	36 3.4	75 7.1	691 65.9	602 57.4
C	数 %	880 -	18 2.0	32 3.6	39 4.4	575 65.3	470 53.4
D	数 %	496 -	7 1.4	12 2.4	15 3.0	329 66.3	247 49.8

Q10 並行通園しているこどもへの支援として実施しているものを回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

	施設数	保育所等および児童発達支援事業所等のこどもの様子について情報を共有している	園の指導計画について、児童発達支援事業所等の情報を踏まえて作成している	こどもの個別の指導計画について、児童発達支援事業所等の情報を踏まえて作成している	見学・視察等によりこどもの並行通園先の様子を確認している	並行通園先の職員と意見交換等の交流の機会を設けている	その他
全体	数 %	3,487 -	2,935 84.2	610 17.5	1,430 41.0	1,778 51.0	2,360 67.7
A	数 %	1,064 -	943 88.6	273 25.7	573 53.9	636 59.8	808 75.9
B	数 %	1,048 -	884 84.4	180 17.2	439 41.9	533 50.9	711 67.8
C	数 %	879 -	706 80.3	111 12.6	296 33.7	411 46.8	569 64.7
D	数 %	496 -	402 81.0	46 9.3	122 24.6	198 39.9	272 54.8

Q11 障害児を含む保育を実践するにあたっての課題について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児の特性 に応じた支援 を行うことが 困難	障害児を含め た一体的な保 育を提供する ことが困難	他機関との連 携体制を構築 することが困 難	他園児の保護 者の理解を得 ることが困難	その他	課題と思うこ とはない	無回答
全体	数 %	6,711 -	3,713 55.3	3,515 52.4	1,029 15.3	1,194 17.8	798 11.9	923 13.8	2 0.0
A	数 %	1,748 -	731 41.8	702 40.2	194 11.1	275 15.7	258 14.8	434 24.8	1 0.1
B	数 %	1,839 -	971 52.8	934 50.8	266 14.5	332 18.1	241 13.1	243 13.2	0 -
C	数 %	1,744 -	1,076 61.7	1,024 58.7	306 17.5	306 17.5	173 9.9	151 8.7	1 0.1
D	数 %	1,380 -	935 67.8	855 62.0	263 19.1	281 20.4	126 9.1	95 6.9	0 -

Q12 前問で回答いただいた障害児を含む保育を実践するにあたっての困難について、その理由と考えられることを回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	保育士数が不 足している	障害のあるこ どもの保育を 行うための保 育士等の専門 性が不足して いる	療育支援を行 うための専門 職による支援 が不足してい る	医療的ケアを 行う看護師等 による支援が 不足している	障害のあるこ どもとないこ どもを一体的 に保育するた めの専門性が 不足している	障害特性に応 じた施設等の 整備が困難も しくは間に合 わない	障害のあるこ どもとないこ どもを一体的 に保育するた めの設備が不 足している	障害のあるこ どもを含む保 育の実践に有 効な関係機関 との連携が困 難	その他
全体	数 %	5,788 -	3,569 61.7	3,472 60.0	2,071 35.8	848 14.7	2,750 47.5	1,335 23.1	1,525 26.3	839 14.5	356 6.2
A	数 %	1,314 -	742 56.5	668 50.8	381 29.0	146 11.1	504 38.4	246 18.7	280 21.3	138 10.5	149 11.3
B	数 %	1,596 -	938 58.8	899 56.3	526 33.0	189 11.8	709 44.4	327 20.5	371 23.2	211 13.2	103 6.5
C	数 %	1,593 -	999 62.7	998 62.6	633 39.7	231 14.5	801 50.3	373 23.4	432 27.1	243 15.3	71 4.5
D	数 %	1,285 -	890 69.3	907 70.6	531 41.3	282 21.9	736 57.3	389 30.3	442 34.4	247 19.2	33 2.6

Q14 インクルーシブな保育のための体制整備として、どのようなことが重要であると考えますか。重要であると考える上位3つを選択してください。

	施設数	多様性を尊重する文化を醸成すること	の理解を得ること	環境を整備すること	（バリアフリー設備の整備をすること	衛生管理の特性や状態に合った安全・	備えをするこ	加配をするこ	専門職の配置等による障害児支援の	障害のあるこどもを含む保育実践の	そ の 他
全体	数 6,713	2,520 37.5	1,997 29.7	2,989 44.5	1,412 21.0	2,326 34.6	287 4.3	3,558 53.0	2,732 40.7	1,797 26.8	136 2.0
A	数 1,748	702 40.2	534 30.5	848 48.5	315 18.0	589 33.7	74 4.2	896 51.3	636 36.4	524 30.0	40 2.3
B	数 1,839	727 39.5	521 28.3	848 46.1	360 19.6	633 34.4	90 4.9	981 53.3	715 38.9	509 27.7	35 1.9
C	数 1,744	641 36.8	493 28.3	777 44.6	381 21.8	637 36.5	77 4.4	910 52.2	729 41.8	458 26.3	36 2.1
D	数 1,382	450 32.6	449 32.5	516 37.3	356 25.8	467 33.8	46 3.3	771 55.8	652 47.2	306 22.1	25 1.8

Q15 インクルーシブな保育の実践のために、どのようなことが重要であると考えますか。重要であると考え上位3つを選択してください。

	施設数	障害のある子どもとない子どもの交流を促進すること	指導計画を作成すること	障害のある子どもの個別指導計画を作成すること	画、個別の指導計画の改善を図ること	深めること	を構成すること	視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどが理解しやすい方法でコミュニケーションを図ること	おこなうこと	保護者（障害のある子どもの保護者）だけではないとの情報共有を	職員間の情報共有や連携をおこなうこと	有効な関係機関を含む保育実践に	障害のある子ども	地域との連携・交流を図ること	その他
全体	数 6,713	1,450 21.6	1,191 17.7	927 13.8	1,173 17.5	4,394 65.5	2,255 33.6	1,188 17.7	1,169 17.4	3,482 51.9	1,599 23.8	836 12.5	172 2.6	110 1.6	
A	数 1,748	363 20.8	302 17.3	279 16.0	297 17.0	1,096 62.7	644 36.8	310 17.7	266 15.2	921 52.7	392 22.4	252 14.4	40 2.3	36 2.1	
B	数 1,839	397 21.6	284 15.4	231 12.6	337 18.3	1,202 65.4	633 34.4	339 18.4	309 16.8	990 53.8	440 23.9	237 12.9	45 2.4	25 1.4	
C	数 1,744	350 20.1	335 19.2	227 13.0	310 17.8	1,173 67.3	609 34.9	318 18.2	304 17.4	873 50.1	417 23.9	201 11.5	45 2.6	26 1.5	
D	数 1,382	340 24.6	270 19.5	190 13.7	229 16.6	923 66.8	369 26.7	221 16.0	290 21.0	698 50.5	350 25.3	146 10.6	42 3.0	23 1.7	

Q16 貴施設と併設している児童発達支援事業所等・施設の体制について回答ください。

		施設数	設備を共用している	人員を兼務している	設備を共用し かつ人員を兼 務している	設備の共用・ 人員の兼務を いずれもして いない	その他
全体	数	72	35	19	15	0	3
	%	100.0	48.6	26.4	20.8	-	4.2
A	数	27	17	4	6	0	0
	%	100.0	63.0	14.8	22.2	-	-
B	数	21	5	9	7	0	0
	%	100.0	23.8	42.9	33.3	-	-
C	数	16	11	2	1	0	2
	%	100.0	68.8	12.5	6.3	-	12.5
D	数	8	2	4	1	0	1
	%	100.0	25.0	50.0	12.5	-	12.5

Q17 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と共用している貴施設の設備について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	保育を行う専 用の部屋（乳 児室・ほふく 室・保育室・ 遊戯室）	屋外遊技場	園庭	医務室	調理室	お手洗い	消火器具、 非常口、その 他非常災害に 必要な設備	その他
全体	数	53	25	22	45	13	27	26	30	6
	%	-	47.2	41.5	84.9	24.5	50.9	49.1	56.6	11.3
A	数	24	14	12	21	8	15	12	14	3
	%	-	58.3	50.0	87.5	33.3	62.5	50.0	58.3	12.5
B	数	13	6	5	10	4	6	8	8	1
	%	-	46.2	38.5	76.9	30.8	46.2	61.5	61.5	7.7
C	数	13	4	5	12	1	4	6	7	2
	%	-	30.8	38.5	92.3	7.7	30.8	46.2	53.8	15.4
D	数	3	1	0	2	0	2	0	1	0
	%	-	33.3	-	66.7	-	66.7	-	33.3	-

Q18 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と共用している児童発達支援事業所等の設備について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	指導訓練室	遊戯室	屋外遊技場	医務室	相談室	調理室	静養室	聴力検査室	発達支援に必要な設備・	消火設備その他非常災害	その他
全体	数	52	13	19	19	11	19	19	6	3	27	28	5
	%	-	25.0	36.5	36.5	21.2	36.5	36.5	11.5	5.8	51.9	53.8	9.6
A	数	23	7	10	9	6	11	11	2	1	16	15	1
	%	-	30.4	43.5	39.1	26.1	47.8	47.8	8.7	4.3	69.6	65.2	4.3
B	数	13	1	4	4	3	4	4	2	1	7	6	3
	%	-	7.7	30.8	30.8	23.1	30.8	30.8	15.4	7.7	53.8	46.2	23.1
C	数	13	5	5	5	2	4	3	2	1	3	6	1
	%	-	38.5	38.5	38.5	15.4	30.8	23.1	15.4	7.7	23.1	46.2	7.7
D	数	3	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0
	%	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-

Q19 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と兼務している貴施設の人員について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください

		施設数	保育士	家庭的保育者	嘱託医	調理員	その他
全体	数	37	32	1	6	9	6
	%	-	86.5	2.7	16.2	24.3	16.2
A	数	11	11	1	4	4	0
	%	-	100.0	9.1	36.4	36.4	-
B	数	17	14	0	2	3	5
	%	-	82.4	-	11.8	17.6	29.4
C	数	4	3	0	0	1	1
	%	-	75.0	-	-	25.0	25.0
D	数	5	4	0	0	1	0
	%	-	80.0	-	-	20.0	-

Q20 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等と兼務している児童発達相談支援事業所の人員について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	保育士	児童指導員	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	公認心理師	看護師	管理栄養士・栄養士	調理員	児童発達支援管理責任者	その他
全体	数	36	26	8	4	3	2	2	9	7	8	11	6
	%	-	72.2	22.2	11.1	8.3	5.6	5.6	25.0	19.4	22.2	30.6	16.7
A	数	10	9	3	1	0	0	0	2	3	3	4	1
	%	-	90.0	30.0	10.0	-	-	-	20.0	30.0	30.0	40.0	10.0
B	数	17	11	4	2	2	0	0	5	2	3	6	5
	%	-	64.7	23.5	11.8	11.8	-	-	29.4	11.8	17.6	35.3	29.4
C	数	4	2	1	1	1	2	1	0	1	1	1	0
	%	-	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-
D	数	5	4	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0
	%	-	80.0	-	-	-	-	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-

Q21 貴施設が、併設している児童発達支援事業所等の職員や業務内容について理解を深める取り組みについて回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	児童発達支援事業所等で活用するガイドライン等について把握している	児童発達支援事業所等の研修に参加している	児童発達支援事業所等のミーティング等に参加している	児童発達支援事業所等のこどもの支援計画の内容を把握している	児童発達支援事業所等のこどもの支援計画の作成について助言している	お互いの業務を見学し、保育および障害児支援におけるこどもへの関わりについて理解を深めている	その他
全体	数	132	35	56	51	50	26	86	20
	%	-	26.5	42.4	38.6	37.9	19.7	65.2	15.2
A	数	48	19	29	20	25	15	37	5
	%	-	39.6	60.4	41.7	52.1	31.3	77.1	10.4
B	数	40	9	12	19	16	9	23	7
	%	-	22.5	30.0	47.5	40.0	22.5	57.5	17.5
C	数	25	5	8	10	6	2	17	5
	%	-	20.0	32.0	40.0	24.0	8.0	68.0	20.0
D	数	19	2	7	2	3	0	9	3
	%	-	10.5	36.8	10.5	15.8	-	47.4	15.8

Q22 児童発達支援事業等との併設・交流によるインクルーシブな保育を行うために工夫している点を回答ください。

あてはまるものすべてお選びください。

※ 本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。

		施設数	児童発達支援事業所等の職員と手引きやマニュアルを作成した	児童発達支援事業所等の職員とこどもへの関わりの方針について共通理解がある	園の指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	在園児の個別指導計画を作成する際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に作成している	保育内容の検討の際に児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	児童発達支援事業所等の職員と一緒に保育実践をしている	障害のあるこどものアセスメントについて児童発達支援事業所等の職員と一緒に検討している	その他
全体	数	132	10	66	12	17	51	48	58	16
	%	-	7.6	50.0	9.1	12.9	38.6	36.4	43.9	12.1
A	数	48	6	32	7	13	27	21	28	5
	%	-	12.5	66.7	14.6	27.1	56.3	43.8	58.3	10.4
B	数	40	3	17	3	1	10	15	17	5
	%	-	7.5	42.5	7.5	2.5	25.0	37.5	42.5	12.5
C	数	25	0	12	1	2	8	12	9	1
	%	-	-	48.0	4.0	8.0	32.0	48.0	36.0	4.0
D	数	19	1	5	1	1	6	0	4	5
	%	-	5.3	26.3	5.3	5.3	31.6	-	21.1	26.3

Q24 併設している児童発達支援事業所等に通うこどもと交流を図っているか回答ください。

※ 本調査における交流とは、保育所等と児童発達支援事業所等それぞれのこどもが同じ保育室等で同じ活動を行うことを指します。

		施設数	交流をしている	交流をしていない
全体	数	131	78	53
	%	100.0	59.5	40.5
A	数	48	34	14
	%	100.0	70.8	29.2
B	数	40	24	16
	%	100.0	60.0	40.0
C	数	24	17	8
	%	100.0	68.0	33.3
D	数	19	4	15
	%	100.0	21.1	78.9

Q25 併設している児童発達支援事業所等に通う子どもとどのような交流を図っているか回答ください。

		施設数	日常的に一緒に保育を行う等の交流がある	行事ごと等の特定の機会にのみ交流している	その他
全体	数	79	51	19	9
	%	100.0	64.6	24.1	11.4
A	数	35	24	8	3
	%	100.0	68.6	22.9	8.6
B	数	24	16	6	2
	%	100.0	66.7	25.0	8.3
C	数	17	10	3	3
	%	100.0	58.8	17.6	17.6
D	数	4	1	2	1
	%	100.0	25.0	50.0	25.0

Q26 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、子どもに変化があると感じるか回答ください。

		施設数	変化を感じている	変化を感じていない
全体	数	79	63	16
	%	100.0	79.7	20.3
A	数	35	28	7
	%	100.0	80.0	20.0
B	数	24	21	3
	%	100.0	87.5	12.5
C	数	16	12	4
	%	100.0	75.0	25.0
D	数	4	2	2
	%	100.0	50.0	50.0

Q30 児童発達支援事業等との併設・交流の前後で、職員に変化があると感じるか回答ください。

		施設数	変化を感じている	変化を感じていない
全体	数	79	57	22
	%	100.0	72.2	27.8
A	数	35	25	10
	%	100.0	71.4	28.6
B	数	24	19	5
	%	100.0	79.2	20.8
C	数	16	11	5
	%	100.0	68.8	31.3
D	数	4	2	2
	%	100.0	50.0	50.0

Q33T1 [併設している児童発達支援事業所等に並行通園している子ども]

貴施設に在園する障害のある子どものうち併行通園をしている子どもの人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	134	632	3
A	50	243	4
B	39	214	5
C	25	147	4
D	20	28	0

Q33T2 [他の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園していることも]
貴施設に在園する障害のあるこどものうち併行通園をしているこどもの人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	134	345	2
A	50	156	2
B	39	97	2
C	25	47	1
D	20	45	1

Q33T3 [併行通園していないこども]
貴施設に在園する障害のあるこどものうち併行通園をしているこどもの人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	133	368	0
A	50	245	0
B	39	35	0
C	25	48	0
D	19	40	0

Q33T4 [把握していないこども]
貴施設に在園する障害のあるこどものうち併行通園をしているこどもの人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	134	10	0
A	50	0	0
B	39	0	0
C	25	2	0
D	20	8	0

Q34 併設している児童発達支援事業所等以外の児童発達支援事業所（地域の療育センターを含む）等に並行通園しているこどもについて、その理由を回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	併設している児童発達支援事業等が満定員であるため	併設している児童発達支援事業所等では対応できない障害種別であるため	こども・保護者の希望	その他
全体	数	90	11	12	74	12
	%	-	12.2	13.3	82.2	13.3
A	数	39	7	6	31	5
	%	-	17.9	15.4	79.5	12.8
B	数	27	2	2	23	3
	%	-	7.4	7.4	85.2	11.1
C	数	13	2	3	11	2
	%	-	15.4	23.1	84.6	15.4
D	数	11	0	1	9	2
	%	-	-	9.1	81.8	18.2

Q35 並行通園していることについて、並行通園先との使い分けを回答ください。

		施設数	1日の中で保育所等と児童発達支援事業所等の利用時間を分けている	曜日などによって日ごとに保育所等と児童発達支援事業所等の利用日を分けている	こどもの状態や特性に応じて利用時間・利用日を決めている。（決まった使い分けはなく不規則である）	その他
全体	数	114	51	44	14	5
	%	100.0	44.7	38.6	12.3	4.4
A	数	44	22	15	5	2
	%	100.0	50.0	34.1	11.4	4.5
B	数	38	17	17	1	3
	%	100.0	44.7	44.7	2.6	7.9
C	数	21	7	9	5	0
	%	100.0	33.3	42.9	23.8	-
D	数	11	5	3	3	0
	%	100.0	45.5	27.3	27.3	-

Q36 貴施設における専門職による外部支援の導入状況について回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	児童発達支援事業所等の職員による巡回支援を導入している	医療機関や訪問看護ステーションの看護師等による巡回支援を導入している	巡回支援専門員による巡回支援を導入している	その他	導入していない	無回答
全体	数	5,291	2,183	122	2,165	606	1,384	1
	%	-	41.3	2.3	40.9	11.5	26.2	0.0
A	数	1,559	772	56	804	194	248	0
	%	-	49.5	3.6	51.6	12.4	15.9	-
B	数	1,580	684	41	648	179	378	0
	%	-	43.3	2.6	41.0	11.3	23.9	-
C	数	1,352	488	18	486	155	426	1
	%	-	36.1	1.3	35.9	11.5	31.5	0.1
D	数	800	239	7	227	78	332	0
	%	-	29.9	0.9	28.4	9.8	41.5	-

Q37_1 貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種を回答ください。あてはまるものすべてをお選びください。

	施設 設 数	医 師	看 護 師	准 看 護 師	助 産 師	保 健 師	児 童 指 導 員	保 育 士	臨 公 認 心 理 師 、 士 師	作 業 療 法 士	理 学 療 法 士	言 語 聴 覚 士	介 護 福 祉 士	手 話 通 訳 士	栄 養 士 、 栄 養 士	そ の 他
	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数
全体	3,447	316	104	1	11	916	697	818	1,496	660	297	599	10	7	104	574
A	1,182	155	57	0	6	329	241	270	592	280	155	264	3	3	48	185
B	1,066	90	29	0	5	295	216	261	450	205	70	178	3	3	32	179
C	799	50	16	1	0	199	150	206	318	127	60	116	3	1	20	127
D	400	21	2	0	0	93	90	81	136	48	12	41	1	0	4	83
	-	5.3	0.5	0.0	0.0	23.3	22.5	20.3	34.0	12.0	3.0	10.3	0.3	0.0	1.0	20.8

Q37_2T1 [医師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	325	406	1
A	159	206	1
B	92	106	1
C	52	64	1
D	22	30	1

Q37_2T2 [看護師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	114	159	1
A	61	82	1
B	31	46	1
C	19	29	1
D	3	2	1

Q37_2T3 [准看護師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	11	1	0
A	4	0	0
B	2	0	0
C	4	1	0
D	1	0	0

Q37_2T4 [助産師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	21	13	1
A	10	6	1
B	7	7	1
C	3	0	0
D	1	0	0

Q37_2T5 [保健師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	925	1,368	1
A	333	517	1
B	296	433	1
C	202	287	1
D	94	131	1

Q37_2T6 [児童指導員]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	705	1,050	1
A	244	365	1
B	218	330	1
C	152	225	1
D	91	130	1

Q37_2T7 [保育士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	826	1,347	1
A	273	481	1
B	263	412	1
C	208	341	1
D	82	113	1

Q37_2T8 [公認心理師、臨床心理士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,501	1,872	1
A	595	756	1
B	450	569	1
C	319	383	1
D	137	164	1

Q37_2T9 [作業療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	667	725	1
A	283	301	1
B	207	219	1
C	128	154	1
D	49	51	1

Q37_2T10 [理学療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	306	330	1
A	159	168	1
B	72	73	1
C	62	77	1
D	13	12	1

Q37_2T11 [言語聴覚士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	606	705	1
A	267	291	1
B	180	237	1
C	117	134	1
D	42	43	1

Q37_2T12 [介護福祉士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	20	14	1
A	7	3	0
B	5	3	1
C	6	6	1
D	2	2	1

Q37_2T13 [手話通訳士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	17	7	0
A	7	3	0
B	5	3	1
C	4	1	0
D	1	0	0

Q37_2T14 [管理栄養士・栄養士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	114	148	1
A	52	86	1
B	34	37	1
C	23	21	1
D	5	4	1

Q37_2T15 [その他（【Q37_1_15回答内容表示】）]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の職種と人数を回答ください。

	施設数	数	中央値
全体	577	895	1
A	188	311	1
B	179	288	1
C	128	171	1
D	82	125	1

Q37_3T1 [医師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。
※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	324	456	1
A	158	238	1
B	92	130	1
C	52	60	1
D	22	28	1

Q37_3T2 [看護師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。
※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	113	1,043	1
A	60	491	1
B	31	431	2
C	19	99	1
D	3	22	2

Q37_3T3 [准看護師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。
※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	10	2	0
A	3	0	0
B	2	0	0
C	4	2	0
D	1	0	0

Q37_3T4 [助産師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。
※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	20	15	1
A	9	10	1
B	7	5	1
C	3	0	0
D	1	0	0

Q37_3T5 [保健師]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	924	1,222	1
A	332	437	1
B	296	417	1
C	202	246	1
D	94	122	1

Q37_3T6 [児童指導員]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	704	1,240	1
A	243	447	1
B	218	377	1
C	152	281	1
D	91	135	1

Q37_3T7 [保育士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	825	1,474	1
A	272	501	1
B	263	506	1
C	208	350	1
D	82	117	1

Q37_3T8 [公認心理師、臨床心理士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	1,498	2,128	1
A	594	870	1
B	448	663	1
C	319	419	1
D	137	176	1

Q37_3T9 [作業療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	665	1,106	1
A	282	491	1
B	206	284	1
C	128	217	1
D	49	114	1

Q37_3T10 [理学療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	304	450	1
A	158	227	1
B	71	85	1
C	62	122	1
D	13	16	1

Q37_3T11 [言語聴覚士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	605	896	1
A	266	395	1
B	180	248	1
C	117	202	1
D	42	51	1

Q37_3T12 [介護福祉士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	19	13	1
A	6	3	1
B	5	6	1
C	6	3	1
D	2	1	1

Q37_3T13 [手話通訳士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	16	7	0
A	6	3	1
B	5	3	1
C	4	1	0
D	1	0	0

Q37_3T14 [管理栄養士・栄養士]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。

※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	113	174	1
A	51	93	1
B	34	50	1
C	23	27	1
D	5	4	1

Q37_3T15 [その他（【Q37_1_15回答内容表示】）]貴施設において外部支援を導入している場合について、支援を受けている外部専門職の支援回数を回答ください。※支援回数については、1か月あたりの回数を記入ください。

	施設数	数	中央値
全体	575	848	1
A	187	296	1
B	178	250	1
C	128	199	1
D	82	103	1

Q38_1S1 [医師]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。

あてはまるものすべてお選びください。

	施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数 %	316 -	272 86.1	170 53.8	70 22.2	87 27.5
A	数 %	155 -	143 92.3	78 50.3	39 25.2	42 27.1
B	数 %	90 -	77 85.6	52 57.8	21 23.3	22 24.4
C	数 %	50 -	37 74.0	29 58.0	9 18.0	16 32.0
D	数 %	21 -	15 71.4	11 52.4	1 4.8	7 33.3

Q38_1S2 [看護師]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	104	80	33	18	21	11
	%	-	76.9	31.7	17.3	20.2	10.6
A	数	57	44	17	12	14	6
	%	-	77.2	29.8	21.1	24.6	10.5
B	数	29	22	9	2	4	3
	%	-	75.9	31.0	6.9	13.8	10.3
C	数	16	13	7	4	3	1
	%	-	81.3	43.8	25.0	18.8	6.3
D	数	2	1	0	0	0	1
	%	-	50.0	-	-	-	50.0

Q38_1S3 [准看護師]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	1	1	1	0	0	0
	%	-	100.0	100.0	-	-	-
A	数	0	0	0	0	0	0
	%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B	数	0	0	0	0	0	0
	%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C	数	1	1	1	0	0	0
	%	-	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
D	数	0	0	0	0	0	0
	%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q38_1S4 [助産師]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	11	11	8	3	2	0
	%	-	100.0	72.7	27.3	18.2	-
A	数	6	6	6	0	0	0
	%	-	100.0	100.0	-	-	-
B	数	5	5	2	3	2	0
	%	-	100.0	40.0	60.0	40.0	-
C	数	0	0	0	0	0	0
	%	-	-	-	-	-	-
D	数	0	0	0	0	0	0
	%	-	-	-	-	-	-

Q38_1S5 [保健師]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	917	791	457	452	254	21
	%	-	86.3	49.8	49.3	27.7	2.3
A	数	330	295	184	184	107	6
	%	-	89.4	55.8	55.8	32.4	1.8
B	数	295	252	150	142	87	6
	%	-	85.4	50.8	48.1	29.5	2.0
C	数	199	163	91	87	43	8
	%	-	81.9	45.7	43.7	21.6	4.0
D	数	93	81	32	39	17	1
	%	-	87.1	34.4	41.9	18.3	1.1

Q38_1S6 [児童指導員]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	698	635	180	192	245	14
	%	-	91.0	25.8	27.5	35.1	2.0
A	数	242	221	62	87	99	4
	%	-	91.3	25.6	36.0	40.9	1.7
B	数	216	198	64	60	77	5
	%	-	91.7	29.6	27.8	35.6	2.3
C	数	150	139	35	31	42	4
	%	-	92.7	23.3	20.7	28.0	2.7
D	数	90	77	19	14	27	1
	%	-	85.6	21.1	15.6	30.0	1.1

Q38_1S7 [保育士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	817	735	290	226	362	15
	%	-	90.0	35.5	27.7	44.3	1.8
A	数	269	247	103	97	134	5
	%	-	91.8	38.3	36.1	49.8	1.9
B	数	261	237	89	61	113	3
	%	-	90.8	34.1	23.4	43.3	1.1
C	数	206	182	73	53	88	5
	%	-	88.3	35.4	25.7	42.7	2.4
D	数	81	69	25	15	27	2
	%	-	85.2	30.9	18.5	33.3	2.5

Q38_1S8 [公認心理師、臨床心理士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	1,494	1,320	609	569	728	33
	%	-	88.4	40.8	38.1	48.7	2.2
A	数	592	536	261	248	296	13
	%	-	90.5	44.1	41.9	50.0	2.2
B	数	449	398	180	175	245	12
	%	-	88.6	40.1	39.0	54.6	2.7
C	数	317	276	122	98	134	7
	%	-	87.1	38.5	30.9	42.3	2.2
D	数	136	110	46	48	53	1
	%	-	80.9	33.8	35.3	39.0	0.7

Q38_1S9 [作業療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	659	588	216	162	285	11
	%	-	89.2	32.8	24.6	43.2	1.7
A	数	280	262	96	85	116	7
	%	-	93.6	34.3	30.4	41.4	2.5
B	数	205	178	66	44	102	3
	%	-	86.8	32.2	21.5	49.8	1.5
C	数	126	108	39	24	49	1
	%	-	85.7	31.0	19.0	38.9	0.8
D	数	48	40	15	9	18	0
	%	-	83.3	31.3	18.8	37.5	-

Q38_1S10 [理学療法士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	297	271	93	82	110	9
	%	-	91.2	31.3	27.6	37.0	3.0
A	数	155	147	45	49	56	7
	%	-	94.8	29.0	31.6	36.1	4.5
B	数	70	60	26	20	28	1
	%	-	85.7	37.1	28.6	40.0	1.4
C	数	60	52	18	10	21	1
	%	-	86.7	30.0	16.7	35.0	1.7
D	数	12	12	4	3	5	0
	%	-	100.0	33.3	25.0	41.7	-

Q38_1S11 [言語聴覚士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	599	506	236	179	285	10
	%	-	84.5	39.4	29.9	47.6	1.7
A	数	264	233	117	94	125	5
	%	-	88.3	44.3	35.6	47.3	1.9
B	数	178	145	62	52	92	2
	%	-	81.5	34.8	29.2	51.7	1.1
C	数	116	92	40	27	54	2
	%	-	79.3	34.5	23.3	46.6	1.7
D	数	41	36	17	6	14	1
	%	-	87.8	41.5	14.6	34.1	2.4

Q38_1S12 [介護福祉士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	10	8	1	2	3	0
	%	-	80.0	10.0	20.0	30.0	-
A	数	3	3	0	1	1	0
	%	-	100.0	-	33.3	33.3	-
B	数	3	2	1	0	0	0
	%	-	66.7	33.3	-	-	-
C	数	3	2	0	1	1	0
	%	-	66.7	-	33.3	33.3	-
D	数	1	1	0	0	1	0
	%	-	100.0	-	-	100.0	-

Q38_1S13 [手話通訳士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	7	4	1	5	4	0
	%	-	57.1	14.3	71.4	57.1	-
A	数	3	2	0	1	1	0
	%	-	66.7	-	33.3	33.3	-
B	数	3	2	1	3	2	0
	%	-	66.7	33.3	100.0	66.7	-
C	数	1	0	0	1	1	0
	%	-	-	-	100.0	100.0	-
D	数	0	0	0	0	0	0
	%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q38_1S14 [管理栄養士・栄養士]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	104	73	77	40	51	7
	%	-	70.2	74.0	38.5	49.0	6.7
A	数	48	36	36	14	25	5
	%	-	75.0	75.0	29.2	52.1	10.4
B	数	32	25	24	12	13	1
	%	-	78.1	75.0	37.5	40.6	3.1
C	数	20	10	14	11	11	0
	%	-	50.0	70.0	55.0	55.0	-
D	数	4	2	3	3	2	1
	%	-	50.0	75.0	75.0	50.0	25.0

Q38_1S15 [その他]貴施設において外部支援を導入している場合について、外部専門職の職種ごとの支援対象者について回答ください。
 あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害児	他の園児 (障害児以外)	保護者	職員	その他
全体	数	572	465	213	178	263	42
	%	-	81.3	37.2	31.1	46.0	7.3
A	数	185	159	71	58	89	11
	%	-	85.9	38.4	31.4	48.1	5.9
B	数	178	139	78	63	99	13
	%	-	78.1	43.8	35.4	55.6	7.3
C	数	127	100	37	38	47	9
	%	-	78.7	29.1	29.9	37.0	7.1
D	数	82	67	27	19	28	9
	%	-	81.7	32.9	23.2	34.1	11.0

Q40S1 [園においてインクルーシブな保育実践のための理念や方針を示している]
 保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	1,071	1,961	2,039	1,641
	%	100.0	16.0	29.2	30.4	24.4
A	数	1,748	86	213	470	979
	%	100.0	4.9	12.2	26.9	56.0
B	数	1,838	181	472	741	444
	%	100.0	9.8	25.7	40.3	24.2
C	数	1,744	257	695	622	170
	%	100.0	14.7	39.9	35.7	9.7
D	数	1,382	547	581	206	48
	%	100.0	39.6	42.0	14.9	3.5

Q40S2 [園においてインクルーシブな保育について検討する体制がある]
 保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	675	1,750	2,577	1,709
	%	100.0	10.1	26.1	38.4	25.5
A	数	1,748	18	123	544	1,063
	%	100.0	1.0	7.0	31.1	60.8
B	数	1,838	71	366	937	464
	%	100.0	3.9	19.9	51.0	25.2
C	数	1,744	160	621	812	151
	%	100.0	9.2	35.6	46.6	8.7
D	数	1,381	426	640	284	31
	%	100.0	30.8	46.3	20.6	2.2

Q40S3 [多様性を受入れこどもの主体性を尊重する文化を醸成することにより、理念や方針について保育士一人ひとりの理解や共感を得ている]
 保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	362	1,530	2,933	1,887
	%	100.0	5.4	22.8	43.7	28.1
A	数	1,748	13	90	566	1,079
	%	100.0	0.7	5.1	32.4	61.7
B	数	1,839	26	287	1,000	526
	%	100.0	1.4	15.6	54.4	28.6
C	数	1,743	84	513	923	223
	%	100.0	4.8	29.4	53.0	12.8
D	数	1,382	239	640	444	59
	%	100.0	17.3	46.3	32.1	4.3

Q40S4 [インクルーシブな保育について理解を深める取組等により、理念や方針について保護者や関係者の理解や共感を得ている]
 保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	795	2,435	2,457	1,026
	%	100.0	11.8	36.3	36.6	15.3
A	数	1,748	27	261	751	709
	%	100.0	1.5	14.9	43.0	40.6
B	数	1,839	90	615	900	234
	%	100.0	4.9	33.4	48.9	12.7
C	数	1,744	203	853	613	75
	%	100.0	11.6	48.9	35.1	4.3
D	数	1,382	475	706	193	8
	%	100.0	34.4	51.1	14.0	0.6

Q40S5 [専門家や関係機関と連携し、インクルーシブな保育の在り方について検討する体制がある]
 保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	1,105	2,020	2,340	1,248
	%	100.0	16.5	30.1	34.9	18.6
A	数	1,748	40	177	655	876
	%	100.0	2.3	10.1	37.5	50.1
B	数	1,839	163	522	870	284
	%	100.0	8.9	28.4	47.3	15.4
C	数	1,744	300	764	606	74
	%	100.0	17.2	43.8	34.7	4.2
D	数	1,382	602	557	209	14
	%	100.0	43.6	40.3	15.1	1.0

Q40S6 [こどもや保護者の意見を受け入れて、インクルーシブな保育の方針を検討する体制がある]
 保育施設全体の理念や方針について、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	1,118	2,200	2,205	1,190
	%	100.0	16.7	32.8	32.8	17.7
A	数	1,748	44	219	646	839
	%	100.0	2.5	12.5	37.0	48.0
B	数	1,839	165	595	812	267
	%	100.0	9.0	32.4	44.2	14.5
C	数	1,744	308	786	576	74
	%	100.0	17.7	45.1	33.0	4.2
D	数	1,382	601	600	171	10
	%	100.0	43.5	43.4	12.4	0.7

Q41S1 [障害のあるこどももないこどもも健康及び安全に生活し、自らの意思で自由に活動できる環境を整えている]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	301	833	2,655	2,924
	%	100.0	4.5	12.4	39.6	43.6
A	数	1,748	15	26	325	1,382
	%	100.0	0.9	1.5	18.6	79.1
B	数	1,839	24	73	805	937
	%	100.0	1.3	4.0	43.8	51.0
C	数	1,744	49	249	984	462
	%	100.0	2.8	14.3	56.4	26.5
D	数	1,382	213	485	541	143
	%	100.0	15.4	35.1	39.1	10.3

Q41S2 [障害のあるこどももないこどもも想定した災害への備えをしている]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	489	1,544	1,947	2,733
	%	100.0	7.3	23.0	29.0	40.7
A	数	1,748	8	107	345	1,288
	%	100.0	0.5	6.1	19.7	73.7
B	数	1,839	40	313	669	817
	%	100.0	2.2	17.0	36.4	44.4
C	数	1,744	82	555	638	469
	%	100.0	4.7	31.8	36.6	26.9
D	数	1,382	359	569	295	159
	%	100.0	26.0	41.2	21.3	11.5

Q41S3 [専門家や関係機関等の専門的な知見を踏まえて、障害のあるこどもとないこどもが一緒に過ごす環境を検討している]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	815	1,528	2,350	2,020
	%	100.0	12.1	22.8	35.0	30.1
A	数	1,748	23	69	425	1,231
	%	100.0	1.3	3.9	24.3	70.4
B	数	1,839	104	292	875	568
	%	100.0	5.7	15.9	47.6	30.9
C	数	1,744	192	566	787	199
	%	100.0	11.0	32.5	45.1	11.4
D	数	1,382	496	601	263	22
	%	100.0	35.9	43.5	19.0	1.6

Q41S4 [保育所等の施設整備（バリアフリー等）により、障害のあるこどもとないこどもが一緒に過ごす環境を整えている]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	1,407	1,969	1,720	1,615
	%	100.0	21.0	29.3	25.6	24.1
A	数	1,748	96	303	488	861
	%	100.0	5.5	17.3	27.9	49.3
B	数	1,837	249	550	595	443
	%	100.0	13.6	29.9	32.4	24.1
C	数	1,744	403	658	448	235
	%	100.0	23.1	37.7	25.7	13.5
D	数	1,382	659	458	189	76
	%	100.0	47.7	33.1	13.7	5.5

Q41S5 [こどもの特性に応じた遊具や機器を導入し、障害のあるこどもとないこどもが一緒に遊ぶ工夫をしている]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	938	1,775	2,359	1,639
	%	100.0	14.0	26.4	35.2	24.4
A	数	1,748	30	180	522	1,016
	%	100.0	1.7	10.3	29.9	58.1
B	数	1,837	107	440	858	432
	%	100.0	5.8	24.0	46.7	23.5
C	数	1,744	234	625	725	160
	%	100.0	13.4	35.8	41.6	9.2
D	数	1,382	567	530	254	31
	%	100.0	41.0	38.4	18.4	2.2

Q41S6 [こどもの特性に応じた移動の支援（福祉車両の活用、遠足等へ看護師が同行等）を行い、障害のあるこどもとないこどもが安全で自由に移動できる体制を整えている]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	2,335	1,545	1,459	1,372
	%	100.0	34.8	23.0	21.7	20.4
A	数	1,748	244	272	410	822
	%	100.0	14.0	15.6	23.5	47.0
B	数	1,837	491	418	532	396
	%	100.0	26.7	22.8	29.0	21.6
C	数	1,744	699	528	385	132
	%	100.0	40.1	30.3	22.1	7.6
D	数	1,382	901	327	132	22
	%	100.0	65.2	23.7	9.6	1.6

Q41S7 [明るさ・温度・湿度・音等に配慮することにより、障害のあるこどもとないこどもが安全・安心に過ごす環境を整えている]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	672	1,401	2,330	2,308
	%	100.0	10.0	20.9	34.7	34.4
A	数	1,748	12	93	460	1,183
	%	100.0	0.7	5.3	26.3	67.7
B	数	1,837	67	279	788	703
	%	100.0	3.6	15.2	42.9	38.3
C	数	1,744	164	506	763	311
	%	100.0	9.4	29.0	43.8	17.8
D	数	1,382	429	523	319	111
	%	100.0	31.0	37.8	23.1	8.0

Q41S8 [関係機関と連携を図り、平常時からの障害のあるこどもとないこどもの危機管理体制を整えている]

すべてのこどもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	865	1,886	2,150	1,810
	%	100.0	12.9	28.1	32.0	27.0
A	数	1,748	10	140	492	1,106
	%	100.0	0.6	8.0	28.1	63.3
B	数	1,837	85	424	831	497
	%	100.0	4.6	23.1	45.2	27.1
C	数	1,744	206	725	642	171
	%	100.0	11.8	41.6	36.8	9.8
D	数	1,382	564	597	185	36
	%	100.0	40.8	43.2	13.4	2.6

Q41S9 [個別避難計画の策定や医療的ケア児のための電源確保を行う等、障害のある子どもとない子どもの災害への備えをおこなっている]
 すべての子どもたちにとって健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、
 自己を十分に発揮できる環境を整えているために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	2,401	2,126	1,182	1,002
	%	100.0	35.8	31.7	17.6	14.9
A	数	1,748	245	425	407	671
	%	100.0	14.0	24.3	23.3	38.4
B	数	1,837	543	642	436	216
	%	100.0	29.6	34.9	23.7	11.8
C	数	1,744	712	677	261	94
	%	100.0	40.8	38.8	15.0	5.4
D	数	1,382	901	382	78	21
	%	100.0	65.2	27.6	5.6	1.5

Q42S1 [障害のある子どもとない子どもの育ちを支えるための研修の充実等により職員の資質及び専門性の向上を図っている]
 保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	289	1,175	3,276	1,973
	%	100.0	4.3	17.5	48.8	29.4
A	数	1,748	7	44	571	1,126
	%	100.0	0.4	2.5	32.7	64.4
B	数	1,839	21	154	1,105	559
	%	100.0	1.1	8.4	60.1	30.4
C	数	1,744	34	410	1,060	240
	%	100.0	1.9	23.5	60.8	13.8
D	数	1,382	227	567	540	48
	%	100.0	16.4	41.0	39.1	3.5

Q42S2 [専門職（作業療法士、公認心理師等）による支援が充実している]
 保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	3,149	1,537	1,418	609
	%	100.0	46.9	22.9	21.1	9.1
A	数	1,748	367	368	599	414
	%	100.0	21.0	21.1	34.3	23.7
B	数	1,839	740	504	451	144
	%	100.0	40.2	27.4	24.5	7.8
C	数	1,744	993	448	264	39
	%	100.0	56.9	25.7	15.1	2.2
D	数	1,382	1,049	217	104	12
	%	100.0	75.9	15.7	7.5	0.9

Q42S3 [保育士等の加配により、子ども一人一人の発達過程や障害の状態を適切に把握している]
 保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	782	981	2,372	2,578
	%	100.0	11.6	14.6	35.3	38.4
A	数	1,748	33	71	423	1,221
	%	100.0	1.9	4.1	24.2	69.9
B	数	1,839	90	170	749	830
	%	100.0	4.9	9.2	40.7	45.1
C	数	1,744	201	343	788	412
	%	100.0	11.5	19.7	45.2	23.6
D	数	1,382	458	397	412	115
	%	100.0	33.1	28.7	29.8	8.3

Q42S4 [研修、実習等によりインクルーシブな保育についての理念や実践方法についての保育士等の知識・技能の向上を図っている]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	468	1,654	3,155	1,436
	%	100.0	7.0	24.6	47.0	21.4
A	数	1,748	10	85	681	972
	%	100.0	0.6	4.9	39.0	55.6
B	数	1,839	26	315	1,153	345
	%	100.0	1.4	17.1	62.7	18.8
C	数	1,744	97	583	965	99
	%	100.0	5.6	33.4	55.3	5.7
D	数	1,382	335	671	356	20
	%	100.0	24.2	48.6	25.8	1.4

Q42S5 [インクルーシブ保育の優良事例と考える園を視察する等、他園から保育の工夫を学び、実践している]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	2,789	2,213	1,298	413
	%	100.0	41.5	33.0	19.3	6.2
A	数	1,748	286	559	566	337
	%	100.0	16.4	32.0	32.4	19.3
B	数	1,839	634	703	451	51
	%	100.0	34.5	38.2	24.5	2.8
C	数	1,744	877	625	220	22
	%	100.0	50.3	35.8	12.6	1.3
D	数	1,382	992	326	61	3
	%	100.0	71.8	23.6	4.4	0.2

Q42S6 [児童発達支援事業所等の専門機関の研修を受講する等、保育士等の専門性の向上を図っている]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	1,010	1,585	2,832	1,286
	%	100.0	15.0	23.6	42.2	19.2
A	数	1,748	44	176	713	815
	%	100.0	2.5	10.1	40.8	46.6
B	数	1,839	157	394	963	325
	%	100.0	8.5	21.4	52.4	17.7
C	数	1,744	295	537	796	116
	%	100.0	16.9	30.8	45.6	6.7
D	数	1,382	514	478	360	30
	%	100.0	37.2	34.6	26.0	2.2

Q42S7 [知識・技能・経験等のある保育士等が園内や他園にそれらを共有し、他の保育士等の知識・技能の向上を図っている]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	1,173	2,036	2,553	951
	%	100.0	17.5	30.3	38.0	14.2
A	数	1,748	76	236	750	686
	%	100.0	4.3	13.5	42.9	39.2
B	数	1,839	179	529	936	195
	%	100.0	9.7	28.8	50.9	10.6
C	数	1,744	322	722	642	58
	%	100.0	18.5	41.4	36.8	3.3
D	数	1,382	596	549	225	12
	%	100.0	43.1	39.7	16.3	0.9

Q42S8 [保育士等の喀痰吸引等研修の受講を推奨し、医療的ケアに関する専門性の向上を図っている]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	5,076	1,027	423	187
	%	100.0	75.6	15.3	6.3	2.8
A	数	1,748	1,022	389	197	140
	%	100.0	58.5	22.3	11.3	8.0
B	数	1,839	1,391	276	142	30
	%	100.0	75.6	15.0	7.7	1.6
C	数	1,744	1,424	237	68	15
	%	100.0	81.7	13.6	3.9	0.9
D	数	1,382	1,239	125	16	2
	%	100.0	89.7	9.0	1.2	0.1

Q42S9 [看護師等の配置や巡回支援により、子どもの健康状態に応じた医療的ケアの提供がおこなわれている]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	4,253	778	702	979
	%	100.0	63.4	11.6	10.5	14.6
A	数	1,748	763	205	233	547
	%	100.0	43.6	11.7	13.3	31.3
B	数	1,839	1,143	210	221	265
	%	100.0	62.2	11.4	12.0	14.4
C	数	1,744	1,235	204	174	131
	%	100.0	70.8	11.7	10.0	7.5
D	数	1,381	1,112	159	74	36
	%	100.0	80.5	11.5	5.4	2.6

Q42S10 [専門職の配置や巡回支援により、子どもの障害特性、発達状況に応じた専門的な支援がおこなわれている（例：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等）]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	2,989	1,111	1,713	900
	%	100.0	44.5	16.5	25.5	13.4
A	数	1,748	367	205	563	613
	%	100.0	21.0	11.7	32.2	35.1
B	数	1,839	755	308	574	202
	%	100.0	41.1	16.7	31.2	11.0
C	数	1,744	909	359	405	71
	%	100.0	52.1	20.6	23.2	4.1
D	数	1,382	958	239	171	14
	%	100.0	69.3	17.3	12.4	1.0

Q42S11 [心理職の配置や巡回支援により、子どもの様子や状況に応じた専門的な支援がおこなわれている（例：公認心理師、臨床心理士等）]

保育の指導計画や保育の内容や方法について、多様なニーズを持つ子どもたちに対応できるようにするため、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	3,100	1,092	1,564	956
	%	100.0	46.2	16.3	23.3	14.2
A	数	1,747	457	232	480	578
	%	100.0	26.2	13.3	27.5	33.1
B	数	1,839	743	317	533	246
	%	100.0	40.4	17.2	29.0	13.4
C	数	1,744	943	322	381	98
	%	100.0	54.1	18.5	21.8	5.6
D	数	1,382	957	221	170	34
	%	100.0	69.2	16.0	12.3	2.5

Q43S1 [障害のあるこどもとないこどもを指導計画の中に位置づけ、包括する保育内容を検討している]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	734	1,484	2,269	2,225
	%	100.0	10.9	22.1	33.8	33.1
A	数	1,748	22	91	368	1,267
	%	100.0	1.3	5.2	21.1	72.5
B	数	1,839	52	270	852	665
	%	100.0	2.8	14.7	46.3	36.2
C	数	1,744	147	562	797	238
	%	100.0	8.4	32.2	45.7	13.6
D	数	1,381	513	561	252	55
	%	100.0	37.1	40.6	18.2	4.0

Q43S2 [障害のあるこどもとないこどもがまわりとの関わりの中で、愛情や信頼感を持ち、自己を十分に発揮できている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,711	267	459	2,316	3,669
	%	100.0	4.0	6.8	34.5	54.7
A	数	1,748	4	2	154	1,588
	%	100.0	0.2	0.1	8.8	90.8
B	数	1,839	7	17	602	1,213
	%	100.0	0.4	0.9	32.7	66.0
C	数	1,744	25	110	937	672
	%	100.0	1.4	6.3	53.7	38.5
D	数	1,380	231	330	623	196
	%	100.0	16.7	23.9	45.1	14.2

Q43S3 [障害のあるこどもとないこどもが生活を通して共に成長するインクルーシブな状態を想定し、園の指導計画の作成をおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	629	1,534	2,320	2,229
	%	100.0	9.4	22.9	34.6	33.2
A	数	1,748	13	68	325	1,342
	%	100.0	0.7	3.9	18.6	76.8
B	数	1,839	45	236	918	640
	%	100.0	2.4	12.8	49.9	34.8
C	数	1,744	104	600	830	210
	%	100.0	6.0	34.4	47.6	12.0
D	数	1,381	467	630	247	37
	%	100.0	33.8	45.6	17.9	2.7

Q43S4 [保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて園の指導計画を作成をおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	1,799	2,089	1,790	1,034
	%	100.0	26.8	31.1	26.7	15.4
A	数	1,748	119	284	550	795
	%	100.0	6.8	16.2	31.5	45.5
B	数	1,839	338	613	700	188
	%	100.0	18.4	33.3	38.1	10.2
C	数	1,744	521	731	449	43
	%	100.0	29.9	41.9	25.7	2.5
D	数	1,381	821	461	91	8
	%	100.0	59.4	33.4	6.6	0.6

Q43S5 [保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて個別の指導計画を作成をおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	1,681	1,665	1,944	1,421
	%	100.0	25.0	24.8	29.0	21.2
A	数	1,748	91	204	537	916
	%	100.0	5.2	11.7	30.7	52.4
B	数	1,839	299	446	749	345
	%	100.0	16.3	24.3	40.7	18.8
C	数	1,744	493	606	522	123
	%	100.0	28.3	34.7	29.9	7.1
D	数	1,380	798	409	136	37
	%	100.0	57.8	29.6	9.9	2.7

Q43S6 [児童発達支援事業所等の専門機関の支援内容について理解を深め、専門機関の支援内容を指導計画に反映させている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	1,525	1,900	2,187	1,099
	%	100.0	22.7	28.3	32.6	16.4
A	数	1,748	81	229	630	808
	%	100.0	4.6	13.1	36.0	46.2
B	数	1,839	249	514	857	219
	%	100.0	13.5	27.9	46.6	11.9
C	数	1,744	432	690	568	54
	%	100.0	24.8	39.6	32.6	3.1
D	数	1,380	763	467	132	18
	%	100.0	55.3	33.8	9.6	1.3

Q43S7 [外部の専門機関・専門職を交えたカンファレンス等により、保育内容の評価をおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	2,702	1,646	1,534	829
	%	100.0	40.3	24.5	22.9	12.4
A	数	1,748	274	344	548	582
	%	100.0	15.7	19.7	31.4	33.3
B	数	1,839	637	492	543	167
	%	100.0	34.6	26.8	29.5	9.1
C	数	1,744	818	518	345	63
	%	100.0	46.9	29.7	19.8	3.6
D	数	1,380	973	292	98	17
	%	100.0	70.5	21.2	7.1	1.2

Q43S8 [こどもの日々の様子を観察・記録し、障害のあるこどもとないこどもの日常の様子を踏まえて計画の改善をおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	371	846	2,574	2,920
	%	100.0	5.5	12.6	38.4	43.5
A	数	1,748	2	16	313	1,417
	%	100.0	0.1	0.9	17.9	81.1
B	数	1,839	16	100	798	925
	%	100.0	0.9	5.4	43.4	50.3
C	数	1,744	40	270	983	451
	%	100.0	2.3	15.5	56.4	25.9
D	数	1,380	313	460	480	127
	%	100.0	22.7	33.3	34.8	9.2

Q43S9 [保育士等のほか児童発達支援事業所等の専門機関・専門職の知見も踏まえて計画の見直しをおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	1,598	1,921	2,113	1,079
	%	100.0	23.8	28.6	31.5	16.1
A	数	1,748	95	254	597	802
	%	100.0	5.4	14.5	34.2	45.9
B	数	1,839	305	520	796	218
	%	100.0	16.6	28.3	43.3	11.9
C	数	1,744	437	683	569	55
	%	100.0	25.1	39.2	32.6	3.2
D	数	1,380	761	464	151	4
	%	100.0	55.1	33.6	10.9	0.3

Q43S10 [第三者評価を受審し、保育の見直しをおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	3,715	887	719	1,391
	%	100.0	55.3	13.2	10.7	20.7
A	数	1,748	666	218	196	668
	%	100.0	38.1	12.5	11.2	38.2
B	数	1,839	957	248	224	410
	%	100.0	52.0	13.5	12.2	22.3
C	数	1,744	1,085	249	197	213
	%	100.0	62.2	14.3	11.3	12.2
D	数	1,381	1,007	172	102	100
	%	100.0	72.9	12.5	7.4	7.2

Q43S11 [障害のあるこどもとないこどもが共に活動しながら、それぞれの能力・資質を伸ばし、興味関心を広げられる保育内容となっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	307	729	2,839	2,836
	%	100.0	4.6	10.9	42.3	42.3
A	数	1,748	2	9	281	1,456
	%	100.0	0.1	0.5	16.1	83.3
B	数	1,839	5	47	892	895
	%	100.0	0.3	2.6	48.5	48.7
C	数	1,744	19	207	1,128	390
	%	100.0	1.1	11.9	64.7	22.4
D	数	1,380	281	466	538	95
	%	100.0	20.4	33.8	39.0	6.9

Q43S12 [障害のあるこどもとないこどもが自分の意思やベースに合わせて自己決定、自己選択できる保育内容となっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	287	709	2,794	2,921
	%	100.0	4.3	10.6	41.6	43.5
A	数	1,748	0	4	289	1,455
	%	100.0	-	0.2	16.5	83.2
B	数	1,839	4	61	850	924
	%	100.0	0.2	3.3	46.2	50.2
C	数	1,744	14	225	1,078	427
	%	100.0	0.8	12.9	61.8	24.5
D	数	1,380	269	419	577	115
	%	100.0	19.5	30.4	41.8	8.3

Q43S13 [合理的配慮のもと、障害のある子どもとない子どもと一緒に成長する体験をできるように、柔軟で多様な活動を取り入れたものとなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、
 貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,711	281	732	2,709	2,989
	%	100.0	4.2	10.9	40.4	44.5
A	数	1,748	1	4	247	1,496
	%	100.0	0.1	0.2	14.1	85.6
B	数	1,839	2	39	812	986
	%	100.0	0.1	2.1	44.2	53.6
C	数	1,744	13	218	1,096	417
	%	100.0	0.7	12.5	62.8	23.9
D	数	1,380	265	471	554	90
	%	100.0	19.2	34.1	40.1	6.5

Q43S14 [障害のある子どもとない子どもと一緒に行事（発表会・遠足・運動会等）に参加している]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	261	148	628	5,675
	%	100.0	3.9	2.2	9.4	84.6
A	数	1,748	2	2	27	1,717
	%	100.0	0.1	0.1	1.5	98.2
B	数	1,839	1	7	112	1,719
	%	100.0	0.1	0.4	6.1	93.5
C	数	1,744	22	29	232	1,461
	%	100.0	1.3	1.7	13.3	83.8
D	数	1,381	236	110	257	778
	%	100.0	17.1	8.0	18.6	56.3

Q43S15 [障害のある子どもとない子どもが十分に主体性を発揮できるよう保育士等が多様な方法で援助をおこなっている]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	221	343	2,099	4,049
	%	100.0	3.3	5.1	31.3	60.3
A	数	1,748	0	4	98	1,646
	%	100.0	-	0.2	5.6	94.2
B	数	1,839	0	13	457	1,369
	%	100.0	-	0.7	24.9	74.4
C	数	1,744	5	62	880	797
	%	100.0	0.3	3.6	50.5	45.7
D	数	1,381	216	264	664	237
	%	100.0	15.6	19.1	48.1	17.2

Q43S16 [集団の状況を把握し、こどもの関係や役割・立場を調整する等、障害のある子どもとない子どもにとって
 集団としての活動が充実感の得られるものとなるよう工夫している]
 こども一人一人に応じた保育内容を実践し、こどもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、
 自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	216	489	2,458	3,549
	%	100.0	3.2	7.3	36.6	52.9
A	数	1,748	0	2	145	1,601
	%	100.0	-	0.1	8.3	91.6
B	数	1,839	0	20	652	1,167
	%	100.0	-	1.1	35.5	63.5
C	数	1,744	4	102	1,027	611
	%	100.0	0.2	5.8	58.9	35.0
D	数	1,381	212	365	634	170
	%	100.0	15.4	26.4	45.9	12.3

Q43S17 [言葉だけでなく、視覚的支援やジェスチャー、絵カードなどを多様なコミュニケーション手段を用いて、障害のある子どもとない子どもが理解しやすい方法で応答的にコミュニケーションが行われている]
 子ども一人一人に応じた保育内容を実践し、子どもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	299	612	2,409	3,392
	%	100.0	4.5	9.1	35.9	50.5
A	数	1,748	9	19	252	1,468
	%	100.0	0.5	1.1	14.4	84.0
B	数	1,839	10	64	630	1,135
	%	100.0	0.5	3.5	34.3	61.7
C	数	1,744	32	197	909	606
	%	100.0	1.8	11.3	52.1	34.7
D	数	1,381	248	332	618	183
	%	100.0	18.0	24.0	44.8	13.3

Q43S18 [保育士等が子どもの心を受け止め、障害のある子どもとない子どもが安心して伸び伸びと意見や感情を表現できる環境となっている]
 子ども一人一人に応じた保育内容を実践し、子どもたちが人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自己表現ができるようにするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	152	259	1,899	4,402
	%	100.0	2.3	3.9	28.3	65.6
A	数	1,748	0	0	77	1,671
	%	100.0	-	-	4.4	95.6
B	数	1,839	0	1	413	1,425
	%	100.0	-	0.1	22.5	77.5
C	数	1,744	5	45	752	942
	%	100.0	0.3	2.6	43.1	54.0
D	数	1,381	147	213	657	364
	%	100.0	10.6	15.4	47.6	26.4

Q44S1 [保育所内のコミュニケーションがおこなわれて情報が適切に共有されているか]
 保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	42	203	2,053	4,415
	%	100.0	0.6	3.0	30.6	65.8
A	数	1,748	1	1	162	1,584
	%	100.0	0.1	0.1	9.3	90.6
B	数	1,839	3	13	493	1,330
	%	100.0	0.2	0.7	26.8	72.3
C	数	1,744	6	39	740	959
	%	100.0	0.3	2.2	42.4	55.0
D	数	1,382	32	150	658	542
	%	100.0	2.3	10.9	47.6	39.2

Q44S2 [保育所外の関係機関と子どもの状況や発達過程を共有し、互いの専門性を活かした支援をおこなっているか]
 保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	291	1,090	3,242	2,090
	%	100.0	4.3	16.2	48.3	31.1
A	数	1,748	6	45	530	1,167
	%	100.0	0.3	2.6	30.3	66.8
B	数	1,839	28	196	1,069	546
	%	100.0	1.5	10.7	58.1	29.7
C	数	1,744	64	338	1,081	261
	%	100.0	3.7	19.4	62.0	15.0
D	数	1,382	193	511	562	116
	%	100.0	14.0	37.0	40.7	8.4

Q44S3 [全職員の円滑なコミュニケーションを促進し、適切・迅速な情報共有がおこなわれている]

保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	34	316	2,374	3,989
	%	100.0	0.5	4.7	35.4	59.4
A	数	1,748	0	4	249	1,495
	%	100.0	-	0.2	14.2	85.5
B	数	1,839	0	24	591	1,224
	%	100.0	-	1.3	32.1	66.6
C	数	1,744	4	69	863	808
	%	100.0	0.2	4.0	49.5	46.3
D	数	1,382	30	219	671	462
	%	100.0	2.2	15.8	48.6	33.4

Q44S4 [定期的にミーティングの機会を設ける等により、職員間の保育の工夫を共有することによる学び合いの基盤をつくっている]

保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	56	443	2,284	3,930
	%	100.0	0.8	6.6	34.0	58.5
A	数	1,748	0	11	224	1,513
	%	100.0	-	0.6	12.8	86.6
B	数	1,839	0	53	587	1,199
	%	100.0	-	2.9	31.9	65.2
C	数	1,744	5	112	842	785
	%	100.0	0.3	6.4	48.3	45.0
D	数	1,382	51	267	631	433
	%	100.0	3.7	19.3	45.7	31.3

Q44S5 [保護者や家庭と連携し、保育所等におけるこどもの様子や家庭におけるこどもの生活状況を伝え合うことができている]

保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	27	179	1,823	4,684
	%	100.0	0.4	2.7	27.2	69.8
A	数	1,748	0	0	108	1,640
	%	100.0	-	-	6.2	93.8
B	数	1,839	0	12	435	1,392
	%	100.0	-	0.7	23.7	75.7
C	数	1,744	0	27	678	1,039
	%	100.0	-	1.5	38.9	59.6
D	数	1,382	27	140	602	613
	%	100.0	2.0	10.1	43.6	44.4

Q44S6 [医療、福祉、保育、教育などの専門機関との連携を強化し、こどもの発達や健康に関する情報を共有しながら、包括的な支援をおこなっている]

保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,713	309	1,423	3,002	1,979
	%	100.0	4.6	21.2	44.7	29.5
A	数	1,748	7	60	512	1,169
	%	100.0	0.4	3.4	29.3	66.9
B	数	1,839	26	265	1,050	498
	%	100.0	1.4	14.4	57.1	27.1
C	数	1,744	65	498	972	209
	%	100.0	3.7	28.6	55.7	12.0
D	数	1,382	211	600	468	103
	%	100.0	15.3	43.4	33.9	7.5

Q44S7 [市町村・保護者・関係機関等と連携してこどもの発達について協議の上、環境面の配慮や援助の工夫等を明確化して、保育要録等で就学先に伝えている]
 保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	314	520	1,409	4,470
	%	100.0	4.7	7.7	21.0	66.6
A	数	1,748	16	18	121	1,593
	%	100.0	0.9	1.0	6.9	91.1
B	数	1,839	30	66	370	1,373
	%	100.0	1.6	3.6	20.1	74.7
C	数	1,744	54	146	548	996
	%	100.0	3.1	8.4	31.4	57.1
D	数	1,382	214	290	370	508
	%	100.0	15.5	21.0	26.8	36.8

Q44S8 [市町村・保護者・関係機関等と連携して、小学校等と話し合いや視察の機会をもつ等、障害のあるこどもの就学後まで見通した支援をおこなっている]
 保育所等内外のコミュニケーションが効果的に行われ、情報が適切に共有されるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,713	489	701	1,927	3,596
	%	100.0	7.3	10.4	28.7	53.6
A	数	1,748	26	40	196	1,486
	%	100.0	1.5	2.3	11.2	85.0
B	数	1,839	53	113	533	1,140
	%	100.0	2.9	6.1	29.0	62.0
C	数	1,744	86	215	755	688
	%	100.0	4.9	12.3	43.3	39.4
D	数	1,382	324	333	443	282
	%	100.0	23.4	24.1	32.1	20.4

Q45S1 [保護者や地域との継続的な対話や関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所づくりをおこなっている]
 保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	144	811	2,725	3,032
	%	100.0	2.1	12.1	40.6	45.2
A	数	1,748	1	31	312	1,404
	%	100.0	0.1	1.8	17.8	80.3
B	数	1,839	13	116	803	907
	%	100.0	0.7	6.3	43.7	49.3
C	数	1,744	29	269	961	485
	%	100.0	1.7	15.4	55.1	27.8
D	数	1,381	101	395	649	236
	%	100.0	7.3	28.6	47.0	17.1

Q45S2 [保護者への支援により、保護者や家庭とともにこどもの育ちを支えている]
 保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	26	222	2,093	4,371
	%	100.0	0.4	3.3	31.2	65.1
A	数	1,748	0	5	109	1,634
	%	100.0	-	0.3	6.2	93.5
B	数	1,839	1	15	483	1,340
	%	100.0	0.1	0.8	26.3	72.9
C	数	1,744	3	40	822	879
	%	100.0	0.2	2.3	47.1	50.4
D	数	1,381	22	162	679	518
	%	100.0	1.6	11.7	49.2	37.5

Q45S3 [保護者と面談の機会を持つ等により、保護者の抱えてきた悩みや不安などを理解し支える取組をおこなっている]

保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	40	193	1,701	4,778
	%	100.0	0.6	2.9	25.3	71.2
A	数	1,748	0	3	102	1,643
	%	100.0	-	0.2	5.8	94.0
B	数	1,839	0	14	373	1,452
	%	100.0	-	0.8	20.3	79.0
C	数	1,744	6	34	609	1,095
	%	100.0	0.3	1.9	34.9	62.8
D	数	1,381	34	142	617	588
	%	100.0	2.5	10.3	44.7	42.6

Q45S4 [専門職（障害児支援や心理職等）を交えた保護者支援の実施により、子どもの発達状況、家庭の状況等への専門的な知見を交えた支援をおこなっている]

保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	958	1,487	2,445	1,822
	%	100.0	14.3	22.2	36.4	27.1
A	数	1,748	58	141	486	1,063
	%	100.0	3.3	8.1	27.8	60.8
B	数	1,839	178	347	832	482
	%	100.0	9.7	18.9	45.2	26.2
C	数	1,744	266	502	775	201
	%	100.0	15.3	28.8	44.4	11.5
D	数	1,381	456	497	352	76
	%	100.0	33.0	36.0	25.5	5.5

Q45S5 [保護者・家庭との継続的な対話により、家庭環境や育児の状況を共有し、家庭と連携・協力しながらこどものニーズに応じた支援を一貫して提供している]

保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	68	528	2,842	3,274
	%	100.0	1.0	7.9	42.3	48.8
A	数	1,748	0	5	266	1,477
	%	100.0	-	0.3	15.2	84.5
B	数	1,839	1	40	812	986
	%	100.0	0.1	2.2	44.2	53.6
C	数	1,744	6	142	1,064	532
	%	100.0	0.3	8.1	61.0	30.5
D	数	1,381	61	341	700	279
	%	100.0	4.4	24.7	50.7	20.2

Q45S6 [園と保護者・家庭においてオープンな対話を促進することにより、意見や感情を自由に表現できる環境を整えている]

保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できていない	あまり実践できていない	時々実践できている	実践できている
全体	数	6,712	86	711	2,780	3,135
	%	100.0	1.3	10.6	41.4	46.7
A	数	1,748	1	18	313	1,416
	%	100.0	0.1	1.0	17.9	81.0
B	数	1,839	5	92	855	887
	%	100.0	0.3	5.0	46.5	48.2
C	数	1,744	8	215	987	534
	%	100.0	0.5	12.3	56.6	30.6
D	数	1,381	72	386	625	298
	%	100.0	5.2	28.0	45.3	21.6

Q45S7 [地域の小中学生や高齢者との交流の機会を設ける等により、地域の様々な人や場と連携・交流し、國の取組を知っていただいている]
保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるするために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	618	1,378	2,542	2,174
	%	100.0	9.2	20.5	37.9	32.4
A	数	1,748	21	167	497	1,063
	%	100.0	1.2	9.6	28.4	60.8
B	数	1,839	99	314	811	615
	%	100.0	5.4	17.1	44.1	33.4
C	数	1,744	167	483	769	325
	%	100.0	9.6	27.7	44.1	18.6
D	数	1,381	331	414	465	171
	%	100.0	24.0	30.0	33.7	12.4

Q45S8 [地域の関係機関と連携する等により、障害のある子ども等が、卒園後も引き続き適切な支援を受けられるように取り組んでいる]
保護者や地域との継続的な対話や協力関係づくりを進め、信頼される開かれた保育所をつくるために、貴施設で以下の事項が実践できていると思いますか。

		施設数	実践できてい ない	あまり実践で きていない	時々実践でき ている	実践できてい る
全体	数	6,712	802	1,512	1,991	2,407
	%	100.0	11.9	22.5	29.7	35.9
A	数	1,748	31	157	350	1,210
	%	100.0	1.8	9.0	20.0	69.2
B	数	1,839	107	330	668	734
	%	100.0	5.8	17.9	36.3	39.9
C	数	1,744	202	544	647	351
	%	100.0	11.6	31.2	37.1	20.1
D	数	1,381	462	481	326	112
	%	100.0	33.5	34.8	23.6	8.1

NQ45_1T1 合計点

	施設数	数	中央値
全体	6,713	1,153,015	173
A	1,748	362,931	205
B	1,839	332,715	181
C	1,744	279,110	160
D	1,382	178,259	134

NQ45_2 合計点

		施設数	D	C	B	A
全体	数	6,713	1,382	1,744	1,839	1,748
	%	100.0	20.6	26.0	27.4	26.0
A	数	1,748	0	0	0	1,748
	%	100.0	-	-	-	100.0
B	数	1,839	0	0	1,839	0
	%	100.0	-	-	100.0	-
C	数	1,744	0	1,744	0	0
	%	100.0	-	100.0	-	-
D	数	1,382	1,382	0	0	0
	%	100.0	100.0	-	-	-

Q46 保育がインクルーシブな状態になっていく中において実感している変化について、回答ください。あてはまるものすべてお選びください。

		施設数	障害のあるこ どもの成長	障害のあるこ ども以外のこ どもの成長 (思いやりの 心を醸成する 等)	保育士等の専 門性の向上	保護者におけ る多様性に対 する理解の向 上	障害の有無等 によって分け 隔てられるこ となく、相互 に人格と個性 を尊重し合い ながら共生す る社会の基盤 づくりになる	その他
全体	数 %	6,713 -	5,335 79.5	5,316 79.2	4,772 71.1	3,097 46.1	4,153 61.9	139 2.1
A	数 %	1,748 -	1,561 89.3	1,546 88.4	1,440 82.4	1,039 59.4	1,329 76.0	17 1.0
B	数 %	1,839 -	1,538 83.6	1,530 83.2	1,372 74.6	857 46.6	1,209 65.7	23 1.3
C	数 %	1,744 -	1,357 77.8	1,372 78.7	1,179 67.6	728 41.7	981 56.3	20 1.1
D	数 %	1,382 -	879 63.6	868 62.8	781 56.5	473 34.2	634 45.9	79 5.7

Q49 本調査研究では、アンケートにご協力いただいた施設の中から、インクルーシブな保育の実施状況に係るヒアリング（オンラインにより1時間程度、1～2月頃実施予定。）をお願いしたいと考えています。ヒアリング結果は、本調査研究の成果としてとりまとめる事例集に記載させていただく可能性がございます。以下の項目から1つ選択してください。条件による場合には、具体的な内容をご記入ください。

		施設数	協力できる	協力できない	条件による (条件の内 容：
全体	数 %	6,712 100.0	653 9.7	5,481 81.7	578 8.6
A	数 %	1,748 100.0	247 14.1	1,309 74.9	192 11.0
B	数 %	1,838 100.0	178 9.7	1,499 81.6	161 8.8
C	数 %	1,744 100.0	128 7.3	1,478 84.7	138 7.9
D	数 %	1,382 100.0	100 7.2	1,195 86.5	87 6.3

NQ2 貴施設の形態を回答ください。（併設している場合、図で示す類型からあてはまるものを一つ回答ください）

		施設数	保育所等のみ	保育所等と児 童発達支援事 業所等	その他
全体	数 %	4,614 100.0	4,326 93.8	131 2.8	157 3.4
A	数 %	1,036 100.0	943 91.0	48 4.6	45 4.3
B	数 %	1,181 100.0	1,096 92.8	39 3.3	46 3.9
C	数 %	1,247 100.0	1,191 95.5	25 2.0	31 2.5
D	数 %	1,150 100.0	1,096 95.3	19 1.7	35 3.0

Appendix（6）インクルーシブ保育の在り方等に関するヒアリング調査票

1. 貴施設等の基本情報について教えてください

貴施設及び併設する児童発達支援事業所等の基本情報について教えてください。

■施設基本情報

① 名称及び所在地等

施設類型	
運営法人名称	
施設名称	
所在地	
施設ホームページ等	

② 児童数（R6年1月1日時点）

児童数	年齢区分	定員		在籍数		うち、障害児数	
	0歳児		人		人		人
	1歳児		人		人		人
	2歳児		人		人		人
	3歳児		人		人		人
	4歳児		人		人		人
	5歳児		人		人		人
	合計		人		人		人

③ 職員数（R6年1月1日時点）

職員数	主任保育士		人
	保育士		人
	看護師等		人
	加配職員		人

■併設施設情報

施設類型	
運営法人名称	
施設名称	
所在地	
施設ホームページ等	

2. インクルーシブな保育に係る貴施設の理念・方針、インクルーシブな保育の検討状況について教えてください

◇ 貴施設における施設全体の理念や方針について教えてください

- ✓ 貴施設では、インクルーシブな保育をどのような状態として考えていますか
- ✓ インクルーシブな保育の状態を実現するために、特に意識していることを教えてください
- ✓ 理念や方針を施設内・外へどのように発信・共有しているか教えてください

◇ 貴施設におけるインクルーシブな保育の在り方に関する検討状況について教えてください

- ✓ インクルーシブな保育の在り方等を検討する機会がありますか
- ✓ インクルーシブな保育の在り方を検討する際の体制、具体的な内容について教えてください

3. インクルーシブな保育の具体的な取組について教えてください

◇ 貴施設において、インクルーシブな保育の取組実施に至った背景・経緯・きっかけについて教えてください

◇ 貴施設におけるインクルーシブな保育を実現するための環境整備の考え方、具体的な整備内容について教えてください

- ✓ インクルーシブな保育を行うための保育環境をどのように考えていますか
 - インクルーシブな保育を行うための環境整備の考え方
 - インクルーシブな保育を行うための環境を考える際に、参考にした情報（書籍、研修、他の施設の取組、国内・海外の取組施設等への視察等）
- ✓ インクルーシブな保育を行うための保育環境を整えるために、整備した施設や設備があれば教えてください
 - インクルーシブな保育を実施するうえで特に配慮した事項
 - 補助金等の活用の有無、内容等
- ✓ 安全・衛生管理体制について教えてください
 - 日常の安全・衛生管理
 - 災害への備え（防災計画、防災訓練、自治体・消防等との連携等）

◇ インクルーシブな保育に取り組むための保育提供体制について教えてください

- インクルーシブな保育の実施に向けた職員配置の工夫
- 保育士等の資質及び専門性の向上の取組
- 専門職による支援の有無、内容
- クラス構成やクラスサイズ（規模）の考え方 など

◇ インクルーシブな保育の具体的な取組（保育内容）について教えてください

- ✓ 保育計画について教えてください

- 保育計画へのインクルーシブな保育の内容の記載の有無、具体的な内容
- 計画内容の実践の工夫、共有方法
- 計画の評価と改善の取組方法 など

✓ インクルーシブな保育の実践について具体的な内容を教えてください。

- インクルーシブな保育の実践のねらい
- インクルーシブな保育の実践におけるこどもの理解と気持ちの尊重（どのような方法でこどもの気持ちを聞き取っているか）
- インクルーシブな保育の実践のために、重要であると考え、その理由（参考：Q15）
- 保育の場面でインクルーシブな保育を意識した（またはインクルーシブな保育と考えられる）取組や工夫、配慮していることについて

〔保育の場面〕

日常の保育	
行事やイベント等	

〔参考：具体的な内容〕

こどもの理解	・ こどもをよく理解・尊重するための工夫
保育の方法	・ インクルーシブな保育
遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団での遊びの際の工夫（入りにくいこどもがいた時の工夫） ・ 遊びのルール作りの工夫（こどもの意見の取入れ方やこどもと一緒にルールを作る等） ・ インクルーシブな保育に合うと考える遊び
行事	・ 行事ごとに取り組む際の工夫
こどもへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの主体性、自己表現、自己決定・自己選択のどのように後押ししているか ・ 発達に遅れがあるこどもの保育（3歳児であっても1歳児クラスで預かっている等） ・ 障害児への個別の関わりの考え方 ・ こども同士にトラブルがあったときの対応 ・ 成果だけでなく、こどもの遊びや取組のプロセスをどのように把握しているか、尊重しているか
こども同士のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健常児と障害児等こども同士の関係づくり ・ こども同士の関わりにおける工夫 ・ 障害特性をどのように周囲の健常児に理解させているか

- ◇ インクルーシブな保育の取組により感じられている変化や良い影響について教えてください
 - インクルーシブな保育の取組により感じられているこどもの変化や良い影響（健常児・障害児両方）
 - 職員自身においてインクルーシブな保育の実践をとおして意識が変わったこと
 - 保護者の様子（健常児・障害児両方）
 - 地域の様子（取組前と取組後の変化など）

- ◇ インクルーシブな保育の取組を推進していくうえでの工夫、課題や対応策について教えてください
 - インクルーシブな保育を推進していくうえで大切にしていること
 - 保育者の願いやねらいどおりにいかない時の考え方、捉え方
 - 正解がないなかでインクルーシブ保育をよりよくしていくために拠り所になっているもの、人
 - 職員がひとりで抱えこまない工夫
 - 保護者や関係者との信頼関係の作り方

- ◇ 併行通園しているこどもへの工夫について教えてください
 - 併行通園している事業所（併設、同一市区町村内、その他）
 - 併行通園を選択している理由
 - 併行通園における保育所等への通所状況（通所頻度、時間帯など）
 - 併行通園しているこどもへの保育所での対応の工夫（並行通園していることにより、意識したかわり方や取組など）
 - 併行通園における児童発達支援事業所等との連携（こどもに関する情報共有、施設間の役割分担、定期的な会議の有無・内容、視察など）

（※）単独型施設のみ

- ◇ 貴施設では、インクルーシブな保育を実践されていますが、児童発達支援事業所等との併設や外部支援を活用されていない理由などありましたら、教えてください
- ◇ また、施設のみでインクルーシブな保育を実践するにあたり、よい点や、逆に課題と感じられていることなどありましたら教えてください

※設問4、設問5については、ヒアリング対象者によって選択して実施

4. インクルーシブな保育の取組における児童発達支援事業所等との連携（交流）について教えてください

- ◇ インクルーシブな保育の取組における児童発達支援事業所等との連携（交流）において、背景・経緯・きっかけについて教えてください
 - ✓ 施設併設の目的
 - ✓ 施設併設または施設間連携に至った背景・経緯・きっかけ

◇ 児童発達支援事業所等の連携（交流）の目的について教えてください

- ✓ 児童発達支援事業所等との連携（交流）によって、どのようなことを期待しているか教えてください（こども、職員、保護者への影響の観点から）

◇ インクルーシブな保育の取組における児童発達支援事業所等との連携（交流）の具体的な内容について教えてください

- 連携（交流）の計画や事前準備、施設内での情報共有、保護者等への説明の有無など
- 連携（交流）具体的な取組内容（頻度、方法、内容）
- 連携（交流）を行うにあたっての取組の工夫
- 連携（交流）を実現するための体制の工夫
- 児童発達支援事業所等との情報共有、会議体の有無、内容、
- 児童発達支援事業所等との役割分担（児童発達支援事業等に期待する保育の役割を含む）
- 児童発達支援事業所等との連携（交流）により感じられる良い影響（保育所側と児童発達支援事業所側）
- 施設併設の強み・良い点
- 併設・交流における課題と対応策

5. インクルーシブな保育の取組における外部支援の活用について教えてください

◇ インクルーシブな保育の取組における外部支援の活用において、背景・経緯・きっかけについて教えてください

- 外部支援の活用に至った背景・経緯・きっかけ

◇ 外部支援の活用の目的や意識していること、期待していることについて教えてください

- ✓ 外部支援の活用の目的を教えてください
- ✓ 外部支援の活用によって、どのようなことを期待しているか教えてください（こども、職員、保護者への影響の観点から）

◇ インクルーシブな保育の取組における外部支援の活用の具体的な内容

- 外部支援の活用の計画や事前準備、施設内での情報共有、保護者等への説明の有無など
- 外部支援の対象
- 外部支援の具体的な取組内容（専門職の職種、頻度、方法、内容）
- 外部支援を活用するにあたっての取組の工夫
- 外部支援の活用にあたって、連携体制や連携の内容
- 外部支援の活用における情報共有、会議体の有無、内容
- 外部支援の活用により感じられる良い影響
- 外部支援の活用における課題と対応策

6. インクルーシブな保育における保護者や地域との交流について教えてください

- ◇ インクルーシブな保育の実施における保護者や地域との交流について教えてください
 - ✓ インクルーシブな保育に関連する保護者との交流について、具体的な取組を教えてください
 - 保育所等と保護者との情報共有
 - 保育所等と保護者との交流の機会の有無、内容
 - 保護者間の交流の機会の有無、内容
 - ✓ インクルーシブな保育に関連する保護者への支援について教えてください
- ◇ インクルーシブな保育に関連する自治体との連携について教えてください
 - 自治体との連携の有無、内容
- ◇ インクルーシブな保育に関連する地域との連携・交流について教えてください
 - ✓ インクルーシブな保育に関連して、地域との連携や交流の取組があれば教えてください
 - 連携・交流の機会の有無、頻度、内容
 - 連携・交流における工夫
 - 連携・交流によるよい点
- ◇ インクルーシブな保育に関連する情報発信や普及啓発について教えてください
 - ✓ インクルーシブな保育に関連する情報発信や普及啓発について取り組まれていることがあれば教えてください
 - 情報発信や普及啓発の目的
 - 情報発信や普及啓発の対象、頻度、内容
 - 情報発信や普及啓発により感じられている良い影響（施設内・外）

7. インクルーシブな保育の状態を安定的に維持するための工夫について教えてください

- ◇ 貴施設において、インクルーシブな保育の状態を安定的に維持するために、どのような工夫をされているか教えてください。特に重要と考えていることがあれば教えてください。
 - ✓ 組織体制、環境整備の観点（財政上の経営的側面を含む）
 - ✓ 保育提供体制（人材確保・充実、専門性の向上）、保育実践の観点
 - ✓ 保護者や地域の理解促進（情報発信や普及啓発も含む）等、保護者・地域との交流の観点
 - ✓ 自治体との連携の観点

以上

免責事項

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッド及びデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社並びにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ税理士法人、DT 弁護士法人及びデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 30 都市以上に 1 万 5 千名を超える専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファーム及びそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）並びに各メンバーファーム及び関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL 及び DTTL の各メンバーファーム並びに関係法人は、自らの作為及び不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為及び不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは DTTL のメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバー及びそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける 100 を超える都市（オーストラランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務、法務等に関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500® の約 9 割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来 175 年余りの歴史を有し、150 を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約 345,000 名のプロフェッショナルの活動の詳細については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業

インクルーシブ保育の在り方等に関する調査研究
報告書

令和7年3月 発行
編集・発行 有限責任監査法人トーマツ
